

平成25年度
「人権・同和問題」に関する市民意識調査
報 告 書

平成26年3月

草 津 市

目 次

第1章	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の実施要領	1
3	調査票の配付・回収の状況	1
4	集計方法、数値の取り扱いについて	2
5	調査結果の信頼性	2
6	回答者の状況	3
第2章	調査の結果	9
1	差別についての考え方	9
2	風習・慣習に対する意識	17
3	「人権尊重」の意味の認識	25
4	人権侵害を受けた経験、その時の対応	27
5	女性の人権、男女共同参画	35
6	子どもの人権	59
7	高齢者の人権	63
8	障害者の人権	67
9	外国人の人権	71
10	同和問題	75
11	人権教育・啓発・情報提供のあり方	102
12	人権問題に対する関心や人権学習の態度	125
13	「登録型本人通知制度」の認知・利用	132
14	人権尊重や人権問題の解決などに対する意見や要望	138
第3章	分析を終えて	141
1	調査の特徴	141
2	回答者の特徴	141
3	調査結果の特徴	141
4	まとめ	144
第4章	使用した調査票	147

第 1 章 調査の概要

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本市では、平成 8 年（1996 年）7 月に「草津市人権擁護に関する条例」を制定し、部落差別をはじめとして障害者、女性、在日外国人等に対するあらゆる差別をなくし、明るく住みよいまちづくりをめざして、人権・同和問題に関する教育、啓発活動を実施している。しかし、子どもや女性などへの虐待、インターネットなどへの差別的な書き込み、あるいは戸籍等の不正取得など、さまざまな人権侵害が依然として起こっており、多くの課題がある。

そのため、これまで取り組んできた人権・同和教育の成果と課題を踏まえ、今後の人権教育、啓発活動の基礎資料として活用することを目的として調査を実施する。なお、本調査は、昭和 58 年（1983 年）以降、5 年ごとに実施している。

2 調査の実施要領

- 調査地域 草津市全域
- 調査対象者 平成 25 年 10 月 1 日現在における本市在住の満 20 歳以上の男女
- 調査対象者数 3, 157 人
- 標本抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- 調査方法 郵送配付・回収、無記名方式
調査期間中に、はがきによる礼状兼依頼状を 1 回配付
- 調査時期 平成 25 年 10 月 10 日～10 月 31 日

3 調査票の配付・回収の状況

配付件数	不達件数	実配付件数	回収数 (回収率)	有効回答数 (有効回答率)
3, 157 件	23 件	3, 134 件	1, 377 件 (43. 9%)	1, 369 件 (43. 7%)

※「不達件数」は、対象者の転居や宛名不明により配付できなかった調査票の件数。「有効回答数」は「回収数」から白票や回答不備の無効票を除外した件数。「回収率」及び「有効回答率」は、「実配付件数」に対する「回収数」及び「有効回答数」それぞれの比率

4 集計方法、数値の取り扱いについて

- 集計は、百分率（％）によるものと、問1、問2、問6、問12は平均スコアによる集計も行っている。
- 百分率の集計結果は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表記している。
- 平均スコアの集計結果（問1、問2、問6、問12）は小数第3位を四捨五入し、小数第2位までを表記している。
- 単数回答設問の各選択肢の回答比率の合計は、四捨五入の関係で100.0%にならない場合がある。
- 複数回答設問の各選択肢の回答比率は、当該設問に回答すべき人数を集計母数として求めているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 当該設問の集計母数は、グラフ中に「(N=***)」と表記している。
- 設問選択肢が長い一部の設問については、図表の表記が繁雑になることを避けるため、表記の一部を省略している。
- 過去3回（1998年・2003年・2008年）の調査との経年比較が可能な設問については、過去のデータを数表に示し、比較を行っている。

5 調査結果の信頼性

今回の調査は標本調査であるため、調査結果（標本測定値）から母集団における意識・意見を推定することができる。ただ、標本（調査対象）を抽出する上で生じる標本誤差を考慮した上で調査結果を分析し、また母集団における意識・意見を推定する必要がある。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を標本（調査対象）を変えて実施した場合、100回中95回までは同様の回答結果が得られると考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされている。これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差の近似値は、以下の数式で求められる。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε ：標本誤差

1.96：信頼度95%の時の信頼係数

N：母集団数（本調査では94,529人）

n：標本数（有効回答数。本調査では1,369人）

P：標本測定値（0.5＝50%の時に最大となる）

※母集団数94,529人は、平成25年5月1日現在の市内在住の満20歳以上の男女の人口

上記の数式に必要な数値をあてはめて計算すると、「 ε （標本誤差）＝2.6」（小数第2位四捨五入）という数値が得られる。このことから、今回と同じ調査を同じ母集団の中から調査対象を変えて100回行った場合、95回までは今回の調査で得られた結果の「±2.6%」の範囲内の結果が得られると考えることができる（5回は異なる結果が得られることを許容する）。

6 回答者の状況

(1) 回答者の性別

図表 回答者の性別

		男性	女性	無回答	合計
全体		642 46.9%	683 49.9%	44 3.2%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	42 44.7%	48 51.1%	4 4.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	22 41.5%	29 54.7%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	51 44.0%	62 53.4%	3 2.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	45 43.3%	58 55.8%	1 1.0%	104 100.0%
	渋川小学校区	37 51.4%	34 47.2%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	51 49.5%	49 47.6%	3 2.9%	103 100.0%
	老上小学校区	70 46.7%	75 50.0%	5 3.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	43 43.0%	54 54.0%	3 3.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	31 45.6%	36 52.9%	1 1.5%	68 100.0%
	山田小学校区	41 49.4%	40 48.2%	2 2.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	53 46.1%	58 50.4%	4 3.5%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	51 51.5%	44 44.4%	4 4.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	23 46.0%	25 50.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	82 50.6%	71 43.8%	9 5.6%	162 100.0%

回答者の性別は、「女性」が49.9%、「男性」が46.9%で、「女性」が「男性」に比べて3.0ポイント多いが、地域別にみると、笠縫東小学校区、渋川小学校区、矢倉小学校区、山田小学校区の4小学校区では「男性」が「女性」に比べてわずかに多い。

(2) 回答者の年齢

図表 回答者の年齢

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
全体		112 8.2%	232 16.9%	238 17.4%	216 15.8%	300 21.9%	227 16.6%	44 3.2%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	8 8.5%	14 14.9%	14 14.9%	19 20.2%	21 22.3%	14 14.9%	4 4.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	6 11.3%	9 17.0%	10 18.9%	10 18.9%	10 18.9%	6 11.3%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	9 7.8%	19 16.4%	14 12.1%	24 20.7%	27 23.3%	20 17.2%	3 2.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	7 6.7%	24 23.1%	26 25.0%	14 13.5%	18 17.3%	14 13.5%	1 1.0%	104 100.0%
	渋川小学校区	5 6.9%	14 19.4%	15 20.8%	13 18.1%	13 18.1%	12 16.7%	0 0.0%	72 100.0%
	矢倉小学校区	9 8.7%	15 14.6%	20 19.4%	16 15.5%	24 23.3%	17 16.5%	2 1.9%	103 100.0%
	老上小学校区	10 6.7%	32 21.3%	25 16.7%	20 13.3%	30 20.0%	28 18.7%	5 3.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	10 10.0%	19 19.0%	21 21.0%	10 10.0%	19 19.0%	18 18.0%	3 3.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	7 10.3%	8 11.8%	13 19.1%	16 23.5%	17 25.0%	6 8.8%	1 1.5%	68 100.0%
	山田小学校区	5 6.0%	14 16.9%	11 13.3%	14 16.9%	19 22.9%	18 21.7%	2 2.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	5 4.3%	16 13.9%	16 13.9%	16 13.9%	29 25.2%	29 25.2%	4 3.5%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	8 8.1%	12 12.1%	13 13.1%	15 15.2%	28 28.3%	19 19.2%	4 4.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	2 4.0%	5 10.0%	8 16.0%	8 16.0%	15 30.0%	10 20.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	21 13.0%	31 19.1%	32 19.8%	21 13.0%	30 18.5%	16 9.9%	11 6.8%	162 100.0%

回答者の年齢は、「60歳代」が21.9%で最も多く、以下、「40歳代」が17.4%、「30歳代」が16.9%、「70歳以上」が16.6%、「50歳代」が15.8%、「20歳代」が8.2%となっている。

地域別にみると、草津第二小学校区、玉川小学校区、志津南小学校区、老上小学校区、渋川小学校区では「20歳代」と「30歳代」の合計が4分の1以上を占め、若年層の回答者が比較的多い。他方、笠縫小学校区と常盤小学校区では「60歳代」と「70歳以上」の合計が半数以上を占め、高齢層の回答者が特に多い。

(3) 回答者の市内居住年数

図表 回答者の市内居住年数

		2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答	合計
全体		118 8.6%	118 8.6%	108 7.9%	233 17.0%	715 52.2%	77 5.6%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	8 8.5%	5 5.3%	6 6.4%	15 16.0%	60 63.8%	0 0.0%	94 100.0%
	志津南小学校区	2 3.8%	9 17.0%	4 7.5%	12 22.6%	26 49.1%	0 0.0%	53 100.0%
	草津小学校区	12 10.3%	8 6.9%	4 3.4%	21 18.1%	71 61.2%	0 0.0%	116 100.0%
	草津第二小学校区	15 14.4%	8 7.7%	20 19.2%	25 24.0%	36 34.6%	0 0.0%	104 100.0%
	渋川小学校区	8 11.1%	10 13.9%	10 13.9%	16 22.2%	28 38.9%	0 0.0%	72 100.0%
	矢倉小学校区	11 10.7%	7 6.8%	8 7.8%	17 16.5%	60 58.3%	0 0.0%	103 100.0%
	老上小学校区	8 5.3%	17 11.3%	16 10.7%	26 17.3%	83 55.3%	0 0.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	7 7.0%	9 9.0%	10 10.0%	29 29.0%	44 44.0%	1 1.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	5 7.4%	8 11.8%	6 8.8%	15 22.1%	34 50.0%	0 0.0%	68 100.0%
	山田小学校区	2 2.4%	3 3.6%	4 4.8%	6 7.2%	68 81.9%	0 0.0%	83 100.0%
	笠縫小学校区	8 7.0%	8 7.0%	1 0.9%	15 13.0%	81 70.4%	2 1.7%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	5 5.1%	4 4.0%	6 6.1%	19 19.2%	64 64.6%	1 1.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	3 6.0%	2 4.0%	2 4.0%	3 6.0%	40 80.0%	0 0.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	24 14.8%	20 12.3%	11 6.8%	14 8.6%	20 12.3%	73 45.1%	162 100.0%

回答者の市内居住年数は、「20年以上」が52.2%で最も多く、以下、「10年以上20年未満」が17.0%、「2年未満」と「2年以上5年未満」がともに8.6%、「5年以上10年未満」が7.9%となっている。

地域別にみると、志津南小学校区、草津第二小学校区、渋川小学校区では5年未満が20%以上を占め、居住年数が比較的短い人が多く、特に草津第二小学校区と渋川小学校区では、「20年以上」が30%台と他の地域に比べて少ない。他方、山田小学校区、常盤小学校区、笠縫小学校区では「20年以上」が70%以上を占め、居住年数が長い人が多い。

(4) 回答者の職業

図表 回答者の職業

		自営業主	家族従事者	民間企業・団体 (従業員20人未満) 勤務	民間企業・団体 (従業員20人以上) 勤務	公務員、 教員、団体職員	学生	家事専業	無職	その他	無回答	合計
全体		75	19	104	413	89	23	218	290	52	86	1,369
		5.5%	1.4%	7.6%	30.2%	6.5%	1.7%	15.9%	21.2%	3.8%	6.3%	100.0%
地域	志津小学校区	5	1	7	33	8	2	18	16	3	1	94
		5.3%	1.1%	7.4%	35.1%	8.5%	2.1%	19.1%	17.0%	3.2%	1.1%	100.0%
	志津南小学校区	2	0	6	15	1	2	14	11	1	1	53
		3.8%	0.0%	11.3%	28.3%	1.9%	3.8%	26.4%	20.8%	1.9%	1.9%	100.0%
	草津小学校区	7	0	14	30	9	1	19	28	8	0	116
		6.0%	0.0%	12.1%	25.9%	7.8%	0.9%	16.4%	24.1%	6.9%	0.0%	100.0%
	草津第二小学校区	8	2	12	39	9	1	18	14	1	0	104
		7.7%	1.9%	11.5%	37.5%	8.7%	1.0%	17.3%	13.5%	1.0%	0.0%	100.0%
	渋川小学校区	2	0	6	25	2	1	12	19	4	1	72
		2.8%	0.0%	8.3%	34.7%	2.8%	1.4%	16.7%	26.4%	5.6%	1.4%	100.0%
	矢倉小学校区	2	1	7	32	9	3	23	23	3	0	103
		1.9%	1.0%	6.8%	31.1%	8.7%	2.9%	22.3%	22.3%	2.9%	0.0%	100.0%
	老上小学校区	7	2	9	54	8	2	27	34	5	2	150
		4.7%	1.3%	6.0%	36.0%	5.3%	1.3%	18.0%	22.7%	3.3%	1.3%	100.0%
	玉川小学校区	3	4	8	31	4	5	21	20	3	1	100
		3.0%	4.0%	8.0%	31.0%	4.0%	5.0%	21.0%	20.0%	3.0%	1.0%	100.0%
	南笠東小学校区	5	0	3	25	9	2	6	13	4	1	68
		7.4%	0.0%	4.4%	36.8%	13.2%	2.9%	8.8%	19.1%	5.9%	1.5%	100.0%
	山田小学校区	11	3	9	19	5	0	9	24	3	0	83
		13.3%	3.6%	10.8%	22.9%	6.0%	0.0%	10.8%	28.9%	3.6%	0.0%	100.0%
	笠縫小学校区	8	4	5	28	4	2	23	36	4	1	115
		7.0%	3.5%	4.3%	24.3%	3.5%	1.7%	20.0%	31.3%	3.5%	0.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	5	1	8	28	8	1	19	25	3	1	99
		5.1%	1.0%	8.1%	28.3%	8.1%	1.0%	19.2%	25.3%	3.0%	1.0%	100.0%
	常盤小学校区	4	1	5	16	3	1	3	13	4	0	50
		8.0%	2.0%	10.0%	32.0%	6.0%	2.0%	6.0%	26.0%	8.0%	0.0%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	6	0	5	38	10	0	6	14	6	77	162
		3.7%	0.0%	3.1%	23.5%	6.2%	0.0%	3.7%	8.6%	3.7%	47.5%	100.0%

回答者の職業は、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」が30.2%で最も多く、以下、「無職」が21.2%、「家事専業」が15.9%、「民間企業・団体（従業員20人未満）勤務」が7.6%、「公務員、教員、団体職員」が6.5%などとなっている。

地域別にみても、全体の回答傾向と大差はみられないが、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」は、草津第二小学校区、南笠東小学校区、老上小学校区、志津小学校区では30%台後半とやや多い。また、「無職」は、笠縫小学校区、山田小学校区、渋川小学校区、常盤小学校区、笠縫東小学校区では4分の1以上を占め、他の地域に比べてやや多い。同様に、「家事専業」は、志津南小学校区、矢倉小学校区、玉川小学校区、笠縫小学校区では20%台とやや多い。

(5) 回答者の居住地域（小学校区）

図表 居住地域（小学校区）ごとの調査票配付数及び有効回答数

	配付数		有効回答数	
	件数	構成比	件数	構成比
志 津 小 学 校 区	272	8.6%	94	6.9%
志 津 南 小 学 校 区	151	4.8%	53	3.9%
草 津 小 学 校 区	269	8.5%	116	8.5%
草 津 第 二 小 学 校 区	269	8.5%	104	7.6%
渋 川 小 学 校 区	209	6.6%	72	5.3%
矢 倉 小 学 校 区	241	7.6%	103	7.5%
老 上 小 学 校 区	400	12.7%	150	11.0%
玉 川 小 学 校 区	276	8.7%	100	7.3%
南 笠 東 小 学 校 区	206	6.5%	68	5.0%
山 田 小 学 校 区	206	6.5%	83	6.1%
笠 縫 小 学 校 区	271	8.6%	115	8.4%
笠 縫 東 小 学 校 区	256	8.1%	99	7.2%
常 盤 小 学 校 区	131	4.1%	50	3.7%
無回答・小学校区不明	---	---	162	11.8%
合 計	3,157	100.0%	1,369	100.0%

回答者の居住地域（小学校区）は、「無回答・小学校区不明」（11.8%）を除き、「老上小学校区」が11.0%が最も多く、以下、「草津小学校区」が8.5%、「笠縫小学校区」が8.4%、「草津第二小学校区」が7.6%、「矢倉小学校区」が7.5%、「玉川小学校区」が7.3%、「笠縫東小学校区」が7.2%などとなっている。

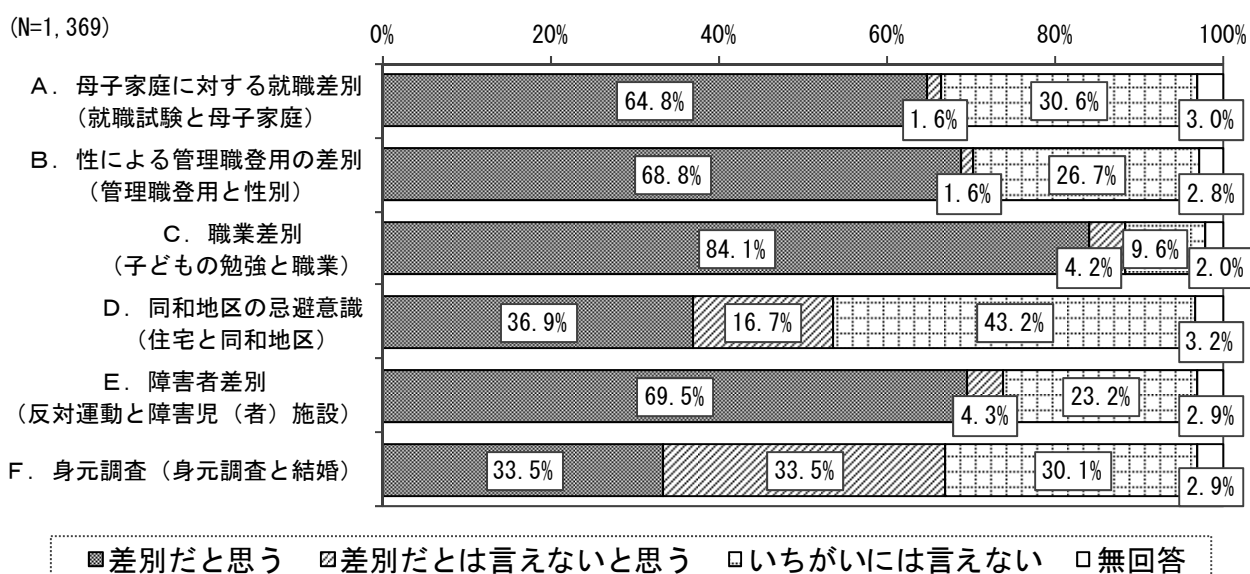
第2章 調査の結果

第2章 調査の結果

1 差別についての考え方

質問1. 日本国憲法の第14条には、「すべての国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」と規定されています。しかし、「差別」とはどういうことかという、いろいろと考え方の違いがあるようです。そこで、次のAからFのことについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 差別についての考え方



差別についての考え方をたずねたところ、「差別だと思う」が最も多いのは「C. 職業差別 (子どもの勉強と職業)」(84.1%)で、以下、「E. 障害者差別 (反対運動と障害児(者)施設)」(69.5%)、「B. 性による管理職登用の差別 (管理職登用と性別)」(68.8%)などとなっている。逆に、「差別だとは言えないと思う」が最も多いのは「F. 身元調査 (身持ち調査と結婚)」(33.5%)で、次いで「D. 同和地区の忌避意識 (住宅と同和地区)」となっている。

「いちがいいには言えない」が最も多いのは「D. 同和地区の忌避意識 (住宅と同和地区)」(43.2%)で、以下、「A. 母子家庭に対する就職差別 (就職支援と母子家庭)」(30.6%)、「F. 身元調査身元調査と結婚」(30.1%)などとなっている。

なお、差別に対する意識の度合いをより明確にするため、「差別だと思う」に3点、「いちがいいには言えない」に2点、「差別だと言えないと思う」に1点と配点し、「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。

A. Aさん（男性）とBさん（男性）が、ある会社の入社試験を受けました。100点満点で、Aさんは80点を取り、Bさんは75点でした。ところが、Aさんは父親がなく、Bさんは両親が健在なことがわかりました。そこで、会社は、両親が健在であるBさんの方を採用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「母子家庭に対する就職差別（就職試験と母子家庭）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいいには言えない	無回答	合計	平均（点）
全体		887	22	419	41	1,369	2.65
		64.8%	1.6%	30.6%	3.0%	100.0%	
地域	志津小学校区	59	2	29	4	94	2.63
		62.8%	2.1%	30.9%	4.3%	100.0%	
	志津南小学校区	36	1	16	0	53	2.66
		67.9%	1.9%	30.2%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	84	0	27	5	116	2.76
		72.4%	0.0%	23.3%	4.3%	100.0%	
	草津第二小学校区	75	0	28	1	104	2.73
		72.1%	0.0%	26.9%	1.0%	100.0%	
	渋川小学校区	50	0	18	4	72	2.74
		69.4%	0.0%	25.0%	5.6%	100.0%	
	矢倉小学校区	65	2	35	1	103	2.62
		63.1%	1.9%	34.0%	1.0%	100.0%	
	老上小学校区	99	2	46	3	150	2.66
		66.0%	1.3%	30.7%	2.0%	100.0%	
	玉川小学校区	66	2	28	4	100	2.67
		66.0%	2.0%	28.0%	4.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	45	2	17	4	68	2.67
		66.2%	2.9%	25.0%	5.9%	100.0%	
	山田小学校区	51	2	30	0	83	2.59
		61.4%	2.4%	36.1%	0.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	71	3	40	1	115	2.60
		61.7%	2.6%	34.8%	0.9%	100.0%	
	笠縫東小学校区	57	3	36	3	99	2.56
		57.6%	3.0%	36.4%	3.0%	100.0%	
	常盤小学校区	33	1	14	2	50	2.67
		66.0%	2.0%	28.0%	4.0%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	96	2	55	9	162	2.27
		59.3%	1.2%	34.0%	5.6%	100.0%	
2008年調査		71	1	20	1	93	2.73
		76.3%	1.1%	21.5%	1.1%	100.0%	
2003年調査		821	21	339	39	1,220	2.68
		67.3%	1.7%	27.8%	3.2%	100.0%	
1998年調査		1,131	36	471	32	1,670	2.67
		67.7%	2.2%	28.2%	1.9%	100.0%	

「差別だと思う」が64.8%、「差別だとは言えないと思う」が1.6%、「いちがいいには言えない」が30.6%となっており、平均スコアは2.65点となっている。過去3回の調査と比較すると、毎回上昇していた平均スコアは前回に比べて低下して今回が最も低く、「差別だと思う」意識が最も弱くなっている。

地域別にみると、平均スコアは、草津小学校区、渋川小学校区、草津第二小学校区では2.70点以上で他の地域に比べてやや高く、「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、「差別だと思う」は、女性（69.7%）が男性（59.8%）に比べて9.9ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは70歳以上が2.56点で最も低く、逆に、20歳代が2.74点で最も高い。顕著な傾向ではないが、年齢層が低いほど「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

B. ある会社で、管理職職員の選考をして任用することになりました。Cさん（男性）とDさん（女性）が最終選考対象に残っています。Dさんは経験年数、勤務成績、知識、管理能力などの点ではむしろCさんに優っていると思われます。しかし、会社では男性であるCさんの方を管理職に登用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「性による管理職登用の差別（管理職登用と性別）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいいには言えない	無回答	合計	平均（点）
全体		942	22	366	39	1,369	2.69
		68.8%	1.6%	26.7%	2.8%	100.0%	
地域	志津小学校区	65	8	19	2	94	2.62
		69.1%	8.5%	20.2%	2.1%	100.0%	
	志津南小学校区	37	0	16	0	53	2.70
		69.8%	0.0%	30.2%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	80	0	29	7	116	2.73
		69.0%	0.0%	25.0%	6.0%	100.0%	
	草津第二小学校区	78	0	26	0	104	2.75
		75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	
	渋川小学校区	50	1	17	4	72	2.72
		69.4%	1.4%	23.6%	5.6%	100.0%	
	矢倉小学校区	70	0	31	2	103	2.69
		68.0%	0.0%	30.1%	1.9%	100.0%	
	老上小学校区	100	2	45	3	150	2.67
		66.7%	1.3%	30.0%	2.0%	100.0%	
	玉川小学校区	73	2	21	4	100	2.74
		73.0%	2.0%	21.0%	4.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	51	2	12	3	68	2.75
		75.0%	2.9%	17.6%	4.4%	100.0%	
	山田小学校区	55	2	26	0	83	2.64
		66.3%	2.4%	31.3%	0.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	81	2	31	1	115	2.69
		70.4%	1.7%	27.0%	0.9%	100.0%	
	笠縫東小学校区	63	0	33	3	99	2.66
		63.6%	0.0%	33.3%	3.0%	100.0%	
	常盤小学校区	33	1	14	2	50	2.67
		66.0%	2.0%	28.0%	4.0%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	106	2	46	8	162	2.39
		65.4%	1.2%	28.4%	4.9%	100.0%	
2008年調査		739	29	243	29	1,040	2.70
		71.1%	2.8%	23.4%	2.8%	100.0%	
2003年調査		837	46	306	31	1,220	2.67
		68.6%	3.8%	25.1%	2.5%	100.0%	
1998年調査		1,081	93	462	34	1,670	2.60
		64.7%	5.6%	27.7%	2.0%	100.0%	

「差別だと思う」が68.8%、「差別だとは言えないと思う」が1.6%、「いちがいいには言えない」が26.7%となっており、平均スコアは2.69点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは毎回上昇していたが、今回は前回調査と比べてほぼ横ばいとなっている。

地域別にみると、平均スコアは、草津第二小学校区、南笠東小学校区、玉川小学校区、草津小学校区、渋川小学校区では2.70点以上で他の地域に比べてやや高く、「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、「差別だと思う」は、女性（71.7%）が男性（66.7%）に比べて5.0ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは70歳以上が2.57点で最も低く、逆に、20歳代が2.76点で最も高い。30歳代～60歳代の平均スコアは2.71点～2.73点で、これらの年齢間での大差はない。

C. 子どもが勉強しないので、親が叱っていました。そのとき、急に雨が降り出し、道路の工事をしていた人が向かいの家の軒下に雨やどりに行きました。それを見て、親は子どもに、「しっかり勉強しないとあのおじさんたちのような仕事をするようになるよ」と言いました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「職業差別（子どもの勉強と職業）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいいには言えない	無回答	合計	平均（点）
全体		1,152 84.1%	58 4.2%	132 9.6%	27 2.0%	1,369 100.0%	2.82
地域	志津小学校区	78 83.0%	6 6.4%	8 8.5%	2 2.1%	94 100.0%	2.78
	志津南小学校区	48 90.6%	2 3.8%	3 5.7%	0 0.0%	53 100.0%	2.87
	草津小学校区	102 87.9%	5 4.3%	7 6.0%	2 1.7%	116 100.0%	2.85
	草津第二小学校区	83 79.8%	5 4.8%	13 12.5%	3 2.9%	104 100.0%	2.77
	渋川小学校区	63 87.5%	2 2.8%	6 8.3%	1 1.4%	72 100.0%	2.86
	矢倉小学校区	82 79.6%	4 3.9%	15 14.6%	2 1.9%	103 100.0%	2.77
	老上小学校区	128 85.3%	5 3.3%	15 10.0%	2 1.3%	150 100.0%	2.83
	玉川小学校区	82 82.0%	5 5.0%	11 11.0%	2 2.0%	100 100.0%	2.79
	南笠東小学校区	58 85.3%	2 2.9%	7 10.3%	1 1.5%	68 100.0%	2.84
	山田小学校区	70 84.3%	4 4.8%	7 8.4%	2 2.4%	83 100.0%	2.81
	笠縫小学校区	101 87.8%	4 3.5%	10 8.7%	0 0.0%	115 100.0%	2.84
	笠縫東小学校区	85 85.9%	5 5.1%	8 8.1%	1 1.0%	99 100.0%	2.82
	常盤小学校区	45 90.0%	0 0.0%	3 6.0%	2 4.0%	50 100.0%	2.94
	無回答・ 小学校区不明	127 78.4%	9 5.6%	19 11.7%	7 4.3%	162 100.0%	2.70
2008年調査		885 85.1%	43 4.1%	85 8.2%	27 2.6%	1,040 100.0%	2.83
2003年調査		1,042 85.4%	62 5.1%	85 7.0%	31 2.5%	1,220 100.0%	2.82
1998年調査		1,431 85.7%	80 4.8%	129 7.7%	30 1.8%	1,670 100.0%	2.82

「差別だと思う」が84.1%、「差別だとは言えないと思う」が4.2%、「いちがいいには言えない」が9.6%となっており、平均スコアは2.82点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアはほぼ横ばいで推移しており、意識の大きな変化はみられない。

地域別にみると、平均スコアは、常盤小学校区が2.94点で最も高く、他のいずれの地域も2.70点以上の高い平均スコアを示しており、全体として「差別だと思う」意識が高い傾向がみられる。

性別にみると、「差別だと思う」は、女性（87.4%）が男性（81.3%）に比べて6.1ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは70歳以上が2.71点で最も低い。逆に、50歳代が2.90点で最も高く、以下、60歳代が2.88点、40歳代が2.83点と続いており、40歳代～60歳代で「差別だと思う」意識が比較的強い。

D. Eさんは、ある町で希望にあった家を見つけたので買おうとしました。ところが、その新しい家は同和地区にあることがわかりました。そこで、子どものいるEさんは、その家を買うことを見合わせました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「同和地区の忌避意識（住宅と同和地区）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいに は言えない	無回答	合計	平均（点）	
全体		505 36.9%	228 16.7%	592 43.2%	44 3.2%	1,369 100.0%	2.21	
地域	志津小学校区	31 33.0%	21 22.3%	40 42.6%	2 2.1%	94 100.0%	2.11	
	志津南小学校区	13 24.5%	13 24.5%	26 49.1%	1 1.9%	53 100.0%	2.00	
	草津小学校区	51 44.0%	17 14.7%	46 39.7%	2 1.7%	116 100.0%	2.30	
	草津第二小学校区	35 33.7%	12 11.5%	54 51.9%	3 2.9%	104 100.0%	2.23	
	洪川小学校区	29 40.3%	13 18.1%	28 38.9%	2 2.8%	72 100.0%	2.23	
	矢倉小学校区	37 35.9%	15 14.6%	48 46.6%	3 2.9%	103 100.0%	2.22	
	老上小学校区	63 42.0%	25 16.7%	59 39.3%	3 2.0%	150 100.0%	2.26	
	玉川小学校区	35 35.0%	22 22.0%	39 39.0%	4 4.0%	100 100.0%	2.14	
	南笠東小学校区	25 36.8%	10 14.7%	31 45.6%	2 2.9%	68 100.0%	2.23	
	山田小学校区	34 41.0%	13 15.7%	34 41.0%	2 2.4%	83 100.0%	2.26	
	笠縫小学校区	42 36.5%	19 16.5%	50 43.5%	4 3.5%	115 100.0%	2.21	
	笠縫東小学校区	30 30.3%	21 21.2%	44 44.4%	4 4.0%	99 100.0%	2.09	
	常盤小学校区	29 58.0%	4 8.0%	15 30.0%	2 4.0%	50 100.0%	2.52	
	無回答・ 小学校区不明	51 31.5%	23 14.2%	78 48.1%	10 6.2%	162 100.0%	1.82	
	2008年調査		534 51.3%	119 11.4%	324 31.2%	63 6.1%	1,040 100.0%	2.42
	2003年調査		612 50.2%	178 14.6%	379 31.1%	51 4.2%	1,220 100.0%	2.34
	1998年調査		906 54.3%	196 11.7%	505 30.2%	63 3.8%	1,670 100.0%	2.37

「差別だと思う」が36.9%、「差別だとは言えないと思う」が16.7%、「いちがいには言えない」が43.2%となっており、平均スコアは2.21点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も低く、「差別だとは言えないと思う」に近い意識となっている。

地域別にみると、平均スコアは、常盤小学校区が2.52点で最も高く、次いで、草津小学校区が2.30点と続いている。逆に、笠縫東小学校区が2.09点で最も低く、「差別だとは言えないと思う」意識に最も近い。

性別にみると、「差別だと思う」は男性（39.1%）が女性（35.0%）に比べて4.1ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が2.06点で最も低く、逆に、60歳代が2.29点で最も高く、以下、50歳代が2.27点、40歳代が2.26点と続いており、60歳代にかけては、年齢層が高いほど「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

E. ある市で障害児（者）の施設が、住宅街に建設されることになりましたが、地元の住民がその施設の建設に反対しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「障害者差別（反対運動と障害児（者）施設）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいいには言えない	無回答	合計	平均（点）	
全体		952 69.5%	59 4.3%	318 23.2%	40 2.9%	1,369 100.0%	2.67	
地域	志津小学校区	67 71.3%	6 6.4%	19 20.2%	2 2.1%	94 100.0%	2.66	
	志津南小学校区	36 67.9%	2 3.8%	14 26.4%	1 1.9%	53 100.0%	2.65	
	草津小学校区	87 75.0%	5 4.3%	22 19.0%	2 1.7%	116 100.0%	2.72	
	草津第二小学校区	69 66.3%	5 4.8%	26 25.0%	4 3.8%	104 100.0%	2.64	
	渋川小学校区	49 68.1%	1 1.4%	20 27.8%	2 2.8%	72 100.0%	2.69	
	矢倉小学校区	69 67.0%	3 2.9%	28 27.2%	3 2.9%	103 100.0%	2.66	
	老上小学校区	105 70.0%	9 6.0%	33 22.0%	3 2.0%	150 100.0%	2.65	
	玉川小学校区	73 73.0%	4 4.0%	20 20.0%	3 3.0%	100 100.0%	2.71	
	南笠東小学校区	45 66.2%	1 1.5%	20 29.4%	2 2.9%	68 100.0%	2.67	
	山田小学校区	60 72.3%	6 7.2%	15 18.1%	2 2.4%	83 100.0%	2.67	
	笠縫小学校区	87 75.7%	2 1.7%	24 20.9%	2 1.7%	115 100.0%	2.75	
	笠縫東小学校区	64 64.6%	5 5.1%	27 27.3%	3 3.0%	99 100.0%	2.61	
	常盤小学校区	40 80.0%	1 2.0%	6 12.0%	3 6.0%	50 100.0%	2.83	
	無回答・ 小学校区不明	101 62.3%	9 5.6%	44 27.2%	8 4.9%	162 100.0%	2.37	
	2008年調査		763 73.4%	27 2.6%	205 19.7%	45 4.3%	1,040 100.0%	2.74
	2003年調査		925 75.8%	33 2.7%	215 17.6%	47 3.9%	1,220 100.0%	2.68
	1998年調査		1,260 75.4%	49 2.9%	309 18.5%	52 3.1%	1,670 100.0%	2.76

「差別だと思う」が69.5%、「差別だとは言えないと思う」が4.3%、「いちがいいには言えない」が23.2%となっており、平均スコアは2.67点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは前回に比べて0.07ポイントの低下にとどまっているが、4回の調査を通じてみると、横ばいないし低下の傾向がみられる。

地域別にみると、平均スコアは、常盤小学校区が2.83点で最も高く、以下、笠縫小学校区、草津小学校区、玉川小学校区が2.7点台で続いており、これらの地域では「差別だと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

性別にみると、「差別だと思う」は、女性が70.0%、男性が69.3%で大差はない。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が2.61点で最も低い。逆に、60歳代が2.76点で最も高く、以下、40歳代が2.66点、50歳代が2.64点と続いており、60歳代にかけては、顕著な傾向ではないが、年齢層が高いほど「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

F. Fさんが好きになり、結婚したいと思う人を家族に紹介したところ、「よさそうな人じゃないか」と親は言い、その後交際を続けていました。数カ月たって、親が「結婚すれば、あとあと親せきづきあいもしていかなければならないから、相手の身元もよく調べておかなければ」と言いました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「身元調査（身元調査と結婚）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいいには言えない	無回答	合計	平均（点）
全体		459 33.5%	458 33.5%	412 30.1%	40 2.9%	1,369 100.0%	2.00
地域	志津小学校区	28 29.8%	38 40.4%	26 27.7%	2 2.1%	94 100.0%	1.89
	志津南小学校区	17 32.1%	16 30.2%	19 35.8%	1 1.9%	53 100.0%	2.02
	草津小学校区	35 30.2%	40 34.5%	38 32.8%	3 2.6%	116 100.0%	1.96
	草津第二小学校区	39 37.5%	28 26.9%	36 34.6%	1 1.0%	104 100.0%	2.11
	渋川小学校区	22 30.6%	29 40.3%	19 26.4%	2 2.8%	72 100.0%	1.90
	矢倉小学校区	33 32.0%	35 34.0%	33 32.0%	2 1.9%	103 100.0%	1.98
	老上小学校区	46 30.7%	61 40.7%	39 26.0%	4 2.7%	150 100.0%	1.90
	玉川小学校区	39 39.0%	36 36.0%	22 22.0%	3 3.0%	100 100.0%	2.03
	南笠東小学校区	21 30.9%	22 32.4%	23 33.8%	2 2.9%	68 100.0%	1.98
	山田小学校区	28 33.7%	33 39.8%	19 22.9%	3 3.6%	83 100.0%	1.94
	笠縫小学校区	38 33.0%	41 35.7%	33 28.7%	3 2.6%	115 100.0%	1.97
	笠縫東小学校区	40 40.4%	26 26.3%	28 28.3%	5 5.1%	99 100.0%	2.15
	常盤小学校区	25 50.0%	9 18.0%	14 28.0%	2 4.0%	50 100.0%	2.33
	無回答・ 小学校区不明	48 29.6%	44 27.2%	63 38.9%	7 4.3%	162 100.0%	2.23
2008年調査		430 41.3%	306 29.4%	252 24.2%	52 5.0%	1,040 100.0%	2.13
2003年調査		409 33.5%	454 37.2%	323 26.5%	34 2.8%	1,220 100.0%	1.96
1998年調査		566 33.9%	650 38.9%	409 24.5%	45 2.7%	1,670 100.0%	1.95

「差別だと思う」と「差別だとは言えないと思う」が33.5%で同率、「いちがいいには言えない」が30.1%となっており、平均スコアは2.00点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは前回に比べて0.13ポイント低下し、「差別だとは言えないと思う」という意識になっている。

地域別にみると、平均スコアは、常盤小学校区、笠縫東小学校区、草津第二小学校区、玉川小学校区が2.00点以上であるのを除き、いずれの地域も2.00点未満で「差別だとは言えないと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、「差別だと思う」は、男性（35.5%）が女性（32.2%）に比べて3.3ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が1.81点で最も低く、70歳以上の1.96点、60歳代の1.99点も2.00点未満となっており、「差別だとは言えないと思う」意識がより強い。

【差別についての態度スコア】

図表 差別についての態度スコア

		18～17点	16～14点	13～11点	10～8点	7～6点	合計	平均（点）
全体		397	617	297	55	3	1,369	14.96
		29.0%	45.1%	21.7%	4.0%	0.2%	100.0%	
地域	志津小学校区	23	38	29	3	1	94	14.63
		24.5%	40.4%	30.9%	3.2%	1.1%	100.0%	
	志津南小学校区	16	23	11	3	0	53	14.89
		30.2%	43.4%	20.8%	5.7%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	37	56	17	6	0	116	15.21
		31.9%	48.3%	14.7%	5.2%	0.0%	100.0%	
	草津第二小学校区	32	51	17	4	0	104	15.16
		30.8%	49.0%	16.3%	3.8%	0.0%	100.0%	
	渋川小学校区	22	29	19	2	0	72	15.01
		30.6%	40.3%	26.4%	2.8%	0.0%	100.0%	
	矢倉小学校区	31	42	26	4	0	103	14.88
		30.1%	40.8%	25.2%	3.9%	0.0%	100.0%	
	老上小学校区	43	65	39	2	1	150	14.91
		28.7%	43.3%	26.0%	1.3%	0.7%	100.0%	
	玉川小学校区	29	44	22	5	0	100	14.97
		29.0%	44.0%	22.0%	5.0%	0.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	21	32	13	2	0	68	15.03
		30.9%	47.1%	19.1%	2.9%	0.0%	100.0%	
	山田小学校区	24	38	16	4	1	83	14.87
		28.9%	45.8%	19.3%	4.8%	1.2%	100.0%	
	笠縫小学校区	31	57	24	3	0	115	15.03
		27.0%	49.6%	20.9%	2.6%	0.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	31	37	26	5	0	99	14.82
		31.3%	37.4%	26.3%	5.1%	0.0%	100.0%	
	常盤小学校区	17	28	4	1	0	50	15.78
		34.0%	56.0%	8.0%	2.0%	0.0%	100.0%	
	無回答・ 小学校区不明	40	77	34	11	0	162	14.72
		24.7%	47.5%	21.0%	6.8%	0.0%	100.0%	
2008年調査		381	456	185	18	0	1,040	15.42
		36.6%	43.8%	17.8%	1.7%	0.0%	100.0%	
2003年調査		379	580	213	44	4	1,220	15.16
		31.1%	47.5%	17.5%	3.6%	30.0%	100.0%	
1998年調査		544	753	325	45	3	1,670	15.16
		32.6%	45.1%	19.5%	2.7%	0.2%	100.0%	

A～Fの差別に対する態度の全体的な傾向を把握するため、A～F 6項目の各選択肢に付与した配点（3～1点）の合計を算出した（ただし、「無回答」には2点を付与した）。このスコアは、最高18点から最低6点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど「差別だと思う」態度である度合いが強いことを示し、スコアが低いほど「差別だとは言えないと思う」態度である度合いが強いことを示すため、「差別についての態度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「16～14点」が45.1%で最も多く、次いで「18～17点」が29.0%と続いており、これらで74.1%を占めている。態度スコアの平均は14.96点で、大半の人が項目全体について差別だと思っている傾向にあることがわかる。過去3回の調査と比較すると、態度スコア14点以上は毎回増加してきたが、前回に比べて低下し、今回が最も少ない。また、態度スコア「18～17点」が前回に比べて減少し、16点以下が増加したため、態度スコアの平均は前回までの15点台から低下している。

地域別にみると、態度スコアの平均は常盤小学校区が15.78点で最も高く、逆に、志津小学校区が14.63点で最も低い。

性別にみると、態度スコアの平均は、女性（15.12点）が男性（14.82点）に比べて高い。

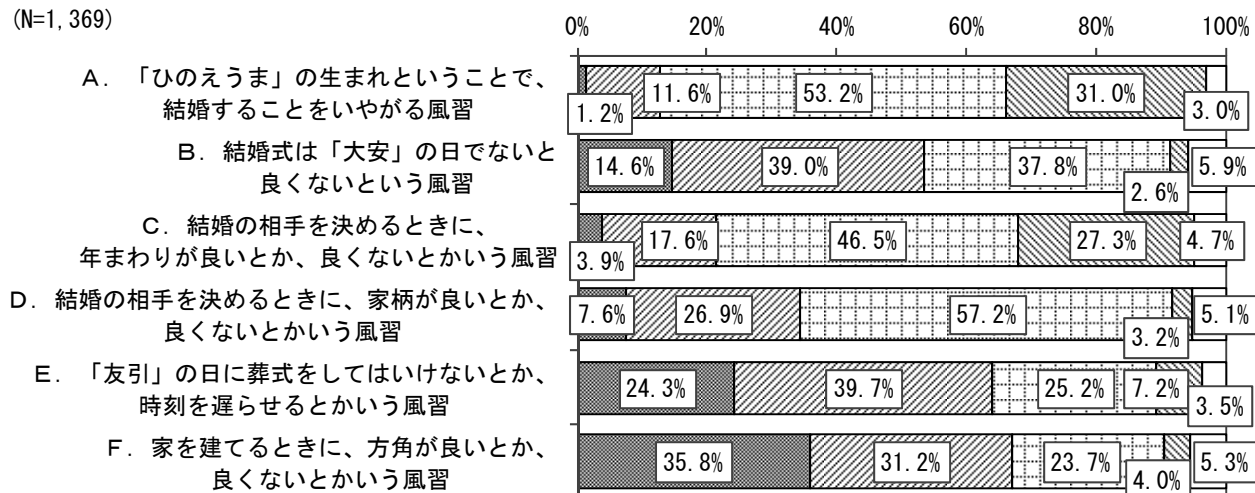
年齢別にみると、態度スコアの平均は、40歳代～60歳代では15点台であるのに対し、他の年齢層では14点台とやや低い。

2 風習・慣習に対する意識

質問2. 日本には、次のAからFのようなさまざまな風習があります。AからFそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 風習・慣習に対する意識

(N=1,369)



- 当然のことと思う (いつも気にしている)
- ▣ おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- ▤ 間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う
- ▥ 聞いたことがない
- 無回答

風習・慣習に対する意識をたずねたところ、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は「F. 家を立てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習」(35.8%)が最も多く、以下、「E. 『友引』の日に葬式をしてはいけないとか、時刻を遅らせるとかいう風習」(24.3%)、「B. 結婚式は『大安』の日でないと良くないという風習」(14.6%)などとなっている。

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は「E. 『友引』の日に葬式をしてはいけないとか、時刻を遅らせるとかいう風習」(39.7%)が最も多く、以下、「B. 結婚式は『大安』の日でないと良くないという風習」(39.0%)、「F. 家を立てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習」が31.2%などとなっている。

「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」は「D. 結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習」(57.2%)が最も多く、以下、「A. 『ひのえうま』の生まれということで、結婚することをいやがる風習」(53.2%)、「C. 結婚の相手を決めるときに、年まわりが良いとか、良くないとかいう風習」(46.5%)などとなっている。

なお、風習・慣習に対する意識の度合いをより明確にするため、「当然のことと思う (いつも気にしている)」に1点、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」に2点、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」に3点と配点し、「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。

A. 「ひのえうま」の生まれということで、結婚することをいやがる風習

図表 風習・慣習に対する意識「『ひのえうま』の生まれということで、結婚することをいやがる風習」

		当然のこと と思う（い つも気にし ている）	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかなけ ればならな いと思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均（点）
全体		17 1.2%	159 11.6%	728 53.2%	424 31.0%	41 3.0%	1,369 100.0%	2.79
地域	志津小学校区	1 1.1%	9 9.6%	45 47.9%	36 38.3%	3 3.2%	94 100.0%	2.80
	志津南小学校区	0 0.0%	7 13.2%	31 58.5%	14 26.4%	1 1.9%	53 100.0%	2.82
	草津小学校区	2 1.7%	11 9.5%	65 56.0%	35 30.2%	3 2.6%	116 100.0%	2.81
	草津第二小学校区	0 0.0%	9 8.7%	56 53.8%	38 36.5%	1 1.0%	104 100.0%	2.86
	渋川小学校区	0 0.0%	10 13.9%	33 45.8%	27 37.5%	2 2.8%	72 100.0%	2.77
	矢倉小学校区	1 1.0%	13 12.6%	60 58.3%	26 25.2%	3 2.9%	103 100.0%	2.80
	老上小学校区	3 2.0%	15 10.0%	81 54.0%	48 32.0%	3 2.0%	150 100.0%	2.79
	玉川小学校区	1 1.0%	11 11.0%	51 51.0%	36 36.0%	1 1.0%	100 100.0%	2.79
	南笠東小学校区	1 1.5%	9 13.2%	32 47.1%	21 30.9%	5 7.4%	68 100.0%	2.74
	山田小学校区	3 3.6%	13 15.7%	47 56.6%	19 22.9%	1 1.2%	83 100.0%	2.70
	笠縫小学校区	1 0.9%	12 10.4%	70 60.9%	30 26.1%	2 1.7%	115 100.0%	2.83
	笠縫東小学校区	1 1.0%	10 10.1%	64 64.6%	21 21.2%	3 3.0%	99 100.0%	2.84
	常盤小学校区	2 4.0%	4 8.0%	31 62.0%	10 20.0%	3 6.0%	50 100.0%	2.78
	無回答・ 小学校区不明	1 0.6%	26 16.0%	62 38.3%	63 38.9%	10 6.2%	162 100.0%	2.69
2008年調査		20 1.9%	95 9.1%	650 62.5%	221 21.3%	54 5.2%	1,040 100.0%	2.82
2003年調査		19 1.6%	197 16.1%	919 75.3%	---	85 7.0%	1,220 100.0%	2.79
1998年調査		35 2.1%	273 16.3%	1,285 76.9%	---	77 4.6%	1,670 100.0%	2.78

「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が53.2%で最も多く、以下、「聞いたことがない」が31.0%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が11.6%、「当然のことと思う（いつも気にしている）」が1.2%となっており、平均スコアは2.79点となっている。過去3回の調査と比較すると、毎回上昇してきた平均スコアは今回0.03ポイント低下し、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識はわずかに低下している。

地域別にみると、平均スコアは、草津第二小学校区、笠縫東小学校区、笠縫小学校区、志津南小学校区、草津小学校区、志津小学校区、矢倉小学校区では2.8点台で「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.80点、女性が2.77点で、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識は、男性が女性に比べてわずかに高い。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が2.61点で最も低く、逆に、50歳代と70歳以上が2.82点で最も高くなっており、顕著な傾向ではないが、年齢層が高いほど「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が高い傾向がみられる。

B. 結婚式は「大安」の日でないと良くないという風習

図表 風習・慣習に対する意識「結婚式は『大安』の日でないと良くないという風習」

		当然のこと と思う（い つも気にし ている）	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかなけ ればならな いと思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均（点）
全体		200 14.6%	534 39.0%	518 37.8%	36 2.6%	81 5.9%	1,369 100.0%	2.25
地域	志津小学校区	17 18.1%	40 42.6%	29 30.9%	3 3.2%	5 5.3%	94 100.0%	2.14
	志津南小学校区	6 11.3%	24 45.3%	20 37.7%	0 0.0%	3 5.7%	53 100.0%	2.28
	草津小学校区	16 13.8%	42 36.2%	49 42.2%	3 2.6%	6 5.2%	116 100.0%	2.31
	草津第二小学校区	15 14.4%	42 40.4%	39 37.5%	4 3.8%	4 3.8%	104 100.0%	2.25
	渋川小学校区	6 8.3%	23 31.9%	34 47.2%	4 5.6%	5 6.9%	72 100.0%	2.44
	矢倉小学校区	22 21.4%	37 35.9%	36 35.0%	3 2.9%	5 4.9%	103 100.0%	2.15
	老上小学校区	19 12.7%	56 37.3%	61 40.7%	3 2.0%	11 7.3%	150 100.0%	2.31
	玉川小学校区	19 19.0%	36 36.0%	36 36.0%	5 5.0%	4 4.0%	100 100.0%	2.19
	南笠東小学校区	6 8.8%	33 48.5%	20 29.4%	3 4.4%	6 8.8%	68 100.0%	2.24
	山田小学校区	14 16.9%	34 41.0%	31 37.3%	2 2.4%	2 2.4%	83 100.0%	2.22
	笠縫小学校区	16 13.9%	47 40.9%	47 40.9%	1 0.9%	4 3.5%	115 100.0%	2.28
	笠縫東小学校区	10 10.1%	40 40.4%	41 41.4%	0 0.0%	8 8.1%	99 100.0%	2.34
	常盤小学校区	7 14.0%	17 34.0%	23 46.0%	0 0.0%	3 6.0%	50 100.0%	2.34
	無回答・ 小学校区不明	27 16.7%	63 38.9%	52 32.1%	5 3.1%	15 9.3%	162 100.0%	2.18
2008年調査		148 14.2%	363 34.9%	430 41.3%	26 2.5%	73 7.0%	1,040 100.0%	2.30
2003年調査		157 12.9%	472 38.7%	514 42.1%	---	77 6.3%	1,220 100.0%	2.31
1998年調査		222 13.3%	662 39.6%	697 41.7%	---	89 5.4%	1,670 100.0%	2.30

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が39.0%で最も多く、以下、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が37.8%、「当然のことと思う（いつも気にしている）」が14.6%、「聞いたことがない」が2.6%となっており、平均スコアは2.25点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も低く、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が最も弱い。

地域別にみると、平均スコアは、渋川小学校区が2.44点で最も高く、笠縫東小学校区、笠縫小学校区、草津小学校区、老上小学校区も2.3点台となっており、これらの地域では「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が比較的高い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.27点、女性が2.23点で、いずれも「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識に近い。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が1.89点で最も低く、逆に、70歳以上が2.43点で最も高くなっており、年齢層が高いほど「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

C. 結婚の相手を決めるときに、年まわりが良いとか、良くないとかいう風習

図表 風習・慣習に対する意識「結婚の相手を決めるときに、年まわりが良いとか、良くないとかいう風習」

		当然のこと と思う（い つも気にし ている）	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかなけ ればならな いと思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均（点）
全体		53 3.9%	241 17.6%	636 46.5%	374 27.3%	65 4.7%	1,369 100.0%	2.63
地域	志津小学校区	6 6.4%	15 16.0%	42 44.7%	26 27.7%	5 5.3%	94 100.0%	2.57
	志津南小学校区	1 1.9%	10 18.9%	25 47.2%	13 24.5%	4 7.5%	53 100.0%	2.67
	草津小学校区	3 2.6%	19 16.4%	50 43.1%	38 32.8%	6 5.2%	116 100.0%	2.65
	草津第二小学校区	1 1.0%	15 14.4%	52 50.0%	34 32.7%	2 1.9%	104 100.0%	2.75
	渋川小学校区	3 4.2%	12 16.7%	28 38.9%	27 37.5%	2 2.8%	72 100.0%	2.58
	矢倉小学校区	7 6.8%	21 20.4%	51 49.5%	21 20.4%	3 2.9%	103 100.0%	2.56
	老上小学校区	9 6.0%	19 12.7%	79 52.7%	37 24.7%	6 4.0%	150 100.0%	2.65
	玉川小学校区	1 1.0%	26 26.0%	40 40.0%	28 28.0%	5 5.0%	100 100.0%	2.58
	南笠東小学校区	2 2.9%	9 13.2%	33 48.5%	19 27.9%	5 7.4%	68 100.0%	2.70
	山田小学校区	6 7.2%	13 15.7%	43 51.8%	19 22.9%	2 2.4%	83 100.0%	2.60
	笠縫小学校区	7 6.1%	21 18.3%	52 45.2%	30 26.1%	5 4.3%	115 100.0%	2.56
	笠縫東小学校区	1 1.0%	12 12.1%	54 54.5%	26 26.3%	6 6.1%	99 100.0%	2.79
	常盤小学校区	1 2.0%	11 22.0%	27 54.0%	7 14.0%	4 8.0%	50 100.0%	2.67
	無回答・ 小学校区不明	5 3.1%	38 23.5%	60 37.0%	49 30.2%	10 6.2%	162 100.0%	2.53
2008年調査		64 6.2%	164 15.8%	533 51.3%	204 19.6%	75 7.2%	1,040 100.0%	2.62
2003年調査		87 7.1%	283 23.2%	761 62.4%	---	89 7.3%	1,220 100.0%	2.60
1998年調査		117 7.0%	402 24.1%	1,042 62.4%	---	109 6.5%	1,670 100.0%	2.59

「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が46.5%で最も多く、以下、「聞いたことがない」が27.3%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が17.6%、「当然のことと思う（いつも気にしている）」が3.9%となっており、平均スコアは2.63点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは毎回上昇してきて今回が最も高く、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強まっている。

地域別にみると、平均スコアは、笠縫東小学校区が2.79点で最も高く、草津第二小学校区や南笠東小学校区も2.7点台と高くなっており、これらの地域では「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.69点、女性が2.57点で、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識は、男性が女性に比べてわずかに強い。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が2.35点で最も低く、逆に、70歳以上が2.71点で最も高くなっており、年齢層が高いほど「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

D. 結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習

図表 風習・慣習に対する意識「結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習」

		当然のこと と思う（い つも気にし ている）	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかなけ ればならな いと思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均（点）
全体		104 7.6%	368 26.9%	783 57.2%	44 3.2%	70 5.1%	1,369 100.0%	2.54
地域	志津小学校区	7 7.4%	23 24.5%	55 58.5%	5 5.3%	4 4.3%	94 100.0%	2.56
	志津南小学校区	3 5.7%	16 30.2%	30 56.6%	0 0.0%	4 7.5%	53 100.0%	2.55
	草津小学校区	8 6.9%	22 19.0%	72 62.1%	7 6.0%	7 6.0%	116 100.0%	2.63
	草津第二小学校区	6 5.8%	29 27.9%	61 58.7%	5 4.8%	3 2.9%	104 100.0%	2.57
	渋川小学校区	5 6.9%	20 27.8%	41 56.9%	2 2.8%	4 5.6%	72 100.0%	2.55
	矢倉小学校区	9 8.7%	29 28.2%	59 57.3%	2 1.9%	4 3.9%	103 100.0%	2.52
	老上小学校区	13 8.7%	47 31.3%	82 54.7%	3 2.0%	5 3.3%	150 100.0%	2.49
	玉川小学校区	9 9.0%	25 25.0%	57 57.0%	4 4.0%	5 5.0%	100 100.0%	2.53
	南笠東小学校区	4 5.9%	24 35.3%	31 45.6%	2 2.9%	7 10.3%	68 100.0%	2.46
	山田小学校区	8 9.6%	16 19.3%	56 67.5%	2 2.4%	1 1.2%	83 100.0%	2.60
	笠縫小学校区	4 3.5%	29 25.2%	74 64.3%	3 2.6%	5 4.3%	115 100.0%	2.65
	笠縫東小学校区	9 9.1%	29 29.3%	53 53.5%	4 4.0%	4 4.0%	99 100.0%	2.48
	常盤小学校区	3 6.0%	12 24.0%	33 66.0%	1 2.0%	1 2.0%	50 100.0%	2.63
	無回答・ 小学校区不明	16 9.9%	47 29.0%	79 48.8%	4 2.5%	16 9.9%	162 100.0%	2.44
2008年調査		86 8.3%	229 22.0%	616 59.2%	33 3.2%	76 7.3%	1,040 100.0%	2.57
2003年調査		99 8.1%	316 25.9%	730 59.8%	---	75 6.1%	1,220 100.0%	2.55
1998年調査		120 7.2%	407 24.4%	1,045 62.6%	---	98 5.9%	1,670 100.0%	2.59

「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が57.2%で最も多く、以下、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が26.9%、「当然のことと思う（いつも気にしている）」が7.6%、「聞いたことがない」が3.2%となっており、平均スコアは2.54点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も低く、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が最も弱い。

地域別にみると、平均スコアは、笠縫小学校区が2.65点で最も高く、草津小学校区、常盤小学校区、山田小学校区も2.6点台と高くなっており、これらの地域では「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.57点、女性が2.51点で、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識は、男性が女性に比べてわずかに強い。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が2.20で最も低く、逆に、60歳代が2.64点で最も高くなっており、60歳代にかけては年齢層が高いほど「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

Ｅ．「友引」の日に葬式をしてはいけないとか、時刻を遅らせるとかいう風習

図表 風習・慣習に対する意識「『友引』の日に葬式をしてはいけないとか、時刻を遅らせるとかいう風習」

		当然のこと と思う（い つも気にし ている）	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかなけ ればならな いと思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均（点）
全体		333 24.3%	544 39.7%	345 25.2%	99 7.2%	48 3.5%	1,369 100.0%	2.01
地域	志津小学校区	26 27.7%	38 40.4%	17 18.1%	8 8.5%	5 5.3%	94 100.0%	1.89
	志津南小学校区	8 15.1%	28 52.8%	12 22.6%	3 5.7%	2 3.8%	53 100.0%	2.08
	草津小学校区	32 27.6%	41 35.3%	30 25.9%	9 7.8%	4 3.4%	116 100.0%	1.98
	草津第二小学校区	22 21.2%	46 44.2%	24 23.1%	11 10.6%	1 1.0%	104 100.0%	2.02
	渋川小学校区	20 27.8%	31 43.1%	15 20.8%	5 6.9%	1 1.4%	72 100.0%	1.92
	矢倉小学校区	28 27.2%	39 37.9%	26 25.2%	6 5.8%	4 3.9%	103 100.0%	1.98
	老上小学校区	35 23.3%	56 37.3%	46 30.7%	7 4.7%	6 4.0%	150 100.0%	2.08
	玉川小学校区	26 26.0%	38 38.0%	22 22.0%	12 12.0%	2 2.0%	100 100.0%	1.95
	南笠東小学校区	17 25.0%	26 38.2%	17 25.0%	3 4.4%	5 7.4%	68 100.0%	2.00
	山田小学校区	19 22.9%	31 37.3%	27 32.5%	5 6.0%	1 1.2%	83 100.0%	2.10
	笠縫小学校区	23 20.0%	48 41.7%	37 32.2%	5 4.3%	2 1.7%	115 100.0%	2.13
	笠縫東小学校区	17 17.2%	50 50.5%	22 22.2%	7 7.1%	3 3.0%	99 100.0%	2.06
	常盤小学校区	12 24.0%	21 42.0%	13 26.0%	3 6.0%	1 2.0%	50 100.0%	2.02
	無回答・ 小学校区不明	48 29.6%	51 31.5%	37 22.8%	15 9.3%	11 6.8%	162 100.0%	1.92
2008年調査		247 23.8%	375 36.1%	285 27.4%	65 6.3%	68 6.5%	1,040 100.0%	2.04
2003年調査		315 25.8%	496 40.7%	335 27.5%	---	74 6.1%	1,220 100.0%	2.02
1998年調査		433 25.9%	712 42.6%	438 26.2%	---	87 5.2%	1,670 100.0%	2.00

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が39.7%で最も多く、以下、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が25.2%、「当然のことと思う（いつも気にしている）」が24.3%、「聞いたことがない」が6.3%となっており、平均スコアは2.01点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も低く、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識が最も強い。

地域別にみると、平均スコアは、笠縫小学校区が2.13点で最も高く、次いで、山田小学校区が2.10点となっている。志津小学校区、渋川小学校区、玉川小学校区、草津小学校区、矢倉小学校区は2.00点未満で、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.12点、女性が1.90点で、ともに「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識にあるが、男性は「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」により近い意識にある。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が1.75点で最も低く、逆に、70歳以上が2.24点で最も高い。50歳代以上では平均スコアが2.01点以上となっており、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」により近い意識にある。

F. 家を建てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習

図表 風習・慣習に対する意識「家を建てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習」

		当然のこと と思う（い つも気にし ている）	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかなけ ればならな いと思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均（点）
全体		490 35.8%	427 31.2%	324 23.7%	55 4.0%	73 5.3%	1,369 100.0%	1.87
地域	志津小学校区	35 37.2%	35 37.2%	16 17.0%	6 6.4%	2 2.1%	94 100.0%	1.78
	志津南小学校区	16 30.2%	19 35.8%	12 22.6%	2 3.8%	4 7.5%	53 100.0%	1.91
	草津小学校区	42 36.2%	27 23.3%	32 27.6%	8 6.9%	7 6.0%	116 100.0%	1.90
	草津第二小学校区	37 35.6%	35 33.7%	22 21.2%	7 6.7%	3 2.9%	104 100.0%	1.84
	渋川小学校区	23 31.9%	21 29.2%	17 23.6%	6 8.3%	5 6.9%	72 100.0%	1.90
	矢倉小学校区	41 39.8%	32 31.1%	24 23.3%	3 2.9%	3 2.9%	103 100.0%	1.82
	老上小学校区	58 38.7%	40 26.7%	39 26.0%	5 3.3%	8 5.3%	150 100.0%	1.86
	玉川小学校区	35 35.0%	33 33.0%	21 21.0%	6 6.0%	5 5.0%	100 100.0%	1.84
	南笠東小学校区	19 27.9%	25 36.8%	14 20.6%	3 4.4%	7 10.3%	68 100.0%	1.91
	山田小学校区	36 43.4%	19 22.9%	22 26.5%	1 1.2%	5 6.0%	83 100.0%	1.82
	笠縫小学校区	44 38.3%	39 33.9%	26 22.6%	1 0.9%	5 4.3%	115 100.0%	1.83
	笠縫東小学校区	24 24.2%	34 34.3%	34 34.3%	2 2.0%	5 5.1%	99 100.0%	2.11
	常盤小学校区	13 26.0%	19 38.0%	14 28.0%	1 2.0%	3 6.0%	50 100.0%	2.02
	無回答・ 小学校区不明	67 41.4%	49 30.2%	31 19.1%	4 2.5%	11 6.8%	162 100.0%	1.76
2008年調査		378 36.3%	266 25.6%	279 26.8%	44 4.2%	73 7.0%	1,040 100.0%	1.89
2003年調査		439 36.0%	379 31.1%	315 25.8%	---	87 7.1%	1,220 100.0%	1.89
1998年調査		612 36.6%	510 30.5%	446 26.7%	---	102 6.1%	1,670 100.0%	1.89

「当然のことと思う（いつも気にしている）」が35.8%で最も多く、以下、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が31.2%、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が23.7%、「聞いたことがない」が4.0%となっており、平均スコアは1.87点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も低く、「当然のことと思う（いつも気にしている）」意識により近づいている。

地域別にみると、平均スコアは、笠縫東小学校区が2.11点で最も高く、次いで、常盤小学校区が2.02点となっているが、他の地域では平均スコアが2.00点未満で、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識がより強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が1.99点、女性が1.75点で、「当然のことと思う（いつも気にしている）」は、女性が男性に比べて強い。

これを年齢別にみると、平均スコアは20歳代が1.55点で最も低く、逆に、70歳以上が2.13点で最も高い。70歳以上を除いて平均スコアが2.00点未満となっており、かつ年齢層が低いほど平均スコアが低い傾向がみられ、年齢層が低いほど「当然のことと思う（いつも気にしている）」意識が強い傾向がみられる。

【風習・慣習についての態度スコア】

図表 風習・慣習についての態度スコア

		18～17点	16～14点	13～11点	10～8点	7～6点	合計	平均（点）
全体		233	427	550	145	14	1,369	13.56
		17.0%	31.2%	40.2%	10.6%	1.0%	100.0%	
地域	志津小学校区	9	33	38	14	0	94	13.19
		9.6%	35.1%	40.4%	14.9%	0.0%	100.0%	
	志津南小学校区	8	19	22	3	1	53	13.81
		15.1%	35.8%	41.5%	5.7%	1.9%	100.0%	
	草津小学校区	22	39	38	16	1	116	13.68
		19.0%	33.6%	32.8%	13.8%	0.9%	100.0%	
	草津第二小学校区	18	35	41	10	0	104	13.66
		17.3%	33.7%	39.4%	9.6%	0.0%	100.0%	
	渋川小学校区	11	24	29	8	0	72	13.54
		15.3%	33.3%	40.3%	11.1%	0.0%	100.0%	
	矢倉小学校区	16	30	46	8	3	103	13.44
		15.5%	29.1%	44.7%	7.8%	2.9%	100.0%	
	老上小学校区	30	46	55	17	2	150	13.67
		20.0%	30.7%	36.7%	11.3%	1.3%	100.0%	
	玉川小学校区	18	28	41	12	1	100	13.36
		18.0%	28.0%	41.0%	12.0%	1.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	7	24	31	6	0	68	13.44
		10.3%	35.3%	45.6%	8.8%	0.0%	100.0%	
	山田小学校区	16	24	33	7	3	83	13.69
		19.3%	28.9%	39.8%	8.4%	3.6%	100.0%	
	笠縫小学校区	21	41	44	8	1	115	13.83
		18.3%	35.7%	38.3%	7.0%	0.9%	100.0%	
	笠縫東小学校区	19	38	33	8	1	99	14.08
		19.2%	38.4%	33.3%	8.1%	1.0%	100.0%	
	常盤小学校区	13	15	15	7	0	50	14.06
		26.0%	30.0%	30.0%	14.0%	0.0%	100.0%	
	無回答・ 小学校区不明	25	31	84	21	1	162	12.97
		15.4%	19.1%	51.9%	13.0%	0.6%	100.0%	
2008年調査		218	334	351	124	13	1,040	13.78
		21.0%	32.1%	33.8%	11.9%	1.3%	100.0%	
2003年調査		258	441	392	110	19	1,220	14.01
		21.1%	36.1%	32.1%	9.0%	1.6%	100.0%	
1998年調査		359	640	495	151	25	1,670	14.04
		21.5%	38.3%	29.6%	9.0%	1.5%	100.0%	

A～Fの風習・慣習に対する態度の全体的な傾向を把握するため、A～F 6項目の各選択肢に付与した配点（3～1点）の合計を算出した（ただし、「聞いたことがない」と「無回答」には2点を付与した）。このスコアは、最高18点から最低6点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど風習・慣習を肯定的にとらえる傾向が強いことを示し、スコアが低いほど風習・慣習を否定的にとらえる傾向が強いことを示すため、「風習・慣習についての態度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「13～11点」が40.4%で最も多く、次いで「16～14点」が31.2%と続いており、これらで71.6%を占めている。態度スコアの平均は13.56点で、項目全体については、なくしていかなければならないが、自分だけ反対しても仕方がないという意識にあると言える。過去3回の調査と比較すると、態度スコアの平均は毎回低下し、なくしていかなければならないという意識の低下がうかがえる。

地域別にみると、態度スコアの平均は笠縫東小学校区と常盤小学校区では14点台と特に高いが、他の地域では13点台となっている。

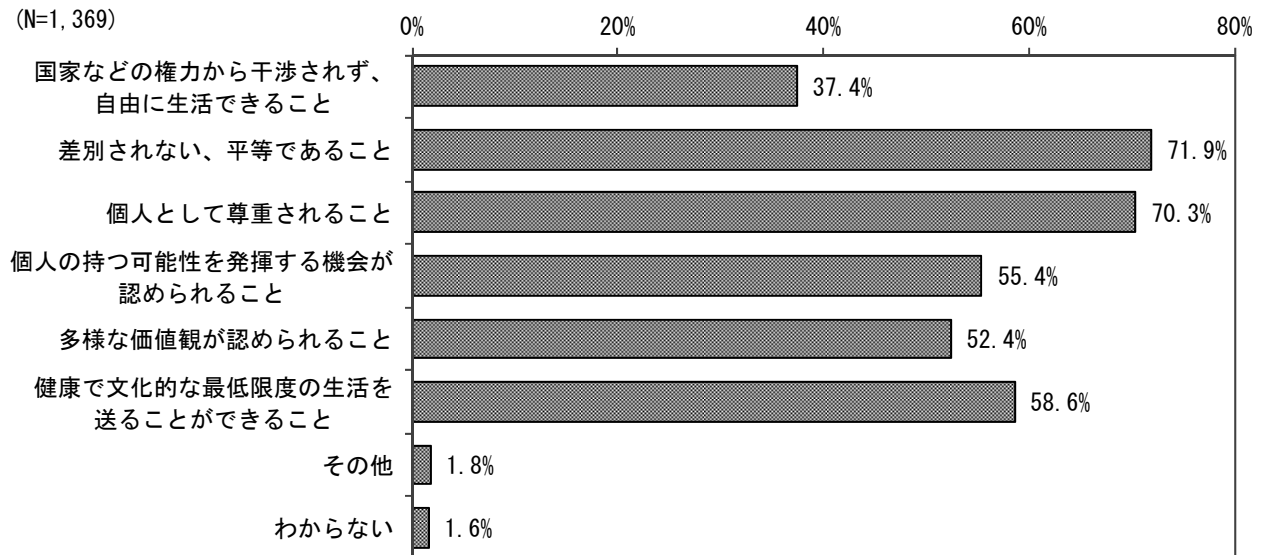
性別にみると、態度スコアの平均は、男性（13.87点）が女性（13.26点）に比べて高い。

年齢別にみると、態度スコアの平均は年齢層が高いほど高い傾向がみられ、年齢層が高いほどなくしていかなければならないという意識が強いことがうかがえる。

3 「人権尊重」の意味の認識

質問3. あなたは、「人権が尊重される」ということはどのようなことだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 「人権が尊重される」ということの意味の認識（複数回答）



「人権が尊重される」ということの意味の認識をたずねたところ、「差別されない、平等であること」が71.9%で最も多く、以下、「個人として尊重されること」が70.3%、「健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること」が58.6%、「個人の持つ可能性を発揮する機会が認められること」が55.4%、「多様な価値観が認められること」が52.4%などとなっている。

図表 「人権が尊重される」ということの意味の認識（複数回答）

		国家などの権力から干渉されず、自由に生活できること	差別されない、平等であること	個人として尊重されること	個人の持つ可能性を發揮する機会が認められること	多様な価値観が認められること	健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること	その他	わからない	集計母数
全体		512 37.4%	984 71.9%	963 70.3%	759 55.4%	717 52.4%	802 58.6%	24 1.8%	22 1.6%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	39 41.5%	72 76.6%	62 66.0%	59 62.8%	49 52.1%	58 61.7%	0 0.0%	3 3.2%	94 100.0%
	志津南小学校区	22 41.5%	36 67.9%	36 67.9%	28 52.8%	27 50.9%	32 60.4%	0 0.0%	0 0.0%	53 100.0%
	草津小学校区	41 35.3%	92 79.3%	82 70.7%	65 56.0%	60 51.7%	69 59.5%	2 1.7%	2 1.7%	116 100.0%
	草津第二小学校区	37 35.6%	69 66.3%	82 78.8%	63 60.6%	61 58.7%	61 58.7%	3 2.9%	1 1.0%	104 100.0%
	渋川小学校区	32 44.4%	52 72.2%	53 73.6%	41 56.9%	41 56.9%	49 68.1%	2 2.8%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	42 40.8%	72 69.9%	68 66.0%	57 55.3%	56 54.4%	58 56.3%	4 3.9%	0 0.0%	103 100.0%
	老上小学校区	61 40.7%	112 74.7%	102 68.0%	85 56.7%	77 51.3%	85 56.7%	2 1.3%	3 2.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	36 36.0%	76 76.0%	71 71.0%	63 63.0%	53 53.0%	57 57.0%	0 0.0%	1 1.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	28 41.2%	47 69.1%	53 77.9%	39 57.4%	33 48.5%	48 70.6%	1 1.5%	2 2.9%	68 100.0%
	山田小学校区	25 30.1%	62 74.7%	57 68.7%	36 43.4%	39 47.0%	40 48.2%	1 1.2%	1 1.2%	83 100.0%
	笠縫小学校区	38 33.0%	85 73.9%	80 69.6%	55 47.8%	58 50.4%	75 65.2%	4 3.5%	0 0.0%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	47 47.5%	68 68.7%	74 74.7%	61 61.6%	58 58.6%	53 53.5%	2 2.0%	0 0.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	18 36.0%	42 84.0%	31 62.0%	25 50.0%	23 46.0%	31 62.0%	1 2.0%	1 2.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	46 28.4%	99 61.1%	112 69.1%	82 50.6%	82 50.6%	86 53.1%	2 1.2%	7 4.3%	162 100.0%

地域別にみると、草津第二小学校区、南笠東小学校区、笠縫東小学校区、渋川小学校区、志津南小学校区では「個人として尊重されること」が最も多く、他の地域では「差別されない、平等であること」が最も多い（志津南小学校区では本項目も同率で最多）。

性別にみると、男女ともに「差別されない、平等であること」が最も多いが、1.9ポイント差で大差はない。「国家などの権力から干渉されず、自由に生活できること」は、男性が女性に比べて3.7ポイント多い。他方、「健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること」は、女性が男性に比べて5.9ポイント多く、同様に、「個人として尊重されること」は、女性が男性に比べて4.1ポイント多い。

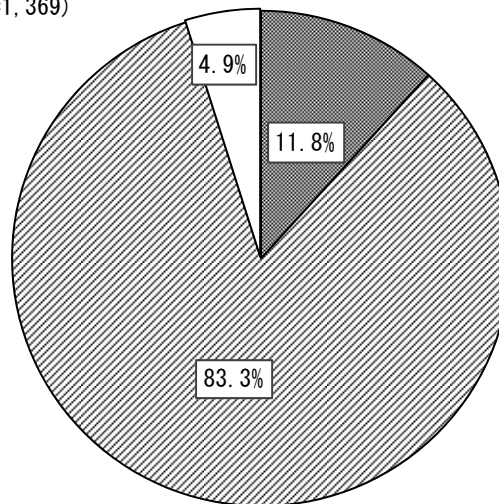
年齢別にみると、いずれの年齢層でも「差別されない、平等であること」と「個人として尊重されること」が上位2項目にあげられている。また、「国家などの権力から干渉されず、自由に生活できること」は年齢層が高いほど多い傾向がみられ、逆に、「多様な価値観が認められること」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

4 人権侵害を受けた経験、その時の対応

質問4. この5年以内に、あなたご自身が人権侵害を受けたことがありますか。あてはまるもの
どちらかを選び、○をつけてください。

図表 5年以内に自身が人権侵害を受けた経験の有無

(N=1,369)



■ある ▨ない □無回答

5年以内に自身が人権侵害を受けた経験の有無をたずねたところ、「ない」が83.3%、「ある」が11.8%となっている。

図表 5年以内に自身が人権侵害を受けた経験の有無

		ある	ない	無回答	合計
全体		161 11.8%	1,141 83.3%	67 4.9%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	11 11.7%	81 86.2%	2 2.1%	94 100.0%
	志津南小学校区	4 7.5%	47 88.7%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	18 15.5%	89 76.7%	9 7.8%	116 100.0%
	草津第二小学校区	12 11.5%	89 85.6%	3 2.9%	104 100.0%
	洪川小学校区	5 6.9%	65 90.3%	2 2.8%	72 100.0%
	矢倉小学校区	10 9.7%	89 86.4%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	12 8.0%	132 88.0%	6 4.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	13 13.0%	83 83.0%	4 4.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	12 17.6%	52 76.5%	4 5.9%	68 100.0%
	山田小学校区	10 12.0%	65 78.3%	8 9.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	15 13.0%	96 83.5%	4 3.5%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	8 8.1%	87 87.9%	4 4.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	2 4.0%	45 90.0%	3 6.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	29 17.9%	121 74.7%	12 7.4%	162 100.0%

地域別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人は南笠東小学校区が17.6%で最も多く、次いで、草津小学校区が15.5%で、他の地域に比べて人権侵害を受けた人がやや多い。

性別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人は、女性（14.5%）が男性（8.6%）に比べて5.9ポイント多い。

年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、年齢層が低いほど人権侵害を受けた経験が「ある」人が多い傾向がみられ、50歳代以下では10%台となっている。

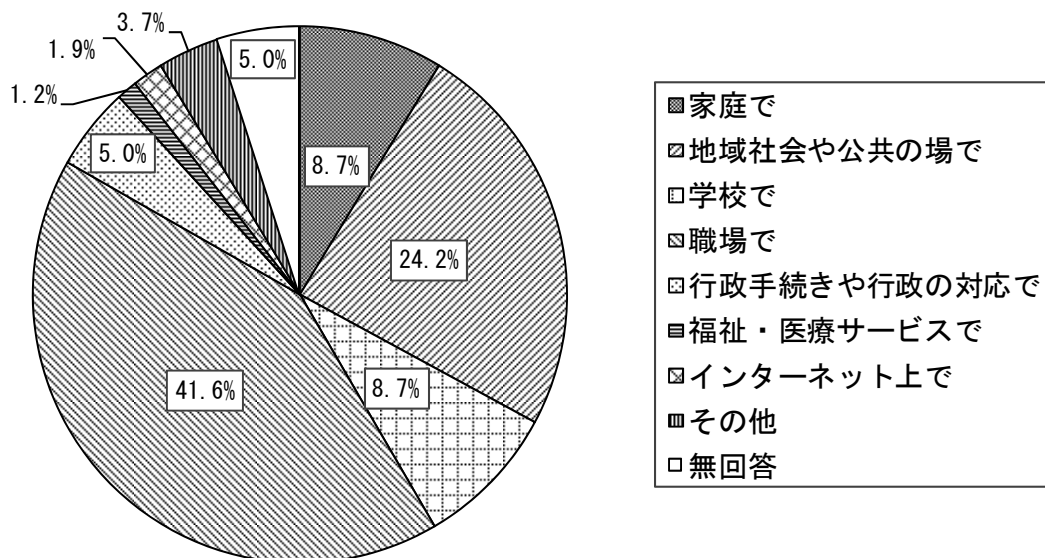
居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、人権侵害を受けた経験が「ある」人は居住年数が短い人ほど多い傾向がみられ、5年未満では15%以上となっている。

職業別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人は、「その他」（21.2%）を除き、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」が14.0%で最も多く、以下、「公務員、教員、団体職員」が12.4%、「民間企業・団体（従業員20人未満）勤務」が11.5%などとなっており、「自営業主」（10.7%）や「家族従事者」（10.5%）に比べてやや多い。

質問４－１．質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたが最も印象に残っている人権侵害はどのような場面ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

図表 最も印象に残っている人権侵害を受けた場面

(N=161)



５年以内に自身が人権侵害を受けた経験がある人に対して、最も印象に残っている人権侵害を受けた場面をたずねたところ、「職場で」が41.6%で最も多く、以下、「地域社会や公共の場で」が24.2%、「家庭で」と「学校で」がともに8.7%、「行政手続きや行政の対応で」が5.0%などとなっている。

図表 最も印象に残っている人権侵害を受けた場面

		家庭で	地域社会 や公共の 場で	学校で	職場で	行政手続 きや行政 の対応で	福祉・医 療サービ スで	インター ネット上 で	その他	無回答	合計
全体		14 8.7%	39 24.2%	14 8.7%	67 41.6%	8 5.0%	2 1.2%	3 1.9%	6 3.7%	8 5.0%	161 100.0%
地域	志 津 小 学 校 区	2 18.2%	0 0.0%	2 18.2%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	11 100.0%
	志 津 南 小 学 校 区	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	草 津 小 学 校 区	2 11.1%	3 16.7%	0 0.0%	10 55.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	18 100.0%
	草津第二小学校区	1 8.3%	1 8.3%	4 33.3%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
	渋 川 小 学 校 区	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	矢 倉 小 学 校 区	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	7 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
	老 上 小 学 校 区	1 8.3%	3 25.0%	1 8.3%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	12 100.0%
	玉 川 小 学 校 区	1 7.7%	5 38.5%	0 0.0%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%	13 100.0%
	南笠東小学校区	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	12 100.0%
	山 田 小 学 校 区	1 10.0%	3 30.0%	0 0.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
	笠 縫 小 学 校 区	1 6.7%	6 40.0%	1 6.7%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
	笠縫東小学校区	0 0.0%	4 50.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
	常 盤 小 学 校 区	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	2 6.9%	5 17.2%	5 17.2%	9 31.0%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%	3 10.3%	29 100.0%

地域別にみると、各地域の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、いずれの地域でも「職場で」や「地域社会や公共の場で」が特に多くあげられている。

性別にみると、男女ともに「職場で」が最も多いが、女性（43.4%）が男性（38.2%）に比べて5.2ポイント多い。また、「家庭で」も女性（13.1%）が男性（1.8%）に比べて11.3ポイント多い。

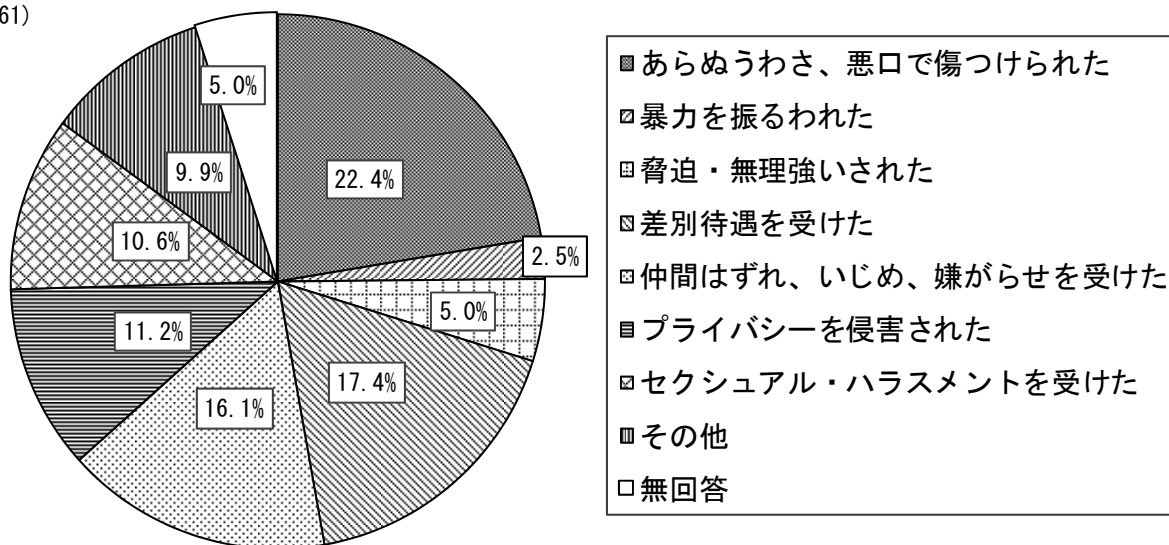
年齢別にみると、50歳代以下では「職場で」が最も多く、50歳代が53.3%で最も多い。60歳代以上では「地域社会や公共の場で」が最も多く、本項目は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

職業別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人が最も多い「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」では「職場で」が60.3%で最も多い。「家事専業」と「無職」では「地域社会や公共の場で」が最も多い。

質問４－２．質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたが受けた人権侵害はどのような内容のものですか。あてはまるもの１つを選び、○をつけてください。

図表 最も印象に残っている人権侵害の内容

(N=161)



５年以内に自身が人権侵害を受けた経験がある人に対して、最も印象に残っている人権侵害の内容をたずねたところ、「あられうわさ、悪口で傷つけられた」が22.4%で最も多く、以下、「差別待遇を受けた」が17.4%、「仲間はずれ、いじめ、嫌がらせを受けた」が16.1%、「プライバシーを侵害された」が11.2%、「セクシュアル・ハラスメントを受けた」が10.6%などとなっている。

図表 最も印象に残っている人権侵害の内容

		あらぬう わさ、悪 口で傷つ けられた	暴力を振 るわれた	脅迫・無 理強いら れた	差別待遇 を受けた	仲間はず れ、いじ め、嫌が らせを受 けた	プライバ シーを侵 害された	セクシュ アル・ハ ラスメン トを受け た	その他	無回答	合計
全体		36 22.4%	4 2.5%	8 5.0%	28 17.4%	26 16.1%	18 11.2%	17 10.6%	16 9.9%	8 5.0%	161 100.0%
地域	志 津 小 学 校 区	3 27.3%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	11 100.0%
	志 津 南 小 学 校 区	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%
	草 津 小 学 校 区	2 11.1%	2 11.1%	0 0.0%	4 22.2%	2 11.1%	0 0.0%	3 16.7%	1 5.6%	4 22.2%	18 100.0%
	草津第二小学校区	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	12 100.0%
	洪 川 小 学 校 区	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100.0%
	矢 倉 小 学 校 区	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%
	老 上 小 学 校 区	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	12 100.0%
	玉 川 小 学 校 区	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	2 15.4%	2 15.4%	0 0.0%	2 15.4%	13 100.0%
	南笠東小学校区	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%	0 0.0%	12 100.0%
	山 田 小 学 校 区	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%
	笠 縫 小 学 校 区	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	4 26.7%	3 20.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	15 100.0%
	笠縫東小学校区	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
	常 盤 小 学 校 区	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	6 20.7%	0 0.0%	2 6.9%	8 27.6%	8 27.6%	2 6.9%	0 0.0%	2 6.9%	1 3.4%	29 100.0%

地域別にみると、各地域の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、いずれの地域でも「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」や「差別待遇を受けた」が比較的多くあげられている。

性別にみると、男女ともに「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」が最も多いが、男性（25.5%）が女性（20.2%）に比べて5.3ポイント多い。このほか、男性では「プライバシーを侵害された」、女性では「セクシュアル・ハラスメントを受けた」が多く、前者は男性が女性に比べて多く、後者は女性が男性に比べて多く、男女差が大きい項目となっている。

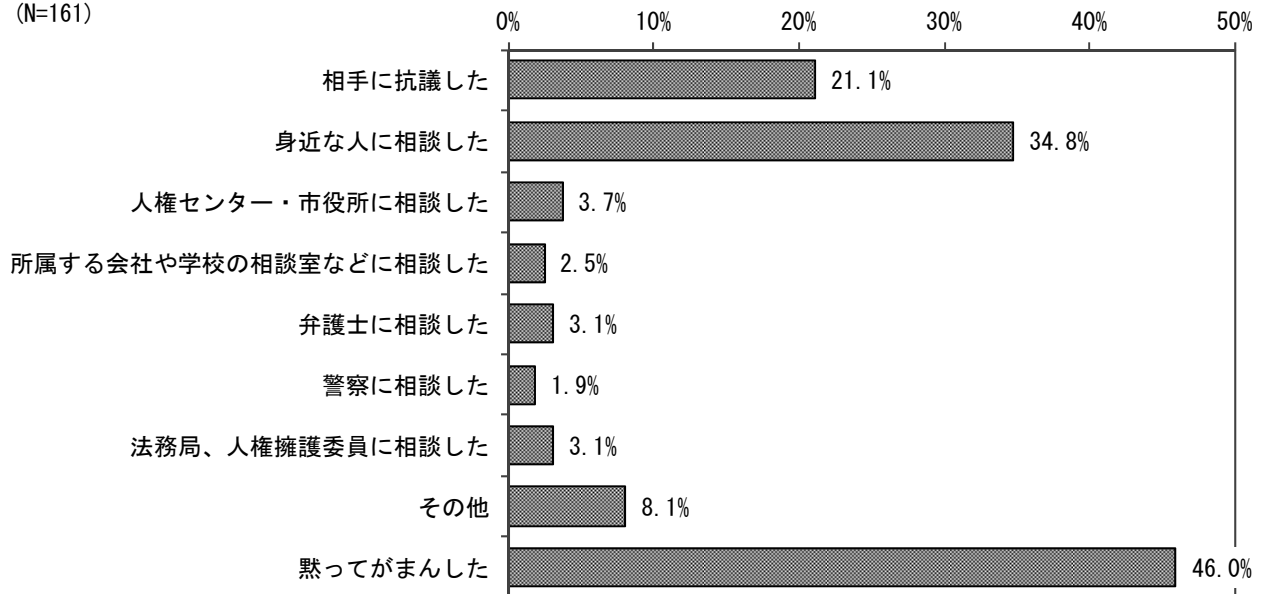
年齢別にみると、20歳代では「差別待遇を受けた」、30歳代・40歳代・50歳代・70歳以上では「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」、60歳代では「仲間はずれ、いじめ、嫌がらせを受けた」（50歳代では、本項目も同率で最多）がそれぞれ最も多い。「セクシュアル・ハラスメントを受けた」は、20歳代では25.0%と他の年齢層に比べて多い。

職業別にみると、職場で人権侵害を受けた経験が「ある」人が最も多い「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」では、「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」・「差別待遇を受けた」・「仲間はずれ、いじめ、嫌がらせを受けた」・「セクシュアル・ハラスメントを受けた」がそれぞれ同率で最も多い。

質問４－３．質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたは、人権侵害を受けたときにどのような対応をとりましたか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 人権侵害を受けたときにとった対応（複数回答）

(N=161)



５年以内に自身が人権侵害を受けた経験がある人に対して、人権侵害を受けたときにとった対応をたずねたところ、「黙ってがまんした」が46.0%で最も多く、以下、「身近な人に相談した」が34.8%、「相手に抗議した」が21.1%などとなっている。

図表 人権侵害を受けたときにとった対応（複数回答）

	相手に抗議した	身近な人に相談した	人権センター・市役所に相談した	所属する会社や学校の相談室などに相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	法務局、人権擁護委員に相談した	その他	黙ってがまんした	集計母数
全体	34 21.1%	56 34.8%	6 3.7%	4 2.5%	5 3.1%	3 1.9%	5 3.1%	13 8.1%	74 46.0%	161 100.0%
地域	志津小学校区	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	11 100.0%
	志津南小学校区	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	4 100.0%
	草津小学校区	3 16.7%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	11 61.1%	18 100.0%
	草津第二小学校区	6 50.0%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	3 25.0%	12 100.0%
	洪川小学校区	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	5 100.0%
	矢倉小学校区	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 50.0%	10 100.0%
	老上小学校区	2 16.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	5 41.7%	12 100.0%
	玉川小学校区	3 23.1%	7 53.8%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	7 53.8%	13 100.0%
	南笠東小学校区	2 16.7%	7 58.3%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	4 33.3%	12 100.0%
	山田小学校区	4 40.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	3 30.0%	10 100.0%
	笠縫小学校区	3 20.0%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	6 40.0%	15 100.0%
	笠縫東小学校区	1 12.5%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	8 100.0%
	常盤小学校区	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
	無回答・小学校区不明	2 6.9%	7 24.1%	2 6.9%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.3%	18 62.1%	29 100.0%

地域別にみると、各地域の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、「黙ってがまんした」をあげた地域が最も多く、次いで「身近な人に相談した」となっている。

性別にみると、男女ともに「黙ってがまんした」が最も多く、次いで、男性では「相手に抗議した」、女性では「身近な人に相談した」となっており、前者は男性が女性に比べて多く、後者は女性が男性に比べて多く、男女差が大きい項目となっている。

年齢別にみると、40歳代では「身近な人に相談した」が最も多く、他の年齢層では「黙ってがまんした」が最も多い。

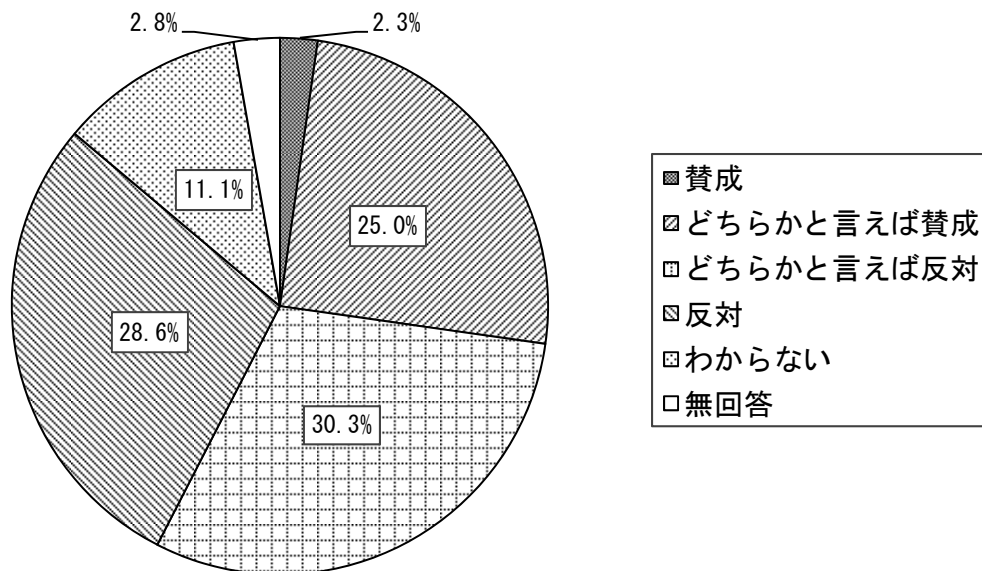
職業別にみると、職場で人権侵害を受けた経験が「ある」人が最も多い「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」では、「黙ってがまんした」が最も多い。

5 女性の人権、男女共同参画

質問5. 「男は仕事、女は家庭」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識

(N=1,369)



「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識をたずねたところ、「どちらかと言えば反対」が30.3%で最も多く、次いで「反対」が28.6%となっており、これらを合わせた「反対の立場」の人は58.9%となっている。逆に、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた「賛成の立場」の人は27.3%となっている。

図表 「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識

		賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	無回答	合計
全体		31 2.3%	342 25.0%	415 30.3%	391 28.6%	152 11.1%	38 2.8%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	3 3.2%	30 31.9%	27 28.7%	22 23.4%	10 10.6%	2 2.1%	94 100.0%
	志津南小学校区	0 0.0%	15 28.3%	19 35.8%	12 22.6%	5 9.4%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	4 3.4%	24 20.7%	37 31.9%	28 24.1%	19 16.4%	4 3.4%	116 100.0%
	草津第二小学校区	0 0.0%	19 18.3%	32 30.8%	45 43.3%	6 5.8%	2 1.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	3 4.2%	18 25.0%	18 25.0%	27 37.5%	6 8.3%	0 0.0%	72 100.0%
	矢倉小学校区	2 1.9%	24 23.3%	41 39.8%	23 22.3%	10 9.7%	3 2.9%	103 100.0%
	老上小学校区	2 1.3%	42 28.0%	41 27.3%	42 28.0%	21 14.0%	2 1.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	1 1.0%	21 21.0%	29 29.0%	36 36.0%	10 10.0%	3 3.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	3 4.4%	9 13.2%	19 27.9%	26 38.2%	7 10.3%	4 5.9%	68 100.0%
	山田小学校区	3 3.6%	24 28.9%	23 27.7%	20 24.1%	11 13.3%	2 2.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	0 0.0%	33 28.7%	37 32.2%	29 25.2%	14 12.2%	2 1.7%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	2 2.0%	25 25.3%	33 33.3%	24 24.2%	12 12.1%	3 3.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	3 6.0%	12 24.0%	16 32.0%	16 32.0%	1 2.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	5 3.1%	46 28.4%	43 26.5%	41 25.3%	20 12.3%	7 4.3%	162 100.0%

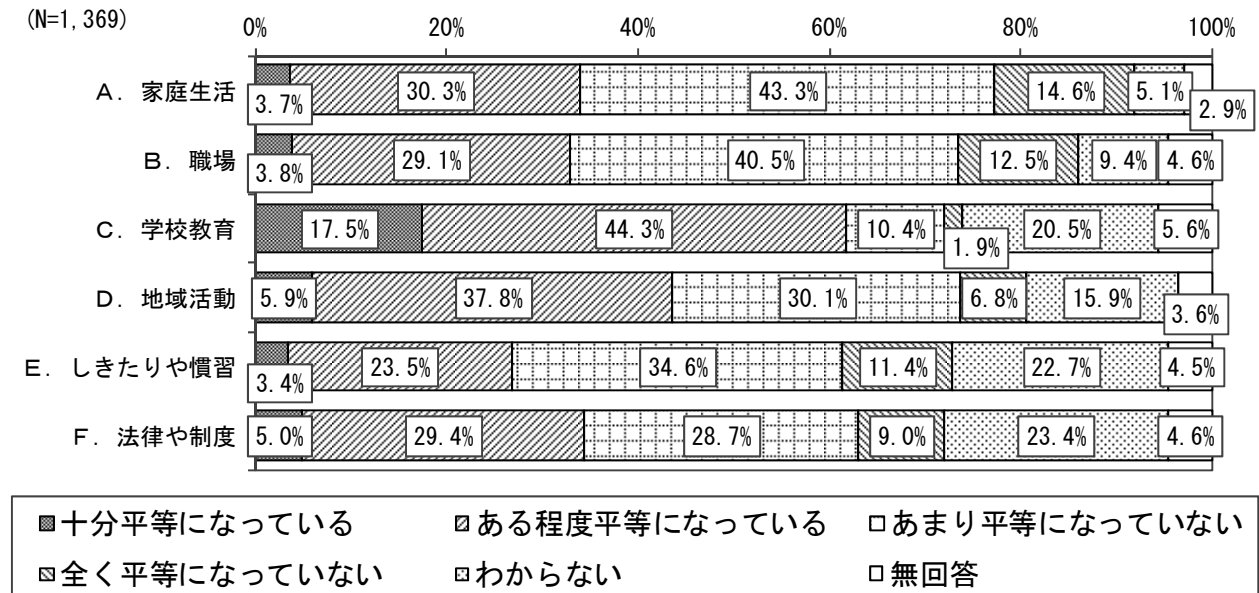
地域別にみると、いずれの地域でも「反対の立場」の人が半数以上を占めており、「賛成の立場」の人に比べて多い。「反対の立場」の人は草津第二小学校区が74.1%で最も多く、このほか、南笠東小学校区、玉川小学校区、常盤小学校区、渋川小学校区、矢倉小学校区も60%以上を占めており、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「反対の立場」の人が半数以上を占めているが、「賛成の立場」の人は、男性（32.7%）が女性（22.9%）に比べて9.8ポイント多く、「反対の立場」の人は、女性（63.9%）が男性（53.7%）に比べて10.2ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「反対の立場」の人が半数以上を占め、「賛成の立場」の人に比べて多い。「賛成の立場」の人は、年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

質問6. 次のAからFにあげる分野において、あなたは、男女の立場がどの程度平等になっていると思いますか。AからFそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 男女平等に対する評価



男女平等に対する評価をたずねたところ、「十分平等になっている」は「C. 学校教育」(17.5%)が最も多く、以下、「D. 地域活動」(5.9%)、「F. 法律や制度」(5.0%)などとなっており、これと「ある程度平等になっている」を合わせた「平等になっている」と思っている人は「C. 学校教育」が61.8%、「D. 地域活動」が43.7%、「F. 法律や制度」が34.4%などとなっている。

逆に、「全く平等になっていない」は「A. 家庭生活」(14.6%)が最も多く、以下、「B. 職場」(12.5%)、「E. しきたりや慣習」(11.4%)などとなっており、これと「あまり平等になっていない」を合わせた「平等になっていない」と思っている人は「A. 家庭生活」が57.9%、「B. 職場」が53.0%、「E. しきたりや慣習」が46.0%などとなっている。

「C. 学校教育」と「D. 地域活動」は、「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、他の項目は「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。

なお、男女平等に対する意識の度合いをより明確にするため、「十分に平等になっている」に4点、「ある程度平等になっている」に3点、「あまり平等になっていない」に2点、「全く平等になっていない」に1点と配点し、「わからない」と「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。平等になっている・なっていないの評価の中間は2.50としている。

A. 家庭生活

図表 男女平等に対する評価「家庭生活」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていない	わからない	無回答	合計	平均（点）
全体		51 3.7%	415 30.3%	593 43.3%	200 14.6%	70 5.1%	40 2.9%	1,369 100.0%	2.25
地域	志津小学校区	5 5.3%	29 30.9%	39 41.5%	17 18.1%	3 3.2%	1 1.1%	94 100.0%	2.24
	志津南小学校区	4 7.5%	15 28.3%	22 41.5%	7 13.2%	4 7.5%	1 1.9%	53 100.0%	2.33
	草津小学校区	6 5.2%	41 35.3%	45 38.8%	13 11.2%	8 6.9%	3 2.6%	116 100.0%	2.38
	草津第二小学校区	4 3.8%	29 27.9%	47 45.2%	18 17.3%	4 3.8%	2 1.9%	104 100.0%	2.19
	渋川小学校区	1 1.4%	21 29.2%	30 41.7%	14 19.4%	6 8.3%	0 0.0%	72 100.0%	2.14
	矢倉小学校区	5 4.9%	32 31.1%	43 41.7%	17 16.5%	3 2.9%	3 2.9%	103 100.0%	2.26
	老上小学校区	7 4.7%	47 31.3%	62 41.3%	21 14.0%	9 6.0%	4 2.7%	150 100.0%	2.29
	玉川小学校区	3 3.0%	29 29.0%	45 45.0%	14 14.0%	7 7.0%	2 2.0%	100 100.0%	2.23
	南笠東小学校区	2 2.9%	23 33.8%	29 42.6%	10 14.7%	3 4.4%	1 1.5%	68 100.0%	2.27
	山田小学校区	0 0.0%	29 34.9%	34 41.0%	14 16.9%	3 3.6%	3 3.6%	83 100.0%	2.19
	笠縫小学校区	4 3.5%	40 34.8%	48 41.7%	13 11.3%	6 5.2%	4 3.5%	115 100.0%	2.33
	笠縫東小学校区	2 2.0%	29 29.3%	49 49.5%	12 12.1%	3 3.0%	4 4.0%	99 100.0%	2.23
	常盤小学校区	4 8.0%	10 20.0%	28 56.0%	6 12.0%	1 2.0%	1 2.0%	50 100.0%	2.25
	無回答・ 小学校区不明	4 2.5%	41 25.3%	72 44.4%	24 14.8%	10 6.2%	11 6.8%	162 100.0%	2.18

「平等になっていない」と思っている人が57.9%、「平等になっている」と思っている人が34.0%で、平均スコアは2.25点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、いずれの地域でも「平等になっていない」が半数以上を占め、「平等になっている」と思っている人に比べて多い。平均スコアは草津小学校区が2.38点で最も高く、渋川小学校区が2.14点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多いが、「平等になっていない」と思っている人は、女性（66.3%）が男性（49.7%）に比べて16.6ポイント多い。平均スコアは、女性が2.11点、男性が2.40点で、「平等になっていない」という意識は女性がより強い。

年齢別にみると、70歳以上では「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、他の年齢層ではこれが逆転している。平均スコアは、40歳代が2.05点、50歳代が2.16点で他の年齢層に比べてやや低く、「平等になっていない」という意識が特に強い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあり、「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する度合いが強い人ほど「平等になっている」と思う傾向がより強い。

B. 職場

図表 男女平等に対する評価「職場」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に になってい ない	わからない	無回答	合計	平均（点）
全体		52 3.8%	399 29.1%	555 40.5%	171 12.5%	129 9.4%	63 4.6%	1,369 100.0%	2.28
地域	志津小学校区	9 9.6%	32 34.0%	33 35.1%	7 7.4%	7 7.4%	6 6.4%	94 100.0%	2.53
	志津南小学校区	3 5.7%	17 32.1%	23 43.4%	5 9.4%	3 5.7%	2 3.8%	53 100.0%	2.38
	草津小学校区	4 3.4%	31 26.7%	56 48.3%	12 10.3%	8 6.9%	5 4.3%	116 100.0%	2.26
	草津第二小学校区	4 3.8%	32 30.8%	41 39.4%	13 12.5%	10 9.6%	4 3.8%	104 100.0%	2.30
	渋川小学校区	2 2.8%	16 22.2%	31 43.1%	10 13.9%	13 18.1%	0 0.0%	72 100.0%	2.17
	矢倉小学校区	5 4.9%	32 31.1%	40 38.8%	11 10.7%	10 9.7%	5 4.9%	103 100.0%	2.35
	老上小学校区	4 2.7%	47 31.3%	50 33.3%	23 15.3%	19 12.7%	7 4.7%	150 100.0%	2.26
	玉川小学校区	2 2.0%	33 33.0%	36 36.0%	22 22.0%	5 5.0%	2 2.0%	100 100.0%	2.16
	南笠東小学校区	4 5.9%	19 27.9%	27 39.7%	11 16.2%	4 5.9%	3 4.4%	68 100.0%	2.26
	山田小学校区	2 2.4%	21 25.3%	31 37.3%	7 8.4%	16 19.3%	6 7.2%	83 100.0%	2.30
	笠縫小学校区	3 2.6%	27 23.5%	57 49.6%	12 10.4%	13 11.3%	3 2.6%	115 100.0%	2.21
	笠縫東小学校区	1 1.0%	27 27.3%	47 47.5%	10 10.1%	8 8.1%	6 6.1%	99 100.0%	2.22
	常盤小学校区	2 4.0%	18 36.0%	20 40.0%	5 10.0%	2 4.0%	3 6.0%	50 100.0%	2.38
	無回答・ 小学校区不明	7 4.3%	47 29.0%	63 38.9%	23 14.2%	11 6.8%	11 6.8%	162 100.0%	2.27

「平等になっていない」と思っている人が53.0%、「平等になっている」と思っている人が32.9%で、平均スコアは2.28点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、志津小学校区では「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて1.0ポイント多いが、大差ではない。このほかの地域はいずれも「平等になっていない」が半数以上を占め、「平等になっている」と思っている人に比べて多い。平均スコアは志津小学校区が2.53点で最も高く、玉川小学校区が2.16点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっていない」と思っている人が半数以上を占め、「平等になっている」と思っている人に比べて多い。「平等になっていない」と思っている人は、女性（57.2%）が男性（50.0%）に比べて7.2ポイント多い。平均スコアは、女性が2.19点、男性が2.36点で、「平等になっていない」という意識は女性がより強い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。60歳代以下では「平等になっていない」と思っている人が半数以上を占めているが、70歳以上では41.0%にとどまっている。平均スコアは、20歳代が2.36点、70歳以上が2.35点で特に高いのに対し、60歳代が2.22点で最も低い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあるが、賛成・反対の度合いの高低に関係なく「平等になっていない」と評価されており、「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対する度合いが強い人ほど「平等になっていない」と思う傾向がより強い。

C. 学校教育

図表 男女平等に対する評価「学校教育」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていない	わからない	無回答	合計	平均（点）
全体		239 17.5%	606 44.3%	142 10.4%	26 1.9%	280 20.5%	76 5.6%	1,369 100.0%	3.04
地域	志 津 小 学 校 区	14 14.9%	45 47.9%	11 11.7%	1 1.1%	16 17.0%	7 7.4%	94 100.0%	3.01
	志 津 南 小 学 校 区	8 15.1%	24 45.3%	10 18.9%	0 0.0%	9 17.0%	2 3.8%	53 100.0%	2.95
	草 津 小 学 校 区	16 13.8%	52 44.8%	13 11.2%	2 1.7%	28 24.1%	5 4.3%	116 100.0%	2.99
	草 津 第 二 小 学 校 区	23 22.1%	49 47.1%	4 3.8%	2 1.9%	23 22.1%	3 2.9%	104 100.0%	3.19
	渋 川 小 学 校 区	17 23.6%	39 54.2%	1 1.4%	1 1.4%	14 19.4%	0 0.0%	72 100.0%	3.24
	矢 倉 小 学 校 区	21 20.4%	39 37.9%	7 6.8%	3 2.9%	27 26.2%	6 5.8%	103 100.0%	3.11
	老 上 小 学 校 区	24 16.0%	67 44.7%	15 10.0%	2 1.3%	35 23.3%	7 4.7%	150 100.0%	3.05
	玉 川 小 学 校 区	18 18.0%	52 52.0%	11 11.0%	3 3.0%	14 14.0%	2 2.0%	100 100.0%	3.01
	南 笠 東 小 学 校 区	13 19.1%	24 35.3%	9 13.2%	3 4.4%	15 22.1%	4 5.9%	68 100.0%	2.96
	山 田 小 学 校 区	17 20.5%	26 31.3%	7 8.4%	1 1.2%	24 28.9%	8 9.6%	83 100.0%	3.16
	笠 縫 小 学 校 区	18 15.7%	54 47.0%	13 11.3%	2 1.7%	22 19.1%	6 5.2%	115 100.0%	3.01
	笠 縫 東 小 学 校 区	14 14.1%	51 51.5%	9 9.1%	2 2.0%	16 16.2%	7 7.1%	99 100.0%	3.01
	常 盤 小 学 校 区	7 14.0%	21 42.0%	9 18.0%	1 2.0%	8 16.0%	4 8.0%	50 100.0%	2.89
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	29 17.9%	63 38.9%	23 14.2%	3 1.9%	29 17.9%	15 9.3%	162 100.0%	3.00

「平等になっている」と思っている人が61.8%、「平等になっていない」と思っている人が12.3%で、平均スコアは3.04点となっており、ある程度「平等になっている」という評価である。

地域別にみると、いずれの地域でも「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多く、渋川小学校区、草津第二小学校区、山田小学校区、矢倉小学校区では「平等になっていない」と思っている人は10%未満となっている。平均スコアは渋川小学校区が3.24点で最も高く、常盤小学校区が2.89点で最も低い。

これを性別にみると、男女ともに「平等になっている」と思っている人が60%以上を占め、「平等になっていない」と思っている人に比べて多い。「平等になっていない」と思っている人は、女性（12.8%）が男性（11.8%）に比べて1.0ポイント多い程度で、大差はない。平均スコアは、女性が3.00点、男性が3.10点で、「平等になっている」という意識は女性がやや低い。

また、年齢別にみると、いずれの年齢層でも「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多い。60歳代以下では「平等になっている」と思っている人が半数以上を占めているが、70歳以上では46.7%にとどまっている。「平等になっている」と思っている人は低いほど多い傾向がみられ、顕著な傾向ではないが、平均スコアも年齢層が低いほど高い傾向がみられ、年齢層が低いほど「平等になっている」という意識が強い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、「賛成」と思っている人の平均スコアが最も高く、「どちらかと言えば賛成」・「どちらかと言えば反対」・「反対」でも「平等になっている」という評価だが平均スコアの大差はみられず、「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する度合いによる顕著な意識の差がみられない。

D. 地域活動

図表 男女平等に対する評価「地域活動」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていない	わからない	無回答	合計	平均（点）
全体		81 5.9%	517 37.8%	412 30.1%	93 6.8%	217 15.9%	49 3.6%	1,369 100.0%	2.53
地域	志 津 小 学 校 区	5 5.3%	32 34.0%	35 37.2%	7 7.4%	9 9.6%	6 6.4%	94 100.0%	2.44
	志 津 南 小 学 校 区	3 5.7%	33 62.3%	9 17.0%	1 1.9%	6 11.3%	1 1.9%	53 100.0%	2.83
	草 津 小 学 校 区	6 5.2%	46 39.7%	35 30.2%	8 6.9%	16 13.8%	5 4.3%	116 100.0%	2.53
	草 津 第 二 小 学 校 区	5 4.8%	44 42.3%	31 29.8%	2 1.9%	21 20.2%	1 1.0%	104 100.0%	2.63
	渋 川 小 学 校 区	3 4.2%	24 33.3%	23 31.9%	6 8.3%	16 22.2%	0 0.0%	72 100.0%	2.43
	矢 倉 小 学 校 区	7 6.8%	34 33.0%	31 30.1%	8 7.8%	19 18.4%	4 3.9%	103 100.0%	2.50
	老 上 小 学 校 区	12 8.0%	54 36.0%	51 34.0%	8 5.3%	22 14.7%	3 2.0%	150 100.0%	2.56
	玉 川 小 学 校 区	11 11.0%	36 36.0%	29 29.0%	8 8.0%	13 13.0%	3 3.0%	100 100.0%	2.60
	南 笠 東 小 学 校 区	5 7.4%	22 32.4%	22 32.4%	4 5.9%	13 19.1%	2 2.9%	68 100.0%	2.53
	山 田 小 学 校 区	2 2.4%	27 32.5%	25 30.1%	10 12.0%	14 16.9%	5 6.0%	83 100.0%	2.33
	笠 縫 小 学 校 区	6 5.2%	59 51.3%	25 21.7%	7 6.1%	15 13.0%	3 2.6%	115 100.0%	2.66
	笠 縫 東 小 学 校 区	4 4.0%	41 41.4%	35 35.4%	4 4.0%	13 13.1%	2 2.0%	99 100.0%	2.54
	常 盤 小 学 校 区	2 4.0%	16 32.0%	18 36.0%	4 8.0%	8 16.0%	2 4.0%	50 100.0%	2.40
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	10 6.2%	49 30.2%	43 26.5%	16 9.9%	32 19.8%	12 7.4%	162 100.0%	2.45

「平等になっている」と思っている人が43.7%、「平等になっていない」と思っている人が36.9%で、平均スコアは2.53点となっており、わずかに「平等になっている」という評価である。

地域別にみると、志津小学校区、常盤小学校区、山田小学校区、渋川小学校区では「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多いが、他の地域ではこれが逆転している。「平等になっている」と思っている人が半数以上を占めているのは志津南小学校区と笠縫小学校区のみで、全般的に「平等になっている」と思っている人と「平等になっていない」と思っている人の差はそれほど大きくない。平均スコアは志津南小学校区が2.83点で最も高く、山田小学校区が2.33点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、男女ともに40%で「平等になっていない」と思っている人との差は大きくない。「平等になっていない」と思っている人は、女性（38.8%）が男性（35.0%）に比べて3.8ポイント多い。平均スコアは、女性が2.48点、男性が2.58点で、女性では「平等になっていない」という意識がみられる。

年齢別にみると、20歳代と60歳代以上では「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、他の年齢層ではこれが逆転している。平均スコアは、30歳代～50歳代では2.4点台で「平等になっていない」という意識であるのに対し、20歳代と60歳代以上では2.50点を超え、「平等になっている」という意識となっている。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあり、「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する度合いが強い人ほど「平等になっている」と思う傾向がより強い。

E. しきたりや慣習

図表 男女平等に対する評価「しきたりや慣習」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていな い	わからない	無回答	合計	平均（点）
全体		46 3.4%	322 23.5%	473 34.6%	156 11.4%	311 22.7%	61 4.5%	1,369 100.0%	2.26
地域	志 津 小 学 校 区	4 4.3%	22 23.4%	33 35.1%	7 7.4%	22 23.4%	6 6.4%	94 100.0%	2.35
	志 津 南 小 学 校 区	0 0.0%	16 30.2%	20 37.7%	3 5.7%	12 22.6%	2 3.8%	53 100.0%	2.33
	草 津 小 学 校 区	3 2.6%	33 28.4%	36 31.0%	11 9.5%	29 25.0%	4 3.4%	116 100.0%	2.34
	草津第二小学校区	4 3.8%	24 23.1%	38 36.5%	9 8.7%	27 26.0%	2 1.9%	104 100.0%	2.31
	渋 川 小 学 校 区	1 1.4%	19 26.4%	22 30.6%	12 16.7%	18 25.0%	0 0.0%	72 100.0%	2.17
	矢 倉 小 学 校 区	7 6.8%	23 22.3%	26 25.2%	15 14.6%	26 25.2%	6 5.8%	103 100.0%	2.31
	老 上 小 学 校 区	8 5.3%	35 23.3%	53 35.3%	16 10.7%	33 22.0%	5 3.3%	150 100.0%	2.31
	玉 川 小 学 校 区	2 2.0%	27 27.0%	38 38.0%	15 15.0%	16 16.0%	2 2.0%	100 100.0%	2.20
	南笠東小学校区	0 0.0%	10 14.7%	24 35.3%	11 16.2%	21 30.9%	2 2.9%	68 100.0%	1.98
	山 田 小 学 校 区	3 3.6%	18 21.7%	27 32.5%	10 12.0%	19 22.9%	6 7.2%	83 100.0%	2.24
	笠 縫 小 学 校 区	2 1.7%	33 28.7%	44 38.3%	11 9.6%	19 16.5%	6 5.2%	115 100.0%	2.29
	笠縫東小学校区	4 4.0%	21 21.2%	43 43.4%	14 14.1%	14 14.1%	3 3.0%	99 100.0%	2.18
	常 盤 小 学 校 区	1 2.0%	12 24.0%	17 34.0%	5 10.0%	12 24.0%	3 6.0%	50 100.0%	2.26
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	7 4.3%	29 17.9%	52 32.1%	17 10.5%	43 26.5%	14 8.6%	162 100.0%	2.25

「平等になっていない」と思っている人が46.0%、「平等になっている」と思っている人が26.9%で、平均スコアは2.26点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、いずれの地域でも「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多く、特に、笠縫東小学校区、玉川小学校区、南笠東小学校区では「平等になっていない」と思っている人が半数以上を占めている。平均スコアは志津小学校区が2.35点で最も高く、南笠東小学校区が1.98点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。「平等になっている」と思っている人は、女性（23.4%）が男性（31.4%）に比べて8.0ポイント少ない。平均スコアは、女性が2.21点、男性が2.31点で、女性では「平等になっていない」という意識がより強い。

また、年齢別にみると、70歳以上では「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、他の年齢層ではこれが逆転している。30歳代と50歳代では「平等になっていない」と思っている人が半数以上を占め、特に多い。平均スコアは、70歳以上では2.54点で「平等になっている」という意識が表れているが、他の年齢層では「平等になっていない」という意識となっており、30歳代が2.13点、50歳代が2.15点で特に「平等になっていない」という意識が強い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあるが、明確に「賛成」と思っている人以外は「平等になっていない」と評価している。

F. 法律や制度

図表 男女平等に対する評価「法律や制度」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に になってい ない	わからない	無回答	合計	平均（点）
全体		68 5.0%	402 29.4%	393 28.7%	123 9.0%	320 23.4%	63 4.6%	1,369 100.0%	2.42
地域	志 津 小 学 校 区	3 3.2%	29 30.9%	23 24.5%	10 10.6%	24 25.5%	5 5.3%	94 100.0%	2.38
	志 津 南 小 学 校 区	1 1.9%	14 26.4%	18 34.0%	4 7.5%	14 26.4%	2 3.8%	53 100.0%	2.32
	草 津 小 学 校 区	6 5.2%	42 36.2%	27 23.3%	8 6.9%	29 25.0%	4 3.4%	116 100.0%	2.55
	草 津 第 二 小 学 校 区	4 3.8%	31 29.8%	35 33.7%	6 5.8%	25 24.0%	3 2.9%	104 100.0%	2.43
	渋 川 小 学 校 区	3 4.2%	18 25.0%	25 34.7%	9 12.5%	17 23.6%	0 0.0%	72 100.0%	2.27
	矢 倉 小 学 校 区	8 7.8%	26 25.2%	30 29.1%	10 9.7%	24 23.3%	5 4.9%	103 100.0%	2.43
	老 上 小 学 校 区	9 6.0%	43 28.7%	46 30.7%	16 10.7%	31 20.7%	5 3.3%	150 100.0%	2.39
	玉 川 小 学 校 区	2 2.0%	36 36.0%	34 34.0%	6 6.0%	19 19.0%	3 3.0%	100 100.0%	2.44
	南 笠 東 小 学 校 区	4 5.9%	21 30.9%	20 29.4%	8 11.8%	12 17.6%	3 4.4%	68 100.0%	2.40
	山 田 小 学 校 区	3 3.6%	19 22.9%	19 22.9%	10 12.0%	24 28.9%	8 9.6%	83 100.0%	2.29
	笠 縫 小 学 校 区	4 3.5%	42 36.5%	28 24.3%	8 7.0%	28 24.3%	5 4.3%	115 100.0%	2.51
	笠 縫 東 小 学 校 区	5 5.1%	34 34.3%	33 33.3%	6 6.1%	18 18.2%	3 3.0%	99 100.0%	2.49
	常 盤 小 学 校 区	6 12.0%	8 16.0%	11 22.0%	6 12.0%	17 34.0%	2 4.0%	50 100.0%	2.45
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	10 6.2%	39 24.1%	44 27.2%	16 9.9%	38 23.5%	15 9.3%	162 100.0%	2.39

「平等になっていない」と思っている人が37.7%、「平等になっている」と思っている人が34.4%で、平均スコアは2.42点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、草津小学校区と笠縫小学校では「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多く、笠縫東小学校区では、これらが同率となっているが、他の地域では「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。平均スコアは草津小学校区が2.55点で最も高く、渋川小学校区が2.27点で最も低い。

性別にみると、男性では「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、女性では「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。「平等になっていない」と思っている人は、女性（42.2%）が男性（33.8%）に比べて8.4ポイント多い。平均スコアは、女性が2.32点、男性が2.53点で、女性では「平等になっていない」という意識となっている。

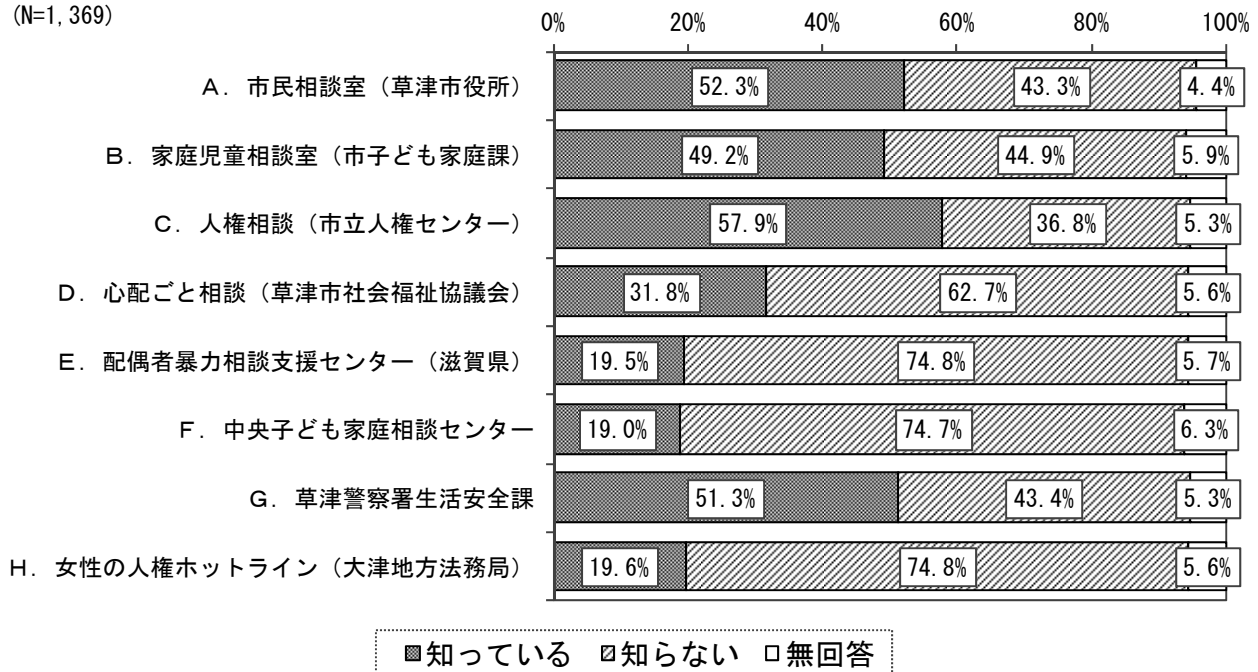
年齢別にみると、20歳代と60歳代以上では「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、他の年齢層ではこれが逆転している。平均スコアは、70歳以上が2.60点で「平等になっている」という意識であるのに対し、他の年齢層は2.50点未満で「平等になっていない」という意識となっている。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する人は「平等になっている」評価し、反対する人は「平等になっていない」と評価しており、賛成・反対それぞれの意識の度合いが強いほど平等になっているかどうかの評価の度合いも強い傾向にある。

質問7. あなたは、女性の人権に関する次のAからHの相談窓口を知っていますか。AからHそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況

(N=1,369)



女性の人権に関する相談窓口の認知状況をたずねたところ、「知っている」は「C. 人権相談（市立人権センター）」（57.9%）が最も多く、以下、「A. 市民相談室（草津市役所）」（52.3%）、「G. 草津警察署生活安全課」（51.3%）、「B. 家庭児童相談室（市子ども家庭課）」（49.2%）などとなっている。

逆に、「知らない」は「E. 配偶者暴力相談支援センター（滋賀県）」と「H. 女性の人権ホットライン（大津地方法務局）」（ともに74.8%）が最も多く、以下、「F. 中央子ども家庭相談センター」（74.7%）、「D. 心配ごと相談（草津市社会福祉協議会）」（62.7%）などとなっている。

A. 市民相談室（草津市役所）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「市民相談室（草津市役所）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		716 52.3%	593 43.3%	60 4.4%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	59 62.8%	31 33.0%	4 4.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	22 41.5%	29 54.7%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	66 56.9%	48 41.4%	2 1.7%	116 100.0%
	草津第二小学校区	47 45.2%	55 52.9%	2 1.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	29 40.3%	43 59.7%	0 0.0%	72 100.0%
	矢倉小学校区	50 48.5%	49 47.6%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	79 52.7%	66 44.0%	5 3.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	56 56.0%	37 37.0%	7 7.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	35 51.5%	32 47.1%	1 1.5%	68 100.0%
	山田小学校区	51 61.4%	25 30.1%	7 8.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	68 59.1%	42 36.5%	5 4.3%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	59 59.6%	37 37.4%	3 3.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	29 58.0%	18 36.0%	3 6.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	66 40.7%	81 50.0%	15 9.3%	162 100.0%

地域別にみると、渋川小学校区、志津南小学校区、草津第二小学校区では「知らない」が半数以上を占めている。

性別にみると、男女ともに「知っている」が半数以上を占めているが、男性(53.0%)が女性(51.4%)に比べて1.4ポイント多い程度で、認知状況の大差はない。

年齢別にみると、50歳代以上では「知っている」が半数以上を占めているが、40歳代以下ではこれが逆転しており、「知らない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられる。

B. 家庭児童相談室（市子ども家庭課）

図表 女性の人權に関する相談窓口の認知状況「家庭児童相談室（市子ども家庭課）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		674 49.2%	614 44.9%	81 5.9%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	50 53.2%	39 41.5%	5 5.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	31 58.5%	19 35.8%	3 5.7%	53 100.0%
	草津小学校区	54 46.6%	59 50.9%	3 2.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	47 45.2%	54 51.9%	3 2.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	29 40.3%	42 58.3%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	43 41.7%	56 54.4%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	75 50.0%	67 44.7%	8 5.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	49 49.0%	40 40.0%	11 11.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	40 58.8%	27 39.7%	1 1.5%	68 100.0%
	山田小学校区	43 51.8%	32 38.6%	8 9.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	57 49.6%	50 43.5%	8 7.0%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	55 55.6%	38 38.4%	6 6.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	30 60.0%	16 32.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	71 43.8%	75 46.3%	16 9.9%	162 100.0%

地域別にみると、渋川小学校区、矢倉小学校区、草津第二小学校区、草津小学校区では「知らない」が半数以上を占めている。

性別にみると、男性では「知らない」が半数以上を占めているが、「知っている」に比べて多いが、女性ではこれが逆転している。

年齢別にみると、40歳代以上では「知っている」が「知らない」に比べて多いが、30歳代以下ではこれが逆転している。顕著な傾向ではないが、「知らない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられる。

C. 人権相談（市立人権センター）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「人権相談（市立人権センター）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		793 57.9%	504 36.8%	72 5.3%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	55 58.5%	34 36.2%	5 5.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	32 60.4%	19 35.8%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	75 64.7%	38 32.8%	3 2.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	54 51.9%	47 45.2%	3 2.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	39 54.2%	32 44.4%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	60 58.3%	39 37.9%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	85 56.7%	59 39.3%	6 4.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	57 57.0%	34 34.0%	9 9.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	39 57.4%	27 39.7%	2 2.9%	68 100.0%
	山田小学校区	55 66.3%	21 25.3%	7 8.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	71 61.7%	38 33.0%	6 5.2%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	60 60.6%	34 34.3%	5 5.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	32 64.0%	13 26.0%	5 10.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	79 48.8%	69 42.6%	14 8.6%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「知っている」が半数以上を占めているが、山田小学校区、草津小学校区、常盤小学校区、笠縫小学校区、笠縫東小学校区、志津南小学校区では60%台と特に多い。

性別にみると、男女ともに「知っている」が58.1%で、「知らない」に比べて多く、認知状況の差もない。

年齢別にみると、40歳代以上では「知っている」が半数以上を占め、「知らない」に比べて多いが、30歳代以下ではこれが逆転している。「知らない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられる。

D. 心配ごと相談（草津市社会福祉協議会）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「心配ごと相談（草津市社会福祉協議会）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		435 31.8%	858 62.7%	76 5.6%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	37 39.4%	53 56.4%	4 4.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	13 24.5%	38 71.7%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	39 33.6%	73 62.9%	4 3.4%	116 100.0%
	草津第二小学校区	25 24.0%	76 73.1%	3 2.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	20 27.8%	51 70.8%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	31 30.1%	67 65.0%	5 4.9%	103 100.0%
	老上小学校区	50 33.3%	92 61.3%	8 5.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	28 28.0%	63 63.0%	9 9.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	22 32.4%	45 66.2%	1 1.5%	68 100.0%
	山田小学校区	30 36.1%	46 55.4%	7 8.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	44 38.3%	64 55.7%	7 6.1%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	34 34.3%	60 60.6%	5 5.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	20 40.0%	26 52.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	42 25.9%	104 64.2%	16 9.9%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「知らない」が半数以上を占めているが、草津第二小学校区、志津南小学校区、渋川小学校区では70%台と特に多い。

性別にみると、男女ともに「知らない」が60%台となっており、男性（66.8%）が女性（60.3%）に比べて6.5ポイント多い。

年齢別にみると、70歳以上では「知っている」が「知らない」に比べて多いが、60歳代以下ではこれが逆転している。「知らない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられ、20歳代では92.0%となっている。

居住年数別にみると、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられる。

Ｅ．配偶者暴力相談支援センター（滋賀県）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「配偶者暴力相談支援センター（滋賀県）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		267 19.5%	1,024 74.8%	78 5.7%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	21 22.3%	67 71.3%	6 6.4%	94 100.0%
	志津南小学校区	4 7.5%	47 88.7%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	23 19.8%	90 77.6%	3 2.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	18 17.3%	82 78.8%	4 3.8%	104 100.0%
	渋川小学校区	18 25.0%	54 75.0%	0 0.0%	72 100.0%
	矢倉小学校区	19 18.4%	80 77.7%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	31 20.7%	112 74.7%	7 4.7%	150 100.0%
	玉川小学校区	12 12.0%	78 78.0%	10 10.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	12 17.6%	54 79.4%	2 2.9%	68 100.0%
	山田小学校区	13 15.7%	62 74.7%	8 9.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	30 26.1%	79 68.7%	6 5.2%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	27 27.3%	66 66.7%	6 6.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	16 32.0%	30 60.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	23 14.2%	123 75.9%	16 9.9%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「知らない」が60%以上を占めている。「知らない」は、笠縫小学校区、笠縫東小学校区、常盤小学校区では60%台であるのに対し、他の地域では70%以上と多い。

これを性別にみると、男女ともに「知らない」が70%台となっているが、男性（76.3%）が女性（74.8%）に比べて1.5ポイント多い程度で、男女間での大差はない。

また、年齢別にみると、いずれの年齢層でも「知らない」が60%以上を占めている。「知らない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

さらに、居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられる。

F. 中央子ども家庭相談センター

図表 女性の人權に関する相談窓口の認知状況「中央子ども家庭相談センター」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		260 19.0%	1,023 74.7%	86 6.3%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	23 24.5%	64 68.1%	7 7.4%	94 100.0%
	志津南小学校区	11 20.8%	40 75.5%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	19 16.4%	93 80.2%	4 3.4%	116 100.0%
	草津第二小学校区	18 17.3%	83 79.8%	3 2.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	14 19.4%	57 79.2%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	16 15.5%	83 80.6%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	23 15.3%	117 78.0%	10 6.7%	150 100.0%
	玉川小学校区	17 17.0%	72 72.0%	11 11.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	17 25.0%	50 73.5%	1 1.5%	68 100.0%
	山田小学校区	15 18.1%	60 72.3%	8 9.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	24 20.9%	83 72.2%	8 7.0%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	27 27.3%	65 65.7%	7 7.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	12 24.0%	34 68.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	24 14.8%	122 75.3%	16 9.9%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「知らない」が60%以上を占めている。「知らない」は、志津小学校区、常盤小学校区、笠縫東小学校区では60%台であるのに対し、他の地域では70%以上と多い。

性別にみると、男女ともに「知らない」が70%台となっており、男性（78.2%）が女性（73.4%）に比べて4.8ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「知らない」が60%以上を占めている。「知らない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、「知らない」は「5年以上10年未満」が85.2%で最も多く、10年未満では80%以上を占めているのに対し、10年以上では70%台とやや少ない。

G. 草津警察署生活安全課

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「草津警察署生活安全課」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		702 51.3%	594 43.4%	73 5.3%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	59 62.8%	31 33.0%	4 4.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	27 50.9%	24 45.3%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	68 58.6%	43 37.1%	5 4.3%	116 100.0%
	草津第二小学校区	52 50.0%	50 48.1%	2 1.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	35 48.6%	36 50.0%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	49 47.6%	50 48.5%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	74 49.3%	70 46.7%	6 4.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	47 47.0%	44 44.0%	9 9.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	34 50.0%	32 47.1%	2 2.9%	68 100.0%
	山田小学校区	46 55.4%	30 36.1%	7 8.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	57 49.6%	51 44.3%	7 6.1%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	53 53.5%	41 41.4%	5 5.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	35 70.0%	11 22.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	66 40.7%	81 50.0%	15 9.3%	162 100.0%

地域別にみると、渋川小学校区と矢倉小学校区では「知らない」が「知っている」に比べて多いが、他の地域ではこれが逆転している。「知っている」は常盤小学校区が70.0%で最も多く、次いで、志津小学校区が62.8%となっており、他の地域が60%未満であるのに比べて多い。

性別にみると、男女ともに「知っている」が「知らない」に比べて多いが、男性（54.2%）が女性（49.0%）に比べて5.2ポイント多い。

年齢別にみると、「知っている」は50歳代以上では半数以上を占めているのに対し、40歳代以下ではこれが逆転している。

居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられる。

H. 女性の人権ホットライン（大津地方法務局）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「女性の人権ホットライン（大津地方法務局）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		269 19.6%	1,024 74.8%	76 5.6%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	16 17.0%	72 76.6%	6 6.4%	94 100.0%
	志津南小学校区	9 17.0%	42 79.2%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	23 19.8%	90 77.6%	3 2.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	18 17.3%	83 79.8%	3 2.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	16 22.2%	55 76.4%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	20 19.4%	79 76.7%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	33 22.0%	108 72.0%	9 6.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	16 16.0%	75 75.0%	9 9.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	20 29.4%	47 69.1%	1 1.5%	68 100.0%
	山田小学校区	11 13.3%	65 78.3%	7 8.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	23 20.0%	85 73.9%	7 6.1%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	21 21.2%	72 72.7%	6 6.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	13 26.0%	34 68.0%	3 6.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	30 18.5%	117 72.2%	15 9.3%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「知らない」が60%以上を占めている。南笠東小学校区と常盤小学校では「知らない」が60%台であるのに対し、他の地域では70%台と多い。

性別にみると、男女ともに「知らない」が70%台となっているが、男性（78.2%）が女性（72.5%）に比べて5.7ポイント多い。

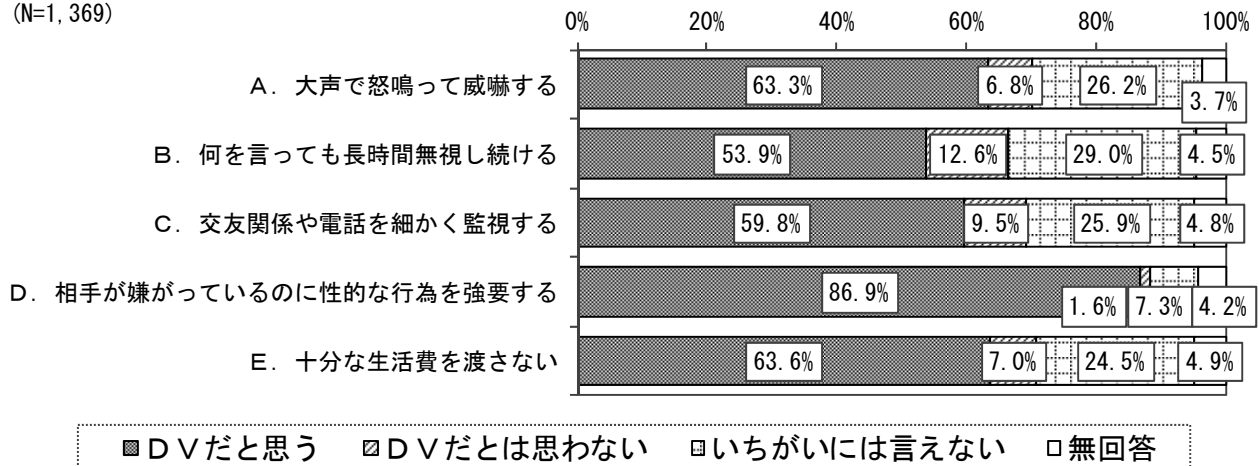
年齢別にみると、いずれの年齢層もで「知らない」が60%以上を占めているが、70歳以上では68.3%であるのに対し、60歳代以下では70%台と多い。

居住年数別にみると、居住年数に関係なく「知らない」が70%以上を占めているが、「2年以上5年未満」が83.9%で最も多い。

質問8. あなたは、次のAからEの事柄がDV（ドメスティックバイオレンス）に当たると
 思いますか、思いませんか。AからEそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○を
 つけてください。

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項

(N=1,369)



DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項をたずねたところ、「DVだと思ふ」は「D. 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する」（86.9%）が最も多く、以下、「E. 十分な生活費を渡さない」（63.6%）、「A. 大声で怒鳴って威嚇する」（63.3%）、「C. 交友関係や電話を細かく監視する」（59.8%）、「B. 何を言っても長時間無視し続ける」（53.9%）となっている。

いずれの項目でも「DVだと思ふ」が半数以上を占めているが、DVかどうか判断がつかない人も多い。

A. 大声で怒鳴って威嚇する

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「大声で怒鳴って威嚇する」

		DVだと思 う	DVだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		867 63.3%	93 6.8%	358 26.2%	51 3.7%	1,369 100.0%
地 域	志 津 小 学 校 区	54 57.4%	13 13.8%	23 24.5%	4 4.3%	94 100.0%
	志 津 南 小 学 校 区	44 83.0%	1 1.9%	7 13.2%	1 1.9%	53 100.0%
	草 津 小 学 校 区	76 65.5%	6 5.2%	30 25.9%	4 3.4%	116 100.0%
	草津第二小学校区	64 61.5%	8 7.7%	31 29.8%	1 1.0%	104 100.0%
	渋 川 小 学 校 区	48 66.7%	7 9.7%	17 23.6%	0 0.0%	72 100.0%
	矢 倉 小 学 校 区	69 67.0%	4 3.9%	26 25.2%	4 3.9%	103 100.0%
	老 上 小 学 校 区	95 63.3%	8 5.3%	42 28.0%	5 3.3%	150 100.0%
	玉 川 小 学 校 区	66 66.0%	5 5.0%	26 26.0%	3 3.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	43 63.2%	3 4.4%	20 29.4%	2 2.9%	68 100.0%
	山 田 小 学 校 区	50 60.2%	3 3.6%	23 27.7%	7 8.4%	83 100.0%
	笠 縫 小 学 校 区	78 67.8%	5 4.3%	29 25.2%	3 2.6%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	63 63.6%	11 11.1%	21 21.2%	4 4.0%	99 100.0%
	常 盤 小 学 校 区	28 56.0%	2 4.0%	16 32.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無 回 答	89	17	47	9	162
	小 学 校 区 不 明	54.9%	10.5%	29.0%	5.6%	100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思う」が半数以上を占め、志津小学校区と常盤小学校区では50%台であるのに対し、他の地域では60%以上と多い。

性別にみると、男女ともに「DVだと思う」が半数以上を占めているが、女性（67.5%）が男性（59.3%）に比べて8.2ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「DVだと思う」が半数以上を占めているが、20歳代と30歳代では「DVだとは思わない」が10%と他の年齢層に比べてやや多い。

B. 何を言っても長時間無視し続ける

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「何を言っても長時間無視し続ける」

		DVだと思う	DVだとは思わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		738	173	397	61	1,369
		53.9%	12.6%	29.0%	4.5%	100.0%
地域	志津小学校区	59	14	15	6	94
		62.8%	14.9%	16.0%	6.4%	100.0%
	志津南小学校区	34	6	12	1	53
		64.2%	11.3%	22.6%	1.9%	100.0%
	草津小学校区	69	10	35	2	116
		59.5%	8.6%	30.2%	1.7%	100.0%
	草津第二小学校区	58	17	27	2	104
		55.8%	16.3%	26.0%	1.9%	100.0%
	渋川小学校区	38	12	22	0	72
		52.8%	16.7%	30.6%	0.0%	100.0%
	矢倉小学校区	56	10	33	4	103
		54.4%	9.7%	32.0%	3.9%	100.0%
	老上小学校区	78	11	55	6	150
		52.0%	7.3%	36.7%	4.0%	100.0%
	玉川小学校区	51	16	28	5	100
		51.0%	16.0%	28.0%	5.0%	100.0%
	南笠東小学校区	37	11	18	2	68
		54.4%	16.2%	26.5%	2.9%	100.0%
	山田小学校区	40	14	21	8	83
		48.2%	16.9%	25.3%	9.6%	100.0%
	笠縫小学校区	61	10	39	5	115
		53.0%	8.7%	33.9%	4.3%	100.0%
	笠縫東小学校区	56	10	28	5	99
		56.6%	10.1%	28.3%	5.1%	100.0%
	常盤小学校区	29	6	11	4	50
		58.0%	12.0%	22.0%	8.0%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	72	26	53	11	162
		44.4%	16.0%	32.7%	6.8%	100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思う」が「DVだとは思わない」に比べて多いが、山田小学校区では48.2%にとどまり、他の地域が半数以上を占めているのに対してやや少ない。

性別にみると、男女ともに「DVだと思う」が半数以上を占めているが、女性（57.1%）が男性（51.6%）に比べて5.5ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「DVだと思う」が「DVだとは思わない」に比べて多いが、30歳代と70歳以上は40%台にとどまり、他の年齢層が半数以上を占めているのに対して少ない。「DVだとは思わない」は、20歳代が21.4%で最も多い。

C. 交友関係や電話を細かく監視する

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「交友関係や電話を細かく監視する」

		DVだと思 う	DVだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		818 59.8%	130 9.5%	355 25.9%	66 4.8%	1,369 100.0%
地 域	志 津 小 学 校 区	58 61.7%	9 9.6%	21 22.3%	6 6.4%	94 100.0%
	志 津 南 小 学 校 区	33 62.3%	5 9.4%	15 28.3%	0 0.0%	53 100.0%
	草 津 小 学 校 区	78 67.2%	10 8.6%	26 22.4%	2 1.7%	116 100.0%
	草津第二小学校区	70 67.3%	7 6.7%	24 23.1%	3 2.9%	104 100.0%
	渋 川 小 学 校 区	44 61.1%	7 9.7%	21 29.2%	0 0.0%	72 100.0%
	矢 倉 小 学 校 区	54 52.4%	7 6.8%	38 36.9%	4 3.9%	103 100.0%
	老 上 小 学 校 区	94 62.7%	14 9.3%	34 22.7%	8 5.3%	150 100.0%
	玉 川 小 学 校 区	58 58.0%	12 12.0%	25 25.0%	5 5.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	34 50.0%	11 16.2%	20 29.4%	3 4.4%	68 100.0%
	山 田 小 学 校 区	49 59.0%	8 9.6%	18 21.7%	8 9.6%	83 100.0%
	笠 縫 小 学 校 区	72 62.6%	11 9.6%	28 24.3%	4 3.5%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	63 63.6%	9 9.1%	20 20.2%	7 7.1%	99 100.0%
	常 盤 小 学 校 区	28 56.0%	3 6.0%	15 30.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無 回 答	83	17	50	12	162
	小 学 校 区 不 明	51.2%	10.5%	30.9%	7.4%	100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思う」が半数以上を占め、「DVだとは思わない」に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「DVだと思う」が半数以上を占めているが、女性（64.6%）が男性（55.3%）に比べて9.3ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「DVだと思う」が半数以上を占めているが、40歳代と60歳代は60%台と他の年齢層に比べてやや多い。「DVだとは思わない」は、30歳代が16.8%で最も多い。

D. 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する」

		DVだと思う	DVだとは思わない	いちがいいには言えない	無回答	合計
全体		1,189 86.9%	22 1.6%	100 7.3%	58 4.2%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	82 87.2%	1 1.1%	5 5.3%	6 6.4%	94 100.0%
	志津南小学校区	49 92.5%	2 3.8%	2 3.8%	0 0.0%	53 100.0%
	草津小学校区	104 89.7%	1 0.9%	9 7.8%	2 1.7%	116 100.0%
	草津第二小学校区	99 95.2%	1 1.0%	2 1.9%	2 1.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	65 90.3%	0 0.0%	7 9.7%	0 0.0%	72 100.0%
	矢倉小学校区	85 82.5%	1 1.0%	12 11.7%	5 4.9%	103 100.0%
	老上小学校区	130 86.7%	3 2.0%	11 7.3%	6 4.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	88 88.0%	1 1.0%	7 7.0%	4 4.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	55 80.9%	0 0.0%	11 16.2%	2 2.9%	68 100.0%
	山田小学校区	65 78.3%	2 2.4%	8 9.6%	8 9.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	99 86.1%	5 4.3%	6 5.2%	5 4.3%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	89 89.9%	2 2.0%	3 3.0%	5 5.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	41 82.0%	1 2.0%	4 8.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	138 85.2%	2 1.2%	13 8.0%	9 5.6%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思う」が70%以上を占めており、草津第二小学校区、志津南小学校区、渋川小学校区では90%台と特に多い。「DVだとは思わない」は地域間での大差はみられない。

性別にみると、男女ともに「DVだと思う」が80%以上を占めているが、女性（89.5%）が男性（85.2%）に比べて4.3ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「DVだと思う」が70%以上を占めているが、70歳以上は76.7%と他の年齢層に比べてやや少ない。「いちがいいには言えない」は、60歳代が10.3%と他の年齢層に比べてやや多い。

E. 十分な生活費を渡さない

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「十分な生活費を渡さない」

		DVだと思 う	DVだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		871 63.6%	96 7.0%	335 24.5%	67 4.9%	1,369 100.0%
地 域	志 津 小 学 校 区	57 60.6%	10 10.6%	23 24.5%	4 4.3%	94 100.0%
	志 津 南 小 学 校 区	36 67.9%	6 11.3%	11 20.8%	0 0.0%	53 100.0%
	草 津 小 学 校 区	77 66.4%	6 5.2%	28 24.1%	5 4.3%	116 100.0%
	草津第二小学校区	76 73.1%	4 3.8%	22 21.2%	2 1.9%	104 100.0%
	渋 川 小 学 校 区	47 65.3%	6 8.3%	19 26.4%	0 0.0%	72 100.0%
	矢 倉 小 学 校 区	60 58.3%	5 4.9%	34 33.0%	4 3.9%	103 100.0%
	老 上 小 学 校 区	101 67.3%	11 7.3%	31 20.7%	7 4.7%	150 100.0%
	玉 川 小 学 校 区	68 68.0%	3 3.0%	24 24.0%	5 5.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	39 57.4%	6 8.8%	20 29.4%	3 4.4%	68 100.0%
	山 田 小 学 校 区	46 55.4%	7 8.4%	22 26.5%	8 9.6%	83 100.0%
	笠 縫 小 学 校 区	68 59.1%	15 13.0%	28 24.3%	4 3.5%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	71 71.7%	4 4.0%	17 17.2%	7 7.1%	99 100.0%
	常 盤 小 学 校 区	28 56.0%	3 6.0%	13 26.0%	6 12.0%	50 100.0%
	無 回 答	97	10	43	12	162
	小 学 校 区 不 明	59.9%	6.2%	26.5%	7.4%	100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思う」が半数以上を占め、「DVだとは思わない」に比べて多いが、草津第二小学校区と笠縫東小学校区は70%台と他の地域に比べてやや多い。「いちがいに言えない」は、笠縫東小学校区を除いて20%以上を占め、いずれの地域でも多い傾向がみられる。

性別にみると、男女ともに「DVだと思う」が半数以上を占めているが、女性（68.2%）が男性（59.7%）に比べて8.5ポイント多い。

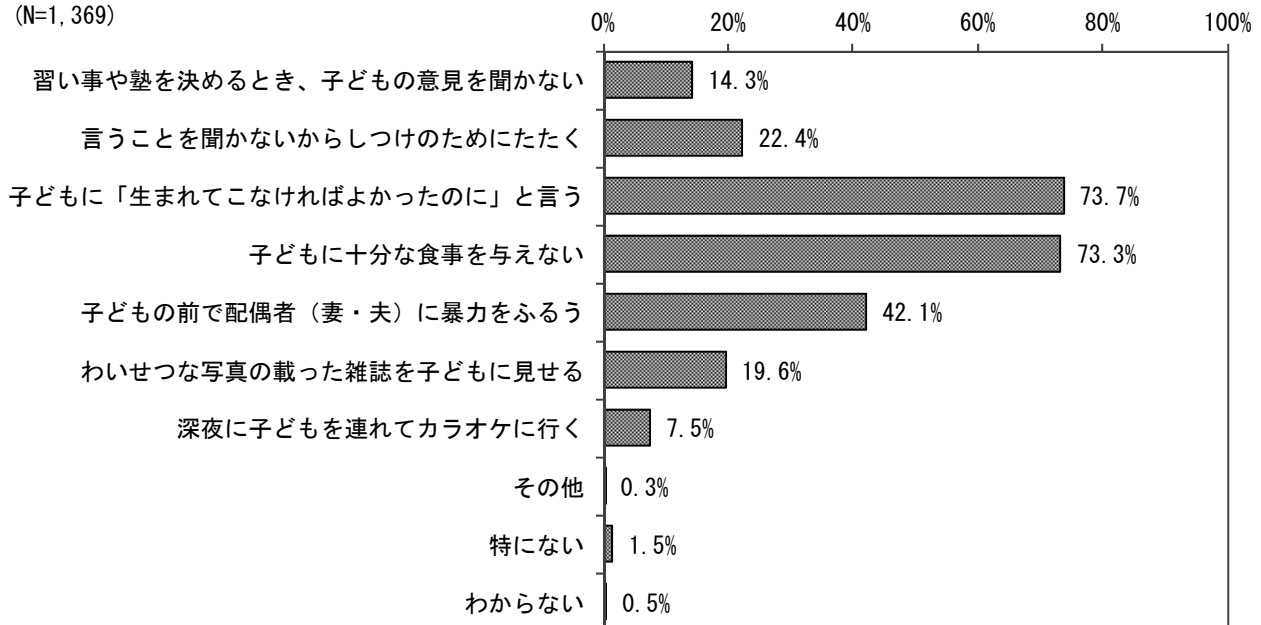
年齢別にみると、いずれの年齢層でも「DVだと思う」が「DVだとは思わない」に比べて多いが、70歳以上は48.9%にとどまり、他の年齢層が半数以上を占めているのに対して少ない。「DVだとは思わない」は、30歳代が11.6%で最も多い。

6 子どもの人権

質問9. あなたは、子どもに関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 子どもに関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



子どもに関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」が73.7%で最も多く、以下、「子どもに十分な食事を与えない」が73.3%、「子どもの前で配偶者（妻・夫）に暴力をふるう」が42.1%、「言うことを聞かないからしつけのためにたたく」が22.4%などとなっている。

図表 子どもに関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

		習い事や塾を決めるとき、子どもの意見を聞かない	言うことを聞かないからしつけのためにたたく	子どもに「生まれてこなければよかったのに」と言う	子どもに十分な食事を与えない	子どもの前で配偶者（妻・夫）に暴力をふるう	わいせつな写真の載った雑誌を子どもに見せる	深夜に子どもを連れてカラオケに行く	その他	特にな	わからない	集計母数
全体		196 14.3%	306 22.4%	1,009 73.7%	1,003 73.3%	577 42.1%	269 19.6%	103 7.5%	4 0.3%	21 1.5%	7 0.5%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	11 11.7%	23 24.5%	64 68.1%	67 71.3%	35 37.2%	26 27.7%	4 4.3%	0 0.0%	1 1.1%	3 3.2%	94 100.0%
	志津南小学校区	11 20.8%	12 22.6%	45 84.9%	40 75.5%	19 35.8%	9 17.0%	5 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	53 100.0%
	草津小学校区	26 22.4%	32 27.6%	89 76.7%	89 76.7%	43 37.1%	23 19.8%	7 6.0%	0 0.0%	2 1.7%	0 0.0%	116 100.0%
	草津第二小学校区	7 6.7%	20 19.2%	81 77.9%	84 80.8%	46 44.2%	23 22.1%	9 8.7%	2 1.9%	0 0.0%	1 1.0%	104 100.0%
	渋川小学校区	14 19.4%	15 20.8%	53 73.6%	52 72.2%	37 51.4%	8 11.1%	3 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	72 100.0%
	矢倉小学校区	14 13.6%	21 20.4%	78 75.7%	78 75.7%	53 51.5%	25 24.3%	8 7.8%	0 0.0%	1 1.0%	1 1.0%	103 100.0%
	老上小学校区	15 10.0%	34 22.7%	111 74.0%	117 78.0%	64 42.7%	31 20.7%	15 10.0%	1 0.7%	2 1.3%	0 0.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	17 17.0%	20 20.0%	81 81.0%	77 77.0%	43 43.0%	18 18.0%	11 11.0%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	7 10.3%	18 26.5%	49 72.1%	46 67.6%	22 32.4%	8 11.8%	4 5.9%	0 0.0%	2 2.9%	0 0.0%	68 100.0%
	山田小学校区	19 22.9%	25 30.1%	58 69.9%	50 60.2%	36 43.4%	9 10.8%	7 8.4%	0 0.0%	3 3.6%	0 0.0%	83 100.0%
	笠縫小学校区	18 15.7%	22 19.1%	91 79.1%	82 71.3%	44 38.3%	26 22.6%	9 7.8%	0 0.0%	3 2.6%	0 0.0%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	9 9.1%	18 18.2%	74 74.7%	74 74.7%	53 53.5%	18 18.2%	7 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	10 20.0%	14 28.0%	31 62.0%	30 60.0%	15 30.0%	12 24.0%	2 4.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	18 11.1%	32 19.8%	104 64.2%	117 72.2%	67 41.4%	33 20.4%	12 7.4%	1 0.6%	4 2.5%	2 1.2%	162 100.0%

地域別にみると、志津南小学校区、玉川小学校区、笠縫小学校区、渋川小学校区、南笠東小学校区、山田小学校区、常盤小学校区では「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」、草津第二小学校区、老上小学校区、志津小学校区では「子どもに十分な食事を与えない」がそれぞれ最も多く、草津小学校区、矢倉小学校区、笠縫東小学校区ではこれら2項目が同率で最も多い。

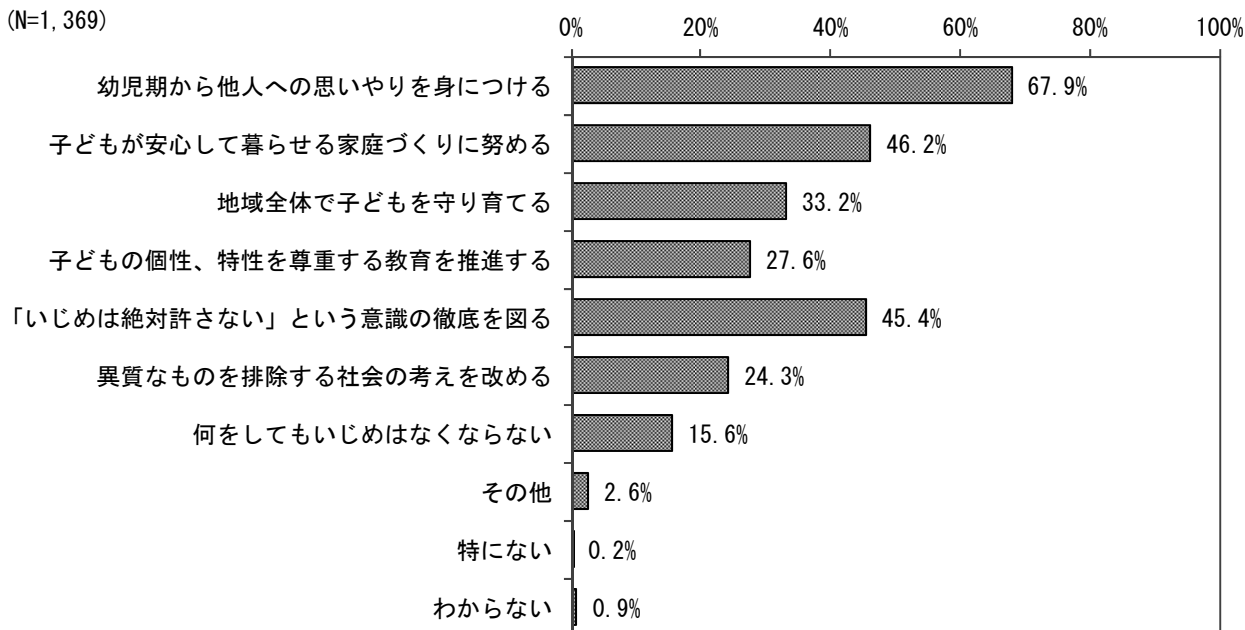
性別にみると、男女ともに「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」と「子どもに十分な食事を与えない」が上位2項目となっているが、いずれも女性が男性に比べて約5ポイント多い。「習い事や塾を決めるとき、子どもの意見を聞かない」は、男性（17.6%）が女性（10.8%）に比べて6.8ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」と「子どもに十分な食事を与えない」が上位2項目となっている。いずれも顕著な傾向ではないが、「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」は年齢層が低いほど多い傾向がみられ、「言うことを聞かないからしつけのためにたたく」や「わいせつな写真の載った雑誌を子どもに見せる」、「深夜に子どもを連れてカラオケに行く」などは年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

質問10. あなたは、子どもに対するいじめをなくすためにどのようなことが重要だと思いますか。
お考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 子どもに対するいじめをなくすために重要と思う対策（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



子どもに対するいじめをなくすために重要と思う対策をたずねたところ、「幼児期から他人への思いやりを身につける」が67.9%で最も多く、以下、「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」が46.2%、「『いじめは絶対許さない』という意識の徹底を図る」が45.4%、「地域全体で子どもを守り育てる」が33.2%、「子どもの個性、特性を尊重する教育を推進する」が27.6%などとなっている。

図表 子どもに対するいじめをなくすために重要と思う対策（3つまでの複数回答）

		幼児期から他人への思いやりを身につける	子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める	地域全体で子どもを守り育てる	子どもの個性、特性を尊重する教育を推進する	「いじめは絶対許さない」という意識の徹底を図る	異質なものを排除する社会の考えを改める	何をしてもいじめはなくなる	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		929 67.9%	632 46.2%	454 33.2%	378 27.6%	622 45.4%	332 24.3%	213 15.6%	36 2.6%	3 0.2%	12 0.9%	1,369 100.0%
地域	志 津 小 学 校 区	64 68.1%	49 52.1%	34 36.2%	19 20.2%	48 51.1%	13 13.8%	15 16.0%	1 1.1%	1 1.1%	2 2.1%	94 100.0%
	志 津 南 小 学 校 区	33 62.3%	30 56.6%	16 30.2%	11 20.8%	24 45.3%	16 30.2%	13 24.5%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	53 100.0%
	草 津 小 学 校 区	85 73.3%	55 47.4%	35 30.2%	37 31.9%	56 48.3%	31 26.7%	12 10.3%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	116 100.0%
	草 津 第 二 小 学 校 区	67 64.4%	47 45.2%	36 34.6%	39 37.5%	48 46.2%	28 26.9%	10 9.6%	5 4.8%	0 0.0%	2 1.9%	104 100.0%
	渋 川 小 学 校 区	52 72.2%	28 38.9%	18 25.0%	18 25.0%	26 36.1%	26 36.1%	11 15.3%	3 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	72 100.0%
	矢 倉 小 学 校 区	68 66.0%	36 35.0%	41 39.8%	23 22.3%	43 41.7%	27 26.2%	15 14.6%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	103 100.0%
	老 上 小 学 校 区	103 68.7%	75 50.0%	43 28.7%	55 36.7%	62 41.3%	43 28.7%	27 18.0%	2 1.3%	0 0.0%	1 0.7%	150 100.0%
	玉 川 小 学 校 区	66 66.0%	50 50.0%	40 40.0%	29 29.0%	36 36.0%	25 25.0%	15 15.0%	2 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	100 100.0%
	南 笠 東 小 学 校 区	42 61.8%	32 47.1%	21 30.9%	23 33.8%	29 42.6%	14 20.6%	13 19.1%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	68 100.0%
	山 田 小 学 校 区	62 74.7%	38 45.8%	33 39.8%	16 19.3%	44 53.0%	10 12.0%	12 14.5%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	83 100.0%
	笠 縫 小 学 校 区	76 66.1%	65 56.5%	42 36.5%	34 29.6%	54 47.0%	21 18.3%	15 13.0%	5 4.3%	0 0.0%	1 0.9%	115 100.0%
	笠 縫 東 小 学 校 区	72 72.7%	45 45.5%	31 31.3%	28 28.3%	53 53.5%	24 24.2%	12 12.1%	5 5.1%	0 0.0%	1 1.0%	99 100.0%
	常 盤 小 学 校 区	36 72.0%	16 32.0%	22 44.0%	11 22.0%	26 52.0%	15 30.0%	5 10.0%	2 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 100.0%
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	103 63.6%	66 40.7%	42 25.9%	35 21.6%	73 45.1%	39 24.1%	38 23.5%	5 3.1%	1 0.6%	2 1.2%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「幼児期から他人への思いやりを身につける」が最も多いが、山田小学校区、草津小学校区、笠縫東小学校区、渋川小学校区、常盤小学校区では70%を超えてやや多い。「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」は、志津南小学校区、笠縫小学校区、志津小学校区、老上小学校区、玉川小学校区では50%を超えており、他の地域に比べて多い。同様に、「『いじめは絶対許さない』という意識の徹底を図る」は、笠縫東小学校区、山田小学校区、常盤小学校区、志津南小学校区では50%を超えており、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「幼児期から他人への思いやりを身につける」が最も多く、次いで、男性では「『いじめは絶対許さない』という意識の徹底を図る」、女性では「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」となっている。「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」は女性（51.8%）が男性（40.0%）に比べて11.8ポイント多く、差が大きいのを除き、男女間での大差はみられない。

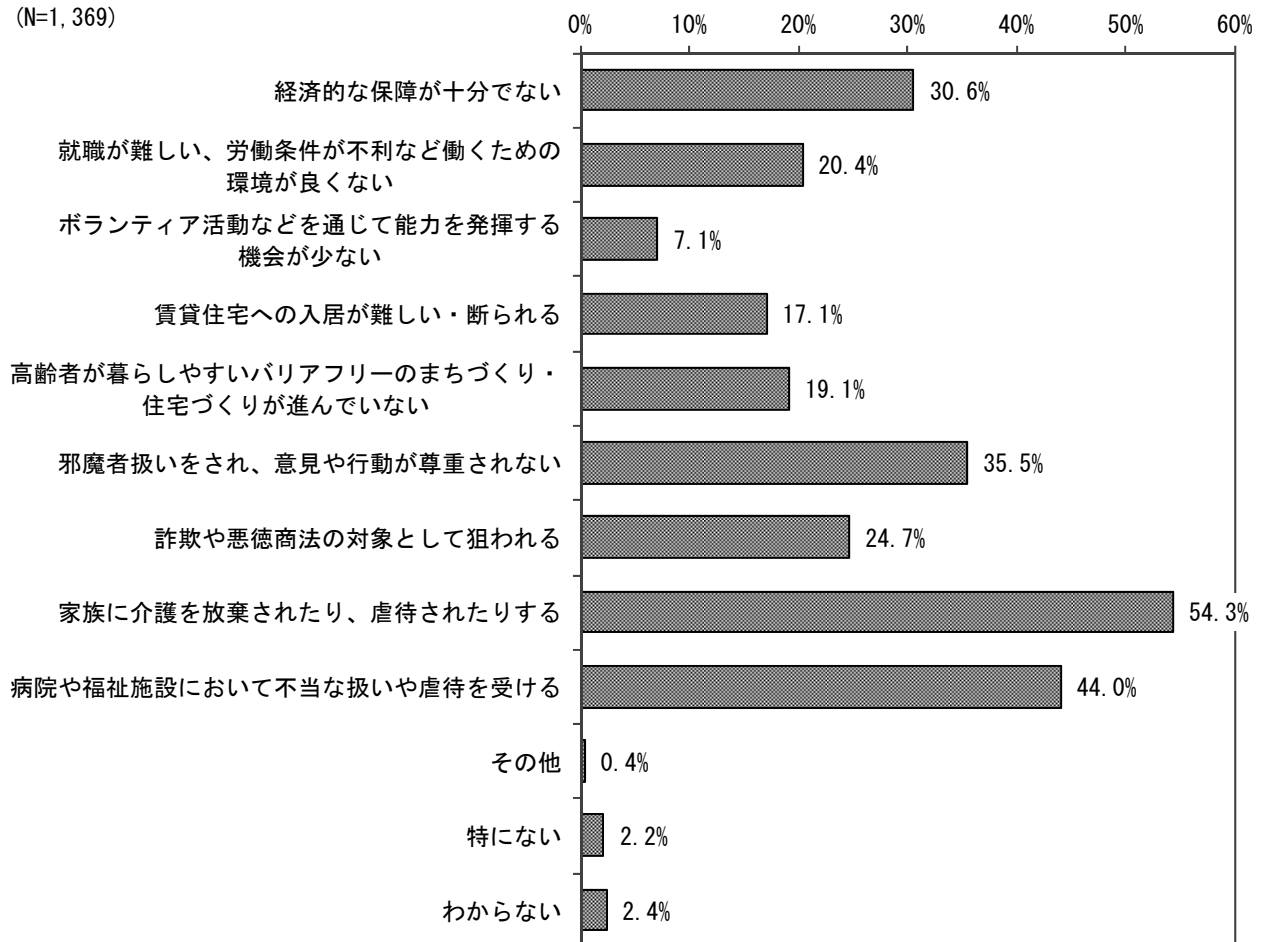
年齢別にみると、いずれの年齢層でも「幼児期から他人への思いやりを身につける」が最も多いが、60歳代が72.3%で最も多い。顕著な傾向ではないが、「『いじめは絶対許さない』という意識の徹底を図る」は年齢層が高いほど多い傾向がみられ、「何をしてもいじめはなくなる」は、30歳代以上では年齢層が低いほど多い傾向がみられ、20歳代でも19.6%となっており、60歳代以上が10%未満であるのに比べて低年齢層で多い。

7 高齢者の人権

質問11. あなたは、高齢者に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 高齢者に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



高齢者に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が54.3%で最も多く、以下、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」が44.0%、「邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない」が35.5%、「経済的な保障が十分でない」が30.6%などとなっている。

図表 高齢者に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

			経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない	ボランティア活動などを通じて能力を発揮する機会が少ない	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	邪魔者を扱いをされ、意見や行動が尊重されない	詐欺や悪徳商法の対象として狙われる	家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする	病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		419	279	97	234	262	486	338	744	603	6	30	33	1,369	
		30.6%	20.4%	7.1%	17.1%	19.1%	35.5%	24.7%	54.3%	44.0%	0.4%	2.2%	2.4%	100.0%	
地域	志津小学校区	34	17	5	14	11	31	32	53	41	0	1	4	94	
		36.2%	18.1%	5.3%	14.9%	11.7%	33.0%	34.0%	56.4%	43.6%	0.0%	1.1%	4.3%	100.0%	
	志津南小学校区	12	10	3	8	10	23	15	37	30	0	0	1	53	
		22.6%	18.9%	5.7%	15.1%	18.9%	43.4%	28.3%	69.8%	56.6%	0.0%	0.0%	1.9%	100.0%	
	草津小学校区	39	26	7	27	21	49	29	62	48	0	2	2	116	
		33.6%	22.4%	6.0%	23.3%	18.1%	42.2%	25.0%	53.4%	41.4%	0.0%	1.7%	1.7%	100.0%	
	草津第二小学校区	24	23	4	21	16	38	28	68	49	0	1	3	104	
		23.1%	22.1%	3.8%	20.2%	15.4%	36.5%	26.9%	65.4%	47.1%	0.0%	1.0%	2.9%	100.0%	
	渋川小学校区	18	10	1	15	11	17	18	44	43	0	1	4	72	
		25.0%	13.9%	1.4%	20.8%	15.3%	23.6%	25.0%	61.1%	59.7%	0.0%	1.4%	5.6%	100.0%	
	矢倉小学校区	27	16	10	14	23	42	18	59	43	0	4	1	103	
		26.2%	15.5%	9.7%	13.6%	22.3%	40.8%	17.5%	57.3%	41.7%	0.0%	3.9%	1.0%	100.0%	
	老上小学校区	57	33	7	25	30	53	40	84	65	1	5	1	150	
		38.0%	22.0%	4.7%	16.7%	20.0%	35.3%	26.7%	56.0%	43.3%	0.7%	3.3%	0.7%	100.0%	
	玉川小学校区	24	21	7	16	18	37	22	57	55	1	1	1	100	
		24.0%	21.0%	7.0%	16.0%	18.0%	37.0%	22.0%	57.0%	55.0%	1.0%	1.0%	1.0%	100.0%	
南笠東小学校区	20	13	5	14	14	21	13	34	26	1	3	3	68		
	29.4%	19.1%	7.4%	20.6%	20.6%	30.9%	19.1%	50.0%	38.2%	1.5%	4.4%	4.4%	100.0%		
山田小学校区	36	18	6	11	22	37	17	43	29	0	2	1	83		
	43.4%	21.7%	7.2%	13.3%	26.5%	44.6%	20.5%	51.8%	34.9%	0.0%	2.4%	1.2%	100.0%		
笠縫小学校区	41	29	17	17	29	40	26	49	39	2	2	2	115		
	35.7%	25.2%	14.8%	14.8%	25.2%	34.8%	22.6%	42.6%	33.9%	1.7%	1.7%	1.7%	100.0%		
笠縫東小学校区	26	18	8	22	13	34	33	55	38	0	3	4	99		
	26.3%	18.2%	8.1%	22.2%	13.1%	34.3%	33.3%	55.6%	38.4%	0.0%	3.0%	4.0%	100.0%		
常盤小学校区	19	12	4	4	10	23	5	26	24	0	0	1	50		
	38.0%	24.0%	8.0%	8.0%	20.0%	46.0%	10.0%	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%	2.0%	100.0%		
無回答・小学校区不明	42	33	13	26	34	41	42	73	73	1	5	5	162		
	25.9%	20.4%	8.0%	16.0%	21.0%	25.3%	25.9%	45.1%	45.1%	0.6%	3.1%	3.1%	100.0%		

地域別にみると、いずれの地域でも「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が最も多いが、志津南小学校区、草津第二小学校区、渋川小学校区では60%を超えており、他の地域に比べてやや多い。

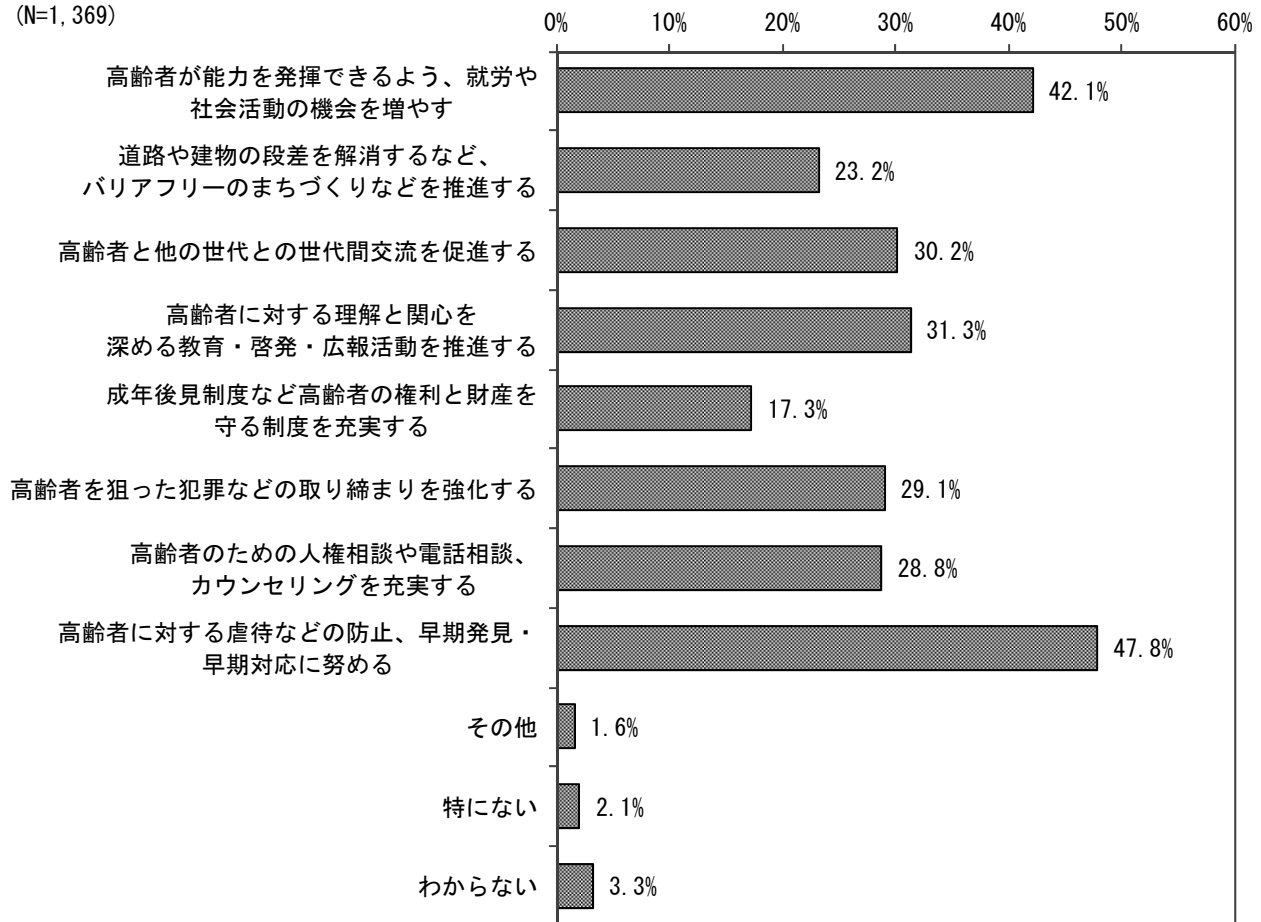
性別にみると、男女ともに「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が最も多いが、女性（57.7%）が男性（51.7%）に比べて6.0ポイント多い。「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」は、女性（50.7%）が男性（38.0%）に比べて12.7ポイント多く、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」は、男性（23.2%）が女性（17.7%）に比べて5.5ポイント多いが、このほかの項目は男女間での大差はみられない。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が最も多いが、40歳代以下では60%を超えており、50歳代以上に比べて多い。同様に、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」も40歳代以下では50%を超えており、50歳代以上に比べて多い。顕著な傾向ではないが、「経済的な保障が十分でない」や「高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」は、年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

質問12. あなたは、高齢者の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 高齢者の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



高齢者の人権を守るために必要なことをたずねたところ、「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が47.8%で最も多く、以下、「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」が42.1%、「高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が31.3%、「高齢者和其他の世代との世代間交流を促進する」が30.2%などとなっている。

図表 高齢者の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

		高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす	道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する	高齢者和其他の世代との世代間交流を促進する	高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	成年後見制度など高齢者の権利と財産を守る制度を充実する	高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する	高齢者のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する	高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		577 42.1%	318 23.2%	414 30.2%	429 31.3%	237 17.3%	398 29.1%	394 28.8%	655 47.8%	22 1.6%	29 2.1%	45 3.3%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	35 37.2%	22 23.4%	28 29.8%	28 29.8%	16 17.0%	31 33.0%	25 26.6%	52 55.3%	0 0.0%	3 3.2%	4 4.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	27 50.9%	12 22.6%	16 30.2%	14 26.4%	16 30.2%	17 32.1%	15 28.3%	29 54.7%	1 1.9%	0 0.0%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	53 45.7%	32 27.6%	32 27.6%	29 25.0%	20 17.2%	33 28.4%	40 34.5%	47 40.5%	1 0.9%	2 1.7%	5 4.3%	116 100.0%
	草津第二小学校区	44 42.3%	17 16.3%	31 29.8%	38 36.5%	14 13.5%	29 27.9%	41 39.4%	52 50.0%	4 3.8%	3 2.9%	1 1.0%	104 100.0%
	洪川小学校区	22 30.6%	16 22.2%	21 29.2%	16 22.2%	19 26.4%	22 30.6%	19 26.4%	39 54.2%	0 0.0%	1 1.4%	4 5.6%	72 100.0%
	矢倉小学校区	39 37.9%	21 20.4%	31 30.1%	40 38.8%	15 14.6%	30 29.1%	24 23.3%	42 40.8%	3 2.9%	3 2.9%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	60 40.0%	36 24.0%	42 28.0%	53 35.3%	31 20.7%	51 34.0%	37 24.7%	83 55.3%	2 1.3%	2 1.3%	3 2.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	42 42.0%	25 25.0%	34 34.0%	35 35.0%	19 19.0%	31 31.0%	28 28.0%	48 48.0%	1 1.0%	0 0.0%	2 2.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	29 42.6%	17 25.0%	23 33.8%	24 35.3%	8 11.8%	11 16.2%	18 26.5%	27 39.7%	1 1.5%	4 5.9%	3 4.4%	68 100.0%
	山田小学校区	43 51.8%	22 26.5%	27 32.5%	28 33.7%	17 20.5%	18 21.7%	31 37.3%	34 41.0%	1 1.2%	1 1.2%	2 2.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	52 45.2%	32 27.8%	35 30.4%	37 32.2%	14 12.2%	31 27.0%	41 35.7%	53 46.1%	1 0.9%	1 0.9%	3 2.6%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	38 38.4%	22 22.2%	33 33.3%	35 35.4%	17 17.2%	35 35.4%	22 22.2%	47 47.5%	2 2.0%	2 2.0%	4 4.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	26 52.0%	9 18.0%	17 34.0%	21 42.0%	7 14.0%	11 22.0%	16 32.0%	27 54.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	67 41.4%	35 21.6%	44 27.2%	31 19.1%	24 14.8%	48 29.6%	37 22.8%	75 46.3%	5 3.1%	6 3.7%	8 4.9%	162 100.0%

地域別にみると、山田小学校区、草津小学校区、南笠東小学校区では「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」が最も多く、他の地域では「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が最も多い。

性別にみると、男女ともに「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が最も多いが、女性（52.9%）が男性（43.5%）に比べて9.4ポイント多い。「高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」は男性（35.0%）が女性（28.6%）に比べて6.4ポイント多く、「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」は女性（25.5%）が男性（20.7%）に比べて4.8ポイント多いなど、これらは男女差が他の項目に比べて大きい。

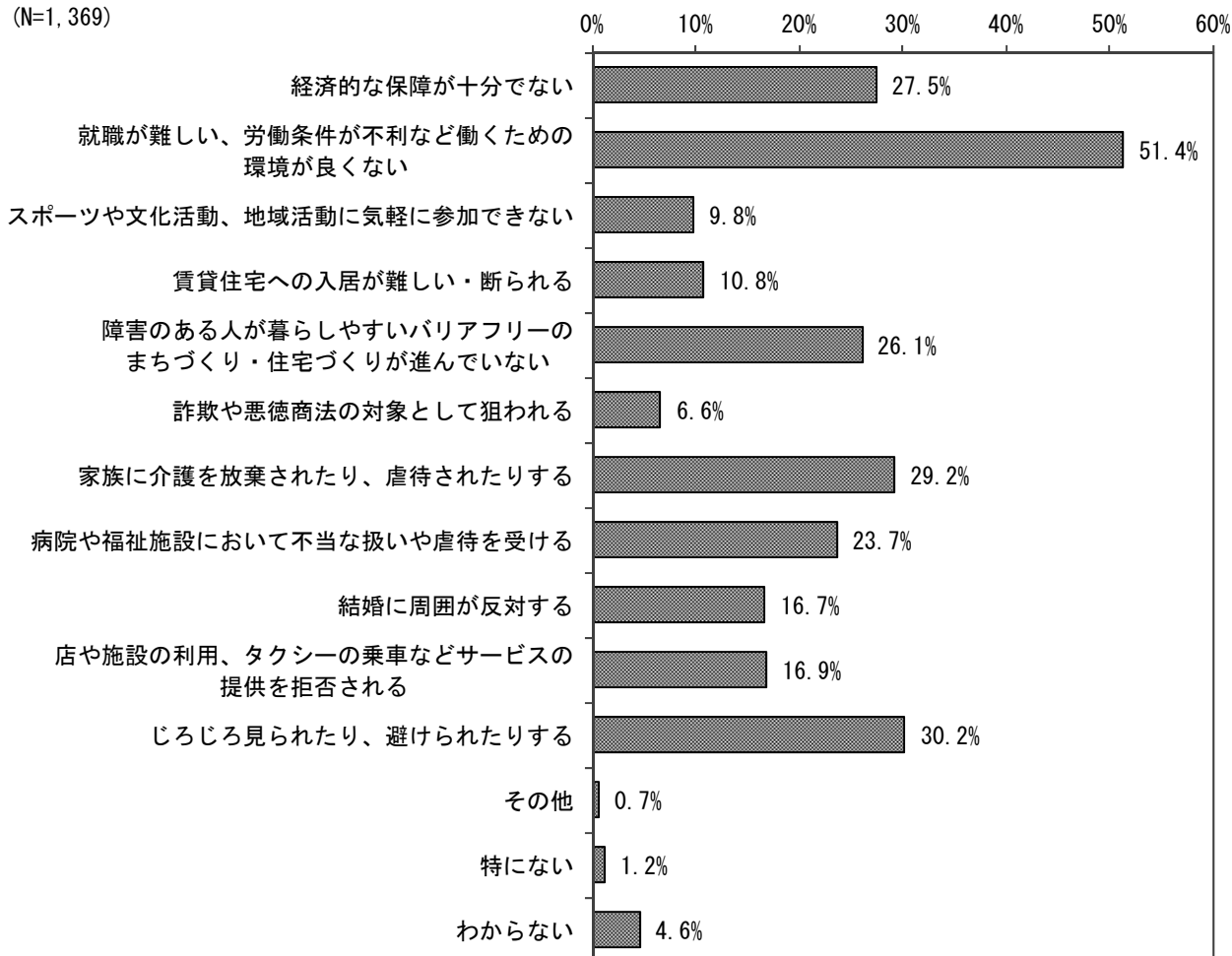
年齢別にみると、70歳以上では「高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が最も多く、他の年齢層では「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が最も多い。いずれも顕著な傾向ではないが、「成年後見制度など高齢者の権利と財産を守る制度を充実する」は年齢層が低いほど多い傾向がみられ、「高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

8 障害者の人権

質問13. あなたは、障害のある人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 障害のある人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



障害のある人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が51.4%で最も多く、以下、「じろじろ見られたり、逃げられたりする」が30.2%、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が29.2%、「経済的な保障が十分でない」が27.5%、「障害のある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」が26.1%などとなっている。

図表 障害のある人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

		経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない	スポーツや文化活動、地域活動に参加できない	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	障害のある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	詐欺や悪徳商法の対象として狙われる	家族に介護をされたり、虐待されたりする	病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	結婚に周囲が反対する	店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される	じろじろ見られたり、避けられたりする	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		376 27.5%	703 51.4%	134 9.8%	148 10.8%	357 26.1%	91 6.6%	400 29.2%	324 23.7%	229 16.7%	231 16.9%	414 30.2%	9 0.7%	17 1.2%	63 4.6%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	33 35.1%	38 40.4%	9 9.6%	11 11.7%	27 28.7%	5 5.3%	33 35.1%	21 22.3%	18 19.1%	18 19.1%	25 26.6%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	13 24.5%	25 47.2%	8 15.1%	11 20.8%	15 28.3%	3 5.7%	14 26.4%	17 32.1%	12 22.6%	12 22.6%	12 22.6%	1 1.9%	0 0.0%	2 3.8%	53 100.0%
	草津小学校区	36 31.0%	58 50.0%	9 7.8%	8 6.9%	31 26.7%	10 8.6%	32 27.6%	26 22.4%	22 19.0%	24 20.7%	39 33.6%	1 0.9%	2 1.7%	4 3.4%	116 100.0%
	草津第二小学校区	24 23.1%	52 50.0%	9 8.7%	14 13.5%	21 20.2%	8 7.7%	36 34.6%	29 27.9%	11 10.6%	25 24.0%	27 26.0%	2 1.9%	1 1.0%	7 6.7%	104 100.0%
	洪川小学校区	13 18.1%	33 45.8%	8 11.1%	6 8.3%	15 20.8%	1 1.4%	22 30.6%	25 34.7%	14 19.4%	17 23.6%	26 36.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.9%	72 100.0%
	矢倉小学校区	23 22.3%	47 45.6%	9 8.7%	11 10.7%	32 31.1%	10 9.7%	30 29.1%	33 32.0%	18 17.5%	12 11.7%	26 25.2%	0 0.0%	2 1.9%	3 2.9%	103 100.0%
	老上小学校区	47 31.3%	78 52.0%	11 7.3%	21 14.0%	43 28.7%	11 7.3%	46 30.7%	35 23.3%	21 14.0%	25 16.7%	47 31.3%	0 0.0%	2 1.3%	5 3.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	25 25.0%	56 56.0%	10 10.0%	9 9.0%	25 25.0%	7 7.0%	31 31.0%	25 25.0%	22 22.0%	19 19.0%	24 24.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	23 33.8%	40 58.8%	15 22.1%	7 10.3%	13 19.1%	4 5.9%	12 17.6%	13 19.1%	7 10.3%	9 13.2%	18 26.5%	0 0.0%	1 1.5%	7 10.3%	68 100.0%
	山田小学校区	34 41.0%	46 55.4%	8 9.6%	10 12.0%	22 26.5%	5 6.0%	28 33.7%	14 16.9%	11 13.3%	8 9.6%	26 31.3%	0 0.0%	2 2.4%	3 3.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	36 31.3%	56 48.7%	11 9.6%	11 9.6%	25 21.7%	9 7.8%	33 28.7%	25 21.7%	20 17.4%	10 8.7%	41 35.7%	1 0.9%	4 3.5%	4 3.5%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	21 21.2%	60 60.6%	7 7.1%	8 8.1%	37 37.4%	8 8.1%	20 20.2%	17 17.2%	19 19.2%	18 18.2%	33 33.3%	1 1.0%	1 1.0%	3 3.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	13 26.0%	37 74.0%	9 18.0%	2 4.0%	13 26.0%	2 4.0%	14 28.0%	4 8.0%	8 16.0%	8 16.0%	21 42.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	35 21.6%	77 47.5%	11 6.8%	19 11.7%	38 23.5%	8 4.9%	49 30.2%	40 24.7%	26 16.0%	26 16.0%	49 30.2%	3 1.9%	1 0.6%	10 6.2%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域において「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が最も多いが、常盤小学校区と笠縫東小学校区では60%を超えており、他の地域が40%台～50%台であるのに比べて多い。

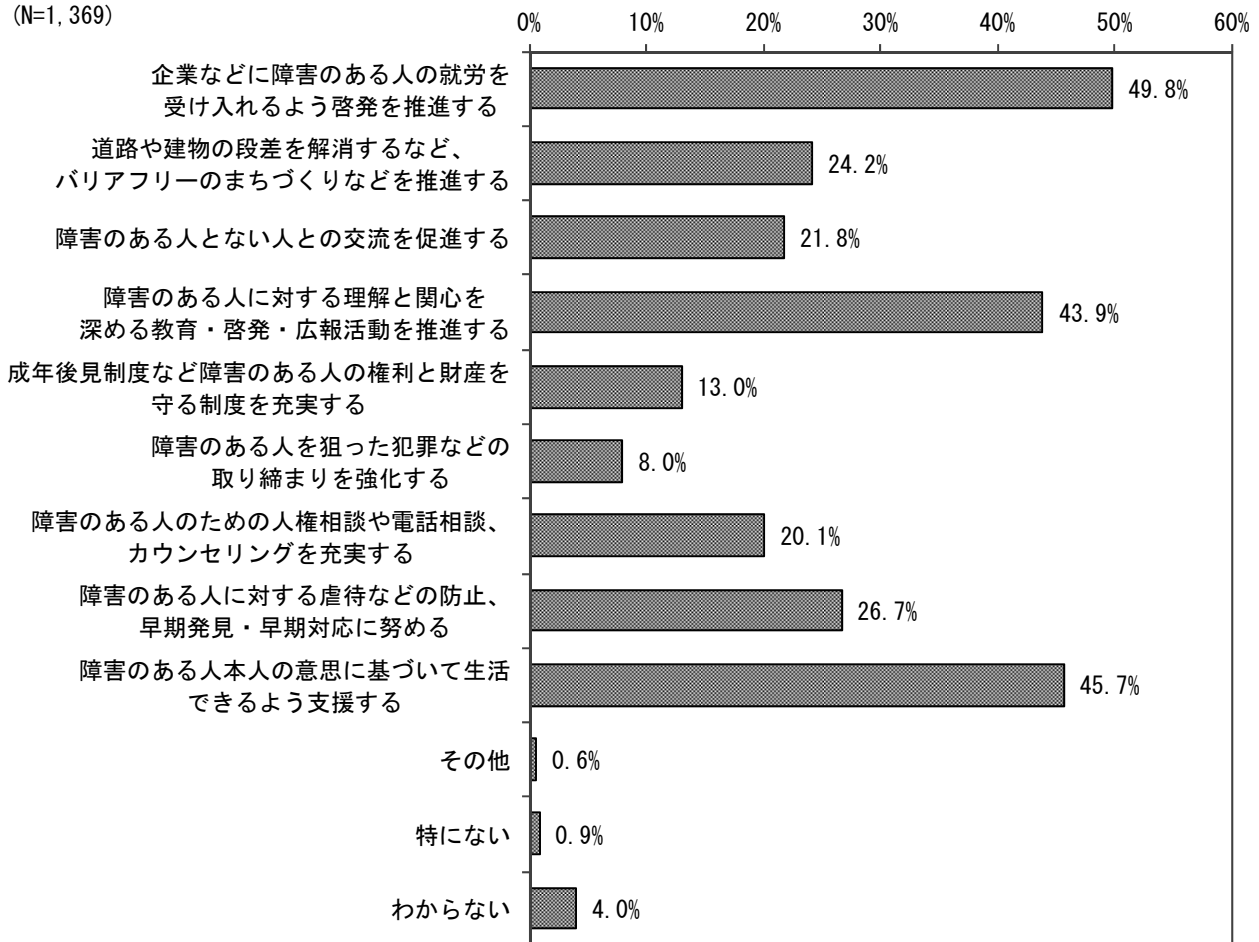
性別にみると、男女ともに「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が最も多い。「経済的な保障が十分でない」は、男性（30.4%）が女性（24.5%）に比べて5.9ポイント多く、差が大きいですが、このほかの項目は男女間での大差はみられない。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が最も多いが、40歳代～60歳代では50%を超えており、他の年齢層が40%台であるのに比べてやや多い。いずれも顕著な傾向ではないが、「経済的な保障が十分でない」や「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」は、年齢層が高いほど多い傾向がみられ、「店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される」は、年齢層が低いほど多い傾向がみられる。「結婚に周囲が反対する」は、20歳代と30歳代では20%を超えており、40歳代以上では10%台であるのに比べてやや多い。

質問14. あなたは、障害のある人の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 障害のある人の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



障害のある人の人権を守るために必要なことをたずねたところ、「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を進める」が49.8%で最も多く、以下、「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」が45.7%、「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が43.9%、「障害のある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が26.7%などとなっている。

図表 障害のある人の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

		企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する	道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する	障害のある人と人の交流を促進する	障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	成年後見制度など障害のある人の権利と財産を守る制度を充実する	障害のある人を狙った犯罪などの取り締まりを強化する	障害のある人への人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する	障害のある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める	障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する	その他	特にな	わからない	集計母数
全体		682 49.8%	331 24.2%	298 21.8%	601 43.9%	178 13.0%	109 8.0%	275 20.1%	365 26.7%	625 45.7%	8 0.6%	12 0.9%	55 4.0%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	44 46.8%	16 17.0%	21 22.3%	47 50.0%	13 13.8%	7 7.4%	19 20.2%	22 23.4%	54 57.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	29 54.7%	14 26.4%	11 20.8%	25 47.2%	8 15.1%	1 1.9%	14 26.4%	17 32.1%	27 50.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	53 100.0%
	草津小学校区	63 54.3%	40 34.5%	23 19.8%	47 40.5%	18 15.5%	10 8.6%	24 20.7%	32 27.6%	50 43.1%	0 0.0%	2 1.7%	1 0.9%	116 100.0%
	草津第二小学校区	51 49.0%	19 18.3%	28 26.9%	54 51.9%	11 10.6%	7 6.7%	24 23.1%	29 27.9%	46 44.2%	0 0.0%	0 0.0%	6 5.8%	104 100.0%
	渋川小学校区	32 44.4%	16 22.2%	12 16.7%	24 33.3%	11 15.3%	6 8.3%	11 15.3%	26 36.1%	35 48.6%	1 1.4%	0 0.0%	4 5.6%	72 100.0%
	矢倉小学校区	44 42.7%	24 23.3%	23 22.3%	45 43.7%	12 11.7%	9 8.7%	20 19.4%	31 30.1%	39 37.9%	1 1.0%	2 1.9%	5 4.9%	103 100.0%
	老上小学校区	76 50.7%	40 26.7%	28 18.7%	71 47.3%	23 15.3%	15 10.0%	24 16.0%	40 26.7%	80 53.3%	2 1.3%	1 0.7%	2 1.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	58 58.0%	24 24.0%	21 21.0%	42 42.0%	19 19.0%	6 6.0%	20 20.0%	22 22.0%	54 54.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	32 47.1%	19 27.9%	17 25.0%	32 47.1%	8 11.8%	2 2.9%	13 19.1%	18 26.5%	23 33.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 8.8%	68 100.0%
	山田小学校区	42 50.6%	17 20.5%	20 24.1%	39 47.0%	9 10.8%	7 8.4%	28 33.7%	22 26.5%	39 47.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	59 51.3%	34 29.6%	26 22.6%	50 43.5%	9 7.8%	12 10.4%	28 24.3%	33 28.7%	47 40.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.6%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	46 46.5%	26 26.3%	19 19.2%	49 49.5%	12 12.1%	7 7.1%	20 20.2%	21 21.2%	42 42.4%	0 0.0%	2 2.0%	6 6.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	31 62.0%	10 20.0%	16 32.0%	26 52.0%	6 12.0%	3 6.0%	6 12.0%	9 18.0%	25 50.0%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	75 46.3%	32 19.8%	33 20.4%	50 30.9%	19 11.7%	17 10.5%	24 14.8%	43 26.5%	64 39.5%	3 1.9%	5 3.1%	12 7.4%	162 100.0%

地域別にみると、志津小学校区、老上小学校区、渋川小学校区では「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」、草津第二小学校区、笠縫東小学校区、南笠東小学校区、矢倉小学校区では「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」、常盤小学校区、玉川小学校区、志津南小学校区、草津小学校区、笠縫小学校区、山田小学校区では「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」（南笠東小学校区では本項目も同率）がそれぞれ最も多い。

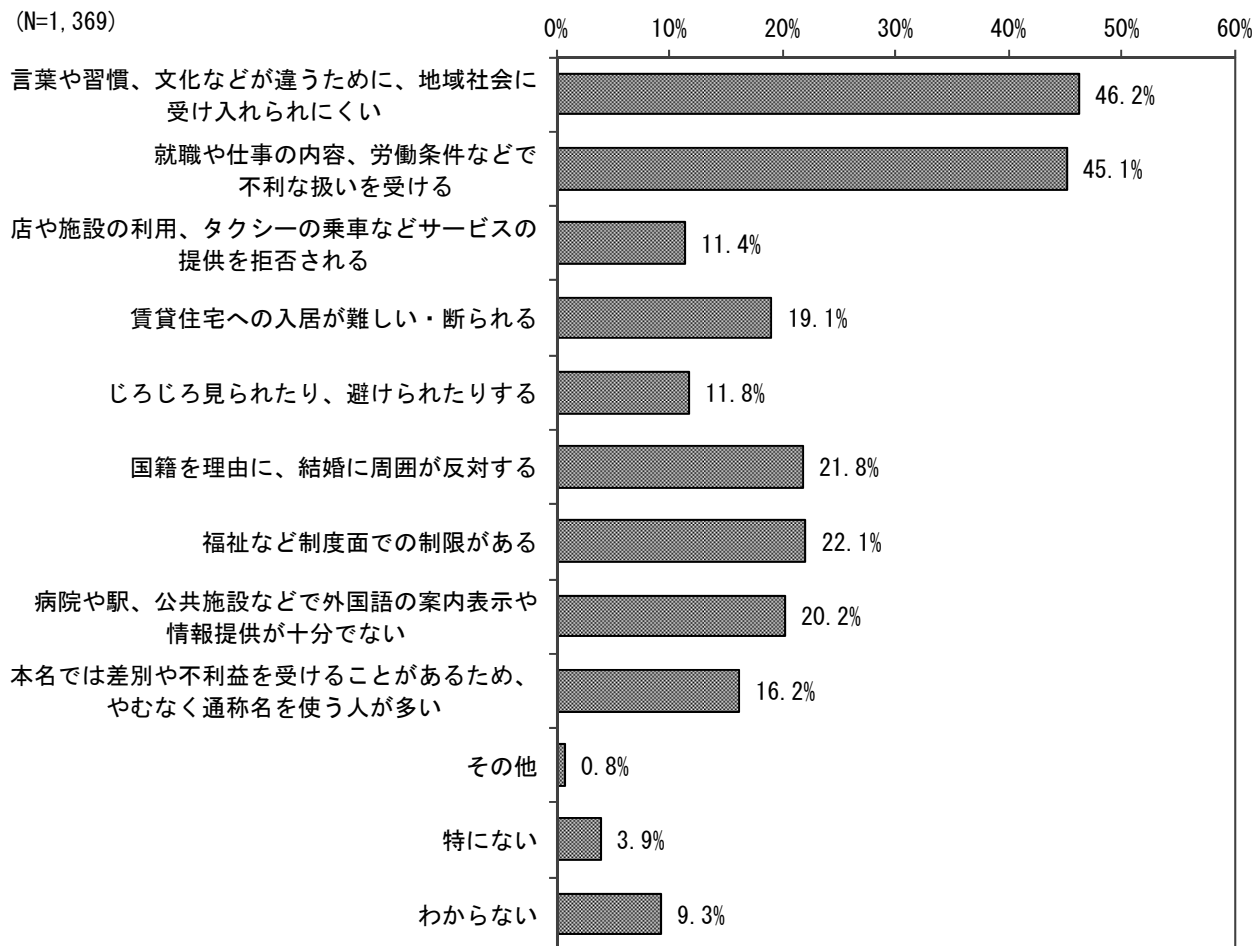
性別にみると、男性では「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」が最も多く、女性に比べて4.0ポイント多い。女性では「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」が最も多く、男性に比べて7.9ポイント多い。「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」も女性が男性に比べて7.9ポイント多く、男女間での差が大きい、このほかの項目は男女間での大差はみられない。

年齢別にみると、40歳代では「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」が最も多く、他の年齢層では「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」が最も多い。顕著な傾向ではないが、「障害のある人への人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する」は、年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

9 外国人の人権

質問15. あなたは、外国人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 外国人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）



外国人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」が46.2%で最も多く、以下、「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が45.1%、「福祉など制度面での制限がある」が22.1%、「国籍を理由に、結婚に周囲が反対する」が21.8%、「病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない」が20.2%などとなっている。

図表 外国人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

		言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れにくい	就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける	店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	じろじろ見られたり、避けられたりする	国籍を理由に、結婚に周囲が反対する	福祉など制度面での制限がある	病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない	本名では差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い	その他	特にな	わからない	集計母数
全体		633 46.2%	618 45.1%	156 11.4%	261 19.1%	161 11.8%	299 21.8%	302 22.1%	277 20.2%	222 16.2%	11 0.8%	54 3.9%	127 9.3%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	44 46.8%	41 43.6%	4 4.3%	16 17.0%	8 8.5%	27 28.7%	29 30.9%	20 21.3%	21 22.3%	0 0.0%	1 1.1%	12 12.8%	94 100.0%
	志津南小学校区	23 43.4%	25 47.2%	7 13.2%	12 22.6%	4 7.5%	14 26.4%	10 18.9%	9 17.0%	8 15.1%	0 0.0%	2 3.8%	5 9.4%	53 100.0%
	草津小学校区	57 49.1%	49 42.2%	11 9.5%	21 18.1%	13 11.2%	25 21.6%	27 23.3%	22 19.0%	20 17.2%	1 0.9%	2 1.7%	14 12.1%	116 100.0%
	草津第二小学校区	45 43.3%	50 48.1%	22 21.2%	25 24.0%	14 13.5%	22 21.2%	22 21.2%	22 20.2%	21 20.2%	0 0.0%	5 4.8%	5 4.8%	104 100.0%
	渋川小学校区	24 33.3%	35 48.6%	10 13.9%	13 18.1%	9 12.5%	18 25.0%	11 15.3%	13 18.1%	10 13.9%	1 1.4%	4 5.6%	8 11.1%	72 100.0%
	矢倉小学校区	52 50.5%	45 43.7%	14 13.6%	14 13.6%	15 14.6%	21 20.4%	20 19.4%	19 18.4%	12 11.7%	2 1.9%	2 1.9%	11 10.7%	103 100.0%
	老上小学校区	66 44.0%	71 47.3%	19 12.7%	27 18.0%	19 12.7%	36 24.0%	35 23.3%	26 17.3%	27 18.0%	1 0.7%	10 6.7%	10 6.7%	150 100.0%
	玉川小学校区	44 44.0%	44 44.0%	14 14.0%	25 25.0%	6 6.0%	25 25.0%	24 24.0%	23 23.0%	15 15.0%	0 0.0%	6 6.0%	4 4.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	33 48.5%	31 45.6%	6 8.8%	16 23.5%	8 11.8%	8 11.8%	12 17.6%	11 16.2%	8 11.8%	2 2.9%	3 4.4%	9 13.2%	68 100.0%
	山田小学校区	50 60.2%	41 49.4%	7 8.4%	14 16.9%	10 12.0%	13 15.7%	22 26.5%	17 20.5%	11 13.3%	0 0.0%	2 2.4%	8 9.6%	83 100.0%
	笠縫小学校区	53 46.1%	48 41.7%	7 6.1%	18 15.7%	17 14.8%	21 18.3%	24 20.9%	30 26.1%	19 16.5%	0 0.0%	6 5.2%	11 9.6%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	46 46.5%	44 44.4%	10 10.1%	19 19.2%	12 12.1%	17 17.2%	26 26.3%	26 26.3%	22 22.2%	2 2.0%	4 4.0%	8 8.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	32 64.0%	28 56.0%	7 14.0%	5 10.0%	8 16.0%	16 32.0%	13 26.0%	12 24.0%	6 12.0%	0 0.0%	1 2.0%	3 6.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	64 39.5%	66 40.7%	18 11.1%	36 22.2%	18 11.1%	36 22.2%	27 16.7%	27 16.7%	22 13.6%	2 1.2%	6 3.7%	19 11.7%	162 100.0%

地域別にみると、渋川小学校区、草津第二小学校区、老上小学校区、志津南小学校区、玉川小学校区では「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が最も多く、他の地域では「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」（玉川小学校区では本項目も同率）が最も多い。

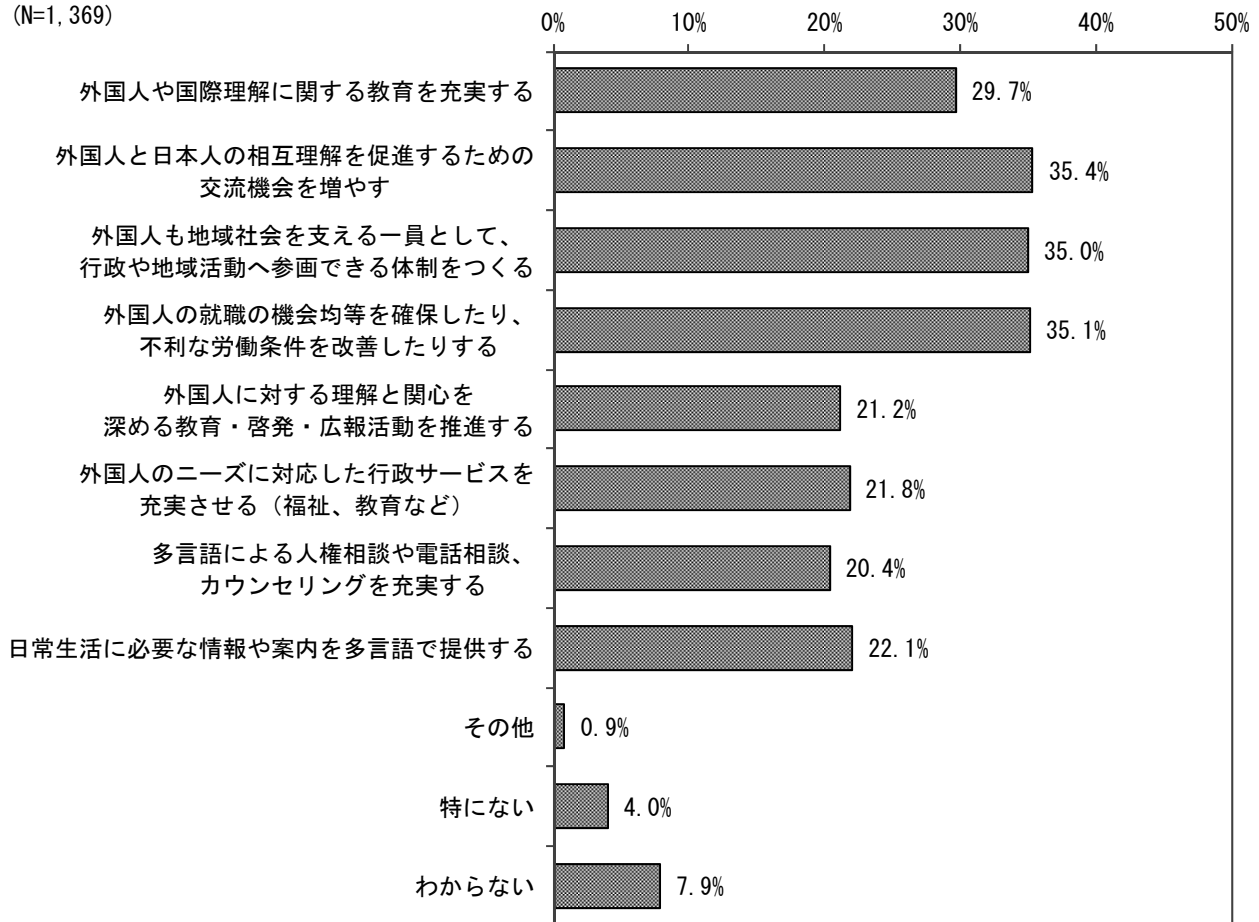
性別にみると、男性では「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」、女性では「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」がそれぞれ最も多く、男女ともにこれらが上位2項目となっている。「本名では差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い」は、女性（19.0%）が男性（13.6%）に比べて5.4ポイント多く、差が大きい。全般的に男女間での大差はみられない。

年齢別にみると、20歳代と40歳代では「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が最も多く、他の年齢層では「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」が最も多い。いずれも顕著な傾向ではないが、「賃貸住宅への入居が難しい・断られる」や「本名では差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い」は、年齢層が低いほど多い傾向がみられ、「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

質問16. あなたは、外国人の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 外国人の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



外国人の人権を守るために必要なことをたずねたところ、「外国人と日本人の相互交流を促進するための交流機会を増やす」が35.4%で最も多く、以下、「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」が35.1%、「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」が35.0%、「外国人や国際理解に関する教育を充実する」が29.7%などとなっている。

図表 外国人の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

		外国人 や国際 理解に 関する 教育を 充実す る	外国 人と日 本の相 互理解 を促進 するた めの交 流機会 を増や す	外国 人も地 域社会 を支え る一員 として 、行政 や地域 活動へ 参画で きる体 制をつ くる	外国 人の就 職の機 会均等 を確保 したり 、不利 な労働 条件を 改善し たりす る	外国 人に対 する理 解と関 心を深 める教 育・啓 発・広 報活動 を推進 する	外国 人のニ ーズに 対した 行政サ ービス を充実 させる （福祉 、教育 など）	多言語 による 人権相 談や電 話相談 、カウ ンセリ ングを 充実す る	日常生 活に必 要な情 報や案 内を多 言語で 提供す る	その他	特にな い	わから ない	集計母 数
全体		406	484	479	481	290	299	279	302	12	55	108	1,369
		29.7%	35.4%	35.0%	35.1%	21.2%	21.8%	20.4%	22.1%	0.9%	4.0%	7.9%	100.0%
地域	志津小学校区	27	26	37	39	20	24	21	18	0	2	10	94
		28.7%	27.7%	39.4%	41.5%	21.3%	25.5%	22.3%	19.1%	0.0%	2.1%	10.6%	100.0%
	志津南小学校区	9	22	15	18	10	13	14	14	0	1	6	53
		17.0%	41.5%	28.3%	34.0%	18.9%	24.5%	26.4%	26.4%	0.0%	1.9%	11.3%	100.0%
	草津小学校区	30	41	45	42	16	21	21	27	1	7	11	116
		25.9%	35.3%	38.8%	36.2%	13.8%	18.1%	18.1%	23.3%	0.9%	6.0%	9.5%	100.0%
	草津第二小学校区	37	38	38	42	25	28	29	21	0	2	3	104
		35.6%	36.5%	36.5%	40.4%	24.0%	26.9%	27.9%	20.2%	0.0%	1.9%	2.9%	100.0%
	洪川小学校区	16	28	24	25	12	14	13	15	1	2	9	72
		22.2%	38.9%	33.3%	34.7%	16.7%	19.4%	18.1%	20.8%	1.4%	2.8%	12.5%	100.0%
	矢倉小学校区	33	36	36	27	26	12	20	22	1	4	7	103
		32.0%	35.0%	35.0%	26.2%	25.2%	11.7%	19.4%	21.4%	1.0%	3.9%	6.8%	100.0%
	老上小学校区	43	54	50	56	30	42	31	35	2	6	6	150
		28.7%	36.0%	33.3%	37.3%	20.0%	28.0%	20.7%	23.3%	1.3%	4.0%	4.0%	100.0%
	玉川小学校区	30	30	33	36	26	32	19	26	1	5	5	100
		30.0%	30.0%	33.0%	36.0%	26.0%	32.0%	19.0%	26.0%	1.0%	5.0%	5.0%	100.0%
	南笠東小学校区	26	27	31	19	13	11	7	8	0	2	7	68
		38.2%	39.7%	45.6%	27.9%	19.1%	16.2%	10.3%	11.8%	0.0%	2.9%	10.3%	100.0%
	山田小学校区	22	32	28	28	21	18	26	20	0	2	7	83
		26.5%	38.6%	33.7%	33.7%	25.3%	21.7%	31.3%	24.1%	0.0%	2.4%	8.4%	100.0%
笠縫小学校区	33	43	42	37	16	23	23	27	0	5	10	115	
	28.7%	37.4%	36.5%	32.2%	13.9%	20.0%	20.0%	23.5%	0.0%	4.3%	8.7%	100.0%	
笠縫東小学校区	29	34	37	38	26	21	18	26	1	5	8	99	
	29.3%	34.3%	37.4%	38.4%	26.3%	21.2%	18.2%	26.3%	1.0%	5.1%	8.1%	100.0%	
常盤小学校区	24	16	25	18	12	12	10	14	1	1	2	50	
	48.0%	32.0%	50.0%	36.0%	24.0%	24.0%	20.0%	28.0%	2.0%	2.0%	4.0%	100.0%	
無回答・ 小学校区不明	47	57	38	56	37	28	27	29	4	11	17	162	
	29.0%	35.2%	23.5%	34.6%	22.8%	17.3%	16.7%	17.9%	2.5%	6.8%	10.5%	100.0%	

地域別にみると、志津小学校区、草津第二小学校区、老上小学校区、玉川小学校区では「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」、志津南小学校区、洪川小学校区、山田小学校区、笠縫小学校区、矢倉小学校区では「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」、常盤小学校区、南笠東小学校区、草津小学校区、笠縫東小学校区では「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」（矢倉小学校区では本項目も同率）がそれぞれ最も多い。

性別にみると、男性では「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」が最も多く、女性では「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」が最も多い。

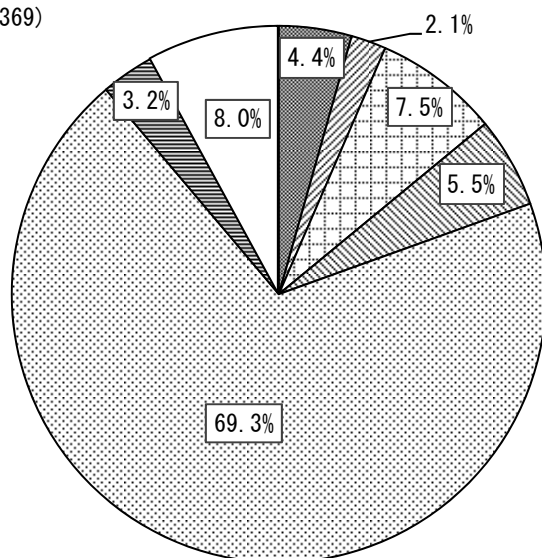
年齢別にみると、20歳代と40歳代では「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」、30歳代と70歳以上では「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」、50歳代と60歳代では「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」がそれぞれ最も多い。いずれも顕著な傾向ではないが、「外国人や国際理解に関する教育を充実する」や外国人のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）は、年齢層が低いほど多い傾向がみられ、「外国人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

10 同和問題

質問17. あなたは、同和地区はどういう理由でできたと考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 同和地区の起源の認知

(N=1,369)



- 人種（民族）が違うから
- ▣ 宗教が違うとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから
- 職業・仕事が違うから
- ▣ 生活が貧しかったから
- ▣ 封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから
- その他
- 無回答

同和地区の起源の認知をたずねたところ、「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が69.3%で最も多く、以下、「職業・仕事が違うから」が7.5%、「生活が貧しかったから」が5.5%、「人種（民族）が違うから」が4.4%、「宗教が違うとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから」が2.1%などとなっている。

図表 同和地区の起源の認知

		人種（民族）が違うから	宗教が違うとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから	職業・仕事が違うから	生活が貧しかったから	封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから	その他	無回答	合計
全体		60 4.4%	29 2.1%	103 7.5%	75 5.5%	949 69.3%	44 3.2%	109 8.0%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	7 7.4%	3 3.2%	4 4.3%	3 3.2%	63 67.0%	5 5.3%	9 9.6%	94 100.0%
	志津南小学校区	3 5.7%	1 1.9%	6 11.3%	2 3.8%	36 67.9%	1 1.9%	4 7.5%	53 100.0%
	草津小学校区	7 6.0%	2 1.7%	10 8.6%	11 9.5%	74 63.8%	2 1.7%	10 8.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	3 2.9%	1 1.0%	12 11.5%	7 6.7%	70 67.3%	3 2.9%	8 7.7%	104 100.0%
	渋川小学校区	3 4.2%	2 2.8%	4 5.6%	2 2.8%	57 79.2%	3 4.2%	1 1.4%	72 100.0%
	矢倉小学校区	4 3.9%	2 1.9%	6 5.8%	3 2.9%	77 74.8%	5 4.9%	6 5.8%	103 100.0%
	老上小学校区	5 3.3%	1 0.7%	13 8.7%	7 4.7%	115 76.7%	1 0.7%	8 5.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	4 4.0%	6 6.0%	9 9.0%	7 7.0%	64 64.0%	5 5.0%	5 5.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	5 7.4%	2 2.9%	4 5.9%	4 5.9%	42 61.8%	3 4.4%	8 11.8%	68 100.0%
	山田小学校区	2 2.4%	2 2.4%	4 4.8%	7 8.4%	60 72.3%	3 3.6%	5 6.0%	83 100.0%
	笠縫小学校区	4 3.5%	1 0.9%	9 7.8%	4 3.5%	82 71.3%	6 5.2%	9 7.8%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	4 4.0%	0 0.0%	3 3.0%	7 7.1%	75 75.8%	3 3.0%	7 7.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	1 2.0%	2 4.0%	7 14.0%	1 2.0%	37 74.0%	0 0.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	8 4.9%	4 2.5%	12 7.4%	10 6.2%	97 59.9%	4 2.5%	27 16.7%	162 100.0%
2008年調査		54 5.2%	10 1.0%	68 6.5%	69 6.6%	725 69.7%	29 2.8%	85 8.2%	1,040 100.0%
2003年調査		43 3.5%	18 1.5%	51 4.2%	40 3.3%	972 79.7%	5 0.4%	91 7.5%	1,220 100.0%
1998年調査		72 4.3%	25 1.5%	78 4.7%	77 4.6%	1,277 76.5%	8 0.5%	133 8.0%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、今回も含めて「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も多く、その他の項目についても、回により回答率の多少の変動や差はみられるが、回答傾向の大きな変化はみられない。

地域別にみると、いずれの地域でも「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も多いが、渋川小学校区、老上小学校区、笠縫東小学校区、矢倉小学校区、常盤小学校区、山田小学校区、笠縫小学校区では70%台となっており、他の地域が60%台であるのに比べてやや多い。

性別にみると、男女ともに全体の回答傾向、男女間での大差はみられない。

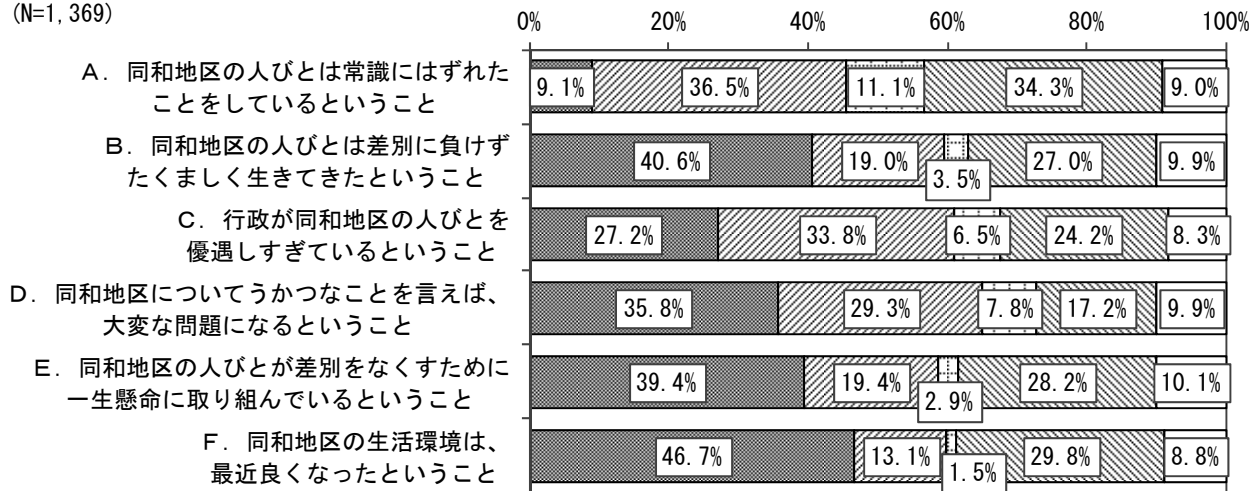
年齢別にみると、いずれの年齢層でも「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も多いが、40歳代～60歳代では70%台と多い。このほか、「生活が貧しかったから」や「宗教が違うとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから」、「人種（民族）が違うから」は20歳代が最も多い。

居住年数別にみると、「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」は「2年未満」が61.0%で最も少なく、2年以上では70%前後と多い。

質問18. あなたは、同和地区に関する次のAからFのようなことを聞いたとき、どのように思いましたか。AからFそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 同和地区に関する事柄に対する意識

(N=1,369)



■その通りだと思った □疑問に思った ▨反発を感じた □聞いたことがない □無回答

同和地区に関する事柄に対する意識をたずねたところ、「その通りだと思った」は「F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ」(46.7%)が最も多く、以下、「B. 同和地区の人びとは差別に負けずたくましく生きてきたということ」(40.6%)、「E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命取り組んでいるということ」(39.4%)、「D. 同和地区についてうかつなことを言えば、大変な問題になるということ」(35.8%)などとなっている。

「疑問に思った」は「A. 同和地区の人びとは常識にはずれたことをしているということ」(36.5%)が最も多く、以下、「C. 行政が同和地区の人びとを優遇しているということ」(33.8%)、「D. 同和地区についてうかつなことを言えば、大変な問題になるということ」(29.3%)などとなっている。

「反発を感じた」は、「A. 同和地区の人びとは常識にはずれたことをしているということ」(11.1%)が最も多い。

「聞いたことがない」は、「A. 同和地区の人びとは常識にはずれたことをしているということ」(34.3%)が最も多く、以下、「F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ」(29.8%)、「E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命取り組んでいるということ」(28.2%)などとなっている。

A. 同和地区の人びとは常識にはずれたことをしているということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「同和地区の人びとは常識にはずれたことをしているということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		124 9.1%	500 36.5%	152 11.1%	470 34.3%	123 9.0%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	14 14.9%	30 31.9%	11 11.7%	29 30.9%	10 10.6%	94 100.0%
	志津南小学校区	3 5.7%	19 35.8%	7 13.2%	17 32.1%	7 13.2%	53 100.0%
	草津小学校区	15 12.9%	36 31.0%	12 10.3%	37 31.9%	16 13.8%	116 100.0%
	草津第二小学校区	7 6.7%	42 40.4%	8 7.7%	41 39.4%	6 5.8%	104 100.0%
	渋川小学校区	7 9.7%	17 23.6%	7 9.7%	37 51.4%	4 5.6%	72 100.0%
	矢倉小学校区	13 12.6%	37 35.9%	8 7.8%	40 38.8%	5 4.9%	103 100.0%
	老上小学校区	7 4.7%	58 38.7%	15 10.0%	63 42.0%	7 4.7%	150 100.0%
	玉川小学校区	4 4.0%	35 35.0%	11 11.0%	42 42.0%	8 8.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	2 2.9%	29 42.6%	7 10.3%	26 38.2%	4 5.9%	68 100.0%
	山田小学校区	5 6.0%	36 43.4%	13 15.7%	15 18.1%	14 16.9%	83 100.0%
	笠縫小学校区	12 10.4%	46 40.0%	15 13.0%	32 27.8%	10 8.7%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	15 15.2%	39 39.4%	13 13.1%	22 22.2%	10 10.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	5 10.0%	22 44.0%	7 14.0%	16 32.0%	0 0.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	15 9.3%	54 33.3%	18 11.1%	53 32.7%	22 13.6%	162 100.0%
2008年調査		141 13.6%	339 32.6%	93 8.9%	357 34.3%	110 10.6%	1,040 100.0%
2003年調査		161 13.2%	347 28.4%	98 8.0%	472 38.7%	142 11.6%	1,220 100.0%
1998年調査		223 13.4%	485 29.0%	98 5.9%	625 37.4%	239 14.3%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は今回が最も少なく、前回に比べて4.5ポイント減少している。他方、「疑問に思った」や「反発を感じた」は毎回増加しており、今回が最も多い。「聞いたことがない」は前回と同率で、大きな変化はみられない。

地域別にみると、渋川小学校区、老上小学校区、玉川小学校区、矢倉小学校区、草津小学校区では「聞いたことがない」が最も多く、他の地域では「疑問に思った」が最も多い。「その通りだと思った」は、笠縫東小学校区、志津小学校区、草津小学校区、矢倉小学校区、笠縫小学校区、常盤小学校区では10%台となっており、他の地域に比べてやや多い。

性別にみると、男女ともに「疑問に思った」が最も多いが、女性が男性に比べて2.9ポイント多い。差の多少はあるが、「その通りだと思った」や「反発を感じた」は男性が女性に比べて多く、「疑問に思った」や「聞いたことがない」は女性が男性に比べて多い。

年齢別にみると、20歳代と60歳代では「聞いたことがない」、他の年齢層では「疑問に思った」がそれぞれ最も多い。

居住年数別にみると、いずれも顕著な傾向ではないが、「反発を感じた」は居住年数が長いほど多く、「聞いたことがない」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

B. 同和地区の人びとは差別に負けずたくましく生きてきたということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「同和地区の人びとは差別に負けずたくましく生きてきたということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		556 40.6%	260 19.0%	48 3.5%	369 27.0%	136 9.9%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	37 39.4%	17 18.1%	5 5.3%	23 24.5%	12 12.8%	94 100.0%
	志津南小学校区	19 35.8%	7 13.2%	1 1.9%	19 35.8%	7 13.2%	53 100.0%
	草津小学校区	42 36.2%	24 20.7%	2 1.7%	36 31.0%	12 10.3%	116 100.0%
	草津第二小学校区	39 37.5%	26 25.0%	3 2.9%	28 26.9%	8 7.7%	104 100.0%
	渋川小学校区	31 43.1%	9 12.5%	1 1.4%	26 36.1%	5 6.9%	72 100.0%
	矢倉小学校区	40 38.8%	21 20.4%	5 4.9%	32 31.1%	5 4.9%	103 100.0%
	老上小学校区	60 40.0%	30 20.0%	6 4.0%	38 25.3%	16 10.7%	150 100.0%
	玉川小学校区	48 48.0%	15 15.0%	3 3.0%	26 26.0%	8 8.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	27 39.7%	11 16.2%	3 4.4%	23 33.8%	4 5.9%	68 100.0%
	山田小学校区	34 41.0%	18 21.7%	3 3.6%	15 18.1%	13 15.7%	83 100.0%
	笠縫小学校区	52 45.2%	19 16.5%	5 4.3%	27 23.5%	12 10.4%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	40 40.4%	21 21.2%	4 4.0%	24 24.2%	10 10.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	31 62.0%	11 22.0%	1 2.0%	6 12.0%	1 2.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	56 34.6%	31 19.1%	6 3.7%	46 28.4%	23 14.2%	162 100.0%
2008年調査		470 45.2%	155 14.9%	22 2.1%	260 25.0%	133 12.8%	1,040 100.0%
2003年調査		507 41.6%	166 13.6%	31 2.5%	335 27.5%	181 14.8%	1,220 100.0%
1998年調査		678 40.6%	205 12.3%	29 1.7%	482 28.9%	276 16.5%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は前回に比べて4.6ポイント減少している。他方、「疑問に思った」や「反発を感じた」、「聞いたことがない」は前回に比べて増加しており、特に「疑問に思った」は4.1ポイント増加している。

地域別にみると、いずれの地域でも「その通りだと思った」が最も多く（志津南小学校区では「聞いたことがない」も同率で最多）、常盤小学校区が62.0%で突出している。渋川小学校区、志津南小学校区、南笠東小学校区、矢倉小学校区、草津小学校区では「聞いたことがない」が30%台となっており、他の地域に比べてやや多い。

性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最も多いが、女性が男性に比べて5.5ポイント多い。このほかは、差の多少はあるが、いずれも男性が女性に比べて多い。

年齢別にみると、20歳代と30歳代では「聞いたことがない」、40歳代以上では「その通りだと思った」がそれぞれ最も多い。「聞いたことがない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、いずれも顕著な傾向ではないが、「その通りだと思った」は居住年数が長いほど多く、「聞いたことがない」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

C. 行政が同和地区の人びとを優遇しすぎているということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「行政が同和地区の人びとを優遇しすぎているということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反感を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		372	463	89	331	114	1,369
		27.2%	33.8%	6.5%	24.2%	8.3%	100.0%
地域	志津小学校区	25	28	5	24	12	94
		26.6%	29.8%	5.3%	25.5%	12.8%	100.0%
	志津南小学校区	13	19	3	14	4	53
		24.5%	35.8%	5.7%	26.4%	7.5%	100.0%
	草津小学校区	32	38	7	26	13	116
		27.6%	32.8%	6.0%	22.4%	11.2%	100.0%
	草津第二小学校区	23	41	7	26	7	104
		22.1%	39.4%	6.7%	25.0%	6.7%	100.0%
	渋川小学校区	14	29	4	20	5	72
		19.4%	40.3%	5.6%	27.8%	6.9%	100.0%
	矢倉小学校区	27	37	5	31	3	103
		26.2%	35.9%	4.9%	30.1%	2.9%	100.0%
	老上小学校区	45	55	8	31	11	150
		30.0%	36.7%	5.3%	20.7%	7.3%	100.0%
	玉川小学校区	20	27	5	43	5	100
		20.0%	27.0%	5.0%	43.0%	5.0%	100.0%
	南笠東小学校区	15	24	5	19	5	68
		22.1%	35.3%	7.4%	27.9%	7.4%	100.0%
	山田小学校区	28	22	6	15	12	83
		33.7%	26.5%	7.2%	18.1%	14.5%	100.0%
	笠縫小学校区	38	41	10	20	6	115
		33.0%	35.7%	8.7%	17.4%	5.2%	100.0%
	笠縫東小学校区	37	29	8	14	11	99
		37.4%	29.3%	8.1%	14.1%	11.1%	100.0%
	常盤小学校区	15	18	6	10	1	50
		30.0%	36.0%	12.0%	20.0%	2.0%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	40	55	10	38	19	162
		24.7%	34.0%	6.2%	23.5%	11.7%	100.0%
2008年調査		369	324	63	190	94	1,040
		35.5%	31.2%	6.1%	18.3%	9.0%	100.0%
2003年調査		377	367	74	268	134	1,220
		30.9%	30.1%	6.1%	22.0%	11.0%	100.0%
1998年調査		551	413	112	381	213	1,670
		33.0%	24.7%	6.7%	22.8%	12.8%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は前回に比べて8.3ポイント減少している。他方、「疑問に思った」は毎回増加しており、今回が最も多い。「反感を感じた」はほぼ横ばいで推移しており、「聞いたことがない」は前回に比べて5.9ポイント増加している。

地域別にみると、玉川小学校区では「聞いたことがない」、笠縫東小学校区と山田小学校区では「その通りだと思った」、他の地域では「疑問に思った」がそれぞれ最も多い。

性別にみると、男女ともに「疑問に思った」が最も多いが、女性が男性に比べて3.8ポイント多い。「その通りだと思った」は、男性が女性に比べて5.6ポイント多く、「聞いたことがない」は、女性が男性に比べて2.9ポイント多い。

年齢別にみると、20歳代と30歳代では「聞いたことがない」、40歳代～60歳代では「疑問に思った」、70歳以上では「その通りだと思った」がそれぞれ最も多い。「その通りだと思った」は年齢層が高いほど多く、「聞いたことがない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、「2年未満」では「聞いたことがない」が最も多く、2年以上では「疑問に思った」が最も多い。顕著な傾向ではないが、「聞いたことがない」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

D. 同和地区についてうかつなことを言えば、大変な問題になるということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「同和地区についてうかつなことを言えば、大変な問題になるということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		490	401	107	235	136	1,369
		35.8%	29.3%	7.8%	17.2%	9.9%	100.0%
地域	志津小学校区	35	25	5	16	13	94
		37.2%	26.6%	5.3%	17.0%	13.8%	100.0%
	志津南小学校区	12	16	4	13	8	53
		22.6%	30.2%	7.5%	24.5%	15.1%	100.0%
	草津小学校区	41	30	10	19	16	116
		35.3%	25.9%	8.6%	16.4%	13.8%	100.0%
	草津第二小学校区	41	30	14	12	7	104
		39.4%	28.8%	13.5%	11.5%	6.7%	100.0%
	渋川小学校区	28	22	2	14	6	72
		38.9%	30.6%	2.8%	19.4%	8.3%	100.0%
	矢倉小学校区	42	26	9	21	5	103
		40.8%	25.2%	8.7%	20.4%	4.9%	100.0%
	老上小学校区	60	45	12	21	12	150
		40.0%	30.0%	8.0%	14.0%	8.0%	100.0%
	玉川小学校区	27	29	8	29	7	100
		27.0%	29.0%	8.0%	29.0%	7.0%	100.0%
	南笠東小学校区	20	26	4	13	5	68
		29.4%	38.2%	5.9%	19.1%	7.4%	100.0%
	山田小学校区	31	23	9	6	14	83
		37.3%	27.7%	10.8%	7.2%	16.9%	100.0%
	笠縫小学校区	40	41	7	19	8	115
		34.8%	35.7%	6.1%	16.5%	7.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	34	33	10	12	10	99
		34.3%	33.3%	10.1%	12.1%	10.1%	100.0%
	常盤小学校区	15	22	4	9	0	50
		30.0%	44.0%	8.0%	18.0%	0.0%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	64	33	9	31	25	162
		39.5%	20.4%	5.6%	19.1%	15.4%	100.0%
2008年調査		409	270	90	160	111	1,040
		39.3%	26.0%	8.7%	15.4%	10.7%	100.0%
2003年調査		444	318	89	219	150	1,220
		36.4%	26.1%	7.3%	18.0%	12.3%	100.0%
1998年調査		676	376	114	278	226	1,670
		40.5%	22.5%	6.8%	16.6%	13.5%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は前回に比べて3.5ポイント減少し、逆に、「疑問に思った」は3.3ポイント増加している。「反発を感じた」は、2003年調査以降はほぼ横ばいで推移している。

地域別にみると、玉川小学校区では「聞いたことがない」、常盤小学校区、南笠東小学校区、笠縫小学校区、志津南小学校区、玉川小学校区では「疑問に思った」（玉川小学校区では本項目も同率）、矢倉小学校区、老上小学校区、草津第二小学校区、渋川小学校区、山田小学校区、笠縫東小学校区では「その通りだと思った」がそれぞれ最も多い。

性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最も多いが、1.8ポイント差で大差はない。「反発を感じた」も男性が女性に比べて2.5ポイント多く、「疑問に思った」は、女性が男性に比べて2.6ポイント多い。

また、年齢別にみると、50歳代では「疑問に思った」が最も多く、他の年齢層では「その通りだと思った」が最も多い。顕著な傾向ではないが、「聞いたことがない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

さらに、居住年数別にみると、居住年数に関係なく「その通りだと思った」が最も多く、「5年以上10年未満」が47.2%で最も多い。

E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命に取り組んでいるということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識

「同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命に取り組んでいるということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計	
全体		539 39.4%	266 19.4%	40 2.9%	386 28.2%	138 10.1%	1,369 100.0%	
地域	志 津 小 学 校 区	36 38.3%	14 14.9%	5 5.3%	28 29.8%	11 11.7%	94 100.0%	
	志 津 南 小 学 校 区	17 32.1%	11 20.8%	3 5.7%	15 28.3%	7 13.2%	53 100.0%	
	草 津 小 学 校 区	44 37.9%	20 17.2%	3 2.6%	36 31.0%	13 11.2%	116 100.0%	
	草津第二小学校区	39 37.5%	27 26.0%	2 1.9%	28 26.9%	8 7.7%	104 100.0%	
	渋 川 小 学 校 区	27 37.5%	12 16.7%	0 0.0%	27 37.5%	6 8.3%	72 100.0%	
	矢 倉 小 学 校 区	40 38.8%	22 21.4%	1 1.0%	36 35.0%	4 3.9%	103 100.0%	
	老 上 小 学 校 区	76 50.7%	29 19.3%	5 3.3%	29 19.3%	11 7.3%	150 100.0%	
	玉 川 小 学 校 区	46 46.0%	11 11.0%	4 4.0%	30 30.0%	9 9.0%	100 100.0%	
	南笠東小学校区	21 30.9%	15 22.1%	1 1.5%	25 36.8%	6 8.8%	68 100.0%	
	山 田 小 学 校 区	33 39.8%	21 25.3%	2 2.4%	13 15.7%	14 16.9%	83 100.0%	
	笠 縫 小 学 校 区	45 39.1%	25 21.7%	2 1.7%	33 28.7%	10 8.7%	115 100.0%	
	笠縫東小学校区	39 39.4%	17 17.2%	5 5.1%	25 25.3%	13 13.1%	99 100.0%	
	常 盤 小 学 校 区	32 64.0%	11 22.0%	1 2.0%	6 12.0%	0 0.0%	50 100.0%	
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	44 27.2%	31 19.1%	6 3.7%	55 34.0%	26 16.0%	162 100.0%	
	2008年調査		496 47.7%	145 13.9%	25 2.4%	250 24.0%	124 11.9%	1,040 100.0%
	2003年調査		546 44.8%	188 15.4%	20 1.6%	305 25.0%	161 13.2%	1,220 100.0%
	1998年調査		707 42.3%	259 15.5%	19 1.1%	424 25.4%	261 15.6%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は毎回増加してきたが、今回は前回に比べて7.3ポイント減少している。他方、「反発を感じた」は毎回増加しており、今回が最も多い。「疑問に思った」は前回に比べて5.5ポイント、「聞いたことがない」は前回に比べて4.2ポイントそれぞれ増加している。

地域別にみると、渋川小学校区と南笠東小学校区では「聞いたことがない」が最も多く、他の地域では「その通りだと思った」が最も多い（渋川小学校区では本項目も同率で最多）。「その通りだと思った」は、常盤小学校区と老上小学校区では半数以上を占め、他の地域に比べて多い。

これを性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最も多いが、女性が男性に比べて7.8ポイント多い。逆に、「疑問に思った」や「反発を感じた」は、男性が女性に比べて多い。

また、年齢別にみると、20歳代と30歳代では「聞いたことがない」、40歳代以上では「その通りだと思った」がそれぞれ最も多い。顕著な傾向ではないが、「聞いたことがない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

さらに、居住年数別にみると、5年未満では「聞いたことがない」が最も多く、居住年数が短いほど多い傾向がみられる。5年以上では「その通りだと思った」が最も多い。

F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「同和地区の生活環境は、最近良くなったということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		640	179	21	408	121	1,369
		46.7%	13.1%	1.5%	29.8%	8.8%	100.0%
地域	志津小学校区	41	12	2	30	9	94
		43.6%	12.8%	2.1%	31.9%	9.6%	100.0%
	志津南小学校区	15	9	2	19	8	53
		28.3%	17.0%	3.8%	35.8%	15.1%	100.0%
	草津小学校区	61	9	2	33	11	116
		52.6%	7.8%	1.7%	28.4%	9.5%	100.0%
	草津第二小学校区	47	21	1	30	5	104
		45.2%	20.2%	1.0%	28.8%	4.8%	100.0%
	渋川小学校区	26	8	1	30	7	72
		36.1%	11.1%	1.4%	41.7%	9.7%	100.0%
	矢倉小学校区	42	17	4	35	5	103
		40.8%	16.5%	3.9%	34.0%	4.9%	100.0%
	老上小学校区	81	17	2	38	12	150
		54.0%	11.3%	1.3%	25.3%	8.0%	100.0%
	玉川小学校区	40	16	1	38	5	100
		40.0%	16.0%	1.0%	38.0%	5.0%	100.0%
	南笠東小学校区	29	8	0	26	5	68
		42.6%	11.8%	0.0%	38.2%	7.4%	100.0%
	山田小学校区	47	7	0	17	12	83
		56.6%	8.4%	0.0%	20.5%	14.5%	100.0%
	笠縫小学校区	67	15	0	24	9	115
		58.3%	13.0%	0.0%	20.9%	7.8%	100.0%
	笠縫東小学校区	47	16	2	24	10	99
		47.5%	16.2%	2.0%	24.2%	10.1%	100.0%
	常盤小学校区	30	8	2	10	0	50
		60.0%	16.0%	4.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	67	16	2	54	23	162
		41.4%	9.9%	1.2%	33.3%	14.2%	100.0%
2008年調査		589	91	13	234	113	1,040
		56.6%	8.8%	1.3%	22.5%	10.9%	100.0%
2003年調査		665	119	12	287	137	1,220
		54.5%	9.8%	1.0%	23.5%	11.2%	100.0%
1998年調査		925	115	14	394	222	1,670
		55.4%	6.9%	0.8%	23.6%	13.3%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」はほぼ横ばいで推移してきたが、今回は前回に比べて9.9ポイント減少している。他方、「疑問に思った」は毎回増加しており、今回が最も多い。「反発を感じた」はほぼ横ばいで推移している。「聞いたことがない」はほぼ横ばいで推移してきたが、今回は前回に比べて7.3ポイント増加している。

地域別にみると、渋川小学校区と志津南小学校区では「聞いたことがない」が最も多く、他の地域では「その通りだと思った」が最も多い。「その通りだと思った」は、常盤小学校区、笠縫小学校区、山田小学校区、老上小学校区、草津小学校区では半数以上を占め、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最も多く、男女間での大差もみられない。このほかの項目も男女とも同様の回答傾向で、大差はみられない。

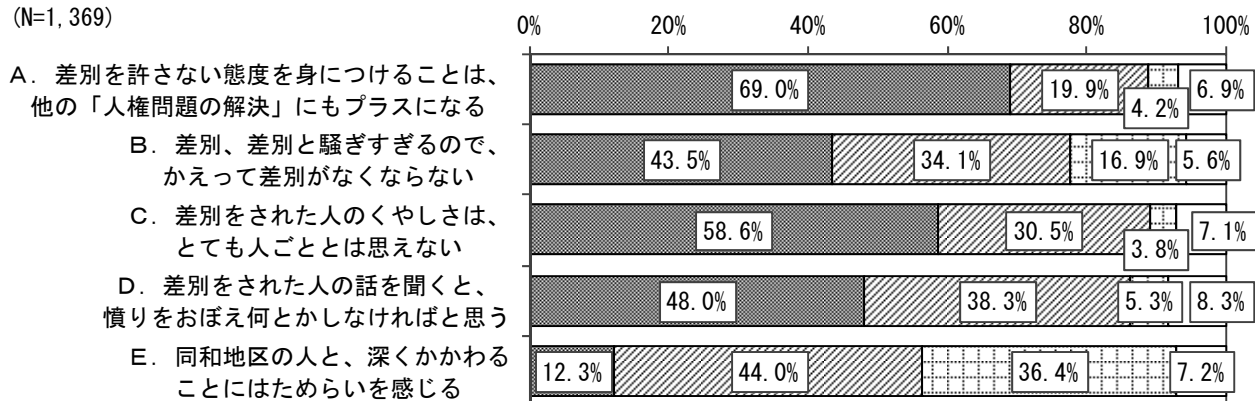
年齢別にみると、20歳代と30歳代では「聞いたことがない」、40歳代以上では「その通りだと思った」がそれぞれ最も多い。「その通りだと思った」は年齢層が高いほど多く、「聞いたことがない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、10年未満では「聞いたことがない」が最も多く、居住年数が短いほど多い傾向がみられる。10年以上では「その通りだと思った」が最も多い。

質問19. あなたは、同和問題に関する次のAからEのような意見について、どのように思いますか。AからEそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 同和問題に関する事柄に対する意識

(N=1,369)



■「そう思う」 □「どちらとも言えない」 □「そう思わない」 □「無回答」

同和問題に関する事柄に対する意識をたずねたところ、「そう思う」は「A. 差別を許さない態度を身につけることは、他の『人権問題の解決』にもプラスになる」(69.0%) が最も多く、以下、「C. 差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない」(58.6%)、「D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う」(48.0%) などとなっている。

「どちらとも言えない」は「E. 同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる」(44.0%) が最も多く、以下、「D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う」(38.3%)、「B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる」(34.1%) などとなっている。

「そう思わない」は「E. 同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる」(36.4%) が最も多く、次いで「B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる」(16.9%) となっている。

なお、同和問題に関する事柄に対する意識の度合いをより明確にするため、A・C・Dの同和問題の解決にとってプラスになると考えられる意見については、「そう思う」に3点、「どちらとも言えない」に2点、「そう思わない」に1点と配点し、BとEの同和問題の解決にとってマイナスになると考えられる意見については、「そう思わない」に3点、「どちらとも言えない」に2点、「そう思う」に1点を配点し、それぞれ「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。

A. 差別を許さない態度を身につけることは、他の「人権問題の解決」にもプラスになる

図表 同和問題に関する事柄に対する意識

「差別を許さない態度を身につけることは、他の『人権問題の解決』にもプラスになる」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均（点）	
全体		944 69.0%	273 19.9%	58 4.2%	94 6.9%	1,369 100.0%	2.69	
地域	志津小学校区	61 64.9%	24 25.5%	3 3.2%	6 6.4%	94 100.0%	2.66	
	志津南小学校区	32 60.4%	16 30.2%	3 5.7%	2 3.8%	53 100.0%	2.57	
	草津小学校区	84 72.4%	18 15.5%	5 4.3%	9 7.8%	116 100.0%	2.74	
	草津第二小学校区	82 78.8%	15 14.4%	3 2.9%	4 3.8%	104 100.0%	2.79	
	渋川小学校区	51 70.8%	16 22.2%	2 2.8%	3 4.2%	72 100.0%	2.71	
	矢倉小学校区	75 72.8%	18 17.5%	6 5.8%	4 3.9%	103 100.0%	2.70	
	老上小学校区	102 68.0%	28 18.7%	9 6.0%	11 7.3%	150 100.0%	2.67	
	玉川小学校区	67 67.0%	17 17.0%	7 7.0%	9 9.0%	100 100.0%	2.66	
	南笠東小学校区	50 73.5%	11 16.2%	3 4.4%	4 5.9%	68 100.0%	2.73	
	山田小学校区	62 74.7%	11 13.3%	2 2.4%	8 9.6%	83 100.0%	2.80	
	笠縫小学校区	76 66.1%	28 24.3%	6 5.2%	5 4.3%	115 100.0%	2.64	
	笠縫東小学校区	65 65.7%	23 23.2%	2 2.0%	9 9.1%	99 100.0%	2.70	
	常盤小学校区	39 78.0%	10 20.0%	1 2.0%	0 0.0%	50 100.0%	2.76	
	無回答・ 小学校区不明	98 60.5%	38 23.5%	6 3.7%	20 12.3%	162 100.0%	2.65	
	2008年調査		657 63.2%	223 21.4%	59 5.7%	101 9.7%	1,040 100.0%	2.64
	2003年調査		715 58.6%	267 21.9%	99 8.1%	139 11.4%	1,220 100.0%	2.57
	1998年調査		996 59.6%	356 21.3%	119 7.1%	199 11.9%	1,670 100.0%	2.60

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」は今回が最も多く、逆に、「そう思わない」は今回が最も少ない。平均スコアは2.69点で今回が最も高く、本意見に賛同する意識が強まっている。

地域別にみると、平均スコアは山田小学校区が2.80点で最も高く、草津第二小学校区、常盤小学校区、草津小学校区、南笠東小学校区、渋川小学校区、矢倉小学校区、笠縫東小学校区も2.7点台と高く、地域に関係なく本意見に賛同する意識が強い。

性別にみると、平均スコアは、女性が2.72点、男性が2.66点で、本意見に賛同する意識は女性が強い。

年齢別にみると、平均スコアは、50歳代と70歳代では2.7点台となっており、他の年齢層が2.6点台であるのに比べてやや高い。また、顕著な傾向ではないが、年齢層が高いほど平均スコアが高い傾向がみられ、高齢層ほど本意見に賛同する意識が強い。

居住年数別にみると、平均スコアは、2年以上20年未満では2.7点台となっており、他の居住年数が2.6点台であるのに比べてやや高く、本意見に賛同する意識が強い。

B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均（点）
全体		595	467	231	76	1,369	1.72
		43.5%	34.1%	16.9%	5.6%	100.0%	
地域	志津小学校区	43	26	16	9	94	1.68
		45.7%	27.7%	17.0%	9.6%	100.0%	
	志津南小学校区	22	24	4	3	53	1.64
		41.5%	45.3%	7.5%	5.7%	100.0%	
	草津小学校区	44	43	18	11	116	1.75
		37.9%	37.1%	15.5%	9.5%	100.0%	
	草津第二小学校区	44	40	19	1	104	1.76
		42.3%	38.5%	18.3%	1.0%	100.0%	
	渋川小学校区	34	22	13	3	72	1.70
		47.2%	30.6%	18.1%	4.2%	100.0%	
	矢倉小学校区	41	39	20	3	103	1.79
		39.8%	37.9%	19.4%	2.9%	100.0%	
	老上小学校区	64	50	29	7	150	1.76
		42.7%	33.3%	19.3%	4.7%	100.0%	
	玉川小学校区	39	37	20	4	100	1.80
		39.0%	37.0%	20.0%	4.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	33	20	12	3	68	1.68
		48.5%	29.4%	17.6%	4.4%	100.0%	
	山田小学校区	35	31	13	4	83	1.72
		42.2%	37.3%	15.7%	4.8%	100.0%	
笠縫小学校区	60	32	19	4	115	1.63	
	52.2%	27.8%	16.5%	3.5%	100.0%		
笠縫東小学校区	50	25	17	7	99	1.64	
	50.5%	25.3%	17.2%	7.1%	100.0%		
常盤小学校区	14	24	11	1	50	1.94	
	28.0%	48.0%	22.0%	2.0%	100.0%		
無回答・ 小学校区不明	72	54	20	16	162	2.36	
	44.4%	33.3%	12.3%	9.9%	100.0%		
2008年調査		534	277	185	44	1,040	1.65
		51.3%	26.6%	17.8%	4.2%	100.0%	
2003年調査		738	248	155	79	1,220	1.49
		60.5%	20.3%	12.7%	6.5%	100.0%	
1998年調査		1,011	327	203	129	1,670	1.48
		60.5%	19.6%	12.2%	7.7%	100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」は今回が最も少なく、逆に、「どちらとも言えない」は今回が最も多い。平均スコアは毎回上昇して今回が最も高く、本意見に賛同する意識は弱まっている。

地域別にみると、平均スコアは常盤小学校区が1.94点で最も高く、本意見に賛同する意識が最も弱い。逆に、笠縫小学校区、志津南小学校区、笠縫東小学校区は1.63点～1.64点で特に低く、本意見に賛同する意識が特に強いが、いずれの地域でも2.00点に近い平均スコアであり、全体としては「そう思う」よりも「どちらとも言えない」に近い意識にあるとみられる。

性別にみると、平均スコアは、女性が1.73点、男性が1.72点で、男女間での意識の差はほぼない。

年齢別にみると、平均スコアは、50歳代にかけては年齢層が高いほど高い傾向がみられるが、60歳代以上では年齢層が高いほど低い傾向がみられ、より低年齢層とより高齢層で本意見に賛同する意識がより強い。

居住年数別にみると、平均スコアは、2年以上10年未満では1.6点台となっており、他の居住年数が1.7点台以上であるのに比べてやや低く、本意見に賛同する意識がより強い。

C. 差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均（点）
全体		802	418	52	97	1,369	2.59
		58.6%	30.5%	3.8%	7.1%	100.0%	
地域	志津小学校区	58	23	4	9	94	2.64
		61.7%	24.5%	4.3%	9.6%	100.0%	
	志津南小学校区	31	16	3	3	53	2.56
		58.5%	30.2%	5.7%	5.7%	100.0%	
	草津小学校区	72	31	4	9	116	2.64
		62.1%	26.7%	3.4%	7.8%	100.0%	
	草津第二小学校区	60	37	2	5	104	2.59
		57.7%	35.6%	1.9%	4.8%	100.0%	
	渋川小学校区	43	24	2	3	72	2.59
		59.7%	33.3%	2.8%	4.2%	100.0%	
	矢倉小学校区	64	28	7	4	103	2.58
		62.1%	27.2%	6.8%	3.9%	100.0%	
	老上小学校区	81	58	4	7	150	2.54
		54.0%	38.7%	2.7%	4.7%	100.0%	
	玉川小学校区	54	36	3	7	100	2.55
		54.0%	36.0%	3.0%	7.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	42	21	1	4	68	2.64
		61.8%	30.9%	1.5%	5.9%	100.0%	
	山田小学校区	56	14	4	9	83	2.70
		67.5%	16.9%	4.8%	10.8%	100.0%	
笠縫小学校区	68	33	8	6	115	2.55	
	59.1%	28.7%	7.0%	5.2%	100.0%		
笠縫東小学校区	60	26	3	10	99	2.64	
	60.6%	26.3%	3.0%	10.1%	100.0%		
常盤小学校区	34	14	1	1	50	2.67	
	68.0%	28.0%	2.0%	2.0%	100.0%		
無回答・ 小学校区不明	79	57	6	20	162	2.51	
	48.8%	35.2%	3.7%	12.3%	100.0%		
2008年調査		608	281	52	99	1,040	2.59
		58.5%	27.0%	5.0%	9.5%	100.0%	
2003年調査		671	332	65	152	1,220	2.57
		55.0%	27.2%	5.3%	12.5%	100.0%	
1998年調査		918	448	76	228	1,670	2.58
		55.0%	26.8%	4.6%	13.7%	100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」は今回が最も多く、逆に、「そう思わない」は今回が最も少ない。平均スコアは2.59点で、過去3回の調査からほぼ横ばいで推移している。

地域別にみると、平均スコアは山田小学校区が2.70点で最も高く、本意見に賛同する意識が最も強い。逆に、老上小学校区は2.54点で特に低く、本意見に賛同する意識が最も弱く、「どちらとも言えない」に近い意識にあるとみられる。

これを性別にみると、平均スコアは、男性が2.60点、女性が2.58点で、男女間での意識の大差はみられない。

また、年齢別にみると、平均スコアは、年齢層が高いほど高い傾向がみられ、高齢層ほど本意見に賛同する意識が強い傾向がみられる。

さらに、居住年数別にみると、平均スコアは、2年以上10年未満では2.50点未満で、本意見に賛同する意識がより弱い。逆に、10年以上では2.6点台と本意見に賛同する意識がより強い。

D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均（点）
全体		657	525	73	114	1,369	2.47
		48.0%	38.3%	5.3%	8.3%	100.0%	
地域	志津小学校区	41	38	6	9	94	2.41
		43.6%	40.4%	6.4%	9.6%	100.0%	
	志津南小学校区	27	19	4	3	53	2.46
		50.9%	35.8%	7.5%	5.7%	100.0%	
	草津小学校区	57	45	5	9	116	2.49
		49.1%	38.8%	4.3%	7.8%	100.0%	
	草津第二小学校区	57	36	4	7	104	2.55
		54.8%	34.6%	3.8%	6.7%	100.0%	
	渋川小学校区	38	26	3	5	72	2.52
		52.8%	36.1%	4.2%	6.9%	100.0%	
	矢倉小学校区	44	47	8	4	103	2.36
		42.7%	45.6%	7.8%	3.9%	100.0%	
	老上小学校区	67	61	9	13	150	2.42
		44.7%	40.7%	6.0%	8.7%	100.0%	
	玉川小学校区	49	40	2	9	100	2.52
		49.0%	40.0%	2.0%	9.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	33	25	6	4	68	2.42
		48.5%	36.8%	8.8%	5.9%	100.0%	
	山田小学校区	35	31	7	10	83	2.38
		42.2%	37.3%	8.4%	12.0%	100.0%	
笠縫小学校区	62	39	6	8	115	2.52	
	53.9%	33.9%	5.2%	7.0%	100.0%		
笠縫東小学校区	50	33	6	10	99	2.49	
	50.5%	33.3%	6.1%	10.1%	100.0%		
常盤小学校区	32	17	0	1	50	2.65	
	64.0%	34.0%	0.0%	2.0%	100.0%		
無回答・ 小学校区不明	65	68	7	22	162	2.41	
	40.1%	42.0%	4.3%	13.6%	100.0%		
2008年調査		533	327	48	132	1,040	2.53
		51.3%	31.4%	4.6%	12.7%	100.0%	
2003年調査		549	417	81	173	1,670	2.45
		45.0%	34.2%	6.6%	14.2%	100.0%	
1998年調査		700	609	95	266	1,670	2.43
		41.9%	36.5%	5.7%	15.9%	100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」は58.6%で、前回に比べて3.3ポイント減少している。逆に、「どちらとも言えない」は今回が最も多い。平均スコアは2.47点で、前回調査に比べて本意見に賛同する意識がやや弱まっている。

地域別にみると、平均スコアは常盤小学校区が2.65点で最も高く、草津第二小学校区、渋川小学校区、玉川小学校区、笠縫小学校区も2.5点台で、本意見に賛同する意識がより強い。逆に、矢倉小学校区と山田小学校区は2.3点台で特に低く、本意見に賛同する意識がより弱い。

性別にみると、平均スコアは、女性が2.49点、男性が2.44点で、本意見に賛同する意識は女性がわずかに強い。

年齢別にみると、平均スコアは、年齢層が高いほど高い傾向がみられ、高齢層ほど本意見に賛同する意識が強い傾向がみられる。

居住年数別にみると、平均スコアは、20年未満では居住年数が長いほど高い傾向がみられるが、10年以上20年未満では2.6点台と本意見に賛同する意識がより強い。

E. 同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均（点）
全体		169	602	499	99	1,369	2.26
		12.3%	44.0%	36.4%	7.2%	100.0%	
地域	志津小学校区	16	43	27	8	94	2.13
		17.0%	45.7%	28.7%	8.5%	100.0%	
	志津南小学校区	8	21	21	3	53	2.26
		15.1%	39.6%	39.6%	5.7%	100.0%	
	草津小学校区	12	44	51	9	116	2.36
		10.3%	37.9%	44.0%	7.8%	100.0%	
	草津第二小学校区	11	54	33	6	104	2.22
		10.6%	51.9%	31.7%	5.8%	100.0%	
	渋川小学校区	12	34	22	4	72	2.15
		16.7%	47.2%	30.6%	5.6%	100.0%	
	矢倉小学校区	15	45	39	4	103	2.24
		14.6%	43.7%	37.9%	3.9%	100.0%	
	老上小学校区	18	56	68	8	150	2.35
		12.0%	37.3%	45.3%	5.3%	100.0%	
	玉川小学校区	7	48	35	10	100	2.31
		7.0%	48.0%	35.0%	10.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	8	31	25	4	68	2.27
		11.8%	45.6%	36.8%	5.9%	100.0%	
	山田小学校区	11	30	34	8	83	2.31
		13.3%	36.1%	41.0%	9.6%	100.0%	
笠縫小学校区	16	55	38	6	115	2.20	
	13.9%	47.8%	33.0%	5.2%	100.0%		
笠縫東小学校区	9	56	26	8	99	2.19	
	9.1%	56.6%	26.3%	8.1%	100.0%		
常盤小学校区	3	17	29	1	50	2.53	
	6.0%	34.0%	58.0%	2.0%	100.0%		
無回答・ 小学校区不明	23	68	51	20	162	1.80	
	14.2%	42.0%	31.5%	12.3%	100.0%		
2008年調査		96	368	474	102	1,040	2.40
		9.2%	35.4%	45.6%	9.8%	100.0%	
2003年調査		109	447	531	133	1,220	2.39
		8.9%	36.6%	43.5%	10.9%	100.0%	
1998年調査		192	594	687	197	1,670	2.34
		11.5%	35.6%	41.1%	11.8%	100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「そう思わない」は36.4%で、前回に比べて9.1ポイント減少している。逆に、「どちらとも言えない」と「そう思う」は今回が最も多い。平均スコアは2.26点で今回が最も低く、本意見に賛同しない意識がやや弱まり、「どちらとも言えない」という意識にかなり近づいている。

地域別にみると、平均スコアは常盤小学校区が2.53点で最も高く、本意見に賛同しない意識が最も強い。逆に、志津小学校区、渋川小学校区、笠縫東小学校区は2.1点台で特に低く、本意見に賛同する意識がより強い。

性別にみると、平均スコアは、男性が2.31点、女性が2.21点で、本意見に賛同しない意識は男性が女性に比べてやや強い。

年齢別にみると、平均スコアは、30歳代が2.19点で最も低く、本意見に賛同する意識が最も強いが、年齢層の高低による意識の高低の顕著な傾向はみられない。

居住年数別にみると、平均スコアは、2年未満が2.19点で最も低く、本意見に賛同する意識が最も強い。

【同和問題についての態度スコア】

図表 同和問題についての態度スコア

		15～14点	13～12点	11～9点	8～7点	6～5点	合計	平均（点）
全体		264 19.3%	448 32.7%	589 43.0%	56 4.1%	12 0.9%	1,369 100.0%	11.60
地域	志津小学校区	19 20.2%	20 21.3%	50 53.2%	4 4.3%	1 1.1%	94 100.0%	11.39
	志津南小学校区	9 17.0%	19 35.8%	20 37.7%	4 7.5%	1 1.9%	53 100.0%	11.42
	草津小学校区	26 22.4%	39 33.6%	47 40.5%	3 2.6%	1 0.9%	116 100.0%	11.83
	草津第二小学校区	22 21.2%	36 34.6%	42 40.4%	4 3.8%	0 0.0%	104 100.0%	11.80
	渋川小学校区	14 19.4%	28 38.9%	27 37.5%	2 2.8%	1 1.4%	72 100.0%	11.58
	矢倉小学校区	21 20.4%	35 34.0%	41 39.8%	3 2.9%	3 2.9%	103 100.0%	11.60
	老上小学校区	31 20.7%	49 32.7%	64 42.7%	4 2.7%	2 1.3%	150 100.0%	11.62
	玉川小学校区	22 22.0%	32 32.0%	43 43.0%	3 3.0%	0 0.0%	100 100.0%	11.67
	南笠東小学校区	8 11.8%	31 45.6%	24 35.3%	5 7.4%	0 0.0%	68 100.0%	11.63
	山田小学校区	12 14.5%	33 39.8%	34 41.0%	4 4.8%	0 0.0%	83 100.0%	11.70
	笠縫小学校区	16 13.9%	38 33.0%	55 47.8%	5 4.3%	1 0.9%	115 100.0%	11.45
	笠縫東小学校区	17 17.2%	33 33.3%	43 43.4%	5 5.1%	1 1.0%	99 100.0%	11.49
	常盤小学校区	20 40.0%	15 30.0%	14 28.0%	1 2.0%	0 0.0%	50 100.0%	12.52
	無回答・ 小学校区不明	27 16.7%	40 24.7%	85 52.5%	9 5.6%	1 0.6%	162 100.0%	11.23
2008年調査		219 21.1%	315 30.3%	438 42.1%	60 5.8%	8 0.8%	1,040 100.0%	11.60
2003年調査		162 13.3%	374 30.7%	592 48.5%	85 7.0%	7 0.6%	1,220 100.0%	11.25
1998年調査		230 13.8%	489 29.3%	837 50.1%	97 5.8%	17 1.0%	1,670 100.0%	11.20

A～Eの同和問題に対する態度の全体的な傾向を把握するため、A～E 5項目の各選択肢に付与した配点（3～1点）の合計を算出した（ただし、「無回答」には2点を付与した）。このスコアは、最高15点から最低5点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど同和問題の解決にとってプラスになると考えられる意見に賛同する度合いと、マイナスになると考えられる意見に賛同しない度合いがそれぞれ強いことを示し、スコアが低いほど、それぞれこの逆の傾向を示すため、「同和問題についての態度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「11～9点」が43.0%で最も多く、次いで「13～12点」が32.7%と続いており、これらで75.7%を占めている。態度スコアの平均は11.60点で、全体としては、どちらとも言えないという意識に近い傾向がうかがえる。過去3回の調査と比較すると、態度スコアの平均は毎回上昇し、今回は前回と同点となっており、同和問題の解決にとってプラスになる意見に賛同する度合い、マイナスになる意見に賛同しない度合いは徐々に強まる傾向がうかがえる。

地域別にみると、態度スコアの平均は常盤小学校区が12.52点で最も高く、逆に、志津小学校区（11.39）や志津南小学校区（11.42）が特に低い。

性別にみると、態度スコアの平均は、女性（11.62点）が男性（11.58点）に比べて高い。

年齢別にみると、態度スコアの平均は、50歳代が12.00点で最も高く、40歳代以上では11.50点以上と比較的高いものに対し、20歳代と30歳代では11.20点台と特に低い。

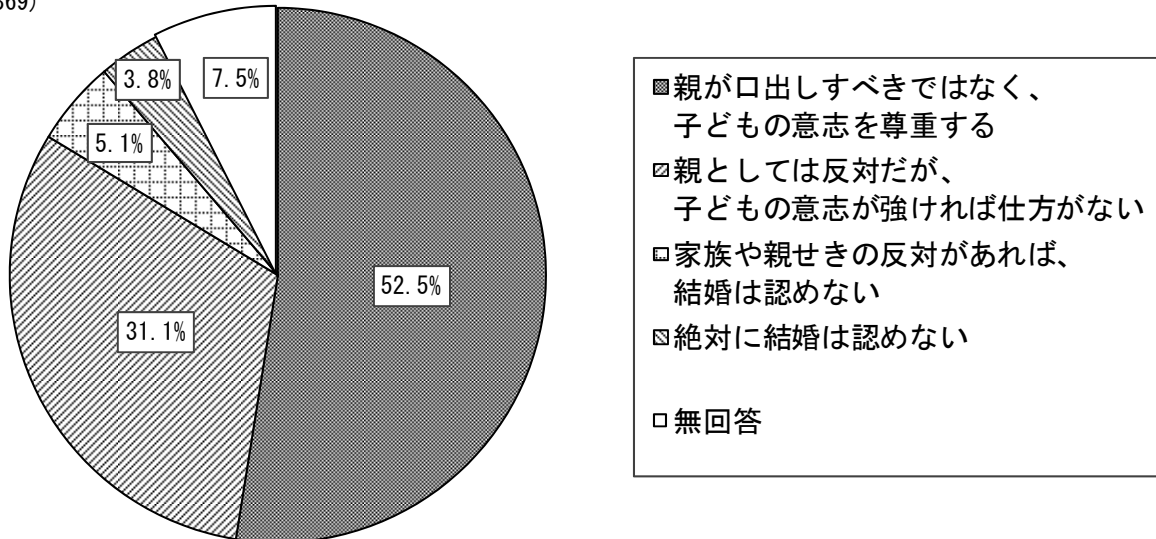
居住年数別にみると、2年未満が11.38点で最も低く、10年以上の居住年数に比べると、10年未満ではやや低い傾向がみられる。

質問20. 同和地区の人との結婚についてお聞きます。次のAからBのことについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

A. あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合、あなたはどのような。

図表 自分のお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合にとる態度

(N=1,369)



自分のお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合にとる態度をたずねたところ、「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」が52.5%で最も多く、次いで「親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない」が31.1%となっており、これらを合わせた「結婚を認める」は83.6%となっている。他方、「家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない」(5.1%)と「絶対に結婚は認めない」(3.8%)を合わせた「結婚を認めない」は8.9%となっている。

図表 自分子どもが結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合にとる態度

		親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する	親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない	家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない	絶対に結婚は認めない	無回答	合計	
全体		719 52.5%	426 31.1%	70 5.1%	52 3.8%	102 7.5%	1,369 100.0%	
地域	志津小学校区	45 47.9%	31 33.0%	3 3.2%	6 6.4%	9 9.6%	94 100.0%	
	志津南小学校区	27 50.9%	19 35.8%	2 3.8%	3 5.7%	2 3.8%	53 100.0%	
	草津小学校区	61 52.6%	36 31.0%	6 5.2%	5 4.3%	8 6.9%	116 100.0%	
	草津第二小学校区	57 54.8%	30 28.8%	7 6.7%	1 1.0%	9 8.7%	104 100.0%	
	渋川小学校区	35 48.6%	25 34.7%	5 6.9%	3 4.2%	4 5.6%	72 100.0%	
	矢倉小学校区	58 56.3%	27 26.2%	11 10.7%	1 1.0%	6 5.8%	103 100.0%	
	老上小学校区	79 52.7%	47 31.3%	8 5.3%	8 5.3%	8 5.3%	150 100.0%	
	玉川小学校区	55 55.0%	34 34.0%	2 2.0%	3 3.0%	6 6.0%	100 100.0%	
	南笠東小学校区	39 57.4%	19 27.9%	5 7.4%	1 1.5%	4 5.9%	68 100.0%	
	山田小学校区	51 61.4%	24 28.9%	3 3.6%	3 3.6%	2 2.4%	83 100.0%	
	笠縫小学校区	50 43.5%	40 34.8%	8 7.0%	7 6.1%	10 8.7%	115 100.0%	
	笠縫東小学校区	43 43.4%	43 43.4%	3 3.0%	1 1.0%	9 9.1%	99 100.0%	
	常盤小学校区	33 66.0%	13 26.0%	1 2.0%	2 4.0%	1 2.0%	50 100.0%	
	無回答・小学校区不明	86 53.1%	38 23.5%	6 3.7%	8 4.9%	24 14.8%	162 100.0%	
	2008年調査		566 54.4%	263 25.3%	45 4.3%	32 3.1%	134 12.9%	1,040 100.0%
	2003年調査		515 57.3%	297 33.0%	54 6.0%	33 3.7%	--- ---	899 100.0%
	1998年調査		693 53.3%	481 37.0%	73 5.6%	54 4.2%	--- ---	1,301 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」は今回が最も少ない。「親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない」は毎回減少してきたが、今回は前回に比べて5.8ポイント増加している。「結婚を認める」は、前回に比べて3.9ポイント増加している。

地域別にみると、「結婚を認める」は常盤小学校が92.0%で最も多く、笠縫小学校区の78.3%を除いていずれの地域でも80%以上を占めている。他方、「結婚を認めない」は笠縫小学校区、矢倉小学校区、渋川小学校区、老上小学校区で10%以上を占め、他の地域に比べてやや多い。

性別にみると、「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」は男性（55.6%）が女性（50.4%）に比べて5.2ポイント多く、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない」は、女性（33.1%）が男性（29.1%）に比べて4.0ポイント多い。

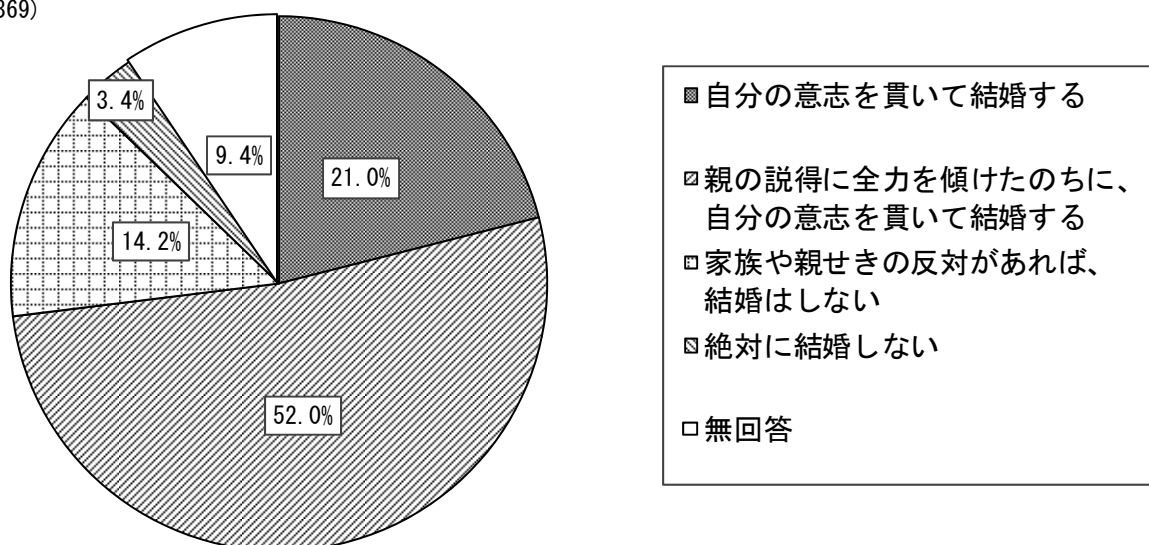
年齢別にみると、「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」は、20歳代が59.8%で最も多い。また、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない」は、顕著ではないが、年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度からみると、自分の結婚の意志が強い人ほど子どもの意志を尊重する人も多い傾向にあり、逆に、自分の結婚の意志がない人ほど子どもの結婚も反対する傾向がみられる。

B. あなたが同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどのようにしますか。

図表 自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度

(N=1,369)



自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度をたずねたところ、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が52.0%で最も多く、次いで「自分の意志を貫いて結婚する」が21.0%となっており、これらを合わせた「結婚する」人は73.0%となっている。逆に、「家族や親せきの反対があれば結婚はしない」（14.2%）と「絶対に結婚しない」（3.4%）を合わせた「結婚しない」は17.6%となっている。

図表 自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度

		自分の意志 を貫いて結 婚する	親の説得に 全力を傾け たのちに、 自分の意志 を貫いて結 婚する	家族や親せ きの反対が あれば、結 婚はしない	絶対に結婚 しない	無回答	合計	
全体		288 21.0%	712 52.0%	194 14.2%	46 3.4%	129 9.4%	1,369 100.0%	
地域	志 津 小 学 校 区	19 20.2%	40 42.6%	18 19.1%	6 6.4%	11 11.7%	94 100.0%	
	志 津 南 小 学 校 区	12 22.6%	28 52.8%	6 11.3%	3 5.7%	4 7.5%	53 100.0%	
	草 津 小 学 校 区	27 23.3%	63 54.3%	13 11.2%	4 3.4%	9 7.8%	116 100.0%	
	草津第二小学校区	18 17.3%	62 59.6%	12 11.5%	4 3.8%	8 7.7%	104 100.0%	
	渋 川 小 学 校 区	18 25.0%	27 37.5%	15 20.8%	6 8.3%	6 8.3%	72 100.0%	
	矢 倉 小 学 校 区	20 19.4%	60 58.3%	14 13.6%	1 1.0%	8 7.8%	103 100.0%	
	老 上 小 学 校 区	33 22.0%	77 51.3%	24 16.0%	4 2.7%	12 8.0%	150 100.0%	
	玉 川 小 学 校 区	23 23.0%	56 56.0%	10 10.0%	3 3.0%	8 8.0%	100 100.0%	
	南笠東小学校区	16 23.5%	34 50.0%	12 17.6%	1 1.5%	5 7.4%	68 100.0%	
	山 田 小 学 校 区	23 27.7%	40 48.2%	9 10.8%	3 3.6%	8 9.6%	83 100.0%	
	笠 縫 小 学 校 区	13 11.3%	61 53.0%	25 21.7%	4 3.5%	12 10.4%	115 100.0%	
	笠縫東小学校区	19 19.2%	59 59.6%	11 11.1%	0 0.0%	10 10.1%	99 100.0%	
	常 盤 小 学 校 区	13 26.0%	28 56.0%	3 6.0%	2 4.0%	4 8.0%	50 100.0%	
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	34 21.0%	77 47.5%	22 13.6%	5 3.1%	24 14.8%	162 100.0%	
	2008年調査		230 22.1%	463 44.5%	141 13.6%	23 2.2%	183 17.6%	1,040 144.0%
	2003年調査		35 24.3%	90 62.5%	15 10.4%	4 2.8%	---	144 100.0%
	1998年調査		30 17.8%	104 61.5%	29 17.2%	6 3.6%	---	169 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」は、前回に比べて7.5ポイント増加しているが、このほかは1ポイント程度の増減にとどまり、大きな変化はみられない。「結婚する」は、前回に比べて6.4ポイント増加している。

地域別にみると、「結婚する」は常盤小学校が82.0%で最も多く、笠縫小学校区、志津南小学校区、渋川小学校区の60%台を除いていずれの地域でも70%以上を占めている。他方、「結婚しない」は渋川小学校区、志津小学校区、笠縫小学校区では25%以上を占め、他の地域に比べて多い。

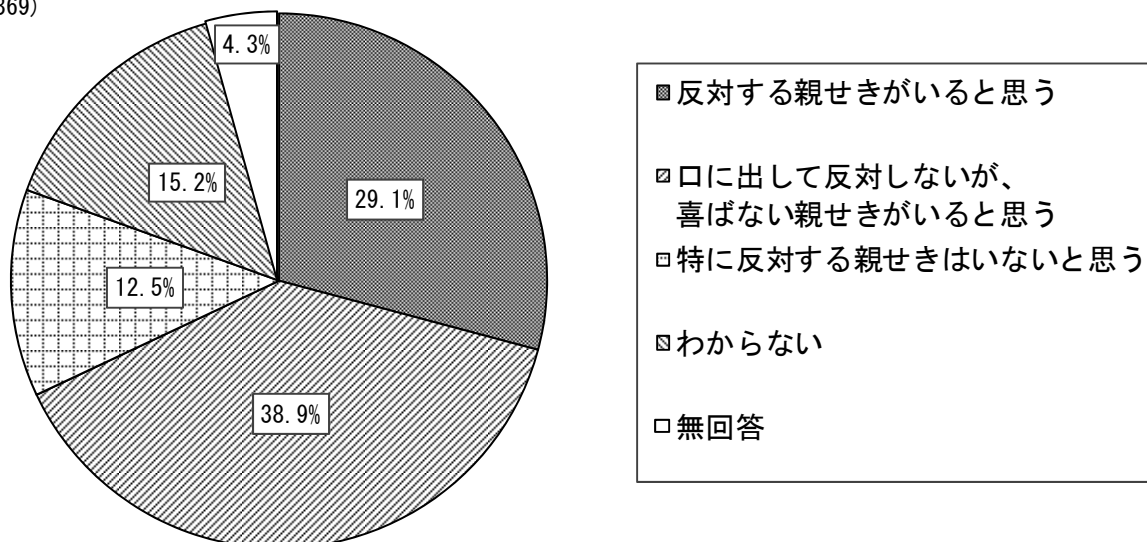
これを性別にみると、「自分の意志を貫いて結婚する」は男性（27.1%）が女性（15.8%）に比べて11.6ポイント多く、「家族や親せきの反対があれば、結婚はしない」は、女性（17.9%）が男性（10.4%）に比べて7.2ポイント多い。「結婚する」は男性（77.6%）が女性（69.5%）に比べて8.1ポイント多く、「結婚しない」は女性（21.2%）が男性（13.9%）に比べて7.3ポイント多い。

年齢別にみると、顕著ではないが、「自分の意志を貫いて結婚する」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。「結婚する」は、いずれの年齢層でも70%以上を占めているが、20歳代・30歳代・50歳代では75%以上を占め、特に多い。

質問21. あなたやあなたのお子さんが同和地区の人と結婚しようとした場合、あなたの親せきはどうのような態度をとると思いますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 自身や自分の子どもが同和地区の人と結婚しようとした場合に親せきがとると思う態度

(N=1,369)



自身や自分の子どもが同和地区の人と結婚しようとした場合に親せきがとると思う態度をたずねたところ、「口には出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」が38.9%で最も多く、以下、「反対する親せきがいると思う」が29.1%、「わからない」が15.2%、「特に反対する親せきはいないと思う」が12.5%となっている。

図表 自身や自分の子どもが同和地区の人と結婚しようとした場合に親せきがとると思う態度

		反対する親 せきがある と思う	口に出して 反対しない が、喜ばな い親せきが いると思う	特に反対す る親せきは いないと思 う	わからない	無回答	合計
全体		399 29.1%	532 38.9%	171 12.5%	208 15.2%	59 4.3%	1,369 100.0%
地域	志 津 小 学 校 区	29 30.9%	38 40.4%	8 8.5%	15 16.0%	4 4.3%	94 100.0%
	志 津 南 小 学 校 区	18 34.0%	18 34.0%	5 9.4%	10 18.9%	2 3.8%	53 100.0%
	草 津 小 学 校 区	36 31.0%	39 33.6%	17 14.7%	17 14.7%	7 6.0%	116 100.0%
	草 津 第 二 小 学 校 区	24 23.1%	49 47.1%	10 9.6%	18 17.3%	3 2.9%	104 100.0%
	洪 川 小 学 校 区	22 30.6%	28 38.9%	8 11.1%	12 16.7%	2 2.8%	72 100.0%
	矢 倉 小 学 校 区	26 25.2%	45 43.7%	11 10.7%	16 15.5%	5 4.9%	103 100.0%
	老 上 小 学 校 区	42 28.0%	66 44.0%	17 11.3%	23 15.3%	2 1.3%	150 100.0%
	玉 川 小 学 校 区	24 24.0%	40 40.0%	17 17.0%	15 15.0%	4 4.0%	100 100.0%
	南 笠 東 小 学 校 区	24 35.3%	20 29.4%	10 14.7%	11 16.2%	3 4.4%	68 100.0%
	山 田 小 学 校 区	23 27.7%	32 38.6%	13 15.7%	14 16.9%	1 1.2%	83 100.0%
	笠 縫 小 学 校 区	41 35.7%	44 38.3%	10 8.7%	15 13.0%	5 4.3%	115 100.0%
	笠 縫 東 小 学 校 区	29 29.3%	43 43.4%	10 10.1%	10 10.1%	7 7.1%	99 100.0%
	常 盤 小 学 校 区	8 16.0%	28 56.0%	10 20.0%	4 8.0%	0 0.0%	50 100.0%
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	53 32.7%	42 25.9%	25 15.4%	28 17.3%	14 8.6%	162 100.0%
2008年調査		316 30.4%	381 36.6%	144 13.8%	137 13.2%	62 6.0%	1,040 100.0%
2003年調査		273 22.4%	553 45.3%	144 11.8%	186 15.2%	64 5.2%	1,220 100.0%
1998年調査		419 25.1%	791 47.4%	197 11.8%	206 12.3%	57 3.4%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、いずれも1～2ポイント程度の増減で、大きな変化はみられない。

地域別にみると、いずれの地域でも「口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」が最も多いが（志津南小学校区では「反対する親せきがいると思う」も同率で最多）、常盤小学校区が56.0%で最も多い。「反対する親せきがいると思う」は、笠縫小学校区、南笠東小学校区、志津南小学校区、草津小学校区、志津小学校区、洪川小学校区で30%台となっており、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」が最も多いが、女性（41.0%）が男性（37.1%）に比べて3.9ポイント多い。逆に、「特に反対する親せきはいないと思う」は、男性（15.6%）が女性（9.8%）に比べて5.8ポイント多い。

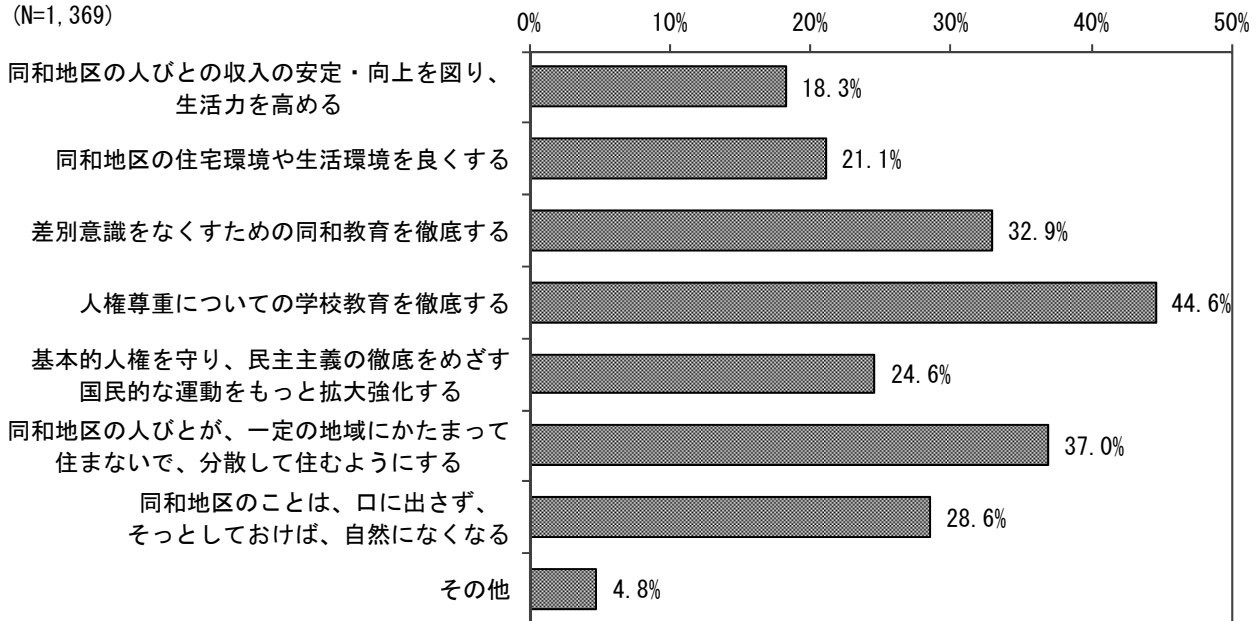
年齢別にみると、いずれも顕著な傾向ではないが、「口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」と「特に反対する親せきはいないと思う」は、ともに年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度からみると、自分の結婚の意志が弱い人ほど「反対する親せきがいると思う」が多い傾向がみられ、逆に、自分の結婚の意志が強い人ほど「特に反対する親せきはいないと思う」が多い傾向がみられる。

質問22. あなたは、同和問題を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 同和問題を解決するために必要と思う対策（3つまでの複数回答）

(N=1,369)



同和問題を解決するために必要と思う対策をたずねたところ、「人権尊重についての学校教育を徹底する」が44.6%で最も多く、以下、「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」が37.0%、「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」が32.9%、「同和地区のことは、口に出さず、そっとしておけば、自然になくなる」が28.6%などとなっている。

図表 同和問題を解決するために必要と思う対策（３つまでの複数回答）

		同和地区 の人びと の収入の 安定・向 上を図り 、生活力 を高める	同和地区 の住宅環 境や生活 環境を良 くする	差別意識 をなくす ための同 和教育を 徹底する	人権尊重 について の学校教 育を徹底 する	基本的人 権を守り 、民主主 義の徹底 をめざす 国民的 な運動を もっと拡 大強化す る	同和地区 の人びと が、一定 の地域に かたまって 住まない で、分散 して住む ようにす る	同和地区 のことは 、口に出 さず、そ っとして おけば、 自然にな くなる	その他	集計母数	
全体		250 18.3%	289 21.1%	451 32.9%	610 44.6%	337 24.6%	506 37.0%	391 28.6%	66 4.8%	1,369 100.0%	
地域	志 津 小 学 校 区	15 16.0%	28 29.8%	34 36.2%	45 47.9%	29 30.9%	26 27.7%	27 28.7%	4 4.3%	94 100.0%	
	志 津 南 小 学 校 区	16 30.2%	10 18.9%	10 18.9%	21 39.6%	13 24.5%	23 43.4%	22 41.5%	2 3.8%	53 100.0%	
	草 津 小 学 校 区	26 22.4%	26 22.4%	43 37.1%	48 41.4%	23 19.8%	43 37.1%	25 21.6%	6 5.2%	116 100.0%	
	草津第二小学校区	20 19.2%	26 25.0%	41 39.4%	49 47.1%	24 23.1%	42 40.4%	25 24.0%	8 7.7%	104 100.0%	
	渋 川 小 学 校 区	12 16.7%	12 16.7%	19 26.4%	25 34.7%	10 13.9%	36 50.0%	19 26.4%	6 8.3%	72 100.0%	
	矢 倉 小 学 校 区	15 14.6%	14 13.6%	43 41.7%	43 41.7%	29 28.2%	32 31.1%	28 27.2%	2 1.9%	103 100.0%	
	老 上 小 学 校 区	26 17.3%	31 20.7%	54 36.0%	74 49.3%	41 27.3%	52 34.7%	40 26.7%	6 4.0%	150 100.0%	
	玉 川 小 学 校 区	22 22.0%	26 26.0%	30 30.0%	39 39.0%	26 26.0%	40 40.0%	28 28.0%	5 5.0%	100 100.0%	
	南笠東小学校区	5 7.4%	9 13.2%	18 26.5%	36 52.9%	12 17.6%	22 32.4%	25 36.8%	3 4.4%	68 100.0%	
	山 田 小 学 校 区	22 26.5%	24 28.9%	26 31.3%	41 49.4%	22 26.5%	27 32.5%	25 30.1%	5 6.0%	83 100.0%	
	笠 縫 小 学 校 区	21 18.3%	24 20.9%	37 32.2%	50 43.5%	26 22.6%	54 47.0%	40 34.8%	6 5.2%	115 100.0%	
	笠縫東小学校区	23 23.2%	22 22.2%	23 23.2%	50 50.5%	27 27.3%	33 33.3%	31 31.3%	3 3.0%	99 100.0%	
	常 盤 小 学 校 区	8 16.0%	11 22.0%	30 60.0%	35 70.0%	19 38.0%	10 20.0%	12 24.0%	1 2.0%	50 100.0%	
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	19 11.7%	26 16.0%	43 26.5%	54 33.3%	36 22.2%	66 40.7%	44 27.2%	9 5.6%	162 100.0%	
	2008年調査		172 16.5%	166 16.0%	314 30.2%	450 43.3%	193 18.6%	284 27.3%	281 27.0%	44 4.2%	1,040 100.0%
	2003年調査		190 15.6%	224 18.4%	349 28.6%	524 43.0%	264 21.6%	344 28.2%	356 29.2%	59 4.7%	1,220 100.0%
	1998年調査		281 16.8%	253 15.1%	459 27.5%	685 41.0%	372 22.3%	522 31.3%	494 29.6%	104 6.2%	1,670 100.0%

過去３回の調査と比較すると、いずれも前回に比べて増加しているが、「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」が9.7ポイント、「基本的人権を守り、民主主義の徹底をめざす国民的な運動をもっと拡大強化する」が6.0ポイント、「同和地区の住宅環境や生活環境を良くする」が5.1ポイントそれぞれ増加しており、他の項目に比べて増加の幅が大きい。

地域別にみると、渋川小学校区、笠縫小学校区、志津南小学校区、玉川小学校区では「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」、他の地域では「人権尊重についての学校教育を徹底する」がそれぞれ最も多い（矢倉小学校区では「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」も同率で最多）。

性別にみると、男女ともに「人権尊重についての学校教育を徹底する」が最も多い。「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」や「基本的人権を守り、民主主義の徹底をめざす国民的な運動をもっと拡大強化する」は、男性が女性に比べて4ポイント以上多く、男女差が大きい。

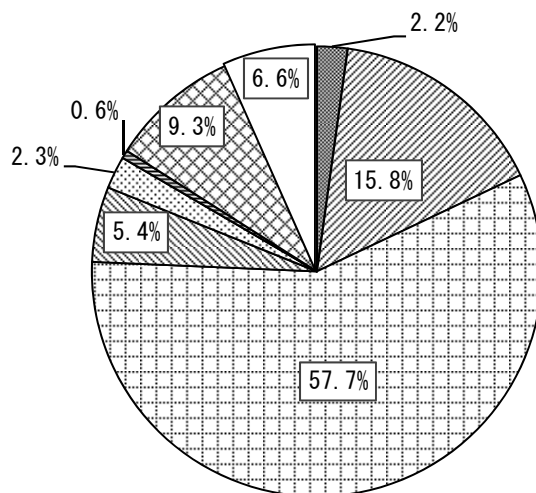
年齢別にみると、20歳代と30歳代では「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」、40歳代以上では「人権尊重についての学校教育を徹底する」がそれぞれ最も多い。いずれも顕著な傾向ではないが、「基本的人権を守り、民主主義の徹底をめざす国民的な運動をもっと拡大強化する」は年齢層が高いほど多い傾向がみられ、「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、2年未満では「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」が最も多く、2年以上では「人権尊重についての学校教育を徹底する」が最も多い（「5年以上10年未満」では「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」も同率で最多）。いずれも顕著な傾向ではないが、「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。他方、「人権尊重についての学校教育を徹底する」や「基本的人権を守り、民主主義の徹底をめざす国民的な運動をもっと拡大強化する」は居住年数が長いほど多い傾向がみられる。

質問23. さまざまな人権問題がありますが、とりわけ、今後の同和問題の啓発・教育のあり方について、あなたはどのように考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 今後の同和問題の啓発・教育のあり方に対する意識

(N=1,369)



- 他の人権問題よりも、同和問題については特に重点的に啓発・教育を行うべきである
- ▣同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである
- 同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである
- ▣同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である
- ▣同和問題、他の人権問題のいずれについても、啓発・教育は必要ない
- その他
- ▣わからない
- 無回答

※本設問の選択肢は表記が長いので、図表中では表記を簡略にし、それに対応する分析も図表中の表記を用いている。

今後の同和問題の啓発・教育のあり方に対する意識をたずねたところ、「同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである」が57.7%で最も多く、以下、「同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである」が15.8%、「わからない」が9.3%、「同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である」が5.4%などとなっている。

図表 今後の同和問題の啓発・教育のあり方に対する意識

		他の人権問題よりも、同和問題については特に重点的に啓発・教育を行うべきである	同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである	同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである	同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である	同和問題、他の人権問題のいずれについても、啓発・教育は必要ない	その他	わからない	無回答	合計	
全体		30 2.2%	216 15.8%	790 57.7%	74 5.4%	32 2.3%	8 0.6%	128 9.3%	91 6.6%	1,369 100.0%	
地域	志 津 小 学 校 区	1 1.1%	18 19.1%	52 55.3%	3 3.2%	5 5.3%	0 0.0%	8 8.5%	7 7.4%	94 100.0%	
	志 津 南 小 学 校 区	0 0.0%	8 15.1%	31 58.5%	5 9.4%	1 1.9%	0 0.0%	5 9.4%	3 5.7%	53 100.0%	
	草 津 小 学 校 区	4 3.4%	13 11.2%	61 52.6%	5 4.3%	3 2.6%	1 0.9%	16 13.8%	13 11.2%	116 100.0%	
	草津第二小学校区	0 0.0%	19 18.3%	75 72.1%	1 1.0%	3 2.9%	1 1.0%	2 1.9%	3 2.9%	104 100.0%	
	渋 川 小 学 校 区	0 0.0%	7 9.7%	47 65.3%	4 5.6%	4 5.6%	2 2.8%	6 8.3%	2 2.8%	72 100.0%	
	矢 倉 小 学 校 区	5 4.9%	12 11.7%	62 60.2%	6 5.8%	2 1.9%	0 0.0%	11 10.7%	5 4.9%	103 100.0%	
	老 上 小 学 校 区	4 2.7%	27 18.0%	94 62.7%	6 4.0%	1 0.7%	0 0.0%	12 8.0%	6 4.0%	150 100.0%	
	玉 川 小 学 校 区	3 3.0%	15 15.0%	55 55.0%	10 10.0%	2 2.0%	0 0.0%	10 10.0%	5 5.0%	100 100.0%	
	南笠東小学校区	1 1.5%	8 11.8%	39 57.4%	6 8.8%	1 1.5%	0 0.0%	9 13.2%	4 5.9%	68 100.0%	
	山 田 小 学 校 区	1 1.2%	11 13.3%	49 59.0%	2 2.4%	2 2.4%	1 1.2%	11 13.3%	6 7.2%	83 100.0%	
	笠 縫 小 学 校 区	4 3.5%	21 18.3%	61 53.0%	10 8.7%	2 1.7%	1 0.9%	9 7.8%	7 6.1%	115 100.0%	
	笠縫東小学校区	2 2.0%	18 18.2%	54 54.5%	6 6.1%	4 4.0%	0 0.0%	12 12.1%	3 3.0%	99 100.0%	
	常 盤 小 学 校 区	0 0.0%	21 42.0%	19 38.0%	3 6.0%	0 0.0%	1 2.0%	2 4.0%	4 8.0%	50 100.0%	
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	5 3.1%	18 11.1%	91 56.2%	7 4.3%	2 1.2%	1 0.6%	15 9.3%	23 14.2%	162 100.0%	
	2008年調査		25 2.4%	171 16.4%	490 47.1%	59 5.7%	11 1.1%	8 0.8%	110 10.6%	166 16.0%	1,040 100.0%
	2003年調査		30 2.5%	197 16.1%	623 51.1%	83 6.8%	18 1.5%	5 0.4%	92 7.5%	172 14.1%	1,220 100.0%
	1998年調査		38 2.3%	251 15.0%	900 53.9%	111 6.6%	28 1.7%	8 0.5%	137 8.2%	197 11.8%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである」は毎回減少してきたが、今回は前回に比べて10.6ポイントの大幅な増加となっている。このほかはほぼ横ばいで推移している。

地域別にみると、常盤小学校区では「同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである」が最も多く、42.0%と突出している。他の地域では「同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである」が最も多く、草津第二小学校区、渋川小学校区、老上小学校区、矢倉小学校区では60%以上を占め、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである」が最も多いが、女性（59.9%）が男性（56.7%）に比べて3.2ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢層でも「同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである」が最も多いが、30歳代・50歳代・60歳代では60%台と特に多い。

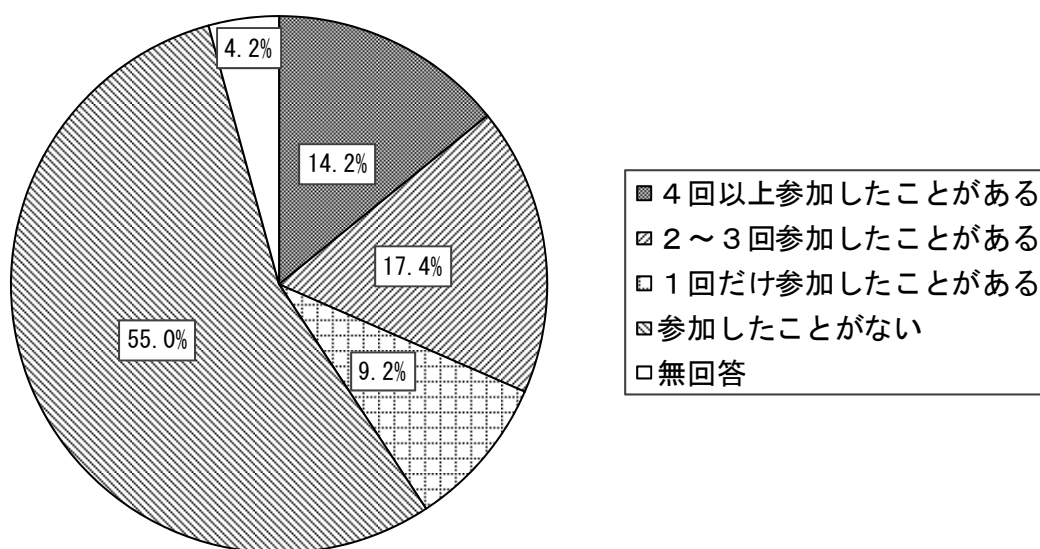
居住年数別にみると、居住年数の長短に関係なく「同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである」が最も多いが、全般的に居住年数の長短による顕著な差はみられない。

11 人権教育・啓発・情報提供のあり方

質問24. 草津市では、市民の皆さんが人権問題についての理解を深められるよう研修会・講演会を開いていますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する研修会・講演会の参加状況

(N=1,369)



草津市が開催する研修会・講演会の参加状況をたずねたところ、「参加したことがない」が55.0%で最も多く、以下、「2～3回参加したことがある」が17.4%、「4回以上参加したことがある」が14.2%、「1回だけ参加したことがある」が9.2%となっており、1回以上の参加率は40.8%となっている。

図表 草津市が開催する研修会・講演会の参加状況

		4回以上参加したことがある	2～3回参加したことがある	1回だけ参加したことがある	参加したことがない	無回答	合計
全体		194 14.2%	238 17.4%	126 9.2%	753 55.0%	58 4.2%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	11 11.7%	23 24.5%	6 6.4%	53 56.4%	1 1.1%	94 100.0%
	志津南小学校区	3 5.7%	11 20.8%	6 11.3%	29 54.7%	4 7.5%	53 100.0%
	草津小学校区	20 17.2%	26 22.4%	10 8.6%	57 49.1%	3 2.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	12 11.5%	9 8.7%	11 10.6%	69 66.3%	3 2.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	7 9.7%	8 11.1%	9 12.5%	46 63.9%	2 2.8%	72 100.0%
	矢倉小学校区	13 12.6%	24 23.3%	13 12.6%	51 49.5%	2 1.9%	103 100.0%
	老上小学校区	31 20.7%	20 13.3%	6 4.0%	90 60.0%	3 2.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	9 9.0%	18 18.0%	5 5.0%	62 62.0%	6 6.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	9 13.2%	9 13.2%	5 7.4%	43 63.2%	2 2.9%	68 100.0%
	山田小学校区	19 22.9%	15 18.1%	10 12.0%	33 39.8%	6 7.2%	83 100.0%
	笠縫小学校区	17 14.8%	24 20.9%	12 10.4%	53 46.1%	9 7.8%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	10 10.1%	20 20.2%	16 16.2%	47 47.5%	6 6.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	20 40.0%	11 22.0%	4 8.0%	11 22.0%	4 8.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	13 8.0%	20 12.3%	13 8.0%	109 67.3%	7 4.3%	162 100.0%
2008年調査		298 28.7%	220 21.2%	105 10.1%	362 34.8%	55 5.3%	1,040 100.0%
2003年調査		296 24.3%	273 22.4%	113 9.3%	482 39.5%	56 4.6%	1,220 100.0%
1998年調査		355 21.3%	333 19.9%	192 11.5%	723 43.3%	67 4.0%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、1回以上の参加率は毎回半数以上で、かつ上昇してきたが、今回は40.8%にとどまり、「参加したことがない」が55.0%で今回が最も多い。

地域別にみると、1回以上の参加率は常盤小学校区が70.0%で最も高く、次いで、山田小学校区が53.0%となっているが、他の地域では、1回以上の参加率が半数に満たない。他方、「参加したことがない」は、草津第二小学校区、渋川小学校区、南笠東小学校区、玉川小学校区、老上小学校区では60%以上で、不参加率が高い。

性別にみると、1回以上の参加率は、女性（44.7%）が男性（36.4%）に比べて8.3ポイント高い。「参加したことがない」は男女ともに半数以上を占め、男性が女性に比べて9.3ポイント多い。

年齢別にみると、1回以上の参加率は、年齢層が高いほど高い傾向がみられ、50歳代以上では半数以上を占めている。

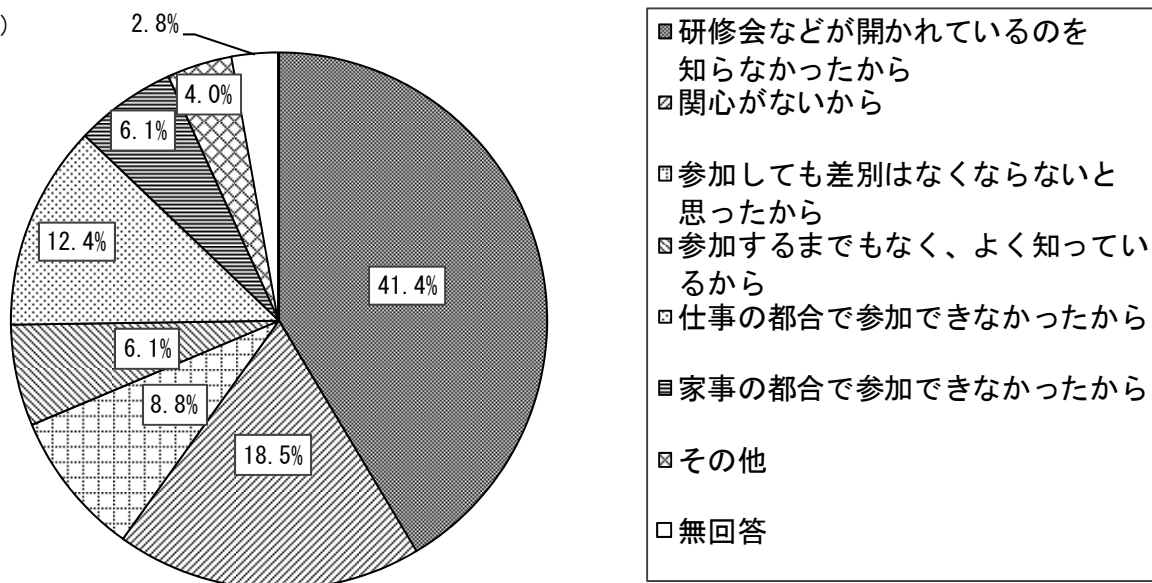
さらに、居住年数別にみると、1回以上の参加率は、居住年数が長いほど高い傾向がみられ、20年以上では54.0%で半数以上を占めている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、1回以上の参加率は「学習資料『めざめ』」や「男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」、「会報『市同推協』」を「いつも読んでいる」人では80%以上と特に高いが、いずれの学習資料についても、閲読頻度が高い人ほど研修会・講習会への参加率が高い傾向がみられる。

質問24－１．質問24で、選択肢「４」にお答えの方にお聞きします。あなたが研修会・講演会に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを１つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する研修会・講演会に参加したことがない理由

(N=753)



草津市が開催する研修会・講演会に参加したことがない人に対して、その理由をたずねたところ、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」が41.4%で最も多く、以下、「関心がないから」が18.5%、「仕事の都合で参加できなかったから」が12.4%、「参加しても差別はなくならないと思ったから」が8.8%、「参加するまでもなく、よく知っているから」と「家事の都合で参加できなかったから」がともに6.1%などとなっている。

図表 草津市が開催する研修会・講演会に参加したことがない理由

		研修会などが開かれているのを知らなかったから	関心がないから	参加しても差別はなくなれないと思ったから	参加するまでもなく、よく知っているから	仕事の都合で参加できなかったから	家事の都合で参加できなかったから	その他	無回答	合計	
全体		312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%	
地域	志津小学校区	16 30.2%	10 18.9%	7 13.2%	3 5.7%	9 17.0%	3 5.7%	3 5.7%	2 3.8%	53 100.0%	
	志津南小学校区	10 34.5%	7 24.1%	3 10.3%	2 6.9%	3 10.3%	2 6.9%	2 6.9%	0 0.0%	29 100.0%	
	草津小学校区	23 40.4%	8 14.0%	8 14.0%	2 3.5%	5 8.8%	6 10.5%	5 8.8%	0 0.0%	57 100.0%	
	草津第二小学校区	27 39.1%	13 18.8%	3 4.3%	8 11.6%	9 13.0%	4 5.8%	3 4.3%	2 2.9%	69 100.0%	
	渋川小学校区	17 37.0%	15 32.6%	3 6.5%	2 4.3%	5 10.9%	1 2.2%	2 4.3%	1 2.2%	46 100.0%	
	矢倉小学校区	21 41.2%	11 21.6%	2 3.9%	3 5.9%	6 11.8%	5 9.8%	2 3.9%	1 2.0%	51 100.0%	
	老上小学校区	39 43.3%	17 18.9%	7 7.8%	7 7.8%	6 6.7%	7 7.8%	4 4.4%	3 3.3%	90 100.0%	
	玉川小学校区	29 46.8%	9 14.5%	6 9.7%	4 6.5%	12 19.4%	0 0.0%	2 3.2%	0 0.0%	62 100.0%	
	南笠東小学校区	24 55.8%	6 14.0%	3 7.0%	2 4.7%	3 7.0%	2 4.7%	1 2.3%	2 4.7%	43 100.0%	
	山田小学校区	13 39.4%	3 9.1%	4 12.1%	4 12.1%	3 9.1%	6 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%	
	笠縫小学校区	18 34.0%	8 15.1%	9 17.0%	2 3.8%	7 13.2%	4 7.5%	3 5.7%	2 3.8%	53 100.0%	
	笠縫東小学校区	15 31.9%	8 17.0%	3 6.4%	2 4.3%	10 21.3%	3 6.4%	1 2.1%	5 10.6%	47 100.0%	
	常盤小学校区	5 45.5%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	11 100.0%	
	無回答・小学校区不明	55 50.5%	22 20.2%	8 7.3%	5 4.6%	13 11.9%	3 2.8%	1 0.9%	2 1.8%	109 100.0%	
	2008年調査		169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%
	2003年調査		174 36.1%	79 16.4%	53 11.0%	31 6.4%	40 8.3%	29 6.0%	30 6.2%	46 9.5%	482 100.0%
	1998年調査		254 35.1%	129 17.8%	110 15.2%	40 5.5%	82 11.3%	44 6.1%	27 3.7%	37 5.1%	723 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」は前回に比べて5.3ポイント減少し、逆に、「仕事の都合で参加できなかったから」は前回に比べて2.7ポイント、「関心がないから」は前回に比べて2.5ポイントそれぞれ増加している。

地域別にみると、いずれの地域でも「研修会などが開かれているのを知らなかったから」が多いが、南笠東小学校区、玉川小学校区、常盤小学校区、老上小学校区、矢倉小学校区、草津小学校区では40%以上を占め、他の地域に比べて多い。「関心がない」は、渋川小学校区、志津南小学校区、矢倉小学校区では20%以上を占め、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「研修会などが開かれているのを知らなかったから」が最も多く、女性(44.7%)が男性(39.4%)に比べて5.3ポイント多い。また、「関心がないから」は、男性(22.4%)が女性(14.0%)に比べて8.4ポイント多い。

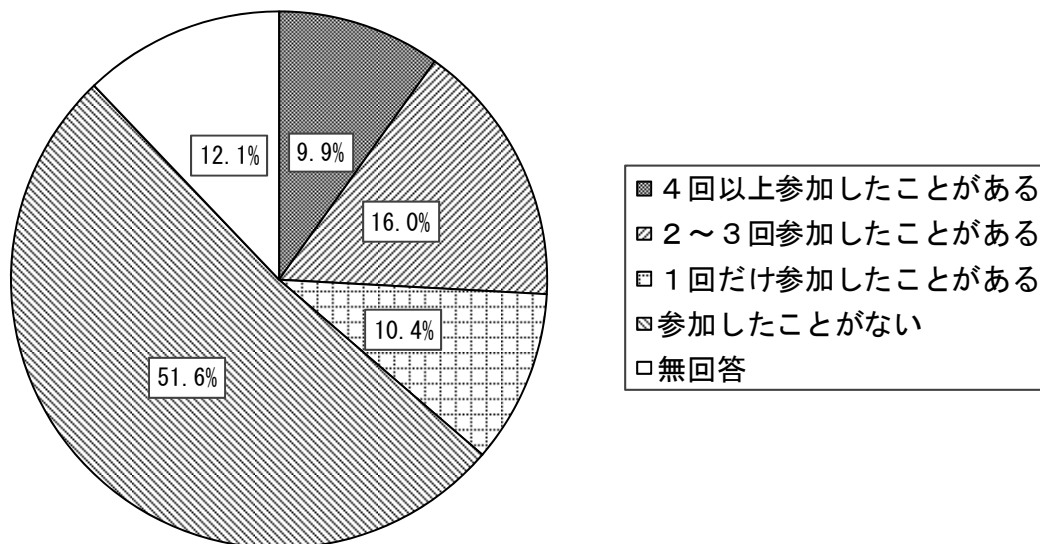
年齢別にみると、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」は年齢層が低いほど多い傾向がみられ、30歳代以下では半数以上を占めている。いずれも顕著な傾向ではないが、「参加しても差別はなくなれないと思ったから」や「参加するまでもなく、よく知っているから」は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

質問25. 草津市では、市民の皆さんが人権問題について理解を深められるよう「町内学習懇談会」を開いていますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」の参加状況

(N=1,369)



草津市が開催する「町内学習懇談会」の参加状況をたずねたところ、「参加したことがない」が51.6%で最も多く、以下、「2～3回参加したことがある」が16.0%、「1回だけ参加したことがある」が10.4%、「4回以上参加したことがある」が9.9%となっており、1回以上の参加率は36.3%となっている。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」の参加状況

		4回以上参加したことがある	2～3回参加したことがある	1回だけ参加したことがある	参加したことがない	無回答	合計
全体		135 9.9%	219 16.0%	143 10.4%	706 51.6%	166 12.1%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	8 8.5%	21 22.3%	14 14.9%	43 45.7%	8 8.5%	94 100.0%
	志津南小学校区	3 5.7%	10 18.9%	5 9.4%	27 50.9%	8 15.1%	53 100.0%
	草津小学校区	14 12.1%	21 18.1%	12 10.3%	57 49.1%	12 10.3%	116 100.0%
	草津第二小学校区	8 7.7%	6 5.8%	8 7.7%	72 69.2%	10 9.6%	104 100.0%
	渋川小学校区	5 6.9%	9 12.5%	9 12.5%	42 58.3%	7 9.7%	72 100.0%
	矢倉小学校区	4 3.9%	26 25.2%	17 16.5%	42 40.8%	14 13.6%	103 100.0%
	老上小学校区	18 12.0%	25 16.7%	12 8.0%	77 51.3%	18 12.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	6 6.0%	13 13.0%	9 9.0%	61 61.0%	11 11.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	10 14.7%	7 10.3%	4 5.9%	41 60.3%	6 8.8%	68 100.0%
	山田小学校区	15 18.1%	16 19.3%	9 10.8%	31 37.3%	12 14.5%	83 100.0%
	笠縫小学校区	8 7.0%	25 21.7%	14 12.2%	52 45.2%	16 13.9%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	9 9.1%	16 16.2%	12 12.1%	47 47.5%	15 15.2%	99 100.0%
	常盤小学校区	18 36.0%	11 22.0%	4 8.0%	10 20.0%	7 14.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	9 5.6%	13 8.0%	14 8.6%	104 64.2%	22 13.6%	162 100.0%
2008年調査		182 17.5%	212 20.4%	140 13.5%	426 41.0%	80 7.7%	1,040 100.0%
2003年調査		174 14.3%	235 19.3%	132 10.8%	572 46.9%	107 8.8%	1,220 100.0%
1998年調査		177 10.6%	283 16.9%	234 14.0%	825 49.4%	151 9.0%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、1回以上の参加率は毎回上昇し、前回は51.4%で半数を超えたが、今回は36.3%に低下し、「参加したことがない」が51.6%で今回が最も多い。

地域別にみると、1回以上の参加率は常盤小学校区が66.0%で最も高く、山田小学校区、志津小学校区、矢倉小学校区、笠縫小学校区、草津小学校区も40%以上で、他の地域に比べて高い。他方、「参加したことがない」は、草津第二小学校区、玉川小学校区、南笠東小学校区では60%以上で、不参加率が高い。

性別にみると、1回以上の参加率は、女性（38.2%）が男性（34.1%）に比べて4.1ポイント高い。「参加したことがない」は、男性（55.9%）が女性（48.9%）に比べて7.0ポイント多く、半数以上を占めている。

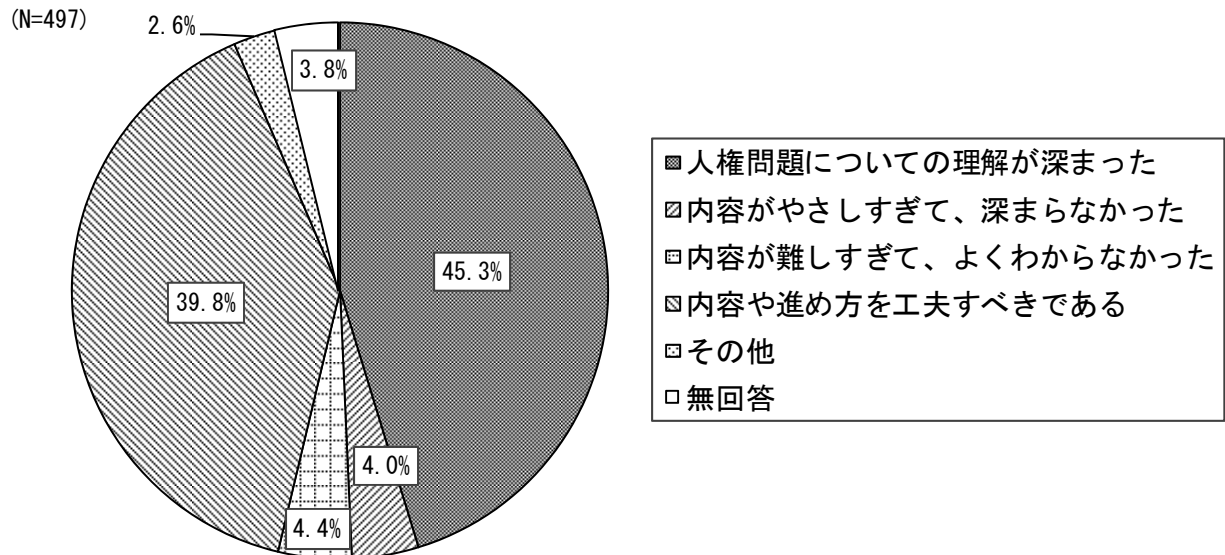
年齢別にみると、1回以上の参加率は、年齢層が高いほど高い傾向がみられ、60歳代以上では半数以上を占めている。

居住年数別にみると、1回以上の参加率は、居住年数が長いほど高い傾向がみられ、20年以上では半数以上を占めている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、1回以上の参加率は「学習資料『めざめ』」が76.3%で最も高く、「会報『市同推協』」や「男女共同参画啓発紙『みんなで一步』」を「いつも読んでいる」人でも60%台高いが、「男女共同参画啓発紙『みんなで一步』」を除き、学習資料の閲読頻度が高い人ほど町内学習懇談会への参加率が高い傾向がみられる。

質問25－1. 質問25で、選択肢「1」～「3」のいずれかにお答えの方にお聞きします。あなたは、「町内学習懇談会」に参加してどのように思いましたか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加して感じた懇談会の評価



草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがある人に対して、参加して感じた懇談会の評価をたずねたところ、「人権問題についての理解が深まった」が45.3%で最も多く、以下、「内容や進め方を工夫すべきである」が39.8%、「内容が難しすぎて、よくわからなかった」が4.4%、「内容がやさしすぎて、深まらなかった」が4.0%などとなっている。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加して感じた懇談会の評価

		人権問題についての理解が深まった	内容がやさしすぎて、深まらなかった	内容が難しすぎて、よくわからなかった	内容や進め方を工夫すべきである	その他	無回答	合計
全体		225 45.3%	20 4.0%	22 4.4%	198 39.8%	13 2.6%	19 3.8%	497 100.0%
地域	志津小学校区	9 20.9%	3 7.0%	2 4.7%	25 58.1%	2 4.7%	2 4.7%	43 100.0%
	志津南小学校区	8 44.4%	2 11.1%	1 5.6%	6 33.3%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%
	草津小学校区	19 40.4%	2 4.3%	2 4.3%	20 42.6%	2 4.3%	2 4.3%	47 100.0%
	草津第二小学校区	14 63.6%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%	0 0.0%	2 9.1%	22 100.0%
	渋川小学校区	4 17.4%	2 8.7%	2 8.7%	10 43.5%	2 8.7%	3 13.0%	23 100.0%
	矢倉小学校区	26 55.3%	1 2.1%	1 2.1%	18 38.3%	0 0.0%	1 2.1%	47 100.0%
	老上小学校区	23 41.8%	1 1.8%	2 3.6%	26 47.3%	2 3.6%	1 1.8%	55 100.0%
	玉川小学校区	18 64.3%	3 10.7%	1 3.6%	5 17.9%	0 0.0%	1 3.6%	28 100.0%
	南笠東小学校区	11 52.4%	1 4.8%	2 9.5%	7 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
	山田小学校区	23 57.5%	0 0.0%	2 5.0%	12 30.0%	2 5.0%	1 2.5%	40 100.0%
	笠縫小学校区	24 51.1%	3 6.4%	4 8.5%	10 21.3%	3 6.4%	3 6.4%	47 100.0%
	笠縫東小学校区	11 29.7%	0 0.0%	1 2.7%	25 67.6%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
	常盤小学校区	20 60.6%	1 3.0%	0 0.0%	12 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%
	無回答・小学校区不明	15 41.7%	0 0.0%	2 5.6%	17 47.2%	0 0.0%	2 5.6%	36 100.0%
2008年調査		314 58.8%	42 7.9%	50 9.4%	---	81 15.2%	47 8.8%	534 100.0%
2003年調査		313 57.9%	43 7.9%	54 10.0%	---	94 17.4%	37 6.8%	541 100.0%
1998年調査		380 54.8%	64 9.2%	92 13.3%	---	109 15.7%	49 7.1%	694 100.0%

過去3回の調査と比較すると、今回新たに「内容や進め方を工夫すべきである」を加えたため、一概に比較はできないが、「人権問題についての理解が深まった」は、過去3回は50%台で推移し、かつ毎回増加してきたが、今回は45.3%に減少している。また、「内容がやさしすぎて、深まらなかった」や「内容が難しすぎて、よくわからなかった」も4～5ポイント程度減少している。「内容や進め方を工夫すべきである」が39.8%であることは、過去の調査においても同様の評価をしていた人が相当量いたものと推測される。

地域別にみると、笠縫東小学校区、志津小学校区、老上小学校区、渋川小学校区、草津小学校区では「内容や進め方を工夫すべきである」が最も多く、他の地域では「人権問題についての理解が深まった」が最も多い。

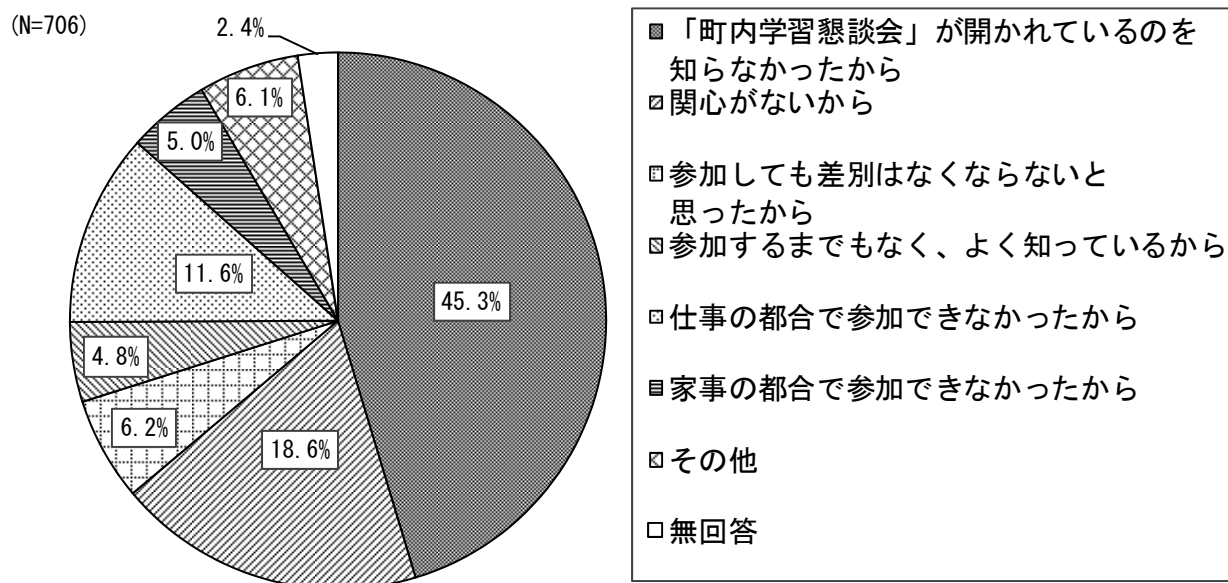
性別にみると、男性では「内容や進め方を工夫すべきである」が44.3%最も多く、女性（36.4%）に比べて7.9ポイント多い。女性では「人権問題についての理解が深まった」が48.7%最も多く、男性（40.2%）に比べて8.5ポイント多い。

年齢別にみると、集計母数が少ない30歳代以下を除き、40歳代と50歳代では「人権問題についての理解が深まった」、60歳代以上では「内容や進め方を工夫すべきである」がそれぞれ最も多い。

居住年数別にみると、集計母数が少ない10年未満を除き、「10年以上20年未満」、「20年以上」とともに「人権問題についての理解が深まった」が最も多い。

質問25－2. 質問25で、選択肢「4」にお答えの方にお聞きします。あなたが「町内学習懇談会」に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがない理由



草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがない人に対して、その理由をたずねたところ、『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったからが45.3%で最も多く、以下、「関心がないから」が18.6%、「仕事の都合で参加できなかったから」が11.6%、「参加しても差別はなくならないと思ったから」が6.2%などとなっている。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがない理由

		「町内学 習懇談 会」が開 かれてい るのを知 らなかつ たから	関心がな いから	参加して も差別は なくなら ないと思 ったから	参加する までもな く、よく 知っている から	仕事の都 合で参加 できな かったから	家事の都 合で参加 できな かったから	その他	無回答	合計	
全体		320 45.3%	131 18.6%	44 6.2%	34 4.8%	82 11.6%	35 5.0%	43 6.1%	17 2.4%	706 100.0%	
地域	志 津 小 学 校 区	14 32.6%	8 18.6%	5 11.6%	2 4.7%	8 18.6%	1 2.3%	4 9.3%	1 2.3%	43 100.0%	
	志 津 南 小 学 校 区	8 29.6%	6 22.2%	3 11.1%	1 3.7%	3 11.1%	4 14.8%	2 7.4%	0 0.0%	27 100.0%	
	草 津 小 学 校 区	28 49.1%	9 15.8%	4 7.0%	1 1.8%	7 12.3%	5 8.8%	2 3.5%	1 1.8%	57 100.0%	
	草津第二小学校区	30 41.7%	15 20.8%	2 2.8%	4 5.6%	9 12.5%	3 4.2%	7 9.7%	2 2.8%	72 100.0%	
	渋 川 小 学 校 区	20 47.6%	11 26.2%	2 4.8%	1 2.4%	3 7.1%	0 0.0%	4 9.5%	1 2.4%	42 100.0%	
	矢 倉 小 学 校 区	23 54.8%	4 9.5%	2 4.8%	3 7.1%	3 7.1%	2 4.8%	5 11.9%	0 0.0%	42 100.0%	
	老 上 小 学 校 区	39 50.6%	13 16.9%	4 5.2%	6 7.8%	6 7.8%	3 3.9%	5 6.5%	1 1.3%	77 100.0%	
	玉 川 小 学 校 区	29 47.5%	12 19.7%	4 6.6%	2 3.3%	9 14.8%	0 0.0%	3 4.9%	2 3.3%	61 100.0%	
	南笠東小学校区	25 61.0%	4 9.8%	2 4.9%	3 7.3%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%	2 4.9%	41 100.0%	
	山 田 小 学 校 区	12 38.7%	4 12.9%	1 3.2%	2 6.5%	6 19.4%	5 16.1%	0 0.0%	1 3.2%	31 100.0%	
	笠 縫 小 学 校 区	22 42.3%	9 17.3%	6 11.5%	5 9.6%	5 9.6%	4 7.7%	1 1.9%	0 0.0%	52 100.0%	
	笠縫東小学校区	14 29.8%	12 25.5%	2 4.3%	2 4.3%	8 17.0%	4 8.5%	2 4.3%	3 6.4%	47 100.0%	
	常 盤 小 学 校 区	4 40.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	10 100.0%	
	無 回 答 ・ 小 学 校 区 不 明	52 50.0%	22 21.2%	7 6.7%	1 1.0%	13 12.5%	3 2.9%	4 3.8%	2 1.9%	104 100.0%	
	2008年調査		197 46.2%	50 11.7%	28 6.6%	23 5.4%	57 13.4%	21 4.9%	23 5.4%	27 6.3%	426 100.0%
	2003年調査		207 36.2%	70 12.2%	49 8.6%	32 5.6%	71 12.4%	46 8.0%	33 5.8%	64 11.2%	572 100.0%
	1998年調査		341 41.3%	112 13.6%	86 10.4%	50 6.1%	110 13.3%	63 7.6%	37 4.5%	26 3.2%	825 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「関心がないから」が前回に比べて6.9ポイント増加し、今回が最も多い。その他の項目は2ポイント以内の増減で、大きな変化はみられない。

地域別にみると、いずれの地域でも『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったからが最も多いが、南笠東小学校区、矢倉小学校区、老上小学校区では半数以上を占め、他の地域に比べて多い。「関心がない」は、渋川小学校区、笠縫東小学校区、志津南小学校区、草津第二小学校区、常盤小学校区では20%以上を占め、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったからが最も多く、女性（49.4%）が男性（42.6%）に比べて6.8ポイント多い。このほか、「関心がないから」は、男性（23.4%）が女性（13.2%）に比べて10.2ポイント多い。

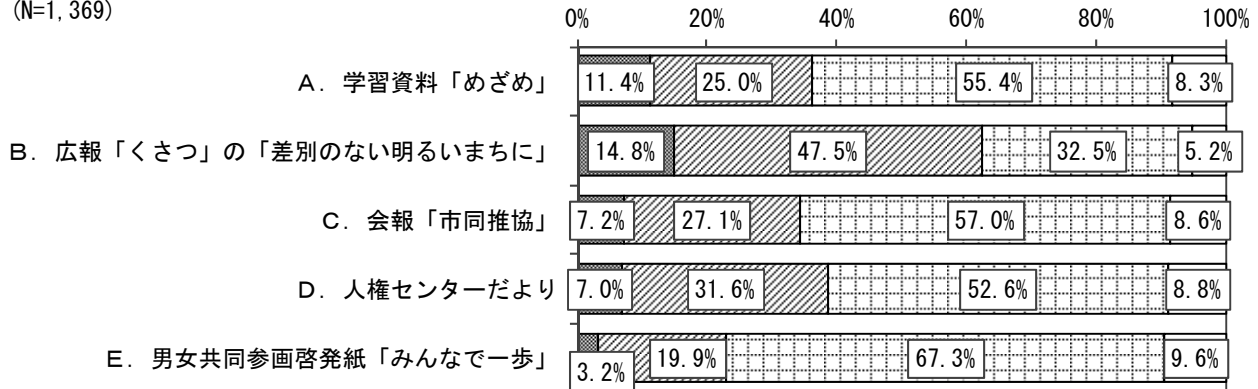
年齢別にみると、顕著ではないが、『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったからは、年齢層が低いほど多い傾向がみられ、30歳代以下では半数以上を占めている。同様に、顕著な傾向ではないが、「参加しても差別はなくなれないと思ったから」は年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、顕著ではないが、『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったからは居住年数が短いほど多い傾向がみられる。逆に、「関心がないから」は居住年数が長いほど多い傾向がみられる。

質問26. 人権センターでは、人権問題解決のために次のAからEの学習資料等を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。AからEそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 人権センターが発行する学習資料等の閲読状況

(N=1,369)



■いつも読んでいる □時々読んでいる □読んだことがない □無回答

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況をたずねたところ、「いつも読んでいる」は「B. 広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」(14.8%)が最も多く、以下、「A. 学習資料『めざめ』」(11.4%)、「C. 会報『市同推協』」(7.2%)、「D. 人権センターだより」(7.0%)、「E. 男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」(3.2%)となっている。これに「時々読んでいる」も加えた学習資料等の閲読率は、「B. 広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」(62.3%)が最も高く、「E. 男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」(23.1%)以外は30%以上を占めている。

他方、「読んだことがない」は「E. 男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」(67.3%)が最も多く、以下、「C. 会報『市同推協』」(57.0%)、「A. 学習資料『めざめ』」(55.4%)、「D. 人権センターだより」(52.6%)となっており、これらは半数以上を占めている。

A. 学習資料「めざめ」

図表 人権センターが発行する学習資料等の閲読状況「学習資料『めざめ』」

		いつも読んで いる	時々読んで いる	読んだこと がない	無回答	合計
全体		156 11.4%	342 25.0%	758 55.4%	113 8.3%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	5 5.3%	32 34.0%	50 53.2%	7 7.4%	94 100.0%
	志津南小学校区	7 13.2%	13 24.5%	30 56.6%	3 5.7%	53 100.0%
	草津小学校区	10 8.6%	37 31.9%	62 53.4%	7 6.0%	116 100.0%
	草津第二小学校区	10 9.6%	21 20.2%	67 64.4%	6 5.8%	104 100.0%
	渋川小学校区	4 5.6%	8 11.1%	52 72.2%	8 11.1%	72 100.0%
	矢倉小学校区	11 10.7%	34 33.0%	54 52.4%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	18 12.0%	43 28.7%	82 54.7%	7 4.7%	150 100.0%
	玉川小学校区	13 13.0%	20 20.0%	59 59.0%	8 8.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	8 11.8%	15 22.1%	39 57.4%	6 8.8%	68 100.0%
	山田小学校区	14 16.9%	22 26.5%	36 43.4%	11 13.3%	83 100.0%
	笠縫小学校区	18 15.7%	24 20.9%	56 48.7%	17 14.8%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	12 12.1%	28 28.3%	49 49.5%	10 10.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	16 32.0%	17 34.0%	15 30.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	10 6.2%	28 17.3%	107 66.0%	17 10.5%	162 100.0%
2008年調査		171 16.4%	338 32.5%	435 41.8%	96 9.2%	1,040 100.0%
2003年調査		198 16.2%	529 43.4%	444 36.4%	49 4.0%	1,220 100.0%
1998年調査		330 19.8%	755 45.2%	512 30.7%	73 4.4%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「いつも読んでいる」は毎回減少して今回が最も少なく、「時々読んでいる」までを含めた閲読率も今回が最も低い。逆に、「読んだことがない」は毎回増加しており、今回は半数以上を占めている。

地域別にみると、「いつも読んでいる」は、志津小学校区、渋川小学校区、草津小学校区、草津第二小学校区では10%未満と特に少ない。閲読率は、常盤小学校区が66.0%で突出しており、逆に、渋川小学校区が16.7%で最も低い。

性別にみると、閲読率は女性（41.8%）が男性（30.2%）に比べて11.6ポイント高い。他方、「読んだことがない」は、男性（62.0%）が女性（51.0%）に比べて11.0ポイント多い。

年齢別にみると、閲読率は年齢層が高いほど高い傾向がみられ、60歳代以上では半数以上を占めている。「読んだことがない」は30歳代以下では半数以上を占めている。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が高いほど高い傾向がみられる。逆に、「読んだことがない」は、20年未満では60%以上を占めている。

B. 広報「くさつ」の「差別のない明るいまちに」

図表 人権センターが発行する学習資料等の閲読状況「広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」

		いつも読んで いる	時々読んで いる	読んだこと がない	無回答	合計
全体		203 14.8%	650 47.5%	445 32.5%	71 5.2%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	16 17.0%	55 58.5%	19 20.2%	4 4.3%	94 100.0%
	志津南小学校区	6 11.3%	25 47.2%	19 35.8%	3 5.7%	53 100.0%
	草津小学校区	18 15.5%	55 47.4%	39 33.6%	4 3.4%	116 100.0%
	草津第二小学校区	13 12.5%	53 51.0%	36 34.6%	2 1.9%	104 100.0%
	渋川小学校区	11 15.3%	32 44.4%	26 36.1%	3 4.2%	72 100.0%
	矢倉小学校区	15 14.6%	53 51.5%	33 32.0%	2 1.9%	103 100.0%
	老上小学校区	20 13.3%	77 51.3%	48 32.0%	5 3.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	17 17.0%	37 37.0%	40 40.0%	6 6.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	11 16.2%	30 44.1%	22 32.4%	5 7.4%	68 100.0%
	山田小学校区	15 18.1%	43 51.8%	21 25.3%	4 4.8%	83 100.0%
	笠縫小学校区	21 18.3%	55 47.8%	28 24.3%	11 9.6%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	13 13.1%	53 53.5%	29 29.3%	4 4.0%	99 100.0%
	常盤小学校区	11 22.0%	28 56.0%	9 18.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	16 9.9%	54 33.3%	76 46.9%	16 9.9%	162 100.0%
2008年調査		204 19.6%	507 48.8%	272 26.2%	57 5.5%	1,040 100.0%
2003年調査		203 16.6%	635 52.0%	333 27.3%	49 4.0%	1,220 100.0%
1998年調査		355 21.3%	842 50.4%	400 24.0%	73 4.4%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「いつも読んでいる」は前回に比べて4.8ポイント減少し、「時々読んでいる」までを含めた閲読率は今回が最も低い。逆に、「読んだことがない」は毎回増加しており、今回が最も多い。

地域別にみると、「いつも読んでいる」は、常盤小学校区が最も多く、閲読率は、常盤小学校区と志津小学校区では70%台となっており、他の地域に比べて高い。

性別にみると、閲読率は女性（67.2%）が男性（57.7%）に比べて9.5ポイント高い。他方、「読んだことがない」は、男性（37.9%）が女性（28.4%）に比べて9.5ポイント多い。

年齢別にみると、顕著ではないが、閲読率は年齢層が高いほど高い傾向がみられ、40歳代以上では60%以上を占めている。「読んだことがない」は30歳代以下では半数以上を占めている。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が長いほど高い傾向がみられる。逆に、「読んだことがない」は、5年未満では半数以上を占めている。

C. 会報「市同推協」

図表 人権センターが発行する学習資料等の閲読状況「会報『市同推協』」

		いつも読んでいる	時々読んでいる	読んだことがない	無回答	合計
全体		99	371	781	118	1,369
		7.2%	27.1%	57.0%	8.6%	100.0%
地域	志津小学校区	8	26	50	10	94
		8.5%	27.7%	53.2%	10.6%	100.0%
	志津南小学校区	3	16	31	3	53
		5.7%	30.2%	58.5%	5.7%	100.0%
	草津小学校区	5	32	70	9	116
		4.3%	27.6%	60.3%	7.8%	100.0%
	草津第二小学校区	8	27	64	5	104
		7.7%	26.0%	61.5%	4.8%	100.0%
	渋川小学校区	5	12	48	7	72
		6.9%	16.7%	66.7%	9.7%	100.0%
	矢倉小学校区	4	35	60	4	103
		3.9%	34.0%	58.3%	3.9%	100.0%
	老上小学校区	10	46	85	9	150
		6.7%	30.7%	56.7%	6.0%	100.0%
	玉川小学校区	9	29	55	7	100
		9.0%	29.0%	55.0%	7.0%	100.0%
	南笠東小学校区	7	16	38	7	68
		10.3%	23.5%	55.9%	10.3%	100.0%
	山田小学校区	7	22	42	12	83
		8.4%	26.5%	50.6%	14.5%	100.0%
	笠縫小学校区	9	32	57	17	115
		7.8%	27.8%	49.6%	14.8%	100.0%
	笠縫東小学校区	8	30	52	9	99
		8.1%	30.3%	52.5%	9.1%	100.0%
	常盤小学校区	6	23	19	2	50
		12.0%	46.0%	38.0%	4.0%	100.0%
	無回答・小学校区不明	10	25	110	17	162
		6.2%	15.4%	67.9%	10.5%	100.0%
2008年調査		99	352	464	125	1,040
		9.5%	33.8%	44.6%	12.0%	100.0%
2003年調査		131	441	584	64	1,220
		10.7%	36.1%	47.9%	5.2%	100.0%
1998年調査		213	646	712	99	1,670
		12.8%	38.7%	42.6%	5.9%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「いつも読んでいる」は毎回減少して今回が最も少ない。「時々読んでいる」までを含めた閲読率も今回が最も低い。逆に、「読んだことがない」は毎回増加しており、今回初めて半数以上を占めている。

地域別にみると、「いつも読んでいる」は、常盤小学校区と南笠東小学校区では10%台となっており、他の地域に比べてやや多い。閲読率は、常盤小学校区が58.0%で突出しており、逆に、渋川小学校区が23.6%で最も低い。

性別にみると、閲読率は女性（39.4%）が男性（28.2%）に比べて11.2ポイント高い。他方、「読んだことがない」は、男性（63.7%）が女性（53.1%）に比べて10.6ポイント多い。

年齢別にみると、閲読率は年齢層が高いほど高い傾向がみられ、50歳代以上では40%以上を占めている。「読んだことがない」は50歳代以下では半数以上を占めている。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が高いほど高い傾向がみられる。逆に、「読んだことがない」は、20年未満では半数以上を占めている。

D. 人権センターだより

図表 人権センターが発行する学習資料等の閲読状況「人権センターだより」

		いつも読んで いる	時々読んで いる	読んだこと がない	無回答	合計
全体		96 7.0%	432 31.6%	720 52.6%	121 8.8%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	9 9.6%	25 26.6%	51 54.3%	9 9.6%	94 100.0%
	志津南小学校区	3 5.7%	20 37.7%	27 50.9%	3 5.7%	53 100.0%
	草津小学校区	7 6.0%	39 33.6%	62 53.4%	8 6.9%	116 100.0%
	草津第二小学校区	7 6.7%	34 32.7%	58 55.8%	5 4.8%	104 100.0%
	渋川小学校区	6 8.3%	14 19.4%	45 62.5%	7 9.7%	72 100.0%
	矢倉小学校区	6 5.8%	38 36.9%	55 53.4%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	9 6.0%	47 31.3%	85 56.7%	9 6.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	9 9.0%	29 29.0%	53 53.0%	9 9.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	4 5.9%	22 32.4%	35 51.5%	7 10.3%	68 100.0%
	山田小学校区	5 6.0%	27 32.5%	40 48.2%	11 13.3%	83 100.0%
	笠縫小学校区	5 4.3%	42 36.5%	49 42.6%	19 16.5%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	9 9.1%	35 35.4%	43 43.4%	12 12.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	8 16.0%	25 50.0%	15 30.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	9 5.6%	35 21.6%	102 63.0%	16 9.9%	162 100.0%
2008年調査		86 8.3%	347 33.4%	476 45.8%	131 12.6%	1,040 100.0%

前回調査と比較すると、「いつも読んでいる」と「時々読んでいる」は1～2ポイント程度の減少にとどまっているが、「読んだことがない」は6.8ポイント増加している。

地域別にみると、「いつも読んでいる」は、常盤小学校区が16.0%で最も多い。閲読率は、常盤小学校区が66.0%で突出している。また、笠縫東小学校区、志津南小学校区、矢倉小学校区、笠縫小学校区も40%台となっており、他の地域に比べてやや高い。

性別にみると、閲読率は女性（42.5%）が男性（34.1%）に比べて8.4ポイント高く、「読んだことがない」は男性（57.9%）が女性（49.6%）に比べて8.3ポイント多い。

年齢別にみると、閲読率は年齢層が高いほど高い傾向がみられ、40歳代以上では40%以上を占めている。「読んだことがない」は40歳代以下では半数以上を占めている。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が長いほど高い傾向がみられる。逆に、「読んだことがない」は、20年未満では半数以上を占めている。

Ｅ．男女共同参画啓発紙「みんなで一歩」

図表 人権センターが発行する学習資料等の閲読状況「男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」

		いつも読んで いる	時々読んで いる	読んだこと がない	無回答	合計
全体		44 3.2%	272 19.9%	922 67.3%	131 9.6%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	2 2.1%	23 24.5%	60 63.8%	9 9.6%	94 100.0%
	志津南小学校区	2 3.8%	10 18.9%	38 71.7%	3 5.7%	53 100.0%
	草津小学校区	1 0.9%	31 26.7%	74 63.8%	10 8.6%	116 100.0%
	草津第二小学校区	3 2.9%	17 16.3%	77 74.0%	7 6.7%	104 100.0%
	渋川小学校区	2 2.8%	9 12.5%	53 73.6%	8 11.1%	72 100.0%
	矢倉小学校区	4 3.9%	22 21.4%	71 68.9%	6 5.8%	103 100.0%
	老上小学校区	2 1.3%	34 22.7%	106 70.7%	8 5.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	6 6.0%	15 15.0%	70 70.0%	9 9.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	4 5.9%	15 22.1%	43 63.2%	6 8.8%	68 100.0%
	山田小学校区	1 1.2%	18 21.7%	50 60.2%	14 16.9%	83 100.0%
	笠縫小学校区	3 2.6%	27 23.5%	67 58.3%	18 15.7%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	4 4.0%	19 19.2%	62 62.6%	14 14.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	5 10.0%	18 36.0%	25 50.0%	2 4.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	5 3.1%	14 8.6%	126 77.8%	17 10.5%	162 100.0%

地域別にみると、「いつも読んでいる」は、常盤小学校区が10.0%で最も多く、他の地域では10%未満となっている。閲読率は、常盤小学校区が46.0%で突出している。このほか、草津第二小学校区と渋川小学校区では10%台で特に低い、他の地域では20台となっている。「読んだことがない」は、いずれの地域でも半数以上を占めている。

性別にみると、閲読率は女性（28.7%）が男性（17.0%）に比べて11.7ポイント高く、「読んだことがない」は男性（73.7%）が女性（63.1%）に比べて10.6ポイント多い。

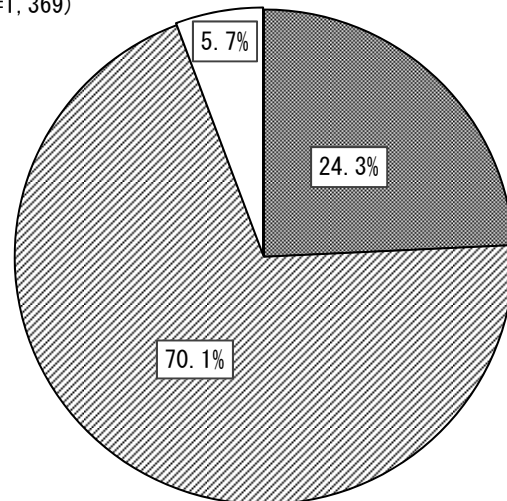
年齢別にみると、顕著な傾向ではないが、閲読率は年齢層が高いほど高い傾向がみられ、50歳代以上では30%以上を占めている。「読んだことがない」は60歳代以下では半数以上を占めている。

さらに、居住年数別にみると、閲読率は居住年数が長いほど高い傾向がみられる。逆に、「読んだことがない」は、居住年数の長短に関係なく半数以上を占めている。

質問27. 市内の「地域総合センター（隣保館）」（通称「会館」）は、地域社会全体の中で、福祉や高齢者の生きがい対策、人権啓発や住民交流の拠点となるコミュニティセンターとして事業を実施しています。あなたは、「地域総合センター（隣保館）」を知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

図表 地域総合センター（隣保館）の認知状況

(N=1,369)



■知っている □知らない □無回答

地域総合センター（隣保館）の認知状況をたずねたところ、「知らない」が70.1%、「知っている」が24.3%となっている。

図表 地域総合センター（隣保館）の認知状況

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		332	959	78	1,369
		24.3%	70.1%	5.7%	100.0%
地域	志津小学校区	23	70	1	94
		24.5%	74.5%	1.1%	100.0%
	志津南小学校区	10	39	4	53
		18.9%	73.6%	7.5%	100.0%
	草津小学校区	35	76	5	116
		30.2%	65.5%	4.3%	100.0%
	草津第二小学校区	18	86	0	104
		17.3%	82.7%	0.0%	100.0%
	渋川小学校区	19	50	3	72
		26.4%	69.4%	4.2%	100.0%
	矢倉小学校区	28	69	6	103
		27.2%	67.0%	5.8%	100.0%
	老上小学校区	42	102	6	150
		28.0%	68.0%	4.0%	100.0%
	玉川小学校区	9	82	9	100
		9.0%	82.0%	9.0%	100.0%
	南笠東小学校区	15	48	5	68
		22.1%	70.6%	7.4%	100.0%
	山田小学校区	20	53	10	83
		24.1%	63.9%	12.0%	100.0%
	笠縫小学校区	35	73	7	115
		30.4%	63.5%	6.1%	100.0%
	笠縫東小学校区	29	63	7	99
		29.3%	63.6%	7.1%	100.0%
	常盤小学校区	29	18	3	50
		58.0%	36.0%	6.0%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	20	130	12	162
		12.3%	80.2%	7.4%	100.0%
2008年調査		308	684	48	1,040
		29.6%	65.8%	4.6%	100.0%

前回調査と比較すると、「知っている」は5.3ポイント減少し、「知らない」が4.3ポイント増加している。

地域別にみると、「知っている」は常盤小学校区が58.0%で最も多く、このほか、笠縫小学校区と草津小学校区も30%台となっており、他の地域に比べてやや多い。「知らない」は常盤小学校区を除いて60%以上を占めており、玉川小学校区、志津小学校区、志津南小学校区、南笠東小学校区では70%以上を占め、特に多い。

性別にみると、「知っている」は、男性が24.6%、女性が23.9%、「知らない」は、男性が69.9%、女性が71.6%となっており、男女間で大差はみられない。

年齢別にみると、年齢層が高いほど「知っている」が多い傾向がみられるが、いずれの年齢層でも「知らない」が半数以上を占めている。

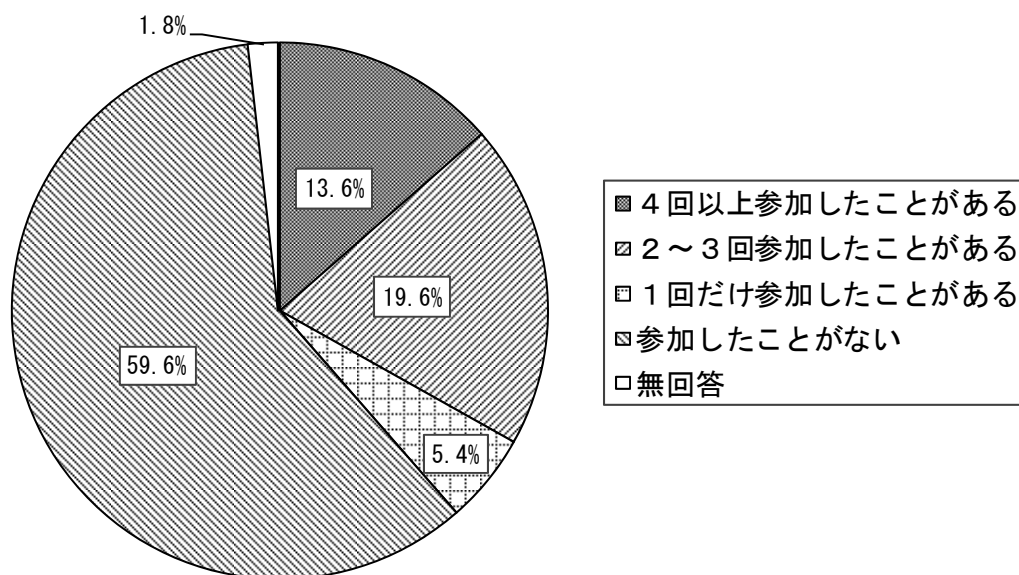
居住年数別にみると、居住年数が高いほど「知っている」が多い傾向がみられるが、居住年数の長短に関係なく「知らない」が半数以上を占めている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、「知っている」は「男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」と「学習資料『めざめ』」をいつも読んでいる人では「知っている」が50%台と特に多い。学習資料の閲読頻度が高い人ほど地域総合センター（隣保館）を知っている人が多い傾向がみられる。

質問27－1. 質問27で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、「地域総合センター（隣保館）」の行っている諸事業に参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 地域総合センター（隣保館）で開催している諸事業への参加状況

(N=332)



地域総合センター（隣保館）を知っている人に対して、地域総合センター（隣保館）で開催している諸事業への参加状況をたずねたところ、「参加したことがない」が59.6%で最も多く、以下、「2～3回参加したことがある」が19.6%、「4回以上参加したことがある」が13.6%、「1回だけ参加したことがある」が5.4%となっている。

図表 地域総合センター（隣保館）で開催している諸事業への参加状況

		4回以上参加したことがある	2～3回参加したことがある	1回だけ参加したことがある	参加したことがない	無回答	合計
全体		45 13.6%	65 19.6%	18 5.4%	198 59.6%	6 1.8%	332 100.0%
地域	志津小学校区	0 0.0%	4 17.4%	3 13.0%	16 69.6%	0 0.0%	23 100.0%
	志津南小学校区	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	7 70.0%	1 10.0%	10 100.0%
	草津小学校区	7 20.0%	10 28.6%	0 0.0%	18 51.4%	0 0.0%	35 100.0%
	草津第二小学校区	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	15 83.3%	0 0.0%	18 100.0%
	渋川小学校区	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%	13 68.4%	2 10.5%	19 100.0%
	矢倉小学校区	3 10.7%	6 21.4%	2 7.1%	17 60.7%	0 0.0%	28 100.0%
	老上小学校区	9 21.4%	7 16.7%	3 7.1%	22 52.4%	1 2.4%	42 100.0%
	玉川小学校区	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	7 77.8%	0 0.0%	9 100.0%
	南笠東小学校区	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	11 73.3%	1 6.7%	15 100.0%
	山田小学校区	5 25.0%	2 10.0%	2 10.0%	10 50.0%	1 5.0%	20 100.0%
	笠縫小学校区	4 11.4%	6 17.1%	2 5.7%	23 65.7%	0 0.0%	35 100.0%
	笠縫東小学校区	3 10.3%	7 24.1%	2 6.9%	17 58.6%	0 0.0%	29 100.0%
	常盤小学校区	9 31.0%	11 37.9%	1 3.4%	8 27.6%	0 0.0%	29 100.0%
	無回答・小学校区不明	1 5.0%	4 20.0%	1 5.0%	14 70.0%	0 0.0%	20 100.0%

地域別にみると、いずれの地域も集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、1回以上の参加率は常盤小学校区が72.4%で最も高く、このほか、草津小学校区、老上小学校区、山田小学校区、笠縫東小学校区も40%以上を占め、他の地域に比べて高い。「参加したことがない」は、常盤小学校区を除いて半数以上を占めている。

性別にみると、1回以上の参加率は、女性（39.9%）が男性（36.1%）に比べて3.8ポイント高く、「参加したことがない」は、男性（63.3%）が女性（57.7%）に比べて5.6ポイント多い。

年齢別にみると、参加状況に年齢による顕著な傾向は見出せないが、1回以上の参加率は、50歳代以上では40%台となっており、40歳代以下では10%台～20%台であるのに比べて高い。「参加したことがない」は、50歳代で44.9%と最も少ないほかは、いずれの年齢層でも半数以上を占めている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、1回以上参加率は学習資料の閲読頻度が高い人ほど高い傾向がみられ、「学習資料『めざめ』」を「いつも読んでいる」人が64.3%で最も高い。

【啓発活動に対する接触度スコア】

図表 啓発活動に対する接触度スコア

		8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	合計	平均 (点)
全体		48 3.5%	138 10.1%	105 7.7%	115 8.4%	105 7.7%	118 8.6%	157 11.5%	205 15.0%	378 27.6%	1,369 100.0%	2.81
地域	志津小学校区	3 3.2%	7 7.4%	6 6.4%	11 11.7%	7 7.4%	23 24.5%	8 8.5%	14 14.9%	15 16.0%	94 100.0%	3.10
	志津南小学校区	0 0.0%	8 15.1%	3 5.7%	3 5.7%	3 5.7%	4 7.5%	12 22.6%	8 15.1%	12 22.6%	53 100.0%	2.74
	草津小学校区	4 3.4%	16 13.8%	8 6.9%	9 7.8%	8 6.9%	15 12.9%	12 10.3%	17 14.7%	27 23.3%	116 100.0%	3.06
	草津第二小学校区	1 1.0%	6 5.8%	12 11.5%	7 6.7%	2 1.9%	11 10.6%	18 17.3%	16 15.4%	31 29.8%	104 100.0%	2.40
	洪川小学校区	1 1.4%	2 2.8%	5 6.9%	3 4.2%	7 9.7%	8 11.1%	11 15.3%	13 18.1%	22 30.6%	72 100.0%	2.14
	矢倉小学校区	7 6.8%	14 13.6%	6 5.8%	9 8.7%	9 8.7%	6 5.8%	13 12.6%	15 14.6%	24 23.3%	103 100.0%	3.20
	老上小学校区	6 4.0%	17 11.3%	10 6.7%	15 10.0%	15 10.0%	8 5.3%	12 8.0%	27 18.0%	40 26.7%	150 100.0%	2.91
	玉川小学校区	1 1.0%	10 10.0%	6 6.0%	11 11.0%	7 7.0%	6 6.0%	9 9.0%	13 13.0%	37 37.0%	100 100.0%	2.46
	南笠東小学校区	1 1.5%	9 13.2%	3 4.4%	9 13.2%	3 4.4%	1 1.5%	9 13.2%	12 17.6%	21 30.9%	68 100.0%	2.63
	山田小学校区	2 2.4%	9 10.8%	11 13.3%	6 7.2%	9 10.8%	7 8.4%	11 13.3%	13 15.7%	15 18.1%	83 100.0%	3.22
	笠縫小学校区	4 3.5%	14 12.2%	13 11.3%	7 6.1%	11 9.6%	7 6.1%	13 11.3%	14 12.2%	32 27.8%	115 100.0%	3.03
	笠縫東小学校区	4 4.0%	8 8.1%	9 9.1%	10 10.1%	12 12.1%	7 7.1%	15 15.2%	15 15.2%	19 19.2%	99 100.0%	3.09
	常盤小学校区	14 28.0%	7 14.0%	6 12.0%	5 10.0%	2 4.0%	4 8.0%	0 0.0%	4 8.0%	8 16.0%	50 100.0%	4.92
	無回答・ 小学校区不明	0 0.0%	11 6.8%	7 4.3%	10 6.2%	10 6.2%	11 6.8%	14 8.6%	24 14.8%	75 46.3%	162 100.0%	1.81
2008年調査		—	63 6.1%	210 20.2%	98 9.4%	120 11.5%	101 9.7%	126 12.1%	134 12.9%	188 18.1%	1,040 100.0%	3.23

啓発活動に対する接触度を総合的に把握するため、「研修会・講演会」の参加者（質問24）、「町内学習懇談会」の参加者（質問25）、「地域総合センター」の諸行事参加者（質問27-1）のほか、質問26で人権センターが発行する学習資料等5種類それぞれを読んだことがある者それぞれに1点ずつを配点し、その合計を算出した。このスコアは、最高8点から最低0点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど接触機会が多く、スコアが低いほど接触機会が少ないため、「啓発活動に対する接触度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「0点」が27.6%で最も多く、いずれの啓発活動との接触もない人が4分の1以上を占めている。以下、「1点」が15.0%、「2点」が11.5%と続いており、接触度スコアの平均は2.81点で、接触の啓発活動の個数は3つ程度となる。

地域別にみると、接触度スコアの平均は常盤小学校区が4.92点で最も高く、逆に、洪川小学校区が2.14点で最も低い。

性別にみると、接触度スコアの平均は、女性（3.12点）が男性（2.47点）に比べて高く、女性の接触個数が多い。

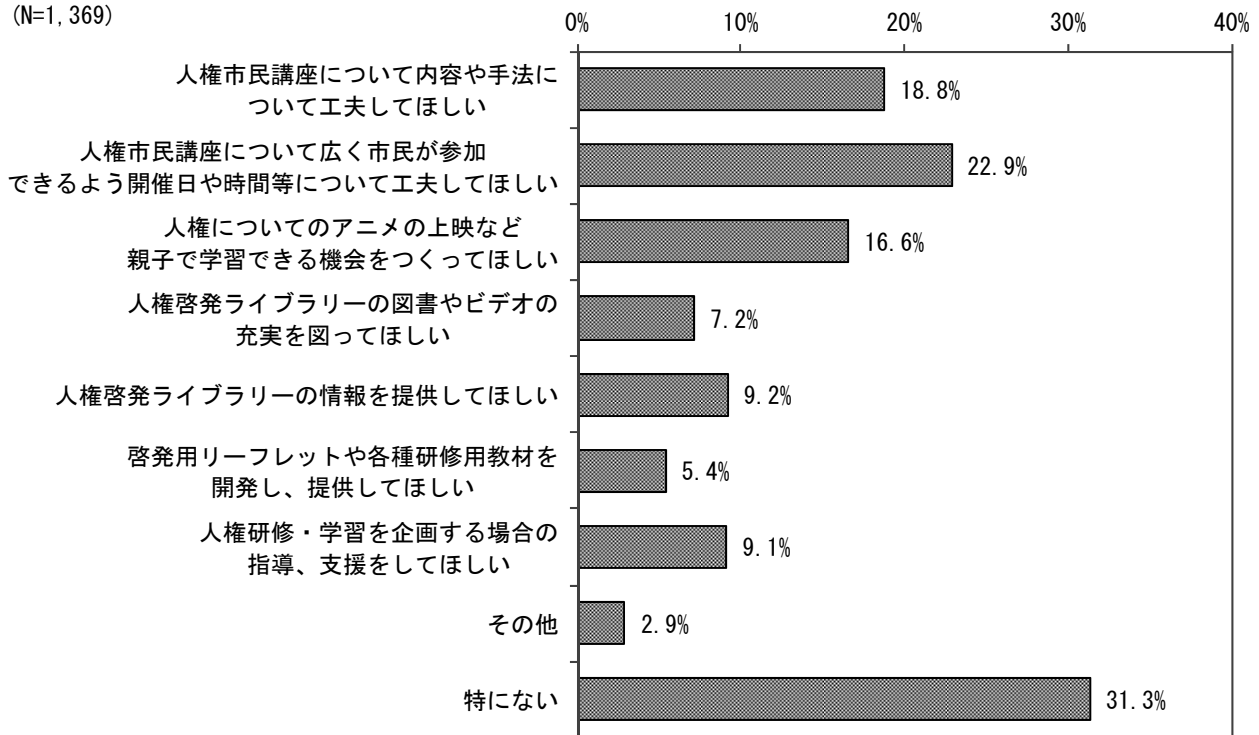
年齢別にみると、接触度スコアの平均は、年齢層が低いほど低い傾向がみられ、20歳代では1.00点（1回）に満たず、極端に接触回数が少ない。

居住年数別にみると、接触度スコアの平均は、居住年数が短いほど低い傾向がみられ、「2年未満」では1.00点（1回）に満たず、極端に接触回数が少ない。

質問28. 「人権センター」は、人権問題の教育・啓発の拠点ですが、あなたは、センターにどのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 「人権センター」に期待すること（複数回答）

(N=1,369)



「人権センター」に期待することをたずねたところ、「特にない」が31.3%で最も多いが、これを除くと、「人権市民講座について広く市民が参加できるように開催日や時間等について工夫してほしい」が22.9%で最も多く、以下、「人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい」が18.8%、「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」が16.6%などとなっている。

図表 「人権センター」に期待すること（複数回答）

		人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい	人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい	人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい	人権啓発ライブラリーの図書やビデオの充実を図ってほしい	人権啓発ライブラリーの情報を提供してほしい	啓発用リーフレットや各種研修用教材を開発し、提供してほしい	人権研修・学習を企画する場合の指導、支援をしてほしい	その他	特にない	集計母数	
全体		257 18.8%	313 22.9%	227 16.6%	98 7.2%	126 9.2%	74 5.4%	125 9.1%	40 2.9%	429 31.3%	1,369 100.0%	
地域	志津小学校区	18 19.1%	19 20.2%	17 18.1%	6 6.4%	9 9.6%	3 3.2%	7 7.4%	2 2.1%	37 39.4%	94 100.0%	
	志津南小学校区	7 13.2%	10 18.9%	5 9.4%	4 7.5%	4 7.5%	2 3.8%	3 5.7%	1 1.9%	22 41.5%	53 100.0%	
	草津小学校区	27 23.3%	26 22.4%	22 19.0%	6 5.2%	10 8.6%	8 6.9%	14 12.1%	3 2.6%	30 25.9%	116 100.0%	
	草津第二小学校区	26 25.0%	22 21.2%	20 19.2%	11 10.6%	12 11.5%	8 7.7%	9 8.7%	0 0.0%	29 27.9%	104 100.0%	
	渋川小学校区	8 11.1%	13 18.1%	7 9.7%	3 4.2%	6 8.3%	3 4.2%	6 8.3%	5 6.9%	27 37.5%	72 100.0%	
	矢倉小学校区	17 16.5%	18 17.5%	16 15.5%	6 5.8%	14 13.6%	8 7.8%	16 15.5%	3 2.9%	35 34.0%	103 100.0%	
	老上小学校区	29 19.3%	36 24.0%	28 18.7%	11 7.3%	9 6.0%	6 4.0%	15 10.0%	4 2.7%	48 32.0%	150 100.0%	
	玉川小学校区	16 16.0%	25 25.0%	15 15.0%	6 6.0%	8 8.0%	3 3.0%	7 7.0%	3 3.0%	32 32.0%	100 100.0%	
	南笠東小学校区	17 25.0%	14 20.6%	12 17.6%	3 4.4%	2 2.9%	4 5.9%	4 5.9%	4 5.9%	20 29.4%	68 100.0%	
	山田小学校区	16 19.3%	19 22.9%	15 18.1%	9 10.8%	8 9.6%	6 7.2%	7 8.4%	4 4.8%	21 25.3%	83 100.0%	
	笠縫小学校区	19 16.5%	34 29.6%	14 12.2%	8 7.0%	11 9.6%	4 3.5%	7 6.1%	2 1.7%	38 33.0%	115 100.0%	
	笠縫東小学校区	17 17.2%	24 24.2%	14 14.1%	7 7.1%	9 9.1%	3 3.0%	7 7.1%	3 3.0%	33 33.3%	99 100.0%	
	常盤小学校区	9 18.0%	16 32.0%	12 24.0%	7 14.0%	5 10.0%	7 14.0%	8 16.0%	1 2.0%	9 18.0%	50 100.0%	
	無回答・小学校区不明	31 19.1%	37 22.8%	30 18.5%	11 6.8%	19 11.7%	9 5.6%	15 9.3%	5 3.1%	48 29.6%	162 100.0%	
	2008年調査		150 14.4%	202 19.4%	192 18.5%	76 7.3%	82 7.9%	65 6.3%	102 9.8%	29 2.8%	322 31.0%	1,040 100.0%
	2003年調査		192 15.7%	283 23.2%	267 21.9%	113 9.3%	119 9.8%	54 4.4%	135 11.1%	28 2.3%	322 26.4%	1,220 100.0%

過去2回の調査と比較すると、「人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい」は毎回増加しており、今回が最も多い。逆に、「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」や「人権研修・学習を企画する場合の指導、支援をしてほしい」は、毎回減少し、それぞれ今回が最も少ない。

地域別にみると、常盤小学校区では「人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい」が最も多く、他の地域では「特にない」が最も多い。このほか、「人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい」は、草津第二小学校区、南笠東小学校区、草津小学校区では20%台となっており、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「特にない」が最も多く、次いで「人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい」となっている。

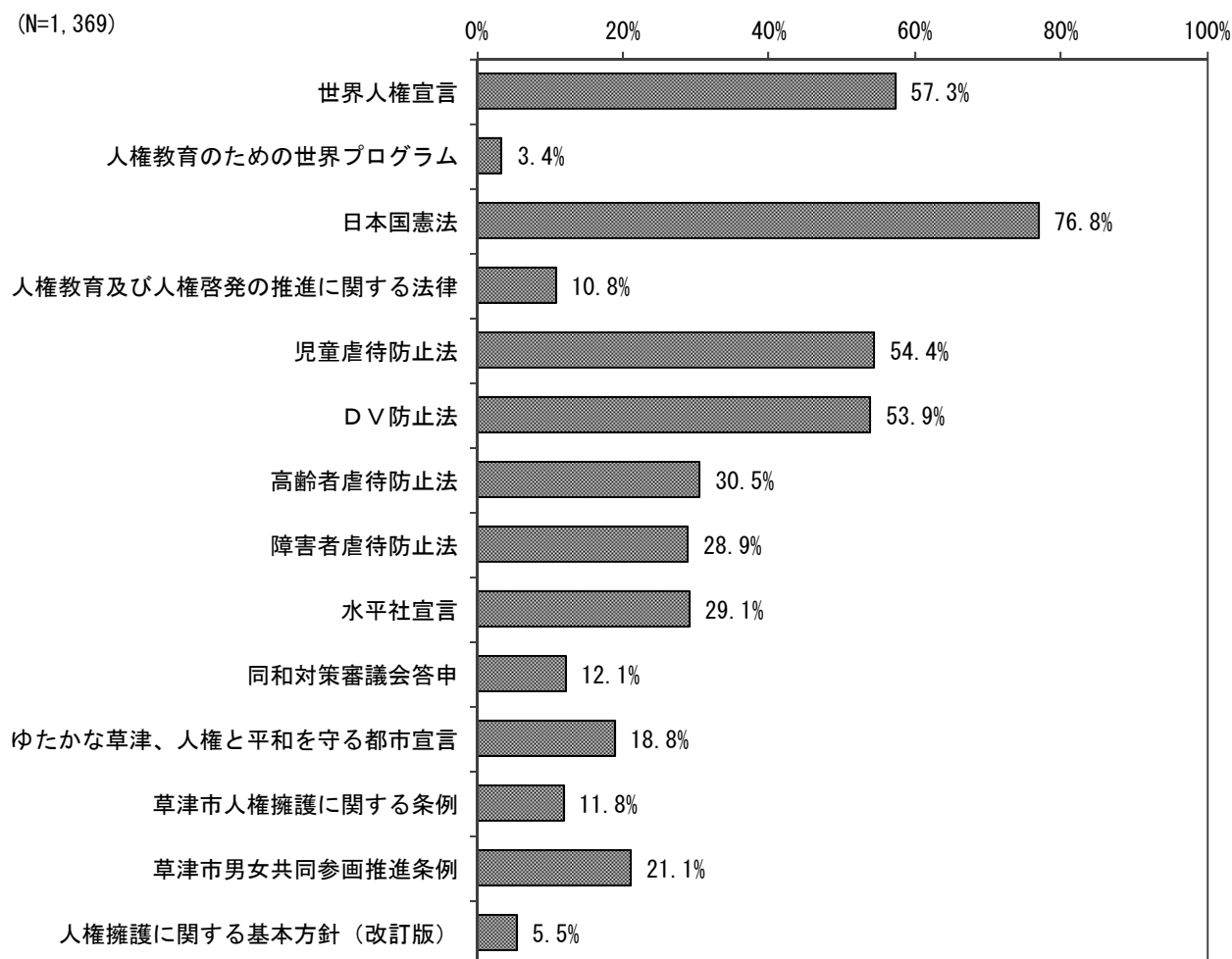
年齢別にみると、「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」は、年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

居住年数別にみると、居住年数が短いほど「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」が多い傾向がみられる。

12 人権問題に対する関心や人権学習の態度

質問29. あなたは、次の人権に関する宣言や法律、条例等を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

図表 人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況（複数回答）



※本設問の選択肢は表記が長いため、図表中では表記を簡略にし、それに対応する分析も図表中の表記を用いている。

人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況をたずねたところ、「日本国憲法」が76.8%で最も多く、以下、「世界人権宣言」が57.3%、「児童虐待防止法」が54.4%、「DV防止法」が53.9%、「水平社宣言」が29.1%、「高齢者虐待防止法」が28.9%などとなっている。

「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」や「草津市人権擁護に関する条例」、「草津市男女共同参画推進条例」、「人権擁護に関する基本方針（改訂版）」といった本市の条例等の認知率は、いずれも法律等の認知率に比べて低い傾向にある。

図表 人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況（複数回答）

	世界人権宣言	人権教育のための世界プログラム	日本国憲法	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	児童虐待防止法	DV防止法	高齢者虐待防止法	障害者虐待防止法	水平社宣言	同和対策審議会答申	ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言	草津市人権擁護に関する条例	草津市男女共同参画推進条例	人権擁護に関する基本方針（改訂版）	集計母数
全体	784 57.3%	47 3.4%	1,052 76.8%	148 10.8%	745 54.4%	738 53.9%	418 30.5%	395 28.9%	398 29.1%	166 12.1%	258 18.8%	162 11.8%	289 21.1%	75 5.5%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	47 50.0%	5 5.3%	69 73.4%	13 13.8%	47 50.0%	52 55.3%	36 38.3%	33 35.1%	16 21.3%	18 17.0%	10 10.6%	21 22.3%	7 7.4%	94 100.0%
	志津南小学校区	31 58.5%	1 1.9%	37 69.8%	1 1.9%	26 49.1%	24 45.3%	12 22.6%	12 22.6%	0 0.0%	5 9.4%	3 5.7%	4 7.5%	1 1.9%	53 100.0%
	草津小学校区	58 50.0%	6 5.2%	86 74.1%	12 10.3%	67 57.8%	62 53.4%	34 29.3%	33 28.4%	17 27.6%	21 18.1%	15 12.9%	23 19.8%	6 5.2%	116 100.0%
	草津第二小学校区	73 70.2%	6 5.8%	90 86.5%	17 16.3%	68 65.4%	70 67.3%	36 34.6%	37 35.6%	19 33.7%	16 15.4%	11 10.6%	27 26.0%	4 3.8%	104 100.0%
	洪川小学校区	50 69.4%	2 2.8%	63 87.5%	4 5.6%	39 54.2%	40 55.6%	18 25.0%	17 23.6%	8 37.5%	13 18.1%	8 11.1%	18 25.0%	3 4.2%	72 100.0%
	矢倉小学校区	60 58.3%	3 2.9%	77 74.8%	10 9.7%	59 57.3%	58 56.3%	31 30.1%	26 25.2%	14 28.2%	26 25.2%	14 13.6%	23 22.3%	8 7.8%	103 100.0%
	老上小学校区	93 62.0%	5 3.3%	116 77.3%	21 14.0%	85 56.7%	89 59.3%	52 34.7%	50 33.3%	17 11.3%	24 16.0%	14 9.3%	31 20.7%	3 2.0%	150 100.0%
	玉川小学校区	51 51.0%	3 3.0%	84 84.0%	9 9.0%	58 58.0%	60 60.0%	33 33.0%	31 31.0%	7 23.0%	17 17.0%	12 12.0%	20 20.0%	5 5.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	40 58.8%	2 2.9%	53 77.9%	8 11.8%	36 52.9%	31 45.6%	17 25.0%	17 25.0%	6 33.8%	20 29.4%	9 13.2%	15 22.1%	4 5.9%	68 100.0%
	山田小学校区	44 53.0%	3 3.6%	60 72.3%	11 13.3%	47 56.6%	42 50.6%	24 28.9%	22 26.5%	12 31.3%	18 21.7%	12 14.5%	22 26.5%	7 8.4%	83 100.0%
	笠縫小学校区	54 47.0%	4 3.5%	84 73.0%	13 11.3%	61 53.0%	59 51.3%	34 29.6%	35 30.4%	13 20.0%	29 25.2%	20 17.4%	31 27.0%	10 8.7%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	58 58.6%	4 4.0%	80 80.8%	11 11.1%	55 55.6%	55 55.6%	35 35.4%	33 33.3%	17 27.3%	17 17.2%	13 13.1%	19 19.2%	5 5.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	33 66.0%	2 4.0%	40 80.0%	6 12.0%	26 52.0%	28 56.0%	15 30.0%	13 26.0%	7 48.0%	19 38.0%	9 18.0%	16 32.0%	6 12.0%	50 100.0%
	無回答・小学校区不明	92 56.8%	1 0.6%	113 69.8%	12 7.4%	71 43.8%	68 42.0%	41 25.3%	36 22.2%	13 29.0%	15 9.3%	12 7.4%	19 11.7%	6 3.7%	162 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても、「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」や「草津市人権擁護に関する条例」、「草津市男女共同参画推進条例」、「人権擁護に関する基本方針（改訂版）」といった、本市の条例等の認知率は、いずれも法律等の認知率に比べて低い傾向にあり、特に、「人権擁護に関する基本方針（改訂版）」は、常盤小学校区を除いて10%未満となっており、特に認知率が低い。逆に、「日本国憲法」や「世界人権宣言」、「児童虐待防止法」、「DV防止法」は、いずれもほぼすべての地域で半数以上の認知率となっている。

性別にみると、男女間で比較的差が大きいものは、「同和対策審議会答申」や「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」は、男性が女性に比べて多く、「児童虐待防止法」や「DV防止法」、「高齢者虐待防止法」、「障害者虐待防止法」、「草津市男女共同参画推進条例」、「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」は、女性が男性に比べて多い。

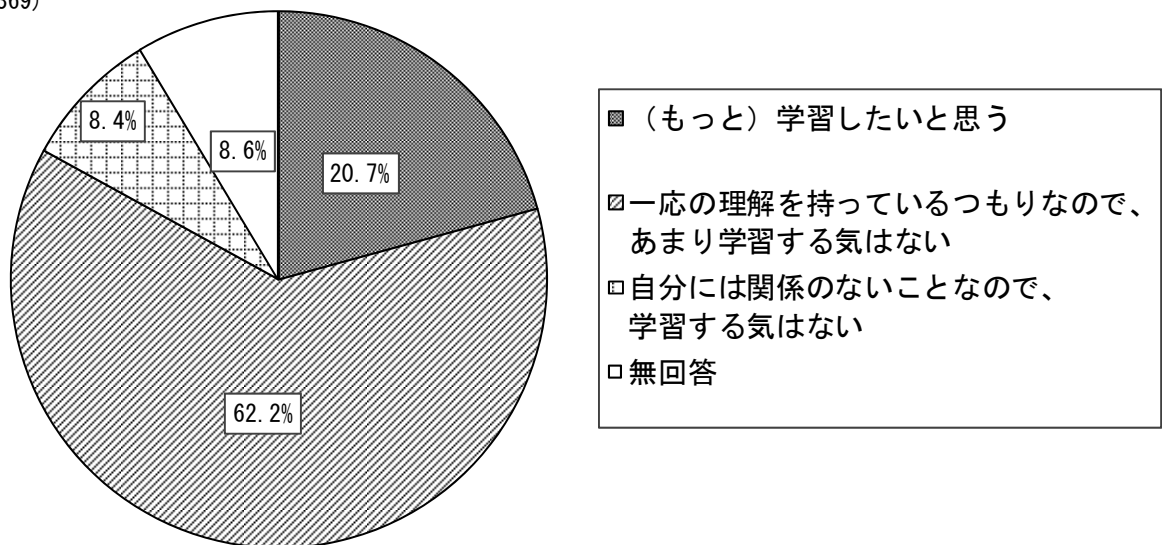
年齢別にみると、いずれも顕著な傾向ではないが、「日本国憲法」や「世界人権宣言」、「児童虐待防止法」、「DV防止法」は、年齢層が低いほど多い傾向がみられる。逆に、「草津市男女共同参画推進条例」や「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」、「草津市人権擁護に関する条例」は、年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、いずれの学習資料についても、閲読頻度が高い人ほどそれぞれの法律等の認知率が高い傾向がみられる。

質問31. あなたは、ご自身の人権問題に関する学習のあり方について、どのように考えていますか。お考えに最も近い番号を1つだけ選び、○をつけてください。

図表 自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢

(N=1,369)



自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢をたずねたところ、「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」が62.2%で最も多く、以下、「(もっと) 学習したいと思う」が20.7%、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」が8.4%となっている。

図表 自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢

		(もっと) 学習したい と思う	一応の理解 を持っている つもりなので、 あまり学習する 気はない	自分には関 係のないこと なので、 学習する気 はない	無回答	合計
全体		284 20.7%	852 62.2%	115 8.4%	118 8.6%	1,369 100.0%
地域	志津小学校区	19 20.2%	54 57.4%	12 12.8%	9 9.6%	94 100.0%
	志津南小学校区	11 20.8%	30 56.6%	8 15.1%	4 7.5%	53 100.0%
	草津小学校区	17 14.7%	80 69.0%	8 6.9%	11 9.5%	116 100.0%
	草津第二小学校区	18 17.3%	72 69.2%	9 8.7%	5 4.8%	104 100.0%
	洪川小学校区	17 23.6%	46 63.9%	6 8.3%	3 4.2%	72 100.0%
	矢倉小学校区	27 26.2%	63 61.2%	9 8.7%	4 3.9%	103 100.0%
	老上小学校区	24 16.0%	103 68.7%	9 6.0%	14 9.3%	150 100.0%
	玉川小学校区	23 23.0%	61 61.0%	10 10.0%	6 6.0%	100 100.0%
	南笠東小学校区	19 27.9%	40 58.8%	5 7.4%	4 5.9%	68 100.0%
	山田小学校区	22 26.5%	46 55.4%	6 7.2%	9 10.8%	83 100.0%
	笠縫小学校区	25 21.7%	71 61.7%	9 7.8%	10 8.7%	115 100.0%
	笠縫東小学校区	18 18.2%	65 65.7%	6 6.1%	10 10.1%	99 100.0%
	常盤小学校区	12 24.0%	27 54.0%	2 4.0%	9 18.0%	50 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	32 19.8%	94 58.0%	16 9.9%	20 12.3%	162 100.0%
2008年調査		306 29.4%	523 50.3%	62 6.0%	149 14.3%	1,040 100.0%
2003年調査		285 23.4%	697 57.1%	66 5.4%	172 14.1%	1,220 100.0%
1998年調査		360 21.6%	1,002 60.0%	104 6.2%	204 12.2%	1,670 100.0%

過去3回の調査と比較すると、毎回増加してきた「(もっと) 学習したいと思う」は前回に比べて8.7ポイント減少し、今回が最も少ない。「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」は11.9ポイント、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」は2.4ポイントそれぞれ増加している。

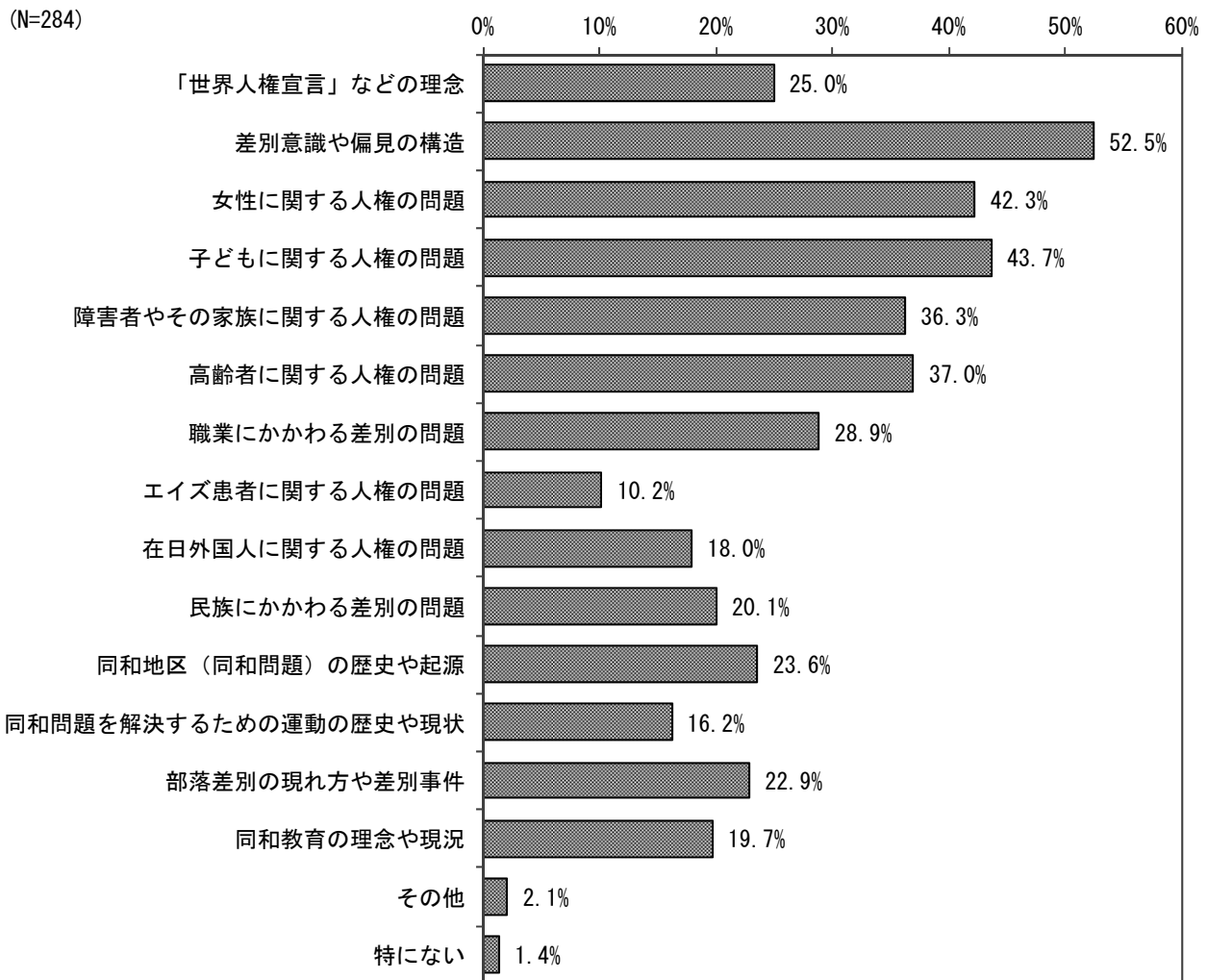
地域別にみると、「(もっと) 学習したいと思う」は、南笠東小学校区、山田小学校区、矢倉小学校区では25%以上とやや多い。「自分には関係のないことなので、学習する気はない」は、志津南小学校区、志津小学校区、玉川小学校区では10%台とやや多い。「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」は、いずれの地域でも半数以上を占めている。

性別にみると、「(もっと) 学習したいと思う」は女性(23.7%)が男性(19.0%)に比べて4.7ポイント多く、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」は、男性(9.7%)が女性(7.3%)に比べて2.4ポイント多い。

年齢別にみると、「(もっと) 学習したいと思う」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。顕著な傾向ではないが、「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」は、年齢層が高いほど多い傾向がみられる。

質問31ー 1. 質問31で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたが学習したいと思っているものはどれですか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 自身が学習したいと思っている人権問題に関する分野・内容（複数回答）



※本設問の選択肢は表記が長いため、図表中では表記を簡略にし、それに対応する分析も図表中の表記を用いている。

人権問題に関する学習をしたいと思っている人に対して、人権問題に関する分野・内容をたずねたところ、「差別意識や偏見の構造」が52.5%で最も多く、以下、「子どもに関する人権の問題」が43.7%、「女性に関する人権の問題」が42.3%、「高齢者に関する人権の問題」が37.0%、「障害者やその家族に関する人権の問題」が36.3%、「職業にかかわる差別の問題」が28.9%、「世界人権宣言」などの理念が25.0%などとなっている。

図表 自身が学習したいと思っている人権問題に関する分野・内容（複数回答）

		「世界人権宣言」などの理念	差別意識や偏見の構造	女性に関する人権の問題	子どもに関する人権の問題	障害者やその家族に関する人権の問題	高齢者に関する人権の問題	職業にかかわる差別の問題	エイズ患者に関する人権の問題	在日外国人に関する人権の問題	
全体		71 25.0%	149 52.5%	120 42.3%	124 43.7%	103 36.3%	105 37.0%	82 28.9%	29 10.2%	51 18.0%	
地域	志津小学校区	4 21.1%	9 47.4%	8 42.1%	10 52.6%	9 47.4%	8 42.1%	7 36.8%	4 21.1%	3 15.8%	
	志津南小学校区	1 9.1%	7 63.6%	7 63.6%	7 63.6%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	
	草津小学校区	4 23.5%	11 64.7%	10 58.8%	8 47.1%	7 41.2%	8 47.1%	7 41.2%	2 11.8%	5 29.4%	
	草津第二小学校区	6 33.3%	10 55.6%	10 55.6%	11 61.1%	10 55.6%	11 61.1%	4 22.2%	2 11.1%	4 22.2%	
	洪川小学校区	5 29.4%	11 64.7%	9 52.9%	9 52.9%	2 11.8%	4 23.5%	4 23.5%	1 5.9%	5 29.4%	
	矢倉小学校区	7 25.9%	15 55.6%	14 51.9%	10 37.0%	9 33.3%	10 37.0%	6 22.2%	4 14.8%	2 7.4%	
	老上小学校区	7 29.2%	13 54.2%	8 33.3%	8 33.3%	9 37.5%	7 29.2%	4 16.7%	4 16.7%	7 29.2%	
	玉川小学校区	9 39.1%	13 56.5%	9 39.1%	9 39.1%	6 26.1%	8 34.8%	4 17.4%	2 8.7%	2 8.7%	
	南笠東小学校区	5 26.3%	10 52.6%	8 42.1%	5 26.3%	10 52.6%	10 52.6%	7 36.8%	3 15.8%	7 36.8%	
	山田小学校区	5 22.7%	10 45.5%	9 40.9%	11 50.0%	11 50.0%	7 31.8%	8 36.4%	3 13.6%	5 22.7%	
	笠縫小学校区	2 8.0%	9 36.0%	7 28.0%	11 44.0%	6 24.0%	6 24.0%	10 40.0%	0 0.0%	2 8.0%	
	笠縫東小学校区	4 22.2%	8 44.4%	5 27.8%	8 44.4%	8 44.4%	9 50.0%	3 16.7%	1 5.6%	5 27.8%	
	常盤小学校区	1 8.3%	8 66.7%	0 0.0%	5 41.7%	5 41.7%	2 16.7%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	
	無回答・小学校区不明	11 34.4%	15 46.9%	16 50.0%	12 37.5%	8 25.0%	13 40.6%	12 37.5%	2 6.3%	2 6.3%	
			民族にかかわる差別の問題	同和地区（同和問題）の歴史や起源	同和問題を解決するための運動の歴史や現状	部落差別の現れ方や差別事件	同和教育の理念や現況	その他	特にない	集計母数	
	全体		57 20.1%	67 23.6%	46 16.2%	65 22.9%	56 19.7%	6 2.1%	4 1.4%	284 100.0%	
	地域	志津小学校区	3 15.8%	3 15.8%	4 21.1%	5 26.3%	6 31.6%	0 0.0%	1 5.3%	19 100.0%	
		志津南小学校区	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	
		草津小学校区	4 23.5%	6 35.3%	4 23.5%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%	
		草津第二小学校区	4 22.2%	3 16.7%	2 11.1%	6 33.3%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%	
洪川小学校区		6 35.3%	7 41.2%	4 23.5%	5 29.4%	5 29.4%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%		
矢倉小学校区		5 18.5%	5 18.5%	4 14.8%	5 18.5%	6 22.2%	0 0.0%	1 3.7%	27 100.0%		
老上小学校区		3 12.5%	4 16.7%	1 4.2%	5 20.8%	3 12.5%	3 12.5%	0 0.0%	24 100.0%		
玉川小学校区		1 4.3%	4 17.4%	2 8.7%	2 8.7%	5 21.7%	0 0.0%	1 4.3%	23 100.0%		
南笠東小学校区		6 31.6%	5 26.3%	3 15.8%	6 31.6%	5 26.3%	0 0.0%	0 0.0%	19 100.0%		
山田小学校区		8 36.4%	8 36.4%	7 31.8%	7 31.8%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%		
笠縫小学校区		2 8.0%	6 24.0%	4 16.0%	3 12.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	25 100.0%		
笠縫東小学校区		4 22.2%	5 27.8%	2 11.1%	3 16.7%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%		
常盤小学校区		2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	12 100.0%		
無回答・小学校区不明		8 25.0%	7 21.9%	5 15.6%	6 18.8%	5 15.6%	0 0.0%	1 3.1%	32 100.0%		

地域別にみると、いずれの地域も集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、最多項目には、「差別意識や偏見の構造」をあげる地域が最も多く、このほか、「子どもに関する人権の問題」や「高齢者に関する人権の問題」、「障害者やその家族に関する人権の問題」、「女性に関する人権の問題」があげられている。

性別にみると、男性では「差別意識や偏見の構造」、女性では「女性に関する人権の問題」がそれぞれ最も多く、半数を超えている。男女間で10ポイント以上の差があるのは、『世界人権宣言』などの理念、「同和地区（同和問題）の歴史や起源」、「民族にかかわる差別の問題」は男性が女性に比べて多く、「女性に関する人権の問題」と「子どもに関する人権の問題」は女性が男性に比べて多い。

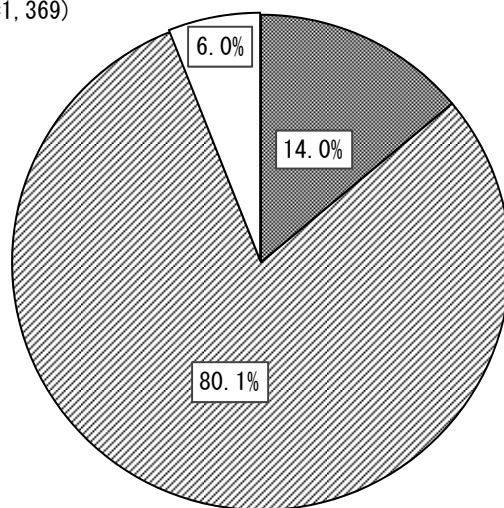
年齢別にみると、20歳代・40歳代・50歳代・70歳以上では「差別意識や偏見の構造」が最も多いが、30歳代以外では半数を超えている。30歳代では「子どもに関する人権の問題」が62.9%最も多く、他の年齢層に比べて突出している。60歳代では「高齢者に関する人権の問題」（70歳以上では本項目も同率で最多）が半数を超えて最も多い。

13 「登録型本人通知制度」の認知・利用

質問30. 草津市では、「登録型本人通知制度」を平成25年1月から開始していますが、あなたは知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

図表 草津市の「登録型本人通知制度」の認知状況

(N=1,369)



■ 知っている □ 知らない □ 無回答

草津市の「登録型本人通知制度」の認知状況をたずねたところ、「知らない」が80.1%、「知っている」が14.0%となっている

図表 草津市の「登録型本人通知制度」の認知状況

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		191	1,096	82	1,369
		14.0%	80.1%	6.0%	100.0%
地域	志津小学校区	15	76	3	94
		16.0%	80.9%	3.2%	100.0%
	志津南小学校区	7	41	5	53
		13.2%	77.4%	9.4%	100.0%
	草津小学校区	14	96	6	116
		12.1%	82.8%	5.2%	100.0%
	草津第二小学校区	14	90	0	104
		13.5%	86.5%	0.0%	100.0%
	渋川小学校区	10	59	3	72
		13.9%	81.9%	4.2%	100.0%
	矢倉小学校区	14	86	3	103
		13.6%	83.5%	2.9%	100.0%
	老上小学校区	31	114	5	150
		20.7%	76.0%	3.3%	100.0%
	玉川小学校区	11	81	8	100
		11.0%	81.0%	8.0%	100.0%
	南笠東小学校区	7	55	6	68
		10.3%	80.9%	8.8%	100.0%
	山田小学校区	13	61	9	83
		15.7%	73.5%	10.8%	100.0%
	笠縫小学校区	15	91	9	115
		13.0%	79.1%	7.8%	100.0%
	笠縫東小学校区	14	79	6	99
		14.1%	79.8%	6.1%	100.0%
	常盤小学校区	7	39	4	50
		14.0%	78.0%	8.0%	100.0%
	無回答・小学校区不明	19	128	15	162
		11.7%	79.0%	9.3%	100.0%

地域別にみると、「知っている」は老上小学校区が最も多く、以下、志津小学校区、山田小学校区などとなっている。逆に、「知らない」は、草津第二小学校区が最も多く、矢倉小学校区、草津小学校区、渋川小学校区、玉川小学校区、志津小学校区、南笠東小学校区も80%以上と多い。

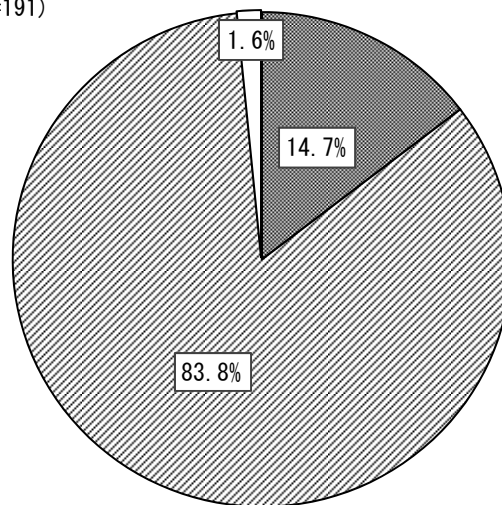
性別にみると、「知っている」は、女性（15.2%）が男性（12.3%）に比べて2.9ポイント多く、「知らない」は、男性（82.2%）が女性（79.8%）に比べて2.4ポイント多いが、大差ではない。

年齢別にみると、「知らない」は年齢層が低いほど多い傾向がみられる。また、「知っている」も、30歳代以上では年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

質問30－ 1. 質問30で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、「登録型本人通知制度」に登録していますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

図表 「登録型本人通知制度」の登録状況

(N=191)



■登録している ▨登録していない □無回答

「登録型本人通知制度」を知っている人に対して、登録状況をたずねたところ、「登録していない」が83.8%、「登録している」が14.7%となっている。

図表 「登録型本人通知制度」の登録状況

		登録している	登録していない	無回答	合計
全体		28 14.7%	160 83.8%	3 1.6%	191 100.0%
地域	志津小学校区	4 26.7%	11 73.3%	0 0.0%	15 100.0%
	志津南小学校区	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%	7 100.0%
	草津小学校区	2 14.3%	12 85.7%	0 0.0%	14 100.0%
	草津第二小学校区	4 28.6%	10 71.4%	0 0.0%	14 100.0%
	渋川小学校区	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%
	矢倉小学校区	0 0.0%	13 92.9%	1 7.1%	14 100.0%
	老上小学校区	2 6.5%	28 90.3%	1 3.2%	31 100.0%
	玉川小学校区	2 18.2%	9 81.8%	0 0.0%	11 100.0%
	南笠東小学校区	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%
	山田小学校区	2 15.4%	10 76.9%	1 7.7%	13 100.0%
	笠縫小学校区	4 26.7%	11 73.3%	0 0.0%	15 100.0%
	笠縫東小学校区	3 21.4%	11 78.6%	0 0.0%	14 100.0%
	常盤小学校区	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	4 21.1%	15 78.9%	0 0.0%	19 100.0%

地域別にみると、いずれの地域も集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、渋川小学校区、矢倉小学校区、南笠東小学校区、常盤小学校区では登録者はいない。

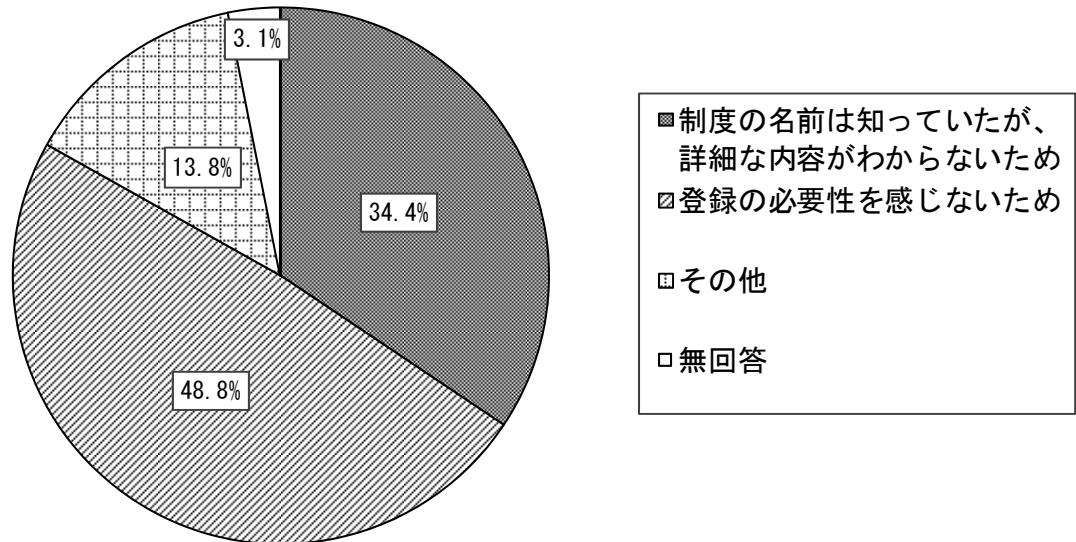
性別にみると、「登録している」は、女性（15.4%）が男性（12.7%）に比べて2.7ポイント多く、「登録していない」は、男性（86.1%）が女性（82.7%）に比べて3.4ポイント多い。

年齢別にみると、集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、60歳代以上では「登録している」が20%以上を占め、他の年齢層に比べてやや多い。

質問30－2. 質問30－1で、選択肢「2」にお答えの方にお聞きします。あなたが「登録型本人通知制度」に登録していない主な理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 「登録型本人通知制度」に登録していない理由

(N=160)



「登録型本人通知制度」を知っているが登録していない人に対して、その理由をたずねたところ、「登録の必要性を感じないため」が48.8%で最も多く、次いで「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」が34.4%となっている。

図表 「登録型本人通知制度」に登録していない理由

		制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため	登録の必要性を感じないため	その他	無回答	合計
全体		55 34.4%	78 48.8%	22 13.8%	5 3.1%	160 100.0%
地域	志津小学校区	3 27.3%	6 54.5%	1 9.1%	1 9.1%	11 100.0%
	志津南小学校区	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%
	草津小学校区	3 25.0%	8 66.7%	1 8.3%	0 0.0%	12 100.0%
	草津第二小学校区	3 30.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%
	渋川小学校区	3 30.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%
	矢倉小学校区	4 30.8%	7 53.8%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%
	老上小学校区	4 14.3%	16 57.1%	7 25.0%	1 3.6%	28 100.0%
	玉川小学校区	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	南笠東小学校区	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
	山田小学校区	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
	笠縫小学校区	5 45.5%	3 27.3%	2 18.2%	1 9.1%	11 100.0%
	笠縫東小学校区	6 54.5%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
	常盤小学校区	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	7 100.0%
	無回答・小学校区不明	6 40.0%	5 33.3%	4 26.7%	0 0.0%	15 100.0%

地域別にみると、いずれの地域も集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、常盤小学校区、玉川小学校区、笠縫東小学校区、志津南小学校区、笠縫小学校区では「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」が最も多く、他の地域では「登録の必要性を感じないため」が最も多い。

性別にみると、「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」は、女性（39.5%）が男性（27.9%）に比べて11.6ポイント多く、「登録の必要性を感じないため」は、男性（57.4%）が女性（45.3%）に比べて12.1ポイント多い。

年齢別にみると、集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」は20歳代が70.0%で最も多く、「登録の必要性を感じないため」は40歳代以上では半数以上を占めている。

14 人権尊重や人権問題の解決などに対する意見や要望

質問32. 人権尊重や人権問題の解決などについて、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

人権尊重や人権問題の解決などについて、記述式で意見や要望等を求めたところ、327件の意見が寄せられた。なお、1人の回答者が複数の内容の意見等を記述している場合は、それぞれを1件と数えている。

意見の内容を集約・分類した結果は、下表のとおりである。

図表 人権尊重や人権問題の解決などに対する意見や要望（記述回答）

分野	意見の内容	意見数
人権施策・教育・啓発（特定の分野に限らない）のあり方	広報、教育・啓発の方法の工夫・改善が必要	8
	子ども・若年層への教育・啓発を重視する	8
	人権教育・啓発には学校教育を重視すべきである	7
	人権教育・啓発は、世代・年齢に関係なく必要	6
	相手の身になって考える・他人を思いやるなど個々の行動が人権の理解、個人の尊重につながる	5
	人権教育・啓発を行うことが、かえって差別意識を生む・差別解消の阻害につながっている	4
	人権教育・啓発には家庭での教育が重要	3
	「人権問題＝同和問題」という扱われ方がされている・その扱いに疑問を感じる	2
	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	2
	差別する側だけでなく、差別される側への教育・啓発も必要である	2
	子ども・若年層よりも大人・高齢層への教育・啓発を重視する	2
	人権について主体的に学べる機会・環境づくりが必要	2
	人権施策の取組内容・状況をもっとPRすべき	2
	人権侵害を受けた人への相談支援体制の充実が必要	2
	草津市・関西では人権問題を取り上げすぎ、盛んに取り上げることに驚いた	2
	当事者との交流による教育・学習・啓発が重要	2
	道徳、マナーの教育が必要	2
	会社など学校や地域以外での人権学習の機会の充実が必要	1
	学校での人権教育の内容や教材の工夫、教員等の資質の向上	1
	研修会・講演会等の参加者の固定化、一般市民の関心・参加率の低さ、会自体の形骸化	1
	個人の意思・考えを尊重できるようにすることが重要	1
	行政や人権団体等が問題視しているだけで、市民はそれほど差別意識はない	1
	職場等で人権研修等は行われており、市による取組は不要	1
	人権施策は無駄・廃止すべき	1
	草津市の人権教育・啓発、人権施策はまだ不十分である	1
	草津市は人権教育・啓発、人権施策によく取り組んでいると思う	1
	小計	70

分野	意見の内容	意見数
人権問題（特定の分野に限らない）に対する個人の意識・考え・意見	相手の身になって考える・他人を思いやるなど個々の行動が人権の理解、個人の尊重につながる	22
	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	7
	差別や偏見は何をしてもなくならないと思う	7
	行政や人権団体等が問題視しているだけで、市民はそれほど差別意識はない	3
	子ども・若年層よりも大人・高齢層への教育・啓発を重視する	3
	自身の人権問題に対する理解が十分でない	3
	人権について主体的に学べる機会・環境づくりが必要	3
	道徳、マナーの教育が必要	3
	個人の意思・考えを尊重できるようにすることが重要	2
	自分では人権問題を理解しているつもりである	2
	人権教育・啓発を行うことが、かえって差別意識を生む・差別解消の阻害につながっている	2
	草津市は人権教育・啓発、人権施策によく取り組んでいると思う	2
	「人権問題＝同和問題」という扱われ方がされている・その扱いに疑問を感じる	1
	広報、教育・啓発の方法の工夫・改善が必要	1
	子ども・若年層への教育・啓発を重視する	1
	自身の同和問題に対する理解が十分でない	1
	人権教育・啓発は、世代・年齢に関係なく必要	1
	草津市・関西では人権問題を取り上げすぎ、盛んに取り上げることに驚いた	1
	小計	65
人権教育・啓発の講座・研修会のあり方	研修会・講演会等の開催方法の改善・工夫が必要	6
	研修会・講演会等の参加者の固定化、一般市民の関心・参加率の低さ、会自体の形骸化	4
	小計	10
同和問題について	騒ぐからいつまでも問題がなくなる・寝た子を起こすな	18
	同和地区住民の意識改革・行動変容に向けた教育・啓発がむしろ重要である	10
	行政や人権団体等が問題視しているだけで、市民はそれほど差別意識はない	9
	同和地区への優遇策が逆差別に思われる	9
	えせ同和行為や差別を種に利益を得ようとする人がいる限り、同和問題はなくなる	8
	草津市・関西では同和問題を取り上げすぎ、盛んに取り上げることに驚いた	7
	同和地区そのものをなくす・地区住民が分散して住む	6
	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	5
	自身の同和問題に対する理解が十分でない	5
	身近な差別、自身が経験した差別の内容	4
	草津市・関西へ引っ越してきて、初めて同和問題に触れるようになった	3
	当事者との交流による教育・学習・啓発が重要	3
	同和教育・啓発は、世代・年齢に関係なく必要	3
	「人権問題＝同和問題」という扱われ方がされている・その扱いに疑問を感じる	2
	同和教育は低年齢層から行うべき	2
	この調査が同和問題の気づき・学習の契機となった	1
	会社など学校や地域以外での人権学習の機会の充実が必要	1
	広報、教育・啓発の方法の工夫・改善が必要	1
	行政による支援策が必要である	1
	差別や偏見は何をしてもなくならないと思う	1
	子ども・若年層よりも大人・高齢層への教育・啓発を重視する	1
	同和教育はある程度の年齢になってから行うべき	1
	その他、または個別意見等	1
	小計	102

分野	意見の内容	意見数
女性の人権・男女 共同参画について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	3
	差別や偏見は何をしてもなくならないと思う	1
	相手の身になって考える・他人を思いやるなど個々の行動が人権の理解、個人の尊重につながる	1
	小計	5
職場での人権侵害、職業差別について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	3
	人権侵害を受けた人への相談支援体制の充実が必要	1
	小計	4
障害者の人権について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	3
	広報、教育・啓発の方法の工夫・改善が必要	1
	小計	4
外国人の人権について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	1
	差別や偏見は何をしてもなくならないと思う	1
	その他、または個別意見等	1
	小計	3
学校でのいじめ、人権侵害について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	2
	人権教育・啓発は、世代・年齢に関係なく必要	1
	小計	3
北朝鮮による拉致問題、民族間の偏見や差別について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	2
	小計	2
個人情報、プライバシーの保護について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	1
	身近な差別、自身が経験した差別の内容	1
	小計	2
医療機関での人権侵害について	身近な差別、自身が経験した差別の内容	1
	小計	1
高齢者の人権について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	1
	小計	1
子どもの人権について	差別、偏見、人権侵害、格差をなくす取組が必要である	1
	小計	1
本調査に対する意見	調査の設問設定の前提や内容に疑問がある	10
	女性回答者向けの宛名ラベルに、世帯主（男性）の名前が「様方」表記されていたことへの違和感と疑問	7
	この調査を行うこと・目的に対して疑問がある	6
	調査結果をどのように活かすのか・調査結果を活かした施策を望む	6
	この調査が人権問題の気づき・学習の契機となった	3
	調査の実施方法（設問の分量、対象者の抽出、設問の表記など）の工夫・改善が必要	3
	この調査が同和問題の気づき・学習の契機となった	1
	自身の人権問題に対する理解が十分でない	1
	草津市の人権教育・啓発、人権施策はまだ不十分である	1
	小計	38
人権施策以外の行政への意見や要望	その他、または個別意見等	12
	小計	12
その他（上記に分類が困難な意見）	その他、または個別意見等	4
	小計	4
合計		327

第3章 分析を終えて

第3章 分析を終えて

1 調査の特徴

本調査は、昭和58年（1983年）以降、5年に1回実施しており、今回は7回目の実施である。

過去6回は、『同和問題』に関する市民意識調査」として、同和問題を主要テーマとして実施してきたが、今回からは、『人権・同和問題』に関する市民意識調査」とし、女性・子ども・高齢者・障害のある人・外国人の人権問題や自身が経験した人権侵害の状況等に関する設問も加え、人権問題に対する市民の意識や態度をより幅広く把握できる調査として実施した。

2 回答者の特徴

調査票の有効回答率は回を重ねるごとに低下してきたが、今回は前回の36.5%から43.7%へと上昇した。その要因として、人権全般に関する設問を新たに加えたことで、市民にとってはより身近なテーマとして回答しやすい内容になったことが考えられる。

回答者の男女比は、全体では女性が男性に比べてやや多いが、20歳代～50歳代では女性が男性に比べて多く、60歳代以上では男性が女性に比べて多い。

回答者の年齢は、60歳代以上の高齢層が38.5%、40歳代と50歳代の中年層が33.2%、20歳代と30歳代の若年層が25.1%で、高齢層の回答率が高い。

回答者の市内居住年数は、「20年以上」が過半数を占めるが、「2年未満」や「2年以上5年未満」の比較的居住年数が短い回答者もそれぞれ8.6%と1割近くみられる。

回答者の職業は、「民間企業・団体（従業員20人以上）」が最も多く、「無職」が続いているが、「無職」の8割以上は60歳代以上の高齢層が占める。

3 調査結果の特徴

（1）差別についての考え方【質問1】

6つの差別に関する事項に対する「差別についての態度スコア」は、過去3回の調査と比べると今回が最も低く、差別だと思う傾向がやや低下している。年齢別にみると、差別だと思う傾向は40歳代～60歳代が他の年齢層に比べてやや高く、若年層と70歳以上の高齢層で差別だと思う傾向がやや低い。

（2）風習・慣習に対する意識【質問2】

6つの風習・慣習に対する「風習・慣習についての態度スコア」は、過去3回の調査と比べると今回が最も低く、いずれの風習・慣習もおかしいと思いつつも、自分だけが反対しても仕方ないという意識が強まる傾向が伺える。この傾向は年齢層が低いほど強い一方で、風習・慣習をなくしていかないといけないという意識は、年齢層が高いほど強い傾向にある。

（3）5年以内に人権侵害を受けた経験の有無【質問4～質問4-3】

5年以内に人権侵害を経験した市民は11.8%で、女性が男性に比べて多く、年齢層が低いほど多い傾向がみられる。

人権侵害を経験した場面としては、「職場」や「地域社会や公共の場」が特に多く、最も印象に残っている人権侵害の内容は、「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」や「差別待遇を受けた」、「仲間

ずれ、いじめ、嫌がらせを受けた」が多い。

人権侵害を受けた時にとった対処法としては、「黙ってがまんした」が最も多くあげられており、適切な相談・支援に結びつかず、結果として、泣き寝入りや問題解決に至っていないケースが多いと考えられる。

（４）女性の人権について【質問６～質問７】

男女平等に対する評価は、「家庭生活」や「職場」、「しきたりや慣習」、「法律や制度」は、男女間であまり平等になっていないと評価され、「学校教育」は、男女である程度平等になっていると評価され、「地域活動」は、どちらとも言えないと評価されている。いずれの場面でも女性が男性に比べて不平等感をより強く感じている。

女性の人権に関する相談窓口の認知率は、「市民相談室（草津市役所）」や「家庭児童相談室（市子ども家庭課）」、「人権相談（市立人権センター）」、「草津警察署生活安全課」は５割前後と高いが、「配偶者暴力相談支援センター」や「中央子ども家庭相談センター」、「女性の人権ホットライン（大津地方法務局）」は約２割と低く、相談窓口の認知率に大きな差がみられる。

（５）子どもの人権について【質問９～質問１０】

子どもの人権に関して問題があると思っていることは、「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」や「子どもに十分な食事を与えない」など、虐待に関する事項が特に多く、これらは年齢層が低いほど多い傾向にある。

子どもに対するいじめをなくすために重要なこととしては、「幼児期から他人への思いやりを身につける」が最も多い。『いじめは絶対に許さない』という意識の徹底を図る」は年齢層が高いほど多く、「何をしてもいじめはなくならない」は、３０歳代を最多として年齢層が低いほど多い傾向にあり、年齢層が低いほどいじめ対策に悲観的な見方をする傾向が伺える。

（６）高齢者の人権について【質問１１～質問１２】

高齢者の人権に関して問題があると思っていることは、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」や「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」など、虐待に関する事項が特に多く、これらは４０歳代以下が５０歳代以上に比べて多い。

高齢者の人権を守るために必要なこととしては、「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が最も多く、次いで「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」となっており、人権に関して問題があると思うことであげられた虐待防止の取組のほか、高齢化社会における高齢者の自立や社会参加の機会の確保を求める声が多い。

（７）障害のある人の人権について【質問１３～質問１４】

障害のある人の人権に関して問題があると思っていることは、「就労が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が最も多く、以下、「じろじろ見られたり、避けられたりする」や「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が続いており、障害のある人に対する理解の不十分さ、それによる社会参加・経済的自立の阻害、虐待に関する事項が多くあげられている。

障害のある人の人権を守るために必要なこととしては、「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」や「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」、「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が特に多く、インクルーシブ社会の実現に向けて、障害のある人に対する理解の普及、それを踏まえた社会参加・経済的自立の機会の確保に向けた主体的な取組の必要性を求める声が多い。

（８）外国人の人権について【質問15～質問16】

外国人の人権に関して問題があると思っていることは、「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」や「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が特に多く、多文化共生・相互理解、外国人であることを理由とする不当な格差が特に問題視されている。

外国人の人権を守るために必要なこととしては、「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」や「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」、「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制を作る」が大差なく多く、多文化共生・相互理解の促進や不当な格差の是正を求める声が特に多く寄せられている。

（９）同和問題について【質問17、質問19、質問20、質問22】

同和問題の起源の認知は、過去３回の調査と比べても同様の傾向で大きな変化はないが、「生活が貧しかったから」や「宗教が違ふとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから」、「人種（民族）が違うから」は20歳代で最も多く、誤った認識の若年層が多くみられる。

同和問題に関する事項に対する「同和問題についての態度スコア」は、前回と今回は同点だが、平成10年度（1998年度）調査以降は上昇しており、同和問題の解決にとってプラスになる意見に賛同する度合いが強まる傾向にある。年齢別にみると、態度スコアの平均は20歳代と30歳代が40歳代以上に比べてやや低く、若年層で同和問題の解決にとってプラスになる意見に賛同する度合いがやや低い。

同和地区の人との結婚に対する意識は、自分の子どもが結婚する相手の場合・自身が結婚する相手の場合ともに、「結婚を認める」・「結婚する」が前回に比べて増加している。これを、自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに、親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度からみると、自分の結婚の意志が強い人ほど子どもの意思を尊重する人が多い傾向にあり、逆に、自分の結婚の意志がない人ほど子どもの結婚も反対する傾向がみられ、自身の結婚の場合の態度と子どもに対する態度との間に一定の相関がみられる。

同和問題解決のために必要な対策については、「人権尊重についての学校教育を徹底する」や「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」の教育・啓発を重視する意見が多く、これらは、過去３回の調査を通じて毎回増加している。これらとともに「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」や「同和地区のことは、口に出さず、そっとしておけば、自然になくなる」も多くあげられており、これらは、過去３回の調査を通じて毎回減少してきたが、今回は増加に転じている。教育・啓発による正しい知識・理解の普及が重要視されている反面、部落分散論・自然解消論も比較的多いのが特徴と言える。

（10）啓発活動への参加、学習資料等の閲読状況について【質問24～質問27－１】

人権問題に関する研修会・講演会、「町内学習懇談会」、地域総合センター（隣保館）開催の諸事業（地域総合センター（隣保館）を知っている者のみが対象）へのそれぞれの参加状況は、いずれも半数以上が参加したことがなく、前者２つの不参加の理由として、「開かれているのを知らなかったから」や「参加しても差別はなくならないと思ったから」、「仕事の都合で参加できなかったから」が多くあげられており、研修会等の周知、研修会等の意義、開催方法等に課題があると言える。

人権センター発行の学習資料等の閲読状況は、「広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」は時々読んでいる人も含めて６割の閲読率だが、このほかの学習資料等は「読んだことがない」が半数以上を占め、閲読率の向上に向けた学習資料の周知、配布方法等に課題があると言える。

(11) 今後の人権学習のあり方【質問29、質問31】

人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況は、「日本国憲法」が最も多く、以下、「世界人権宣言」、「児童虐待防止法」、「DV防止法」、「水平社宣言」、「高齢者虐待防止法」が続いている。他方、「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」や「草津市人権擁護に関する条例」、「草津市男女共同参画推進条例」、「人権擁護に関する基本方針（改訂版）」といった本市の条例等の認知率は、いずれも法律等の認知率に比べても低い。人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみた認知率は、いずれの学習資料についても閲読頻度が高い人ほど法律等の認知率が高い傾向にあり、学習資料・啓発媒体の閲読が認知率の向上に寄与していることが伺い知れる。

自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢としては、「(もっと) 学習したいと思う」という積極的な学習姿勢の人が約2割、「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」と「自分には関係のないことなので、学習する気はない」を合わせた消極的な学習姿勢の人が約7割となっている。過去3回の調査を通じみると、「(もっと) 学習したい」は毎回増加してきたが、今回は前回に比べて8.7ポイント減少し、かつ最も少ないことから、積極的な学習姿勢の人の減少が顕著である。また、年齢層が高いほど「(もっと) 学習したいと思う」が少なく、「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」が多い傾向にあることから、自己認識としては、高齢層ほど人権問題への理解が深いと思っている人が多いと言える。

4 まとめ

調査結果を通じて、今後の人権施策のあり方や課題を2つの視点からまとめる。

まず、人権教育・啓発活動の効果的・継続的な実施の必要性である。これまでの人権教育・啓発活動により、同和問題をはじめとする人権問題全般に対する市民の関心の高揚、正しい知識・理解の普及には一定の進展がみられたと言える。しかしながら、今回新たに盛り込んだ人権問題全般に関する設問、市民自身が経験した人権侵害に関する設問の結果からもわかるように、人権問題は市民一人ひとりに関わるものであり、誰もが人権侵害の被害者・加害者になることもあり得る実に身近なものである。

市民一人ひとりが、互いを尊重しあい、より良い人間関係・地域社会を形成し、より良く生きていくためには、人権問題に関する正しい知識と理解をさらに深めることが何よりも重要である。このことは、たとえば、同和問題解決のために必要なことに関して、学校教育や同和教育の重要性が多くあげられていた反面、部落分散論・自然解消論といった誤った認識を持つ人が比較的多かったことなどから言えることであり、同和問題に限らず、人権問題全般において重要な課題だと言える。

人権教育・啓発活動の内容や開催方法、学習資料や啓発媒体の内容や配布・提供方法について、市民のニーズ、ライフスタイルやライフステージに応じた効果的なあり方を引き続き検討し、工夫・改善していく必要がある。

今ひとつは、人権問題・人権侵害に関する相談支援態勢の充実・強化の必要性である。今回の調査では、「5年以内に」人権侵害を受けた経験がある人が11.8%だった。しかし、「5年以内」と制限せず、また、20歳未満の市民も含めると、さらに多くの人が人権侵害を経験しているであろうことは容易に推測される。特に、子どもにおいては、学校等でのいじめとそれによる自殺が社会問題になる中で、顕在化していない問題も少なくないと考えられる。同様に、職場等でのパワー・ハラスメントやマタニティ・ハラスメント、DV、高齢者や障害者に対する虐待など、顕在化しにくいだけでなく、顕在化しても十分な問題解決が図られず、当事者が泣き寝入りするケースも多くみられる。

市民が日常生活で直面する人権問題・人権侵害について、迅速かつ的確に対応できる相談支援態勢の整備と充実・強化を図ることが喫緊の課題だと言える。職場や学校、地域社会、家庭等で経験する多様な人権問題・人権侵害について、誰もが身近で安心して相談できる相談支援機関・窓口が

あることの周知をより徹底していく必要がある。また、各相談機関・窓口で受け付けた相談内容に応じて、必要に応じて専門の関係機関・窓口に円滑に連携できる態勢など、市民一人ひとりの尊厳が確実に守られ、迅速に問題解決を図ることができる態勢の充実・強化が必要である。

第4章 使用した調査票

「人権・同和問題」に関する市民意識調査についてのお願い

日ごろは、人権・同和教育推進のため、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市では、1996（平成8）年7月に「草津市人権擁護に関する条例」を制定し、部落差別をはじめとして障害者、女性、在日外国人等に対するあらゆる差別をなくし、明るく住みよいまちづくりをめざして、人権・同和問題に関する教育、啓発活動を実施してまいりました。しかし、子どもや女性などへの虐待、インターネットなどへの差別的な書き込み、あるいは戸籍等の不正取得など、さまざまな人権侵害が依然として起こっており、多くの課題があります。

そこで、これまで取り組んできた人権・同和教育の成果と課題を踏まえ、今後の人権教育、啓発活動に活かしていくため、1983（昭和58）年以来、5年毎に実施している市民意識調査を本年度に行うものです。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月

草津市長 橋 川 渉

【調査票へのご記入にあたって】

- この調査は、平成25年10月1日現在で草津市にお住まいの20歳以上の市民のなかから約3,000人を無作為に選んでご協力をお願いしております。

- 封筒のあて名の方ご本人がご回答ください。

※何らかの理由でご本人による回答が難しい場合は、ご本人のお考えを尊重し代理の方がご記入いただきますようお願いいたします。

- すべての回答内容は統計的に処理して、調査結果は所期の目的にのみ用い、プライバシーの保護に万全を期します。

- 調査票や返信用封筒に住所・氏名・連絡先などを記入していただく必要はありません。

- ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れて封をし、

10月31日（木）まで

に最寄りの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

＝ お問い合わせ先 ＝

草津市立人権センター 人権教育グループ
電話（077）563－1765（直通）

「人権・同和問題」に関する市民意識調査

(2013年)

草 津 市

— お 願 い —

この調査は、「基本的人権」に関する問題、特に国民的課題である「同和問題」をはじめ、さまざまな人権問題を解決するための教育、啓発活動の基礎資料になるものです。どうか、調査の趣旨（別紙『人権・同和問題』に関する市民意識調査についてのお願い）をご理解いただき、日ごろの率直なお考えをお聞かせください。

ご回答は、ご本人（封筒のあて名の方）をお願いします。

なお、質問の中で、あなたのお考えに近い答えがないとき、あるいは、答えられないときは、空白のままで結構です。

質問1. 日本国憲法の第14条には、「すべての国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」と規定されています。しかし、“差別”とはどういうことかという、いろいろと考え方の違いがあるようです。そこで、次のAからFのことについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

A. Aさん（男性）とBさん（男性）が、ある会社の入社試験を受けました。100点満点で、Aさんは80点を取り、Bさんは75点でした。ところが、Aさんは父親がなく、Bさんは両親が健在なことがわかりました。そこで、会社は、両親が健在であるBさんの方を採用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 成績のよかったAさんを、家庭事情で不採用にしたのは差別だと思う
2. 両親が健在であるBさんを採用したのだから、差別だとは言えないと思う
3. いちがいには言えない

B. ある会社で、管理職職員の選考をして任用することになりました。Cさん（男性）とDさん（女性）が最終選考対象に残っています。Dさんは経験年数、勤務成績、知識、管理能力などの点ではむしろCさんに優っていると思われます。しかし、会社では男性であるCさんの方を管理職に登用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. Dさんを女性のゆえに登用しなかったことは差別だと思う
2. 管理職には男性に登用するのが当然だから、差別だとは言えないと思う
3. いちがいには言えない

C. 子どもが勉強しないので、親が叱っていました。そのとき、急に雨が降り出し、道路の工事をしていた人が向かいの家の軒下に雨やどりに行きました。それを見て、親は子どもに、「しっかり勉強しないとあのおじさんたちのような仕事をするようになるよ」と言いました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. たとえ子どもを励ますためであっても、親の言葉は差別だと思う
2. 親の言葉は差別だとは言えないと思う
3. いちがいには言えない

D. Eさんは、ある町で希望にあった家を見つけたので買おうとしました。ところが、その新しい家は同和地区にあることがわかりました。そこで、子どものいるEさんは、その家を買うことを見合わせました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 同和地区に住ませたくないとするEさんの態度は差別だと思う
2. 子どものことを考えてやめたのだから差別だとは言えないと思う
3. いちがいには言えない

E. ある市で障害児（者）の施設が、住宅街に建設されることになりましたが、地元の住民がその施設の建設に反対しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 障害児（者）が、まちなかで地域住民とともに生きるのは当然のことであり、反対するのは差別だと思う
2. 障害児（者）の施設ができると、地域のイメージが悪くなったり、“地価”が下がったりするおそれがあるから、差別だとは言えないと思う
3. いちがいには言えない

F. Fさんが好きになり、結婚したいと思う人を家族に紹介したところ、「よさそうな人じゃないか」と親は言い、その後交際を続けていました。数カ月たって、親が「結婚すれば、あとあと親せきづきあいもしていかなければならないから、相手の身元もよく調べておかなければ」と言いました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 相手の性格や将来性などが問題で、身元を調べることは差別だと思う
2. 結婚は、本人だけのことでなく家族全体のことだから、相手の身元を調べることは差別だとは言えないと思う
3. いちがいには言えない

質問2. 日本には、次のAからFのようなさまざまな風習があります。AからFそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 当然のこと と思う (いつも気 にしている)	2 おかしいと 思うが、 自分だけ反対 しても仕方が ないと思う	3 間違っている と思うし、 なくしてい かなければなら ないと思う	4 聞いた ことがない
A. 「ひのえうま」の生まれということで、結婚することをいやがる風習	1	2	3	4
B. 結婚式は「大安」の日でないと良くないという風習	1	2	3	4
C. 結婚の相手を決めるときに、年まわりが良いとか、良くないとかいう風習	1	2	3	4
D. 結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習	1	2	3	4
E. 「友引」の日に葬式をしてはいけないとか、時刻を遅らせるとかいう風習	1	2	3	4
F. 家を建てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習	1	2	3	4

質問3. あなたは、「人権が尊重される」ということはどのようなことだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

1. 国家などの権力から干渉されず、自由に生活できること
2. 差別されない、平等であること
3. 個人として尊重されること
4. 個人の持つ可能性を発揮する機会が認められること
5. 多様な価値観が認められること
6. 健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること
7. その他（具体的に： _____）
8. わからない

質問4. この5年以内に、あなたご自身が人権侵害を受けたことがありますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

1. ある → 問4-1～問4-3にお答えください
2. ない → 問5へお進みください

質問４－１. 質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたが最も印象に残っている人権侵害はどのような場面ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

1. 家庭で
2. 地域社会や公共の場で
3. 学校で
4. 職場で
5. 行政手続きや行政の対応で
6. 福祉・医療サービスで
7. インターネット上で
8. その他（具体的に： ）

質問４－２. 質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたが受けた人権侵害はどのような内容のものですか。あてはまるもの１つを選び、○をつけてください。

1. あらぬうわさ、悪口で傷つけられた
2. 暴力を振るわれた
3. 脅迫・無理強いされた
4. 差別待遇を受けた
5. 仲間はずれ、いじめ、嫌がらせを受けた
6. プライバシーを侵害された
7. セクシュアル・ハラスメントを受けた
8. その他（具体的に：

質問 4-3. 質問 4 で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、人権侵害を受けたときにどのような対応をとりましたか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

1. 相手に抗議した
2. 身近な人に相談した
3. 人権センター・市役所に相談した
4. 所属する会社や学校の相談室などに相談した
5. 弁護士に相談した
6. 警察に相談した
7. 法務局、人権擁護委員に相談した
8. その他（具体的に： _____）
9. 黙ってがまんした

質問5.「男は仕事、女は家庭」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかと言えば賛成 |
| 3. どちらかと言えば反対 | 4. 反対 |
| 5. わからない | |

質問6. 次のAからFにあげる分野において、あなたは、男女の立場がどの程度平等になっていると思いますか。AからFそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 十分平等に なっている	2 ある程度 平等に なっている	3 あまり平等 になって いない	4 全く平等に なって いない	5 わからない
A. 家庭生活（家事分担、介護や子育てなど）	1	2	3	4	5
B. 職場（採用、昇給、昇進、配属・職種など）	1	2	3	4	5
C. 学校教育（名簿、履修科目、進路指導など）	1	2	3	4	5
D. 地域活動（自治会の役員、会合への出席、役割分担など）	1	2	3	4	5
E. しきたりや慣習（女人禁制、神事への参加の制約など）	1	2	3	4	5
F. 法律や制度（夫婦同姓、再婚禁止期間など）	1	2	3	4	5

質問7. あなたは、女性の人権に関する次のAからHの相談窓口を知っていますか。AからHそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 知っている	2 知らない
A. 市民相談室（草津市役所）	1	2
B. 家庭児童相談室（市子ども家庭課）	1	2
C. 人権相談（市立人権センター）	1	2
D. 心配ごと相談（草津市社会福祉協議会）	1	2
E. 配偶者暴力相談支援センター（滋賀県）	1	2
F. 中央子ども家庭相談センター	1	2
G. 草津警察署生活安全課	1	2
H. 女性の人権ホットライン（大津地方法務局）	1	2

質問8. あなたは、次のAからEの事柄がDV（ドメスティックバイオレンス）に当たると思えますか、思いませんか。AからEそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 DVだと思 う	2 DVだとは思 わない	3 いちがいに は言えない
A. 大声で怒鳴って威嚇する	1	2	3
B. 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
C. 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
D. 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
E. 十分な生活費を渡さない	1	2	3

※DV（ドメスティックバイオレンス）とは、配偶者や恋人、その他親密な関係の人に対して繰り返される、身体的・精神的・性的・経済的・社会的な暴力のことです。

質問9. あなたは、子どもに関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 習い事や塾を決めるとき、子どもの意見を聞かない
2. 言うことを聞かないからしつけのためにたたく
3. 子どもに「生まれてこなければよかったのに」と言う
4. 子どもに十分な食事を与えない
5. 子どもの前で配偶者（妻・夫）に暴力をふるう
6. わいせつな写真の載った雑誌を子どもに見せる
7. 深夜に子どもを連れてカラオケに行く
8. その他（具体的に： _____）
9. 特にない
10. わからない

質問10. あなたは、子どもに対するいじめをなくすためにどのようなことが重要だと思いますか。お考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 幼児期から他人への思いやりを身につける
2. 子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める
3. 地域全体で子どもを守り育てる
4. 子どもの個性、特性を尊重する教育を推進する
5. 「いじめは絶対許さない」という意識の徹底を図る
6. 異質なものを排除する社会の考えを改める
7. 何をしてもいじめはなくなる
8. その他（具体的に： _____）
9. 特にない
10. わからない

質問11. あなたは、高齢者に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 経済的な保障が十分でない
2. 就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない
3. ボランティア活動などを通じて能力を発揮する機会が少ない
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. 高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない
6. 邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない
7. 詐欺や悪徳商法の対象として狙われる
8. 家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
9. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない
12. わからない

質問12. あなたは、高齢者の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす
2. 道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する
3. 高齢者と他の世代との世代間交流を促進する
4. 高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
5. 成年後見制度など高齢者の権利と財産を守る制度を充実する
6. 高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
7. 高齢者のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する
8. 高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない
11. わからない

質問13. あなたは、障害のある人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 経済的な保障が十分でない
2. 就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない
3. スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. 障害のある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない
6. 詐欺や悪徳商法の対象として狙われる
7. 家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
8. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける
9. 結婚に周囲が反対する
10. 店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される
11. じろじろ見られたり、避けられたりする
12. その他（具体的に： _____）
13. 特にない
14. わからない

質問14. あなたは、障害のある人の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する
2. 道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する
3. 障害のある人となない人との交流を促進する
4. 障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
5. 成年後見制度など障害のある人の権利と財産を守る制度を充実する
6. 障害のある人を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
7. 障害のある人のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する
8. 障害のある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める
9. 障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない
12. わからない

質問15. あなたは、外国人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい
2. 就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける
3. 店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. じろじろ見られたり、避けられたりする
6. 国籍を理由に、結婚に周囲が反対する
7. 福祉など制度面での制限がある
8. 病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない
9. 本名では差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない
12. わからない

質問16. あなたは、外国人の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 外国人や国際理解に関する教育を充実する
2. 外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす
3. 外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる
4. 外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする
5. 外国人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
6. 外国人のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）
7. 多言語による人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する
8. 日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない
11. わからない

質問17. あなたは、同和地区はどういう理由でできたと考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 人種（民族）が違うから
2. 宗教が違うとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから
3. 職業・仕事が違うから
4. 生活が貧しかったから
5. 封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから
6. その他（具体的に： _____）

質問18. あなたは、同和地区に関する次のAからFのようなことを聞いたとき、どのように思いましたか。AからFそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 その通り だと思った	2 疑問に 思った	3 反発を 感じた	4 聞いた ことがない
A. 同和地区の人びとは常識にはずれたことをしているということ	1	2	3	4
B. 同和地区の人びとは差別に負けずたくましく生きてきたということ	1	2	3	4
C. 行政が同和地区の人びとを優遇しすぎているということ	1	2	3	4
D. 同和地区についてうかつなことを言えば、大変な問題になるということ	1	2	3	4
E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命に取り組んでいるということ	1	2	3	4
F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ	1	2	3	4

質問19. あなたは、同和問題に関する次のAからEのような意見について、どのように思いますか。
AからEそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 そう思う	2 どちらとも 言えない	3 そう思わない
A. 差別を許さない態度を身につけることは、他の「人権問題の解決」にもプラスになる	1	2	3
B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる	1	2	3
C. 差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない	1	2	3
D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う	1	2	3
E. 同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる	1	2	3

質問20. 同和地区の人との結婚についてお聞きします。次のAからBのことについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

A. あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合、あなたはどのようにしますか。

1. 親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する
2. 親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない
3. 家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない
4. 絶対に結婚は認めない

B. あなたが同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどのようにしますか。

1. 自分の意志を貫いて結婚する
2. 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する
3. 家族や親せきの反対があれば、結婚はしない
4. 絶対に結婚しない

質問21. あなたやあなたのお子さんが同和地区の人と結婚しようとした場合、あなたの親せきはどのような態度をとると思いますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 反対する親せきがいると思う
2. 口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う
3. 特に反対する親せきはいないと思う
4. わからない

質問22. あなたは、同和問題を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 同和地区の人びとの収入の安定・向上を図り、生活力を高める
2. 同和地区の住宅環境や生活環境を良くする
3. 差別意識をなくすための同和教育を徹底する
4. 人権尊重についての学校教育を徹底する
5. 基本的人権を守り、民主主義の徹底をめざす国民的な運動をもっと拡大強化する
6. 同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする
7. 同和地区のことは、口に出さず、そっとしておけば、自然になくなる
8. その他（具体的に： _____）

質問23. さまざまな人権問題がありますが、とりわけ、今後の同和問題の啓発・教育のあり方について、あなたはどのように考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 同和問題は、他の人権問題と同列に扱うのは適当でないので、他の人権問題よりも、同和問題については特に重点的に啓発・教育を行うべきである
2. 同和問題について積極的な啓発・教育を行うとともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである
3. 人権意識そのものを高めることが重要なので、同和問題だけをとりあげて啓発・教育を行うのではなく、人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである
4. 同和問題についての啓発・教育はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である
5. 同和問題、他の人権問題のいずれについても、啓発・教育は必要ない
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

質問24. 草津市では、市民の皆さんが人権問題についての理解を深められるよう研修会・講演会を開いていますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------|-------------------|
| 1. 4回以上参加したことがある | _____ | → 質問25へお進みください |
| 2. 2～3回参加したことがある | _____ | |
| 3. 1回だけ参加したことがある | _____ | |
| 4. 参加したことがない | _____ | → 質問24-1 にお答えください |

質問24-1. 質問24で、選択肢「4」にお答えの方にお聞きします。あなたが研修会・講演会に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 研修会などが開かれているのを知らなかったから |) |
| 2. 関心がないから | |
| 3. 参加しても差別はなくならないと思ったから | |
| 4. 参加するまでもなく、よく知っているから | |
| 5. 仕事の都合で参加できなかったから | |
| 6. 家事の都合で参加できなかったから | |
| 7. その他（具体的に： | |

質問25. 草津市では、市民の皆さんが人権問題について理解を深められるよう「町内学習懇談会」を開いていますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------|-------------------|
| 1. 4回以上参加したことがある | _____ | → 質問25-1 にお答えください |
| 2. 2～3回参加したことがある | _____ | |
| 3. 1回だけ参加したことがある | _____ | |
| 4. 参加したことがない | _____ | → 質問25-2 にお答えください |

質問25-1. 質問25で、選択肢「1」～「3」のいずれかにお答えの方にお聞きします。あなたは、「町内学習懇談会」に参加してどのように思いましたか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 人権問題についての理解が深まった |) |
| 2. 内容がやさしすぎて、深まらなかった | |
| 3. 内容が難しすぎて、よくわからなかった | |
| 4. 内容や進め方を工夫すべきである | |
| 5. その他（具体的に： | |

質問25ー2. 質問25で、選択肢「4」にお答えの方にお聞きします。あなたが「町内学習懇談会」に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 「町内学習懇談会」が開かれているのを知らなかったから
2. 関心がないから
3. 参加しても差別はなくならないと思ったから
4. 参加するまでもなく、よく知っているから
5. 仕事の都合で参加できなかったから
6. 家事の都合で参加できなかったから
7. その他（具体的に： _____）

質問26. 人権センターでは、人権問題解決のために次のAからEの学習資料等を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。AからEそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 いつも 読んでいる	2 時々 読んでいる	3 読んだことが ない
A. 学習資料「めざめ」	1	2	3
B. 広報「くさつ」の「差別のない明るいまちに」	1	2	3
C. 会報「市同推協」	1	2	3
D. 人権センターだより	1	2	3
E. 男女共同参画啓発紙「みんなで一歩」	1	2	3

質問27. 市内の「地域総合センター（隣保館）」（通称「会館」）は、地域社会全体の中で、福祉や高齢者の生きがい対策、人権啓発や住民交流の拠点となるコミュニティセンターとして事業を実施しています。あなたは、「地域総合センター（隣保館）」を知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

- 1. 知っている _____▶問27-1 にお答えください
- 2. 知らない _____▶問28へお進みください

質問27-1. 質問27で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、「地域総合センター（隣保館）」の行っている諸事業に参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- 1. 4回以上参加したことがある
- 2. 2～3回参加したことがある
- 3. 1回だけ参加したことがある
- 4. 参加したことがない

質問28. 「人権センター」は、人権問題の教育・啓発の拠点ですが、あなたは、センターにどのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- 1. 人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい
- 2. 人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい
- 3. 人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい
- 4. 人権啓発ライブラリーの図書やビデオの充実を図ってほしい
- 5. 人権啓発ライブラリーの情報を提供してほしい
- 6. 啓発用リーフレットや各種研修用教材を開発し、提供してほしい
- 7. 人権研修・学習を企画する場合の指導、支援をしてほしい
- 8. その他（具体的に： _____）
- 9. 特にない

質問29. あなたは、次の人権に関する宣言や法律、条例等を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

1. 世界人権宣言
2. 人権教育のための世界プログラム
3. 日本国憲法
4. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
5. 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）
6. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）
7. 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）
8. 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）
9. 水平社宣言
10. 同和対策審議会答申
11. ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言
12. 草津市人権擁護に関する条例
13. 草津市男女共同参画推進条例
14. 人権擁護に関する基本方針（改訂版）

質問30. 草津市では、「登録型本人通知制度」を平成25年1月から開始していますが、あなたは知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

1. 知っている —————▶質問30－1にお答えください
2. 知らない —————▶質問31へお進みください

※登録型本人通知制度とは、事前に登録した人に対して、住民票の写しなどの証明書を本人以外の第三者等に交付したときに、その事実を本人に通知する制度のことです。

質問30－1. 質問30で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、「登録型本人通知制度」に登録していますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

1. 登録している —————▶質問31へお進みください
2. 登録していない —————▶質問30－2にお答えください

質問30－2. 質問30－1で、選択肢「2」にお答えの方にお聞きします。あなたが「登録型本人通知制度」に登録していない主な理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため
2. 登録の必要性を感じないため
3. その他（具体的に： _____）

質問31. あなたは、ご自身の人権問題に関する学習のあり方について、どのように考えていますか。
お考えに最も近い番号を1つだけ選び、○をつけてください。

1. (もっと) 学習したいと思う _____ → 質問31-1 にお答えください
2. 一応の理解を持っているつもりなので、
あまり学習する気はない _____ → 質問32へお進みください
3. 自分には関係のないことなので、学習する気はない _____

質問31-1. 質問31で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたが学習したいと思っているものはどれですか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

1. 「世界人権宣言」「国際人権規約」「児童の権利条約」「人権教育のための世界プログラム」などの理念
2. 差別意識や偏見の構造
3. 女性に関する人権の問題
4. 子どもに関する人権の問題
5. 障害者やその家族に関する人権の問題
6. 高齢者に関する人権の問題
7. 職業にかかわる差別の問題
8. エイズ患者に関する人権の問題
9. 在日外国人に関する人権の問題
10. 民族にかかわる差別の問題
11. 同和地区（同和問題）の歴史や起源
12. 同和問題を解決するための運動（解放運動）の歴史や現状
13. 部落差別（結婚差別や就職差別など）の現れ方や差別事件
14. 同和教育の理念や現況
15. その他（具体的に： _____)
16. 特にない

質問32. 人権尊重や人権問題の解決などについて、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

質問33. たくさんの質問へのご回答、ありがとうございました。最後に、以下のAからEのあなたご自身に関することについて、それぞれあてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

A. あなたの性別はどちらですか。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

B. あなたは何歳ですか。

1. 20歳代	2. 30歳代
3. 40歳代	4. 50歳代
5. 60歳代	6. 70歳以上

C. あなたのお住まいの小学校区はどこですか。小学校区がわからない場合は、お住まいの町名をお書きください。

- | | |
|---------|---------------------------|
| 1. 志津小 | 2. 志津南小 |
| 3. 草津小 | 4. 草津第二小 |
| 5. 渋川小 | 6. 矢倉小 |
| 7. 老上小 | 8. 玉川小 |
| 9. 南笠東小 | 10. 山田小 |
| 11. 笠縫小 | 12. 笠縫東小 |
| 13. 常盤小 | 14. 小学校区がわからない
→町名 () |

D. あなたは、草津市に住んでから何年になりますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上 | |

E. あなたの現在のお仕事（ご職業）はどれですか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 自営業主（農林漁業、商工サービス業、自営業などの業主） |
| 2. 家族従事者（農林漁業、商工サービス業、自営業などの家族従事者） |
| 3. 民間企業・団体（従業員20人未満）に勤めておられる方 |
| 4. 民間企業・団体（従業員20人以上）に勤めておられる方 |
| 5. 公務員、教員、団体職員 |
| 6. 学生 |
| 7. 家事専業 |
| 8. 無職 |
| 9. その他（具体的に：) |

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、10月31日（木）までにご返送くださいますようお願いいたします。

平成25年度

「人権・同和問題」に関する市民意識調査報告書

平成26年3月

発行 草津市

編集 草津市立人権センター人権教育グループ

〒525-0027 滋賀県草津市野村三丁目1番18号

電話 077-563-1765